

耐震評価設備等リスト

耐震 クラス	設備等の名称	耐震バックチェック 結果の有無	S Tで の適用
S	a. 原子炉冷却材圧力バウンダリを構成する機器・配管系		
	・ 原子炉容器	有	○
	・ 蒸気発生器	有	○
	・ 1次冷却材ポンプ	有	○
	・ 加圧器	有	○
	・ 1次冷却材管	有	○
	・ 付属配管・弁	有	○
S	b. 使用済燃料を貯蔵するための施設		
	・ 使用済燃料ピット	有	○
	・ 使用済燃料ラック	有	○
	・ 使用済燃料ピット補給水系	有	○
B	・ 使用済燃料ピット冷却系	無	○
S	c. 原子炉の緊急停止のために急激に負の反応度を付加するための施設、及び 原子炉の停止状態を維持するための施設		
	・ 制御棒クラスタおよび制御棒駆動装置	有	○
	・ ほう酸注入（移送）系	有	○
S	d. 原子炉停止後、炉心から崩壊熱を除去するための施設		
	・ 主蒸気系（蒸気発生器～主蒸気隔離弁）	有	○
	・ 主給水系（主給水逆止弁～蒸気発生器）	有	○
	・ 補助給水系	有	○
	・ 復水タンク	有	○
	・ 余熱除去系	有	○
S	e. 原子炉冷却材圧力バウンダリ破損事故後、炉心から崩壊熱を除去するための施設		
	・ 安全注入系	有	○
	・ 余熱除去系（ECCS）	有	○
	・ 燃料取替用水タンク	有	○

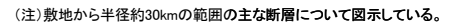
耐震 クラス	設備等の名称	耐震バックチェック 結果の有無	S Tで の適用
S	f. 原子炉冷却材圧力バウンダリ破損事故の際に、圧力障壁となり放射性物質の放散を直接防ぐための施設		
	・ 原子炉格納容器	有	○
S	g. 放射性物質の放出を伴うような事故の際に、その外部放散を抑制するための施設で上記 f. 以外の施設		
	・ 格納容器スプレイ系	有	○
	・ 燃料取替用水タンク（再掲）	有	○
S	h. 補助設備		
	・ 原子炉補機冷却水系	有	○
	・ 原子炉補機冷却海水系	有	○
	・ 非常用電源	有	○
	・ 計装設備	有	○
	・ 制御用空気系	有	○
その他	i. 建屋、波及的影響を考慮すべき設備など		
	・ 耐震安全上重要な建屋等	有	○
	・ 波及的影響を考慮する設備（クレーン類ほか）	有	○
	・ 耐震 B , C クラス設備（上記「使用済燃料ピット冷却系」, 「波及的影響を考慮する設備」を除く）	無	×

高浜発電所の基準地震動 S_s

高浜発電所の耐震バックチェックでは、安全上重要な施設の耐震安全性を確認するため、図 1 に示す主な活断層を対象として検討した結果、表 1 に示す FO - A ~ FO - B 断層による地震、上林川断層による地震を検討用地震として選定した。

検討用地震を対象として、図 2、図 3 に示す「応答スペクトルに基づく地震動評価」及び「断層モデルを用いた手法による地震動評価」を実施し、評価結果に基づき基準地震動 S_s (最大水平加速度 550cm/s^2) を策定した。基準地震動 S_s の加速度時刻歴波形を図 4 に示す。

以 上



(基準地震動の策定及び主要な施設の耐震安全性評価) (平成22年11月29日) より

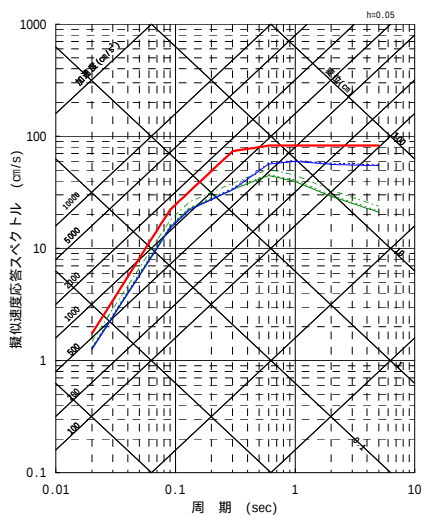
図1 若狭湾周辺の主な活断層分布

表1 検討用地震

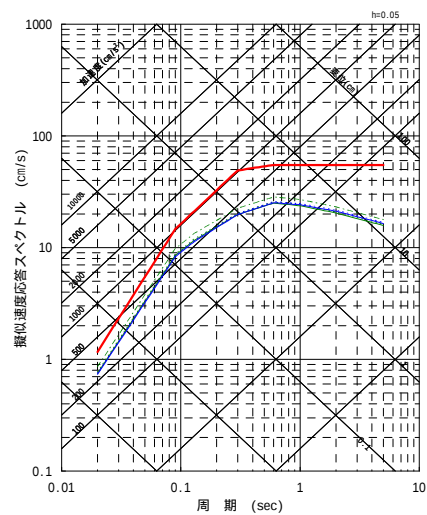
検討用地震で考慮する断層	長さ	地震規模 ¹
F O - A ~ F O - B 断層	35km	7.4
上林川断層	26km以上	7.5 ²

1:地震規模は松田式より算出

2: 上林川断層については、断層モデルの長さ 39.5km として評価

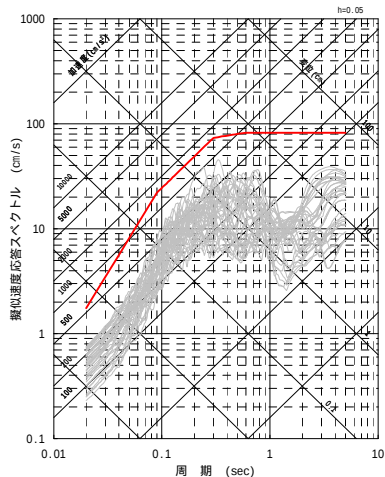


(a) 水平方向

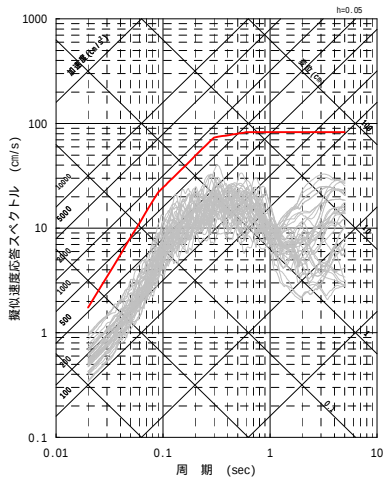


(b) 鉛直方向

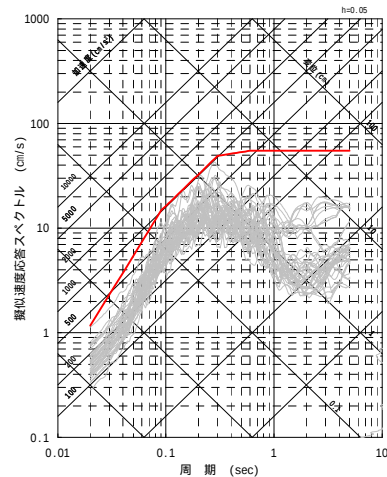
図2 応答スペクトルに基づく地震動評価 (F O - A ~ F O - B 断層、上林川断層)



(a) 水平(NS)方向

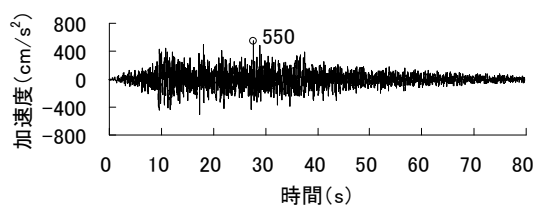


(b) 水平(EW)方向

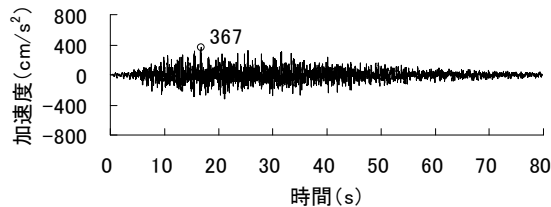


(c) 鉛直(UD)方向

図3 断層モデルを用いた手法による地震動評価 (F O - A ~ F O - B 断層、上林川断層)



(a) 水平方向



(b) 鉛直方向

図4 基準地震動Ssの加速度時刻歴波形

総合的安全評価における耐震裕度の評価について

1. はじめに

「発電用原子炉施設に関する耐震設計審査指針」の改訂（平成18年9月19日 原子力安全委員会決定）を踏まえて実施している耐震安全性評価（以下「耐震バックチェック」という。）の結果に基づき、燃料の重大な損傷に係わるSクラス設備および燃料の重大な損傷に関係し得るその他の建屋、系統、機器について、基準地震動 S_s に対する耐震裕度を評価する。

2. 建物・構築物の耐震裕度評価

（1）評価の概要

原子炉建屋及び原子炉補助建屋について、設計上の想定を超える地震動に対し、燃料の重大な損傷を起こさせないとの観点からどの程度の裕度を有するか評価を実施する。

地震に対する安全性評価は、基準地震動 S_s を用いた動的解析によることを基本とし、この地震動を係数倍した地震動による応答と許容値の比較により、基準地震動 S_s に対する裕度を評価する。解析モデルは建屋の応答性状を適切に表現できるモデルとし、地震応答解析により求められたせん断ひずみをもとに評価する。解析モデルを設定する際の解析諸元については、設計時の値を用いることを基本とするが、実寸法、実測の物性値および試験研究等で得られた知見も適用する。

（2）地震応答解析

a. 地震応答解析モデル

原子炉建屋の水平方向の地震応答解析モデルとしては、基礎版上に、原子炉格納容器（C/V）、外部遮へい壁（O/S）、内部コンクリート（I/C）、外周建屋（E/B）及び燃料取扱建屋（FH/B）を立ち上げ、更に内部コンクリート（I/C）に蒸気発生器（S/G）を連成させ、これらの耐震壁等のせん断剛性と曲げ剛性を考慮した並列多質点系曲げせん断棒モデルとし、（社）日本電気協会「原子力発電所耐震設計技術指針 JEAG4601-1991 追補版」（以下「JEAG4601-1991 追補版」という。）に基づき、建屋と底面地盤との相互作用を考慮した

水平・回転地盤ばねを基礎底面位置に付加するとともに、耐震壁の非線形復元力特性及び基礎の浮上りによる地盤の回転ばねの幾何学的非線形性を考慮した。

なお、工事計画認可における計算書（以下「工認評価」という。）からのモデル化に係る主な変更点は以下の通りである。

- ・ 内部コンクリート (I/C) に蒸気発生器 (S/G) を連成させたモデルとして再評価したこと
- ・ 建屋と底面地盤の相互作用ばね及び耐震壁の非線形復元力特性について、「JEAG4601-1991追補版」により再評価したこと
- ・ コンクリートの物性値を(社)日本建築学会「鉄筋コンクリート構造計算規準・同解説」(1999)により再評価したこと

原子炉建屋の水平方向及び鉛直方向の建屋モデルを図 2 - 1、図 2 - 2 に示す。

原子炉補助建屋は、原子炉建屋に隣接し、それぞれ独立して設けられた建物であり、補助一般建屋 (A/B+C/T)、中間建屋 (I/B)、ディーゼル建屋 (DG/B)、燃料取替用水タンク建屋 (RWST/B) で構成される。中間建屋 (I/B) については、地盤と建屋基礎の相互作用を評価するにあたり、地盤および建屋基礎の広がりを考慮できる詳細な 3 次元 F E M モデルを用いた。水平方向の地震応答解析モデルとしては、補助一般建屋 (A/B+C/T) は 1 軸多質点系の曲げせん断棒モデル、中間建屋 (I/B) は多質点系の等価せん断棒モデル、ディーゼル建屋 (DG/B) は 1 軸多質点系の等価せん断棒モデル、燃料取替用水タンク建屋 (RWST/B) は並列多質点系の曲げせん断棒モデルとし、耐震壁のせん断剛性に関しては、JEAG4601-1991追補版に基づき、非線形復元力特性を考慮した。

補助一般建屋 (A/B+C/T) の水平方向及び鉛直方向の建屋モデルを図 2 - 3、図 2 - 4 に、中間建屋 (I/B) の水平方向及び鉛直方向の建屋モデルを図 2 - 5 ~ 図 2 - 7 に、ディーゼル建屋 (DG/B) の水平方向及び鉛直方向の建屋モデルを図 2 - 8、図 2 - 9 に、燃料取替用水タンク建屋 (RWST/B) の水平方向及び鉛直方向の建屋モデルを図 2 - 10、図 2 - 11 に示す。

原子炉建屋と原子炉補助建屋の地震応答解析モデルの物性として、RC造部の剛性はコンクリートの設計基準強度により設定し、RC造部の減衰定数は5%と設定した。原子炉建屋の地震応答解析モデルのうち、鉄骨造部を2%、原子炉格納容器の減衰定数については水平方向及び鉛直方向ともに1%、蒸気発生器については水平方向を3%、鉛直方向を1%と設定した。

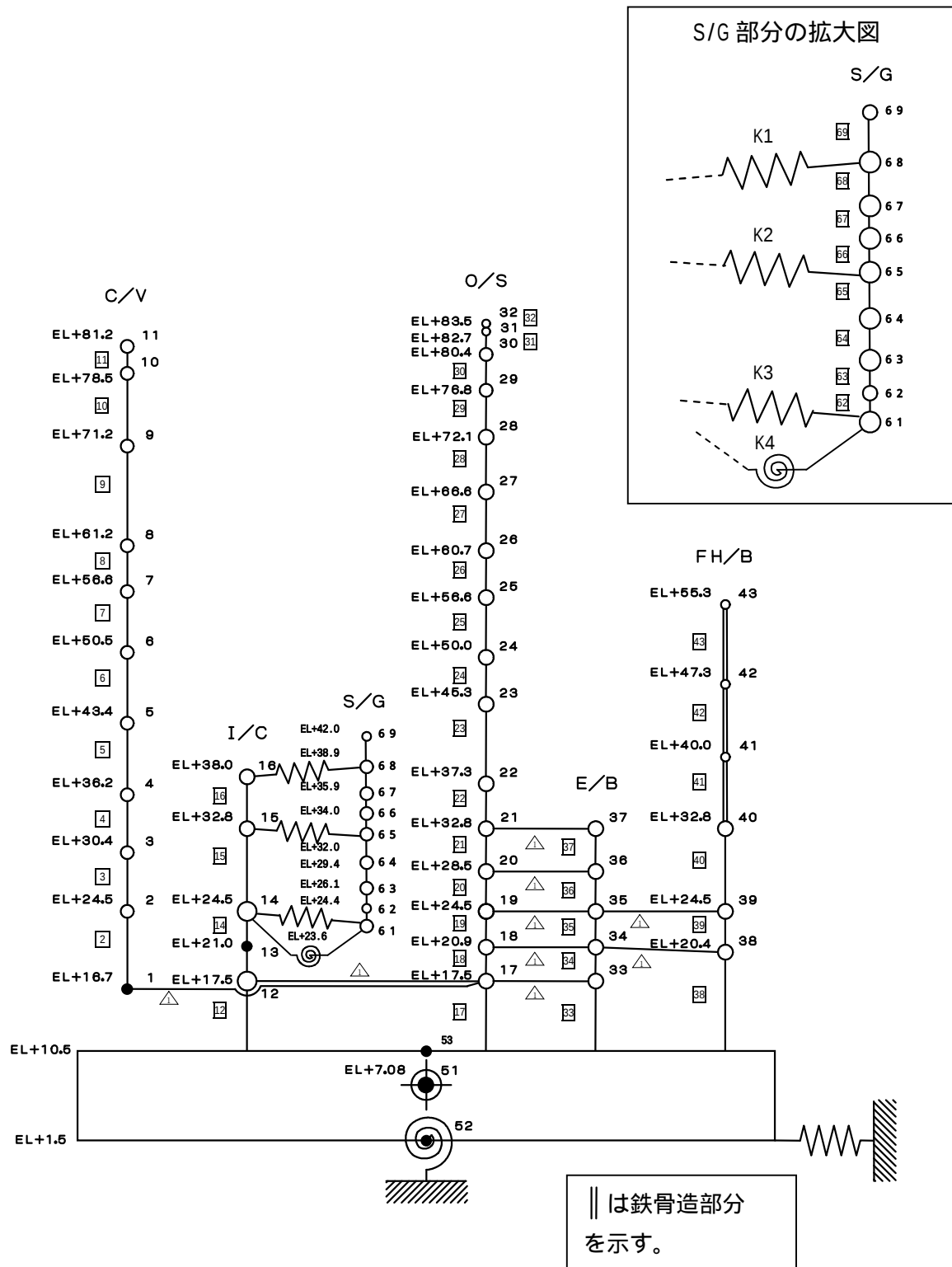
原子炉建屋と原子炉補助建屋の地震応答解析モデルは、耐震バックチェックの中間報告で用いたモデルである。

b. 許容値

原子炉建屋と原子炉補助建屋の許容値については、（社）日本電気協会「原子力発電所耐震設計技術規程 JEAC4601-2008」における鉄筋コンクリート造耐震壁の終局点のせん断ひずみである 4.0×10^{-3} を評価基準値とする。

c. 解析結果

基準地震動 S_s による原子炉建屋と原子炉補助建屋の最大応答せん断ひずみを図 2 - 1 2 - 1 から図 2 - 1 2 - 1 7 に示す。



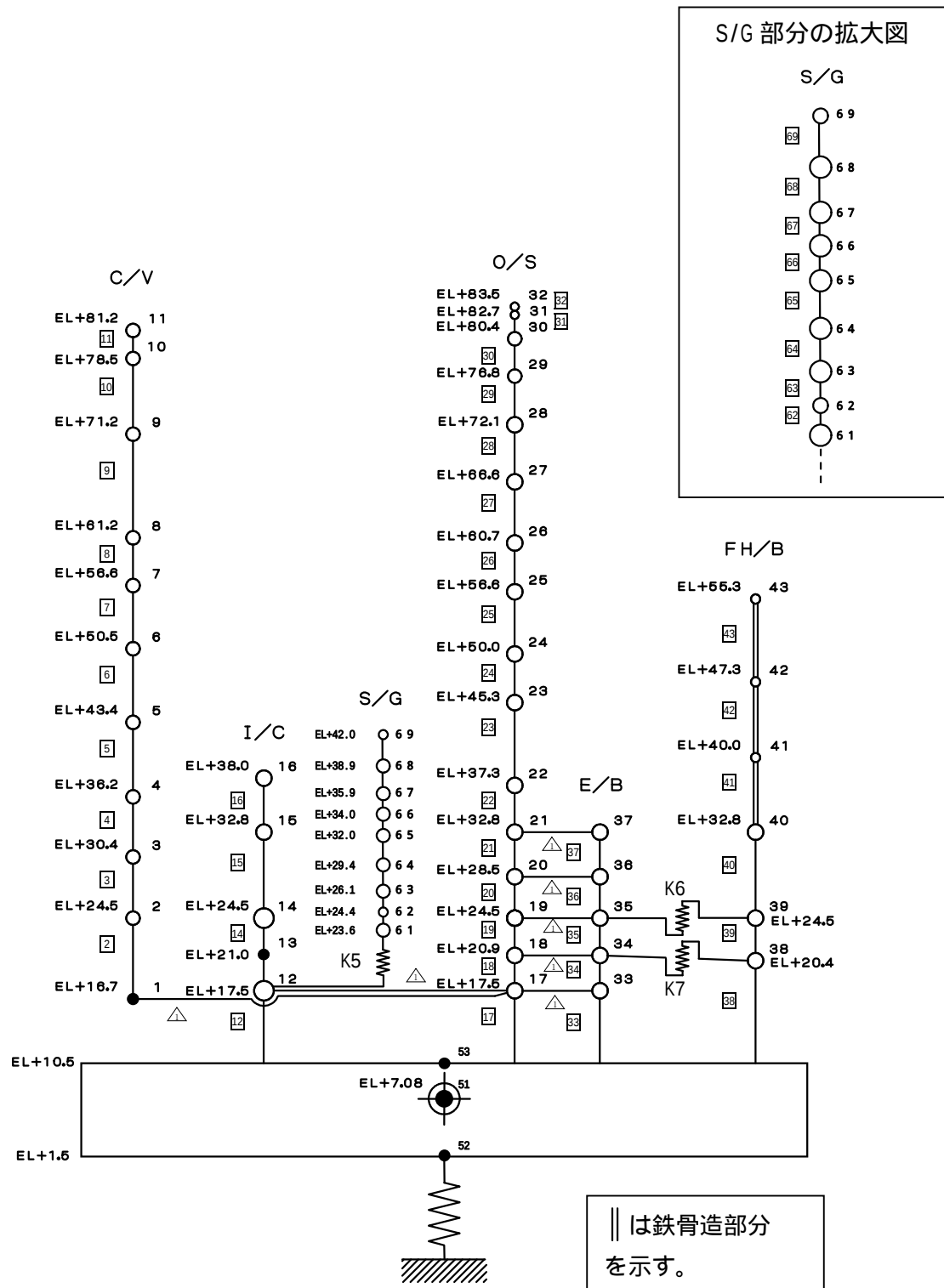


図 2 - 2 原子炉建屋の解析モデル (鉛直)

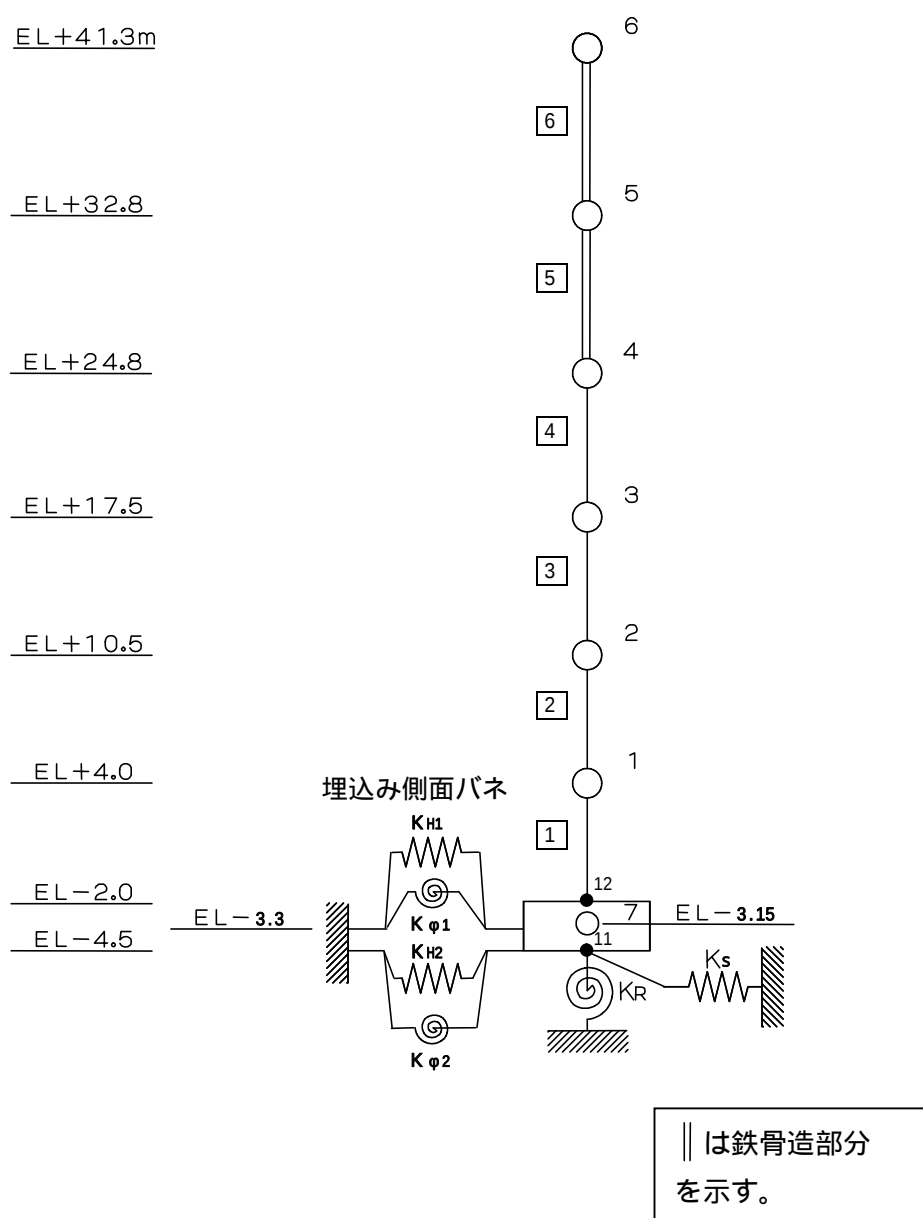


図 2 - 3 原子炉補助建屋(補助一般建屋)の解析モデル(水平)

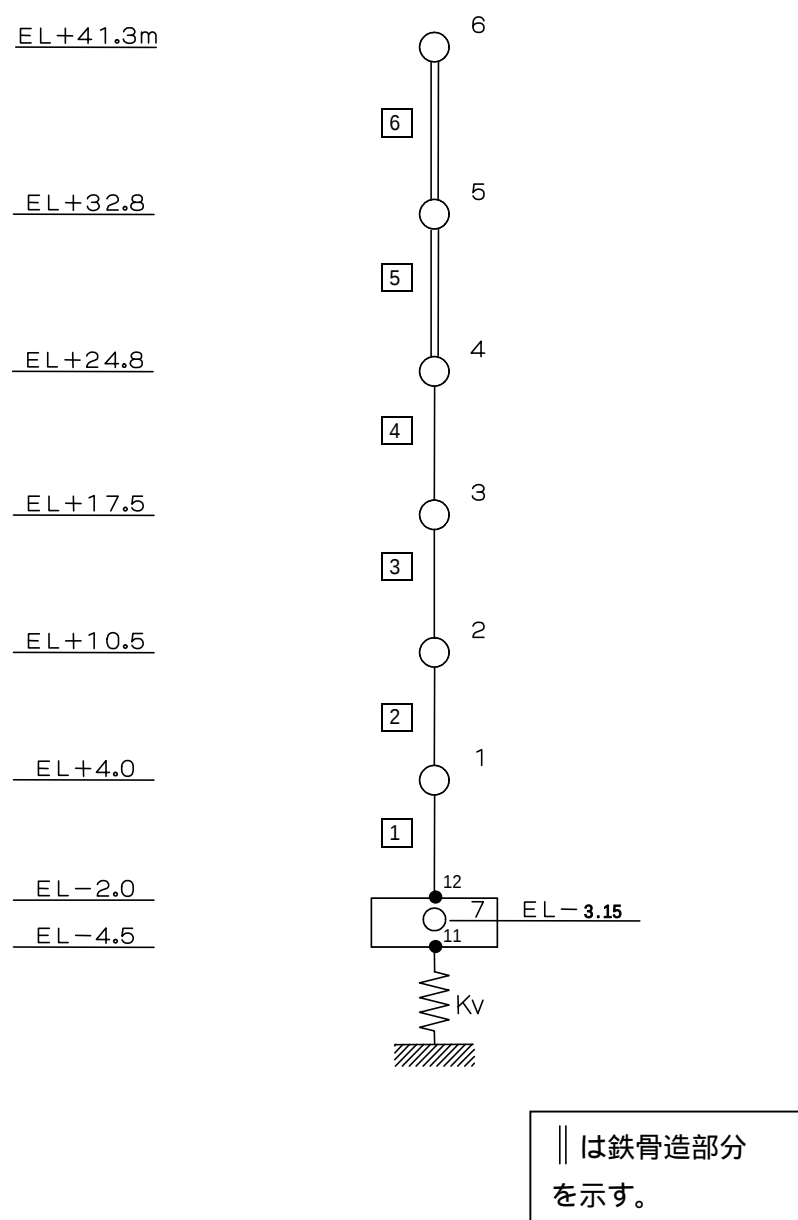


図 2 - 4 原子炉補助建屋(補助一般建屋)の解析モデル(鉛直)

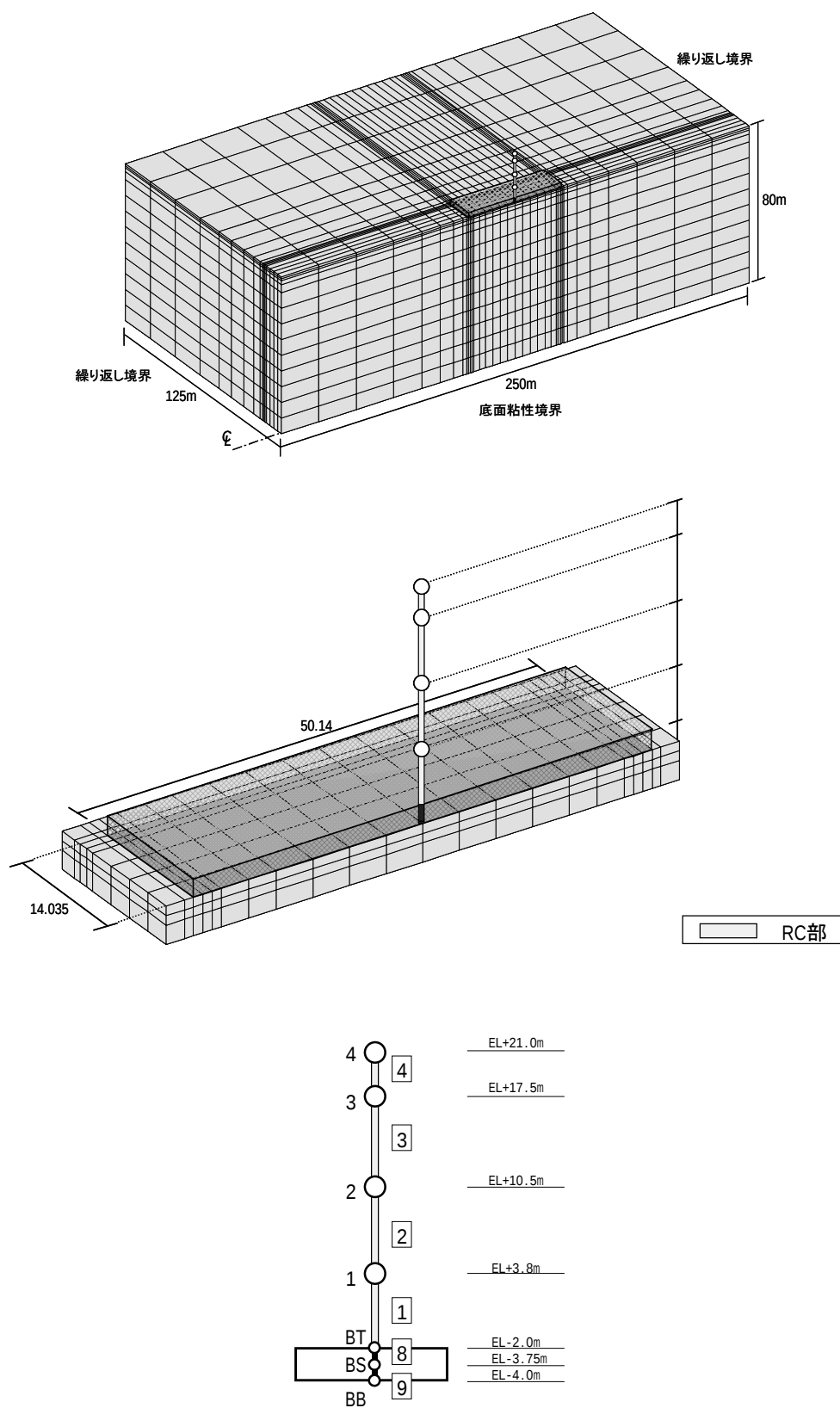


図 2 - 5 原子炉補助建屋（中間建屋）の解析モデル（水平 EW）

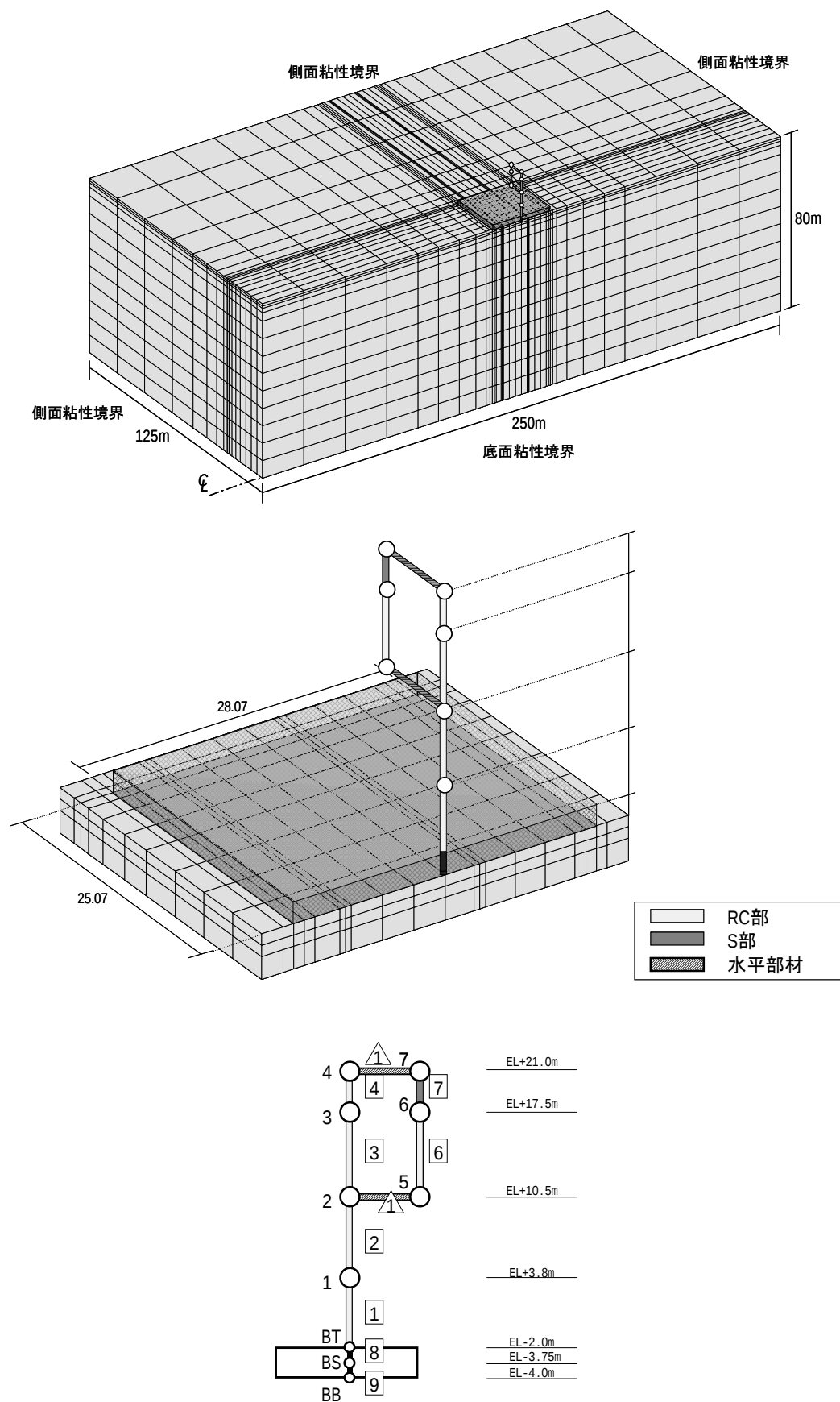


図 2 - 6 原子炉補助建屋（中間建屋）の解析モデル（水平 NS）

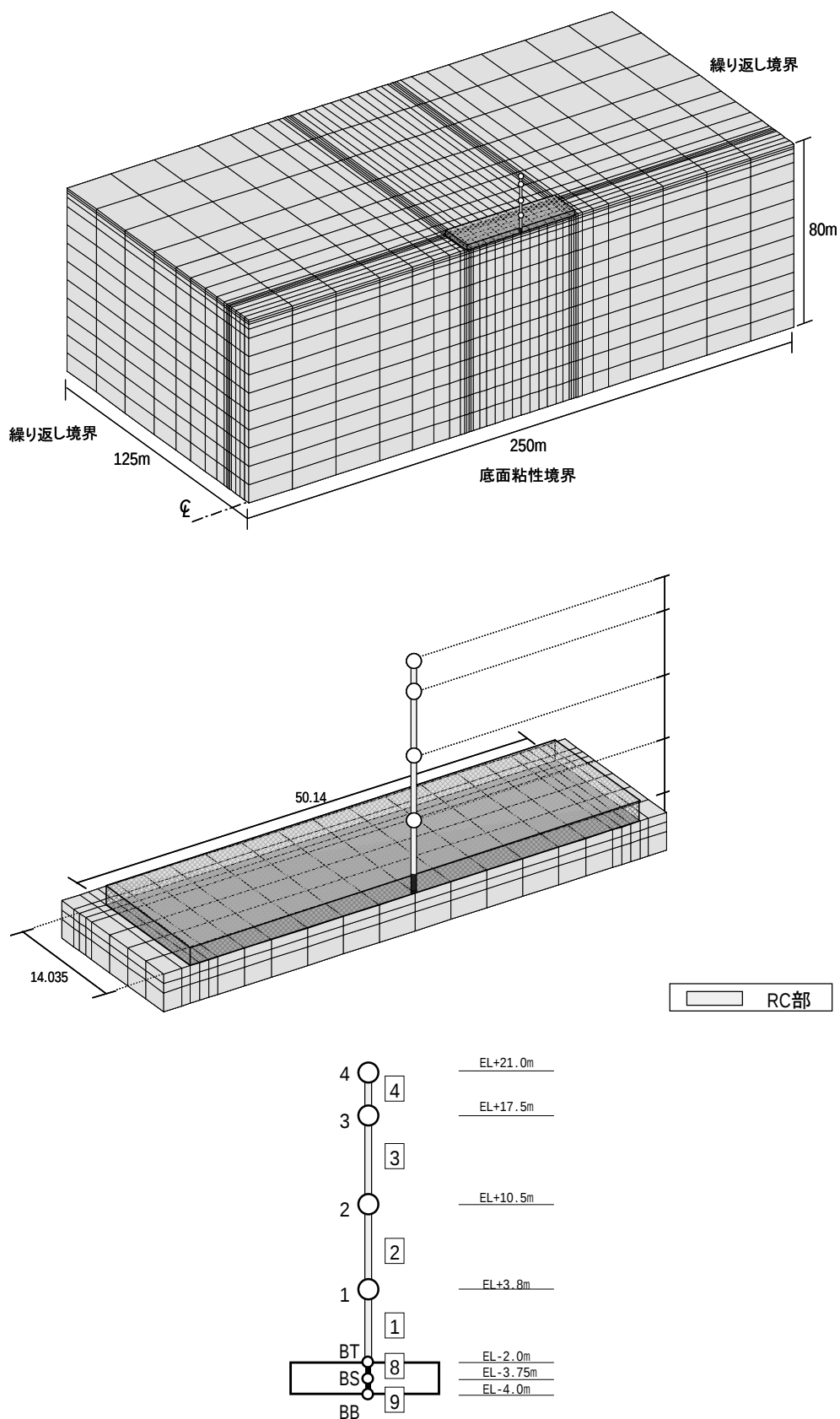


図 2 - 7 原子炉補助建屋（中間建屋）の解析モデル(鉛直)

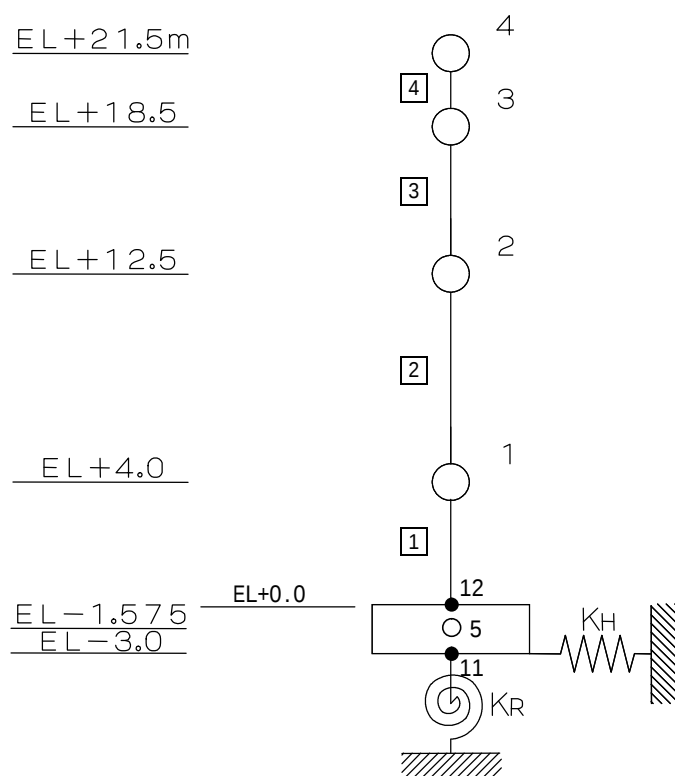


図 2 - 8 原子炉補助建屋（ディーゼル建屋）の解析モデル（水平）

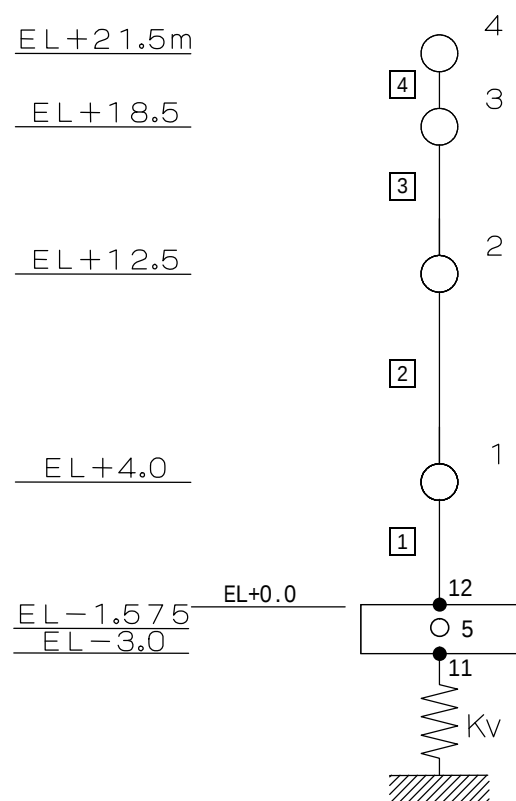


図 2 - 9 原子炉補助建屋（ディーゼル建屋）の解析モデル(鉛直)

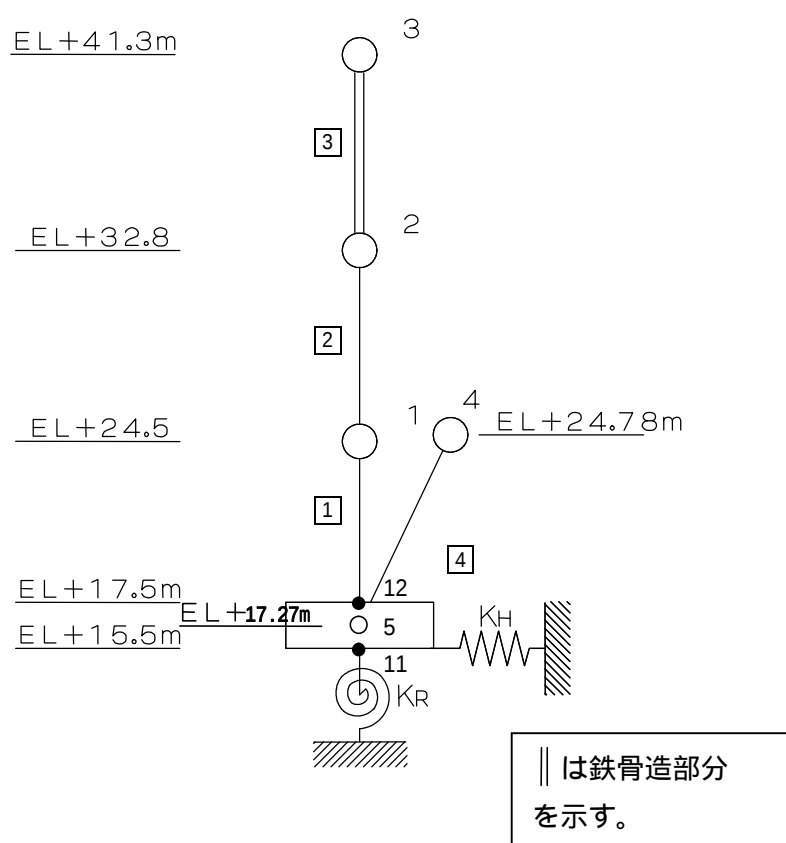


図 2 - 1 0 原子炉補助建屋(燃料取替用水タンク建屋)の解析モデル(水平)

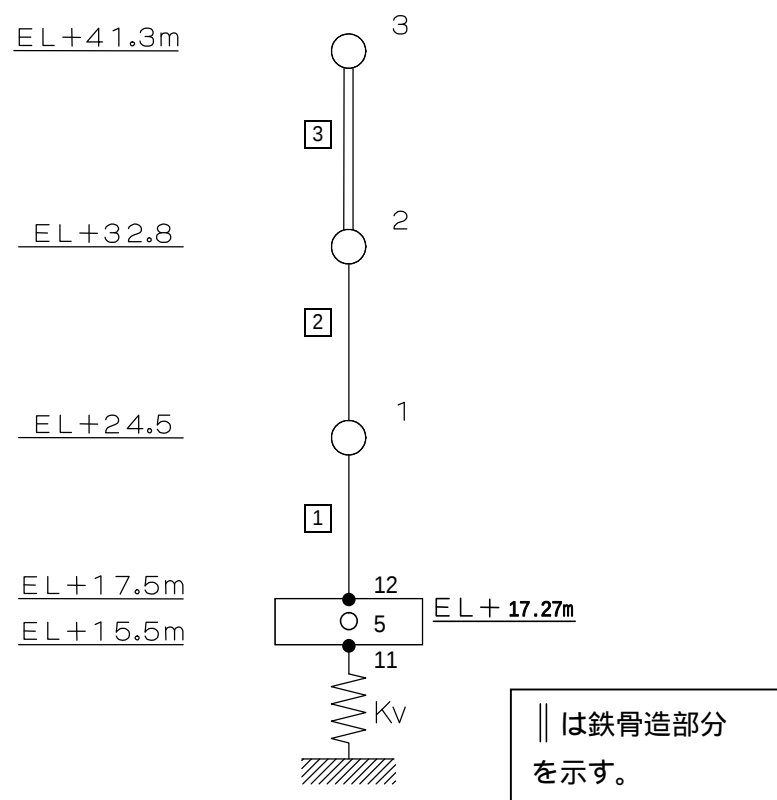
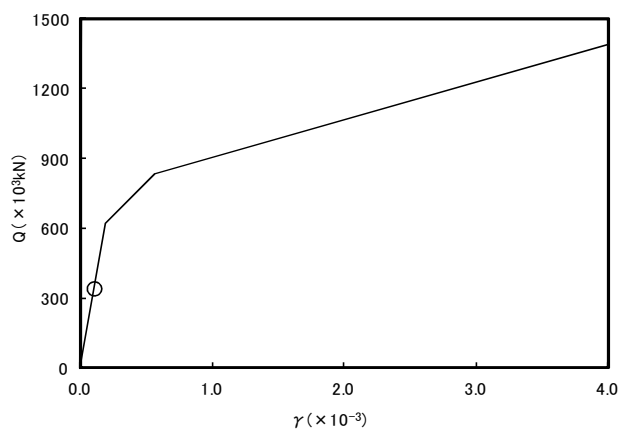
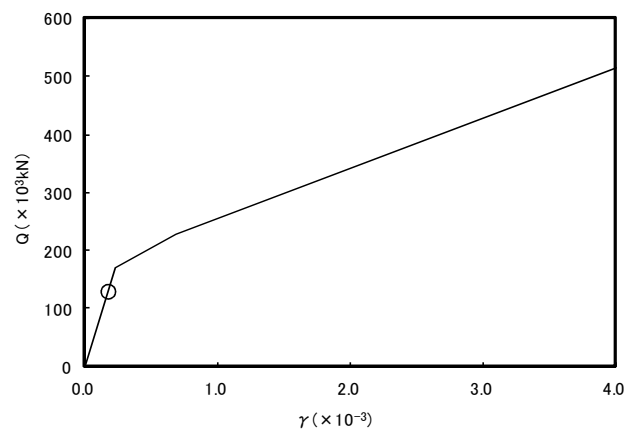


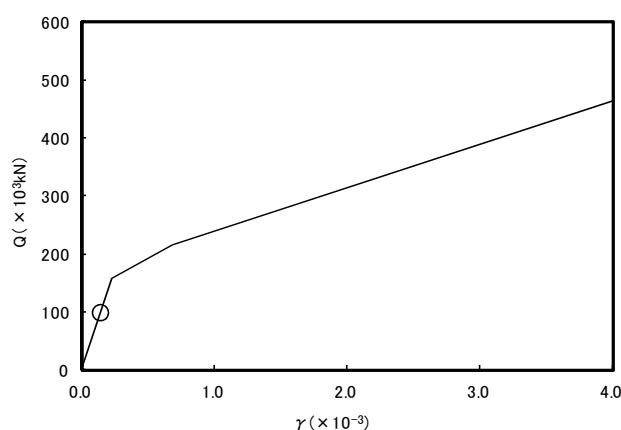
図 2 - 1 1 原子炉補助建屋(燃料取替用水タンク建屋)の解析モデル(鉛直)



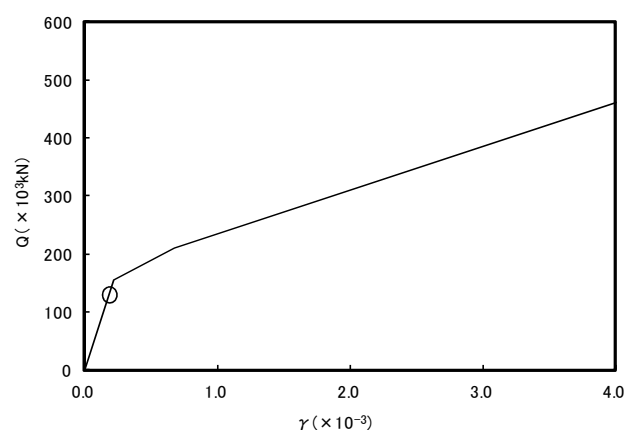
17



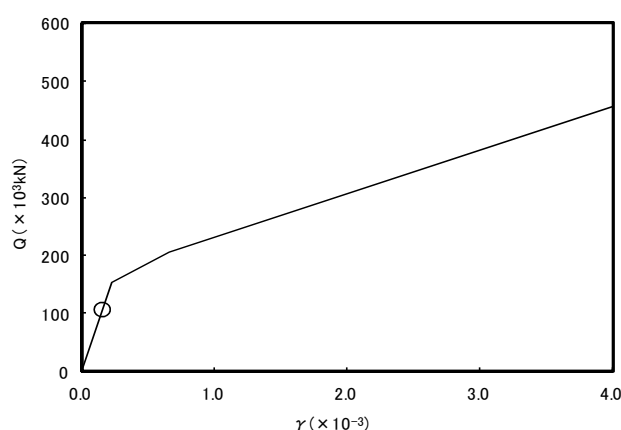
18



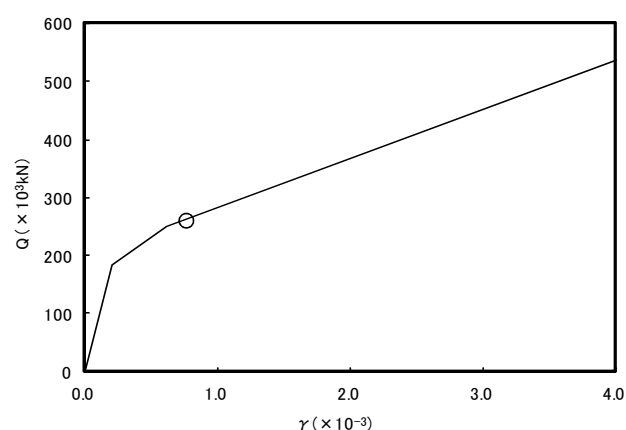
19



20

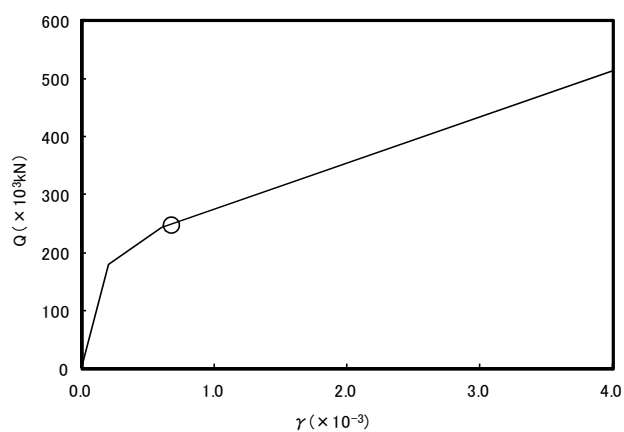


21

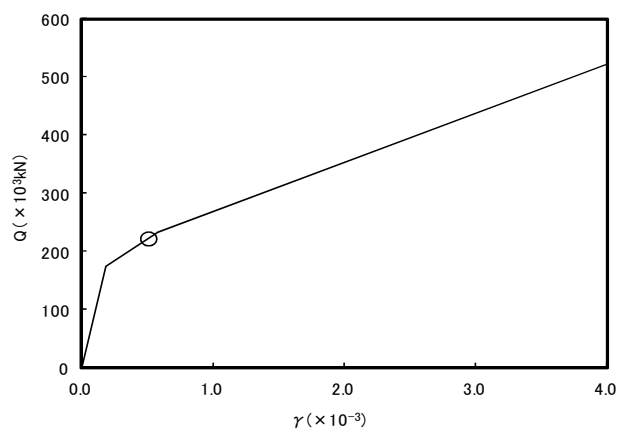


22

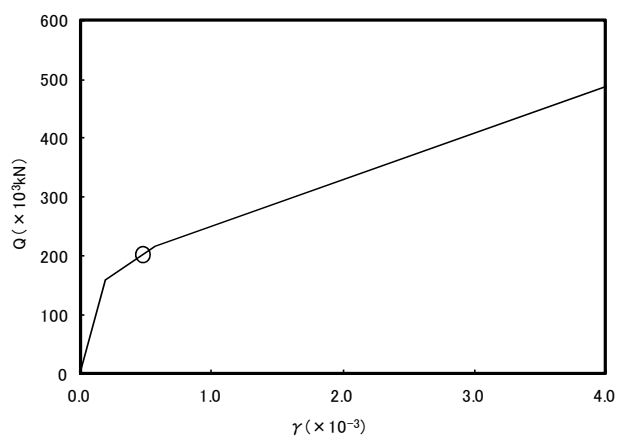
図 2 - 1 2 - 1 Q - γ 関係と最大応答値
(原子炉建屋 0/S S_s EW 方向)



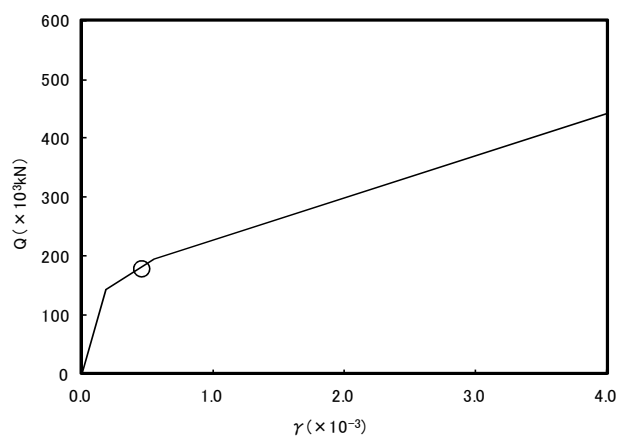
23



24

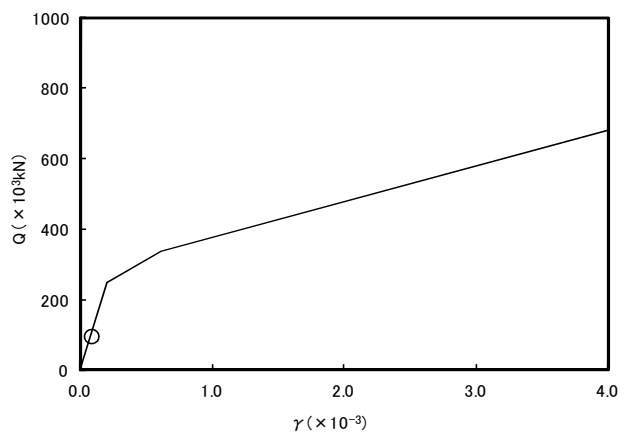


25

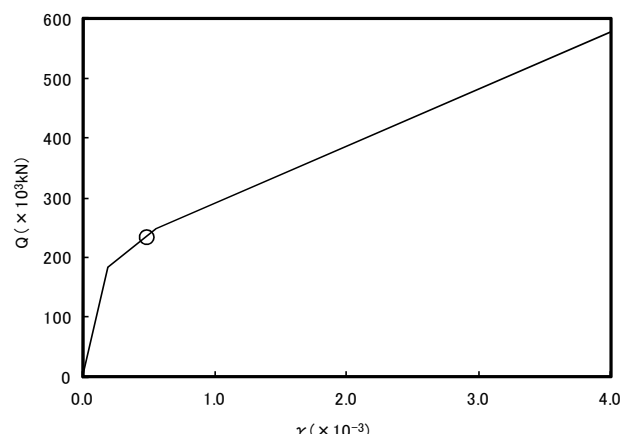


26

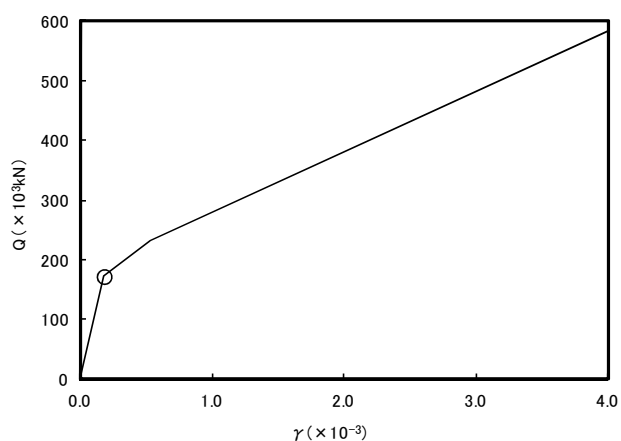
図 2 - 1 2 - 2 Q- γ 関係と最大応答値
(原子炉建屋 0/S S_s EW 方向)



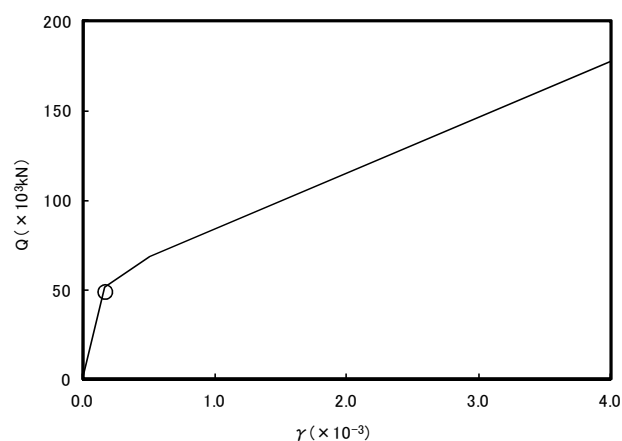
12



14

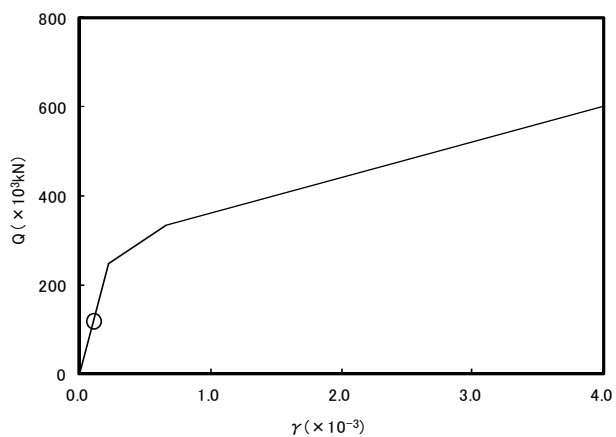


15

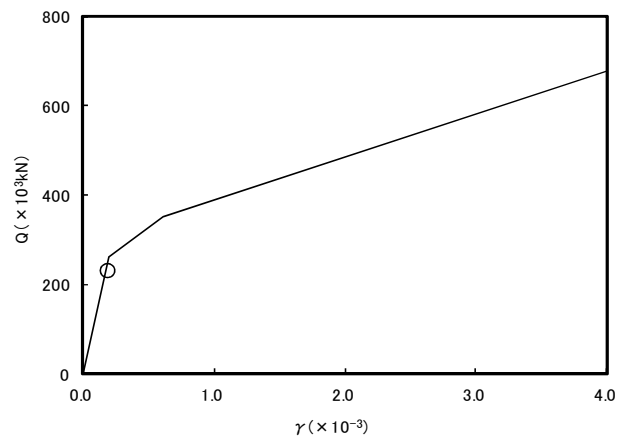


16

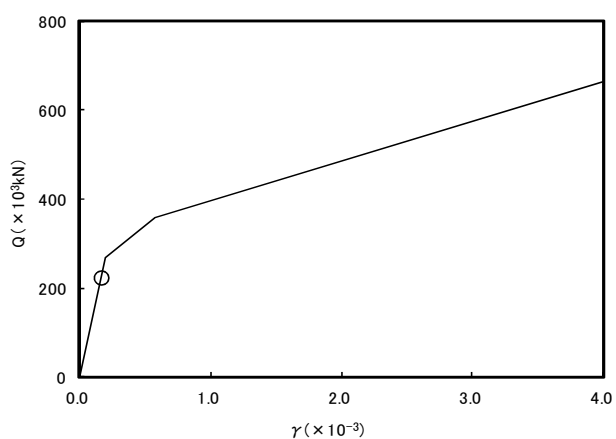
図 2 - 1 2 - 3 Q- γ 関係と最大応答値
(原子炉建屋 I/C S_s EW 方向)



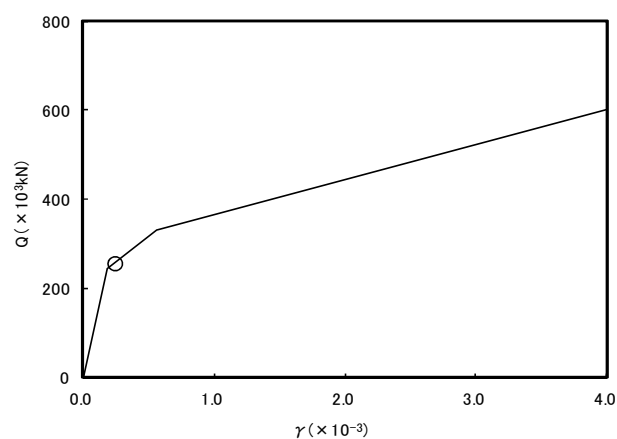
33



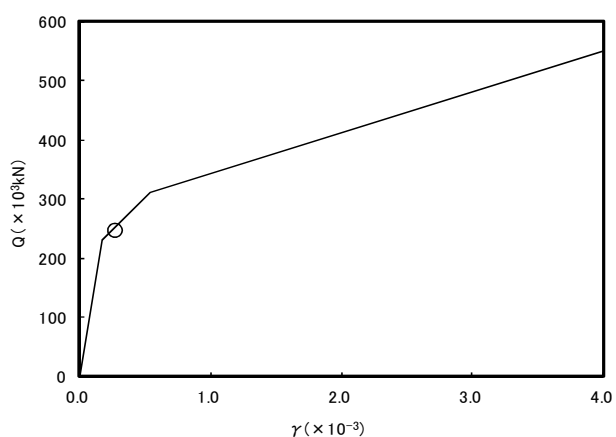
34



35

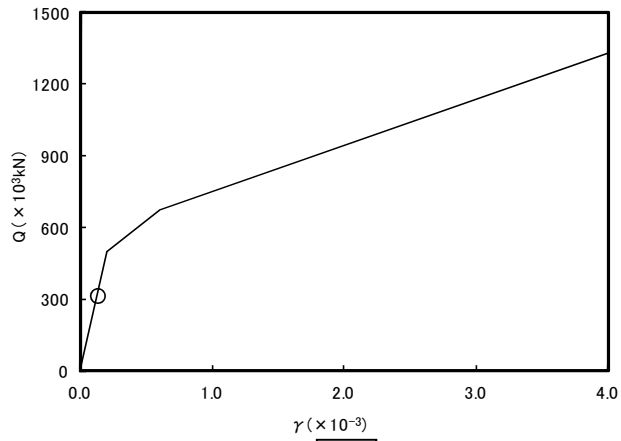


36

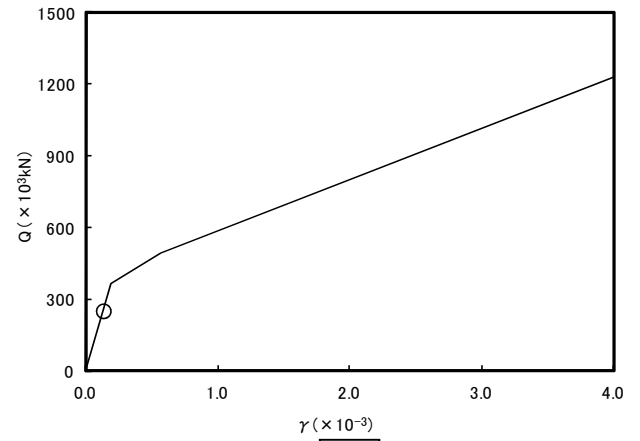


37

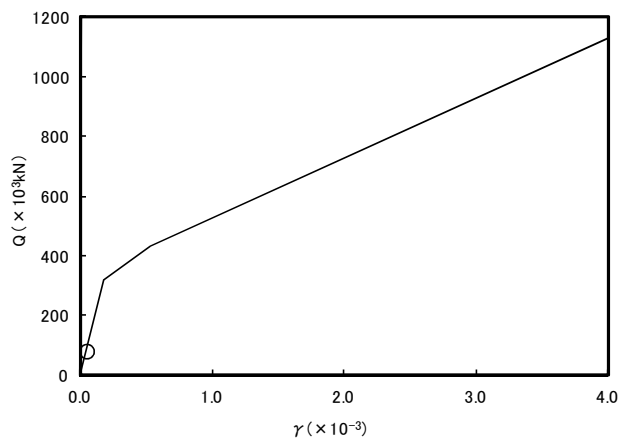
図 2 - 1 2 - 4 Q- γ 関係と最大応答値
(原子炉建屋 E/B S_s EW 方向)



38

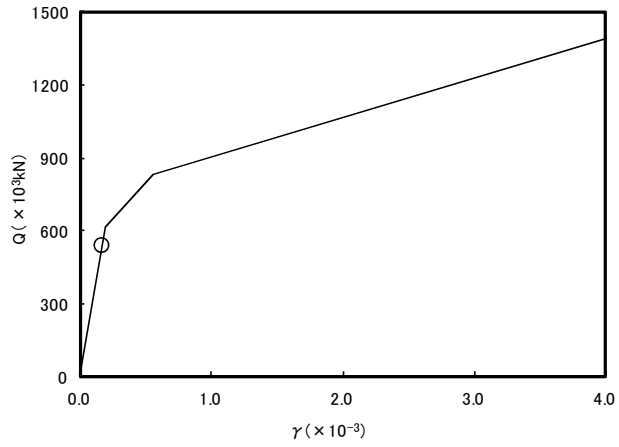


39

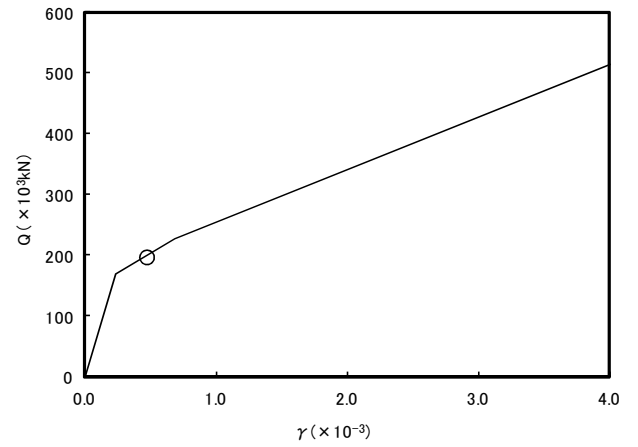


40

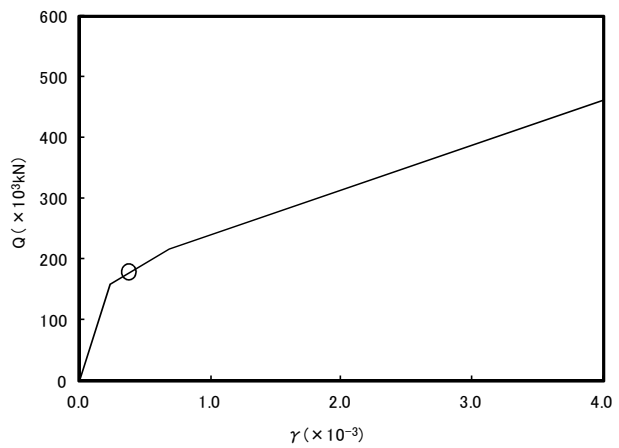
図 2 - 1 2 - 5 Q - γ 関係と最大応答値
(原子炉建屋 FH/B S_s EW 方向)



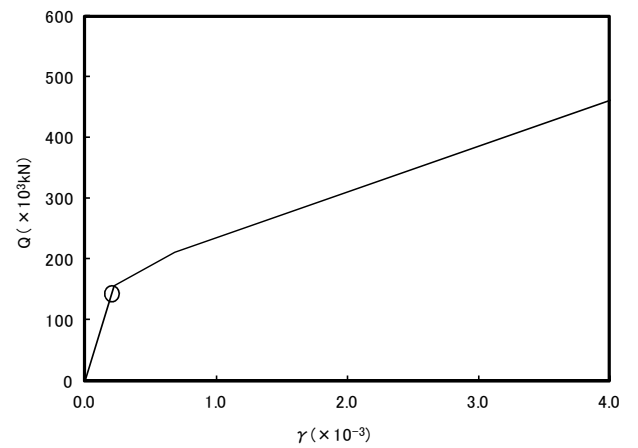
17



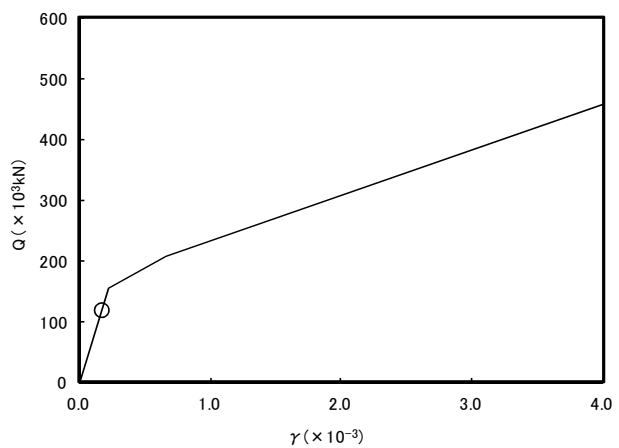
18



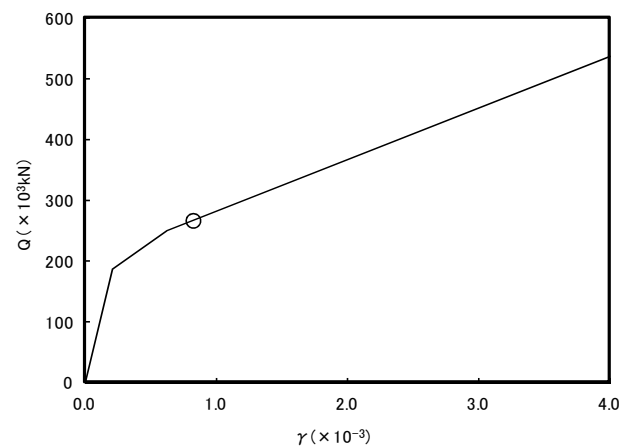
19



20

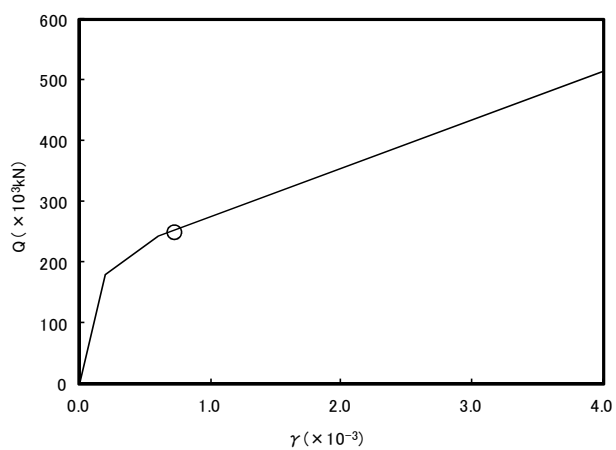


21

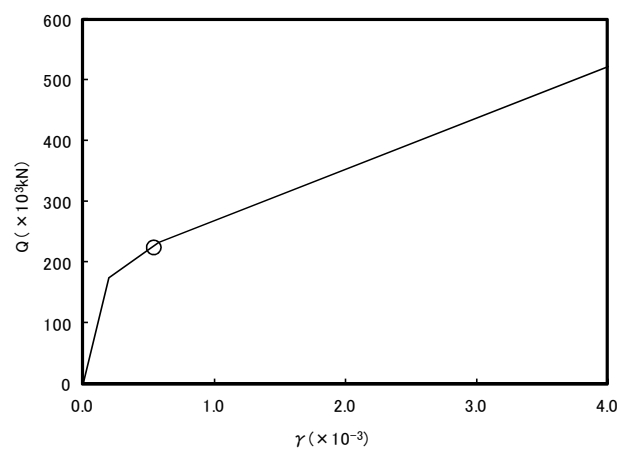


22

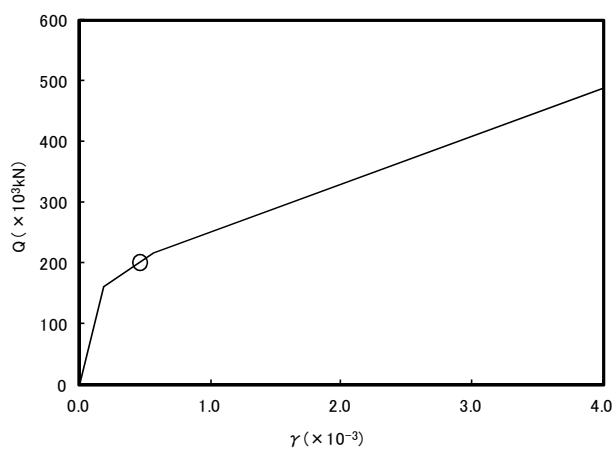
図 2 - 1 2 - 6 Q - γ 関係と最大応答値
(原子炉建屋 0/S S_s NS 方向)



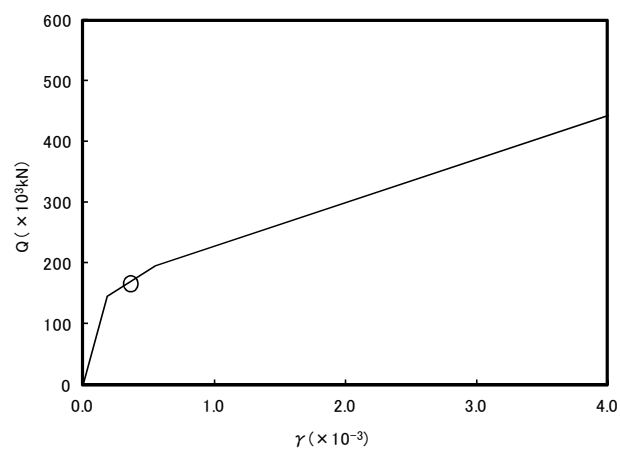
23



24

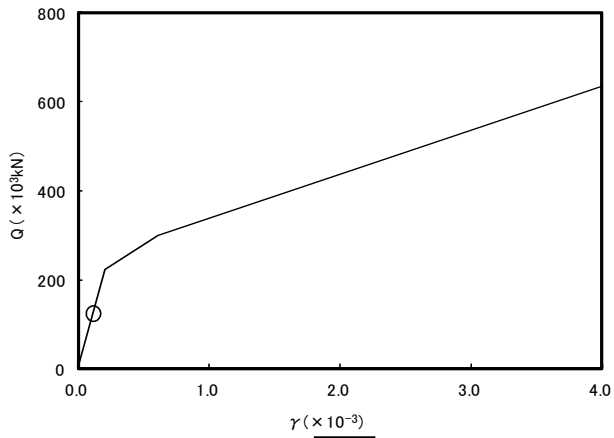


25

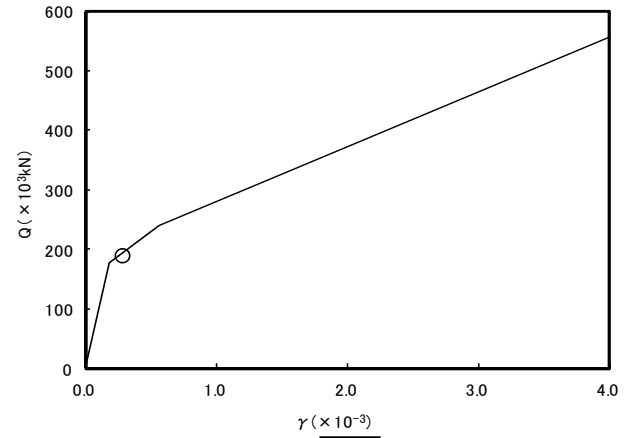


26

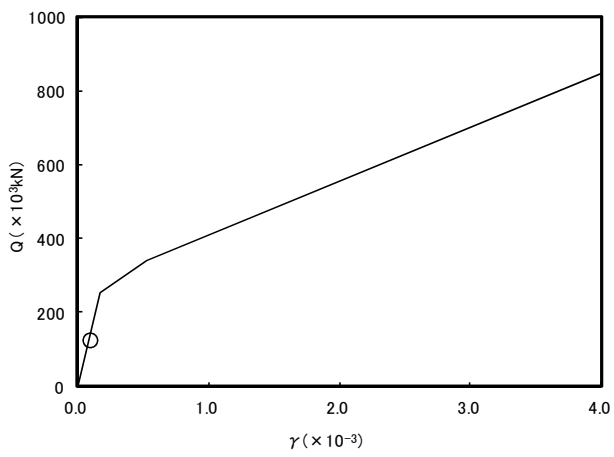
図 2 - 1 2 - 7 Q - γ 関係と最大応答値
(原子炉建屋 0/S S_s NS 方向)



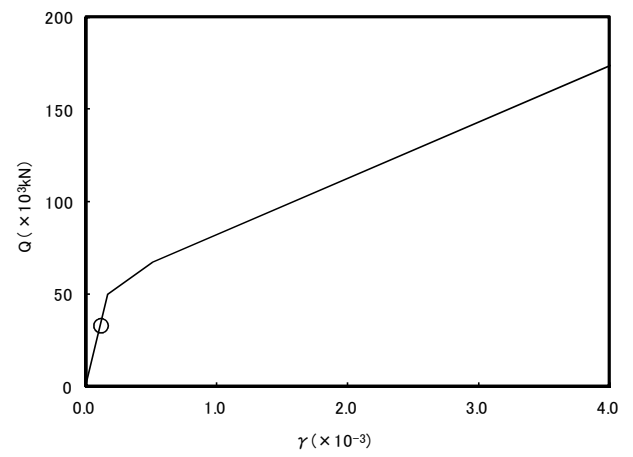
12



14

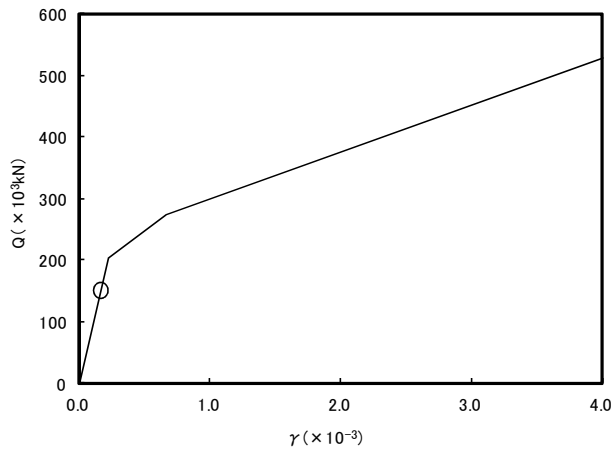


15

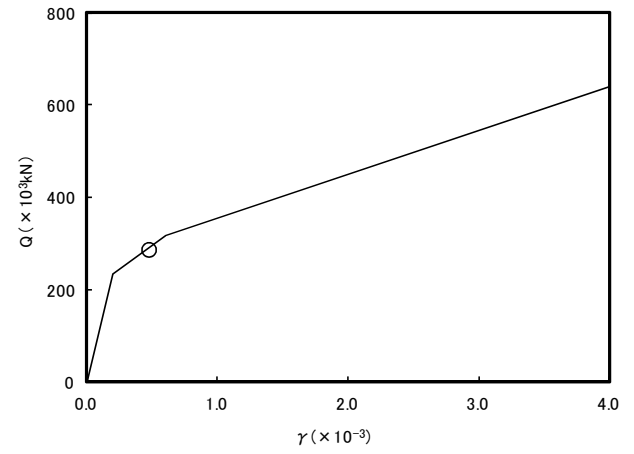


16

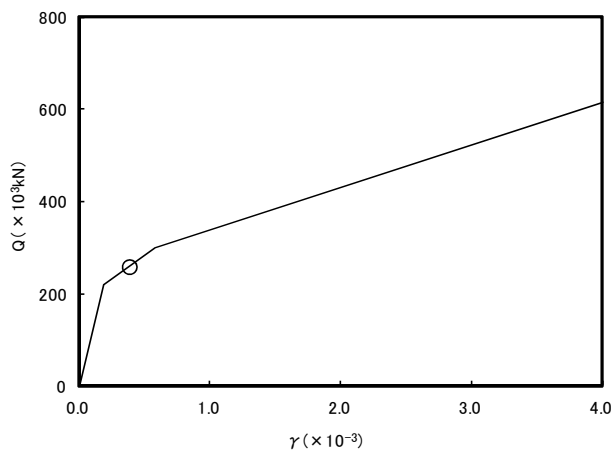
図 2 - 1 2 - 8 Q - γ 関係と最大応答値
(原子炉建屋 I/C S_s NS 方向)



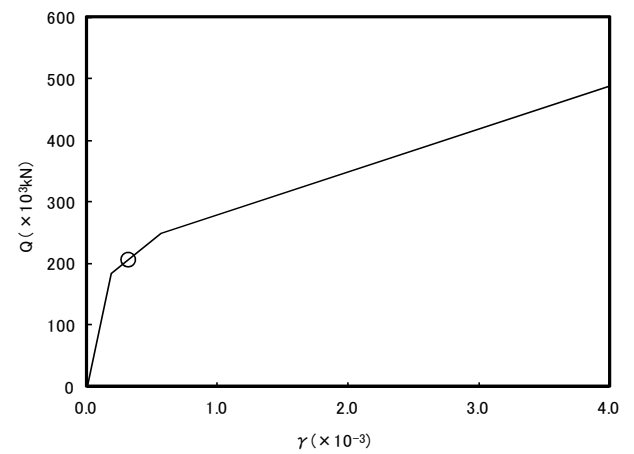
33



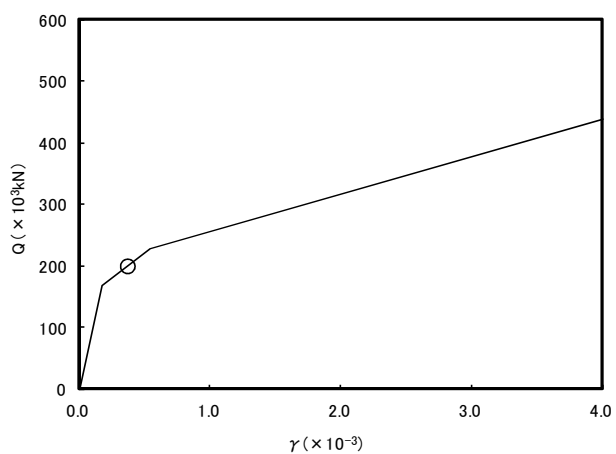
34



35

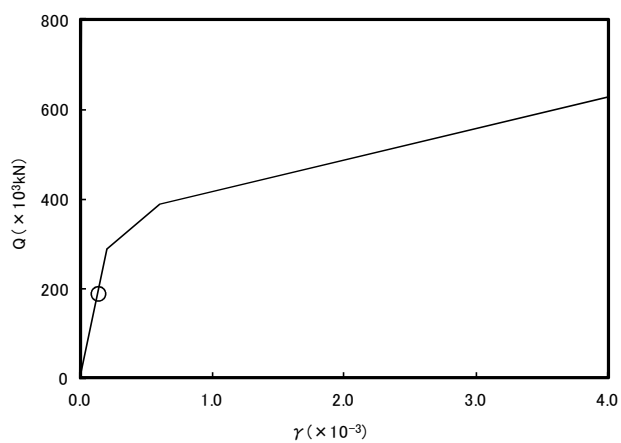


36

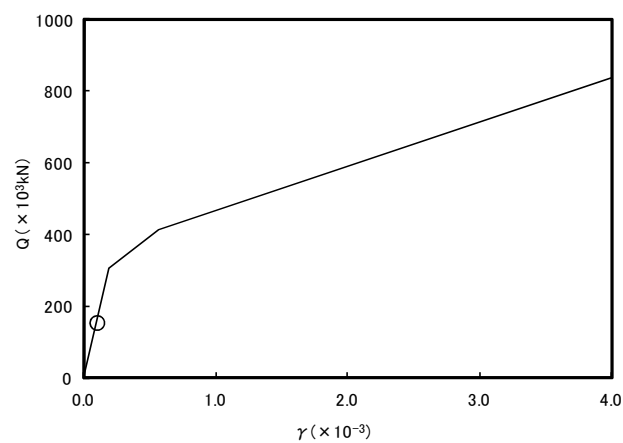


37

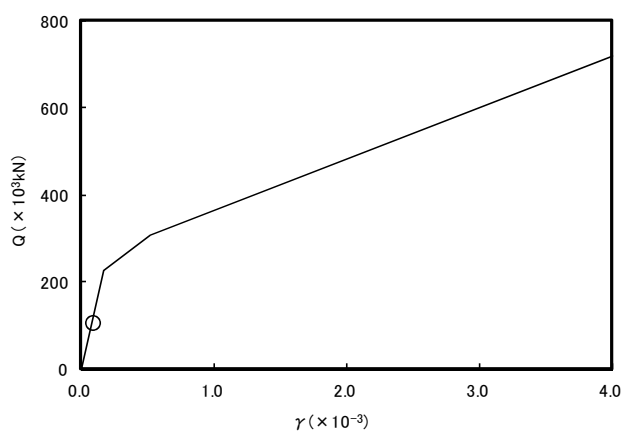
図 2 - 1 2 - 9 Q - γ 関係と最大応答値
(原子炉建屋 E/B S_s NS 方向)



38



39



40

図 2 - 1 2 - 1 0 Q-y 関係と最大応答値
(原子炉建屋 FH/B S_s NS 方向)

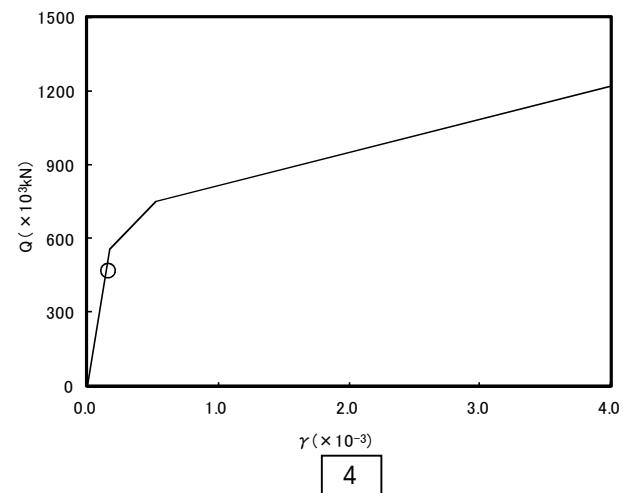
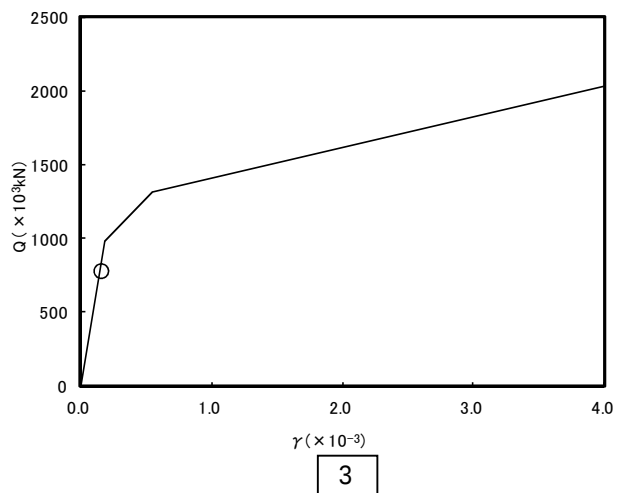
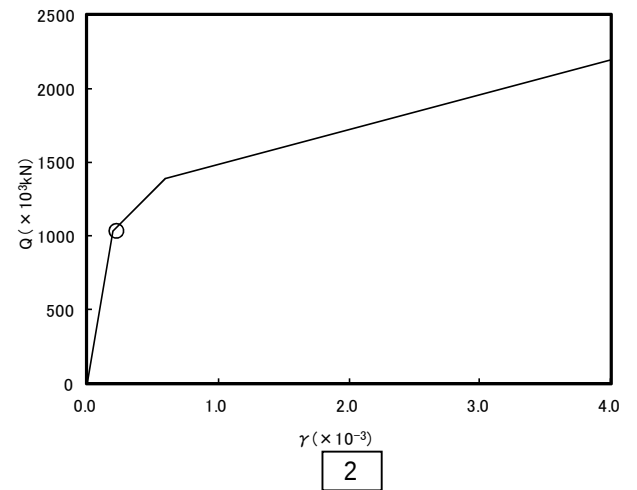
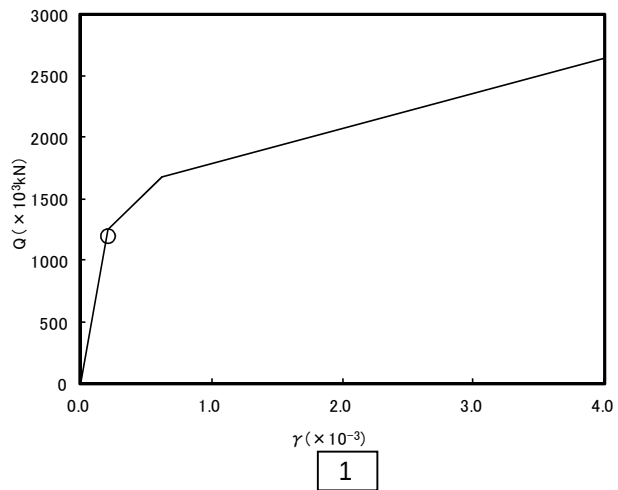


図 2 - 1 2 - 1 1 Q - γ 関係と最大応答値
(原子炉補助建屋 (補助一般建屋) A/B+C/T S_s EW 方向)

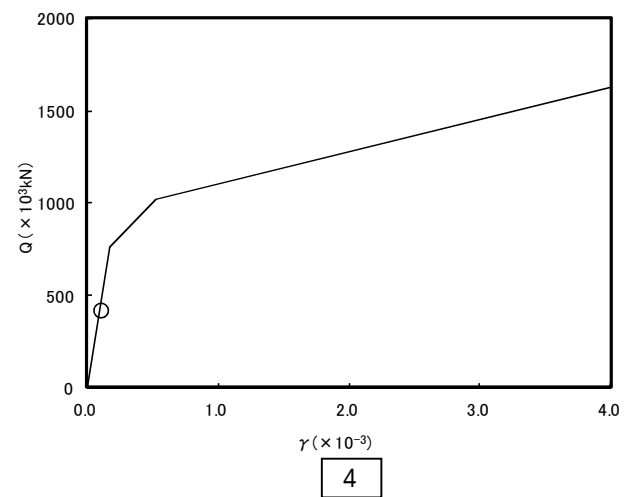
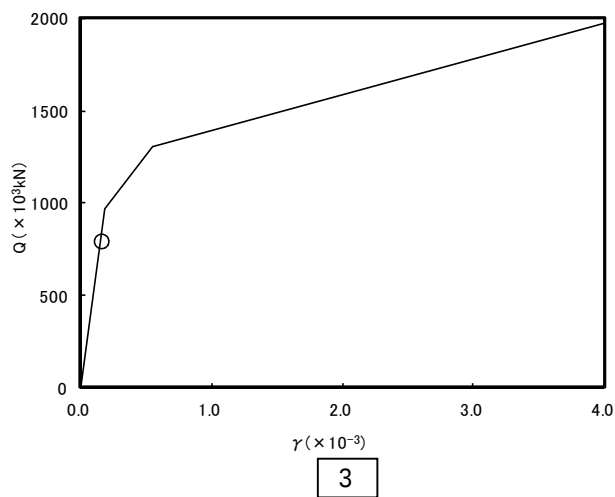
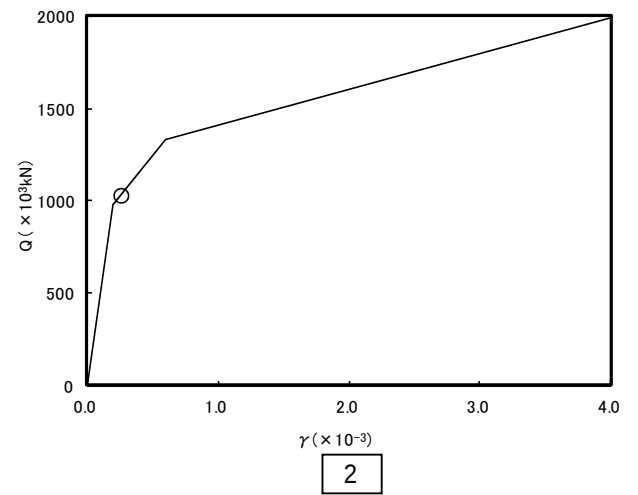
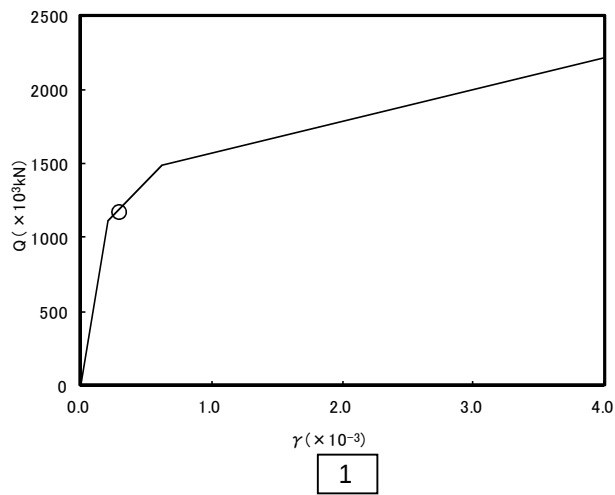


図 2 - 1 2 - 1 2 Q - γ 関係と最大応答値
(原子炉補助建屋 (補助一般建屋) A/B+C/T S_s NS 方向)

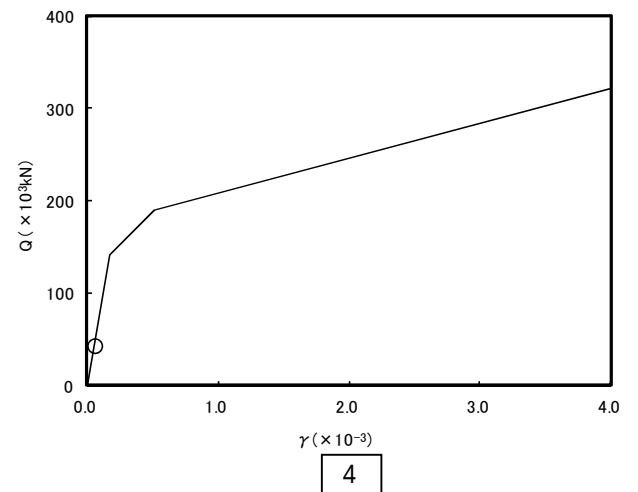
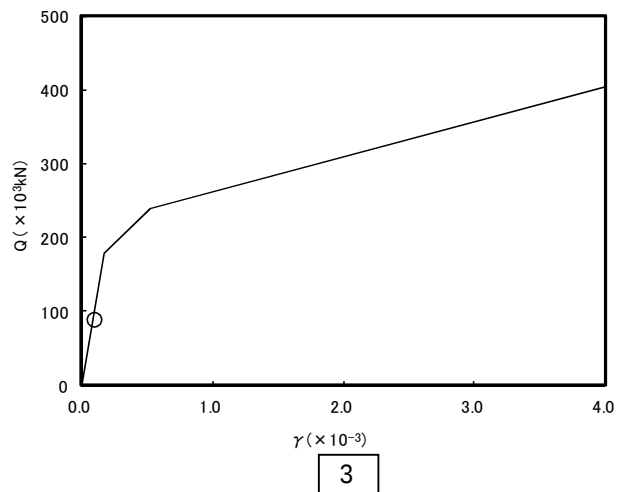
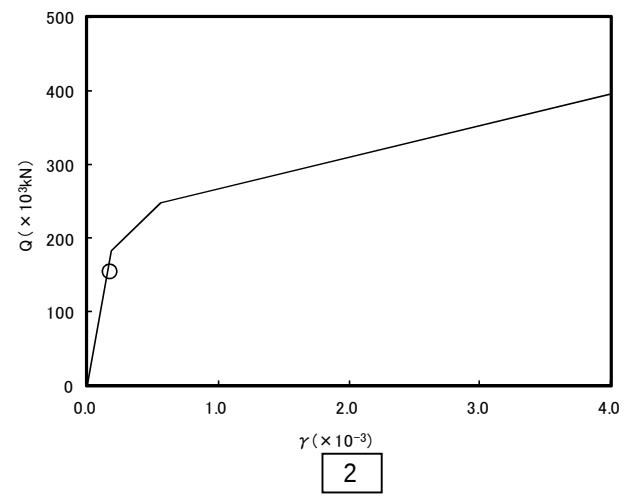
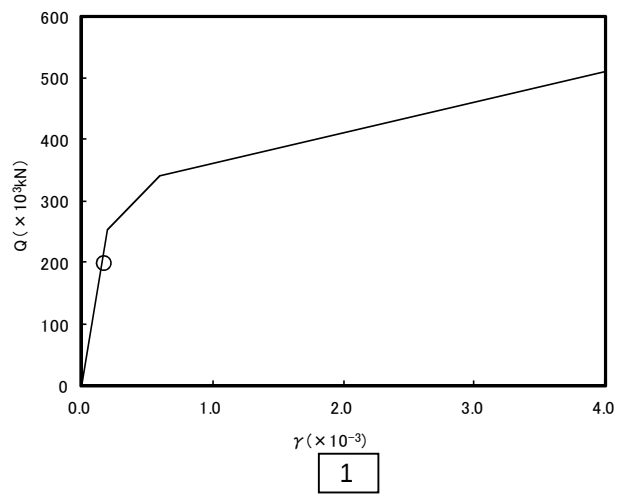
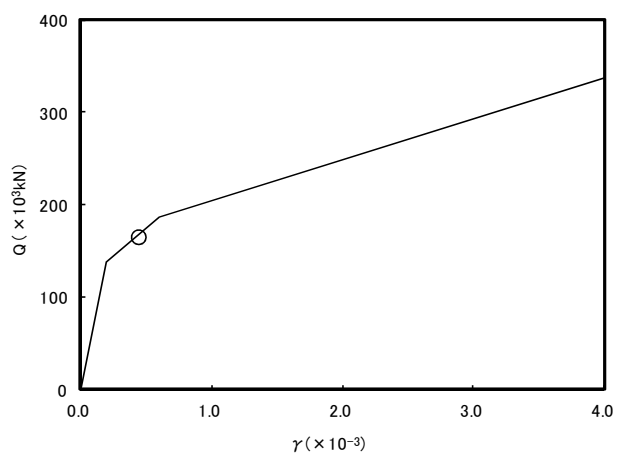
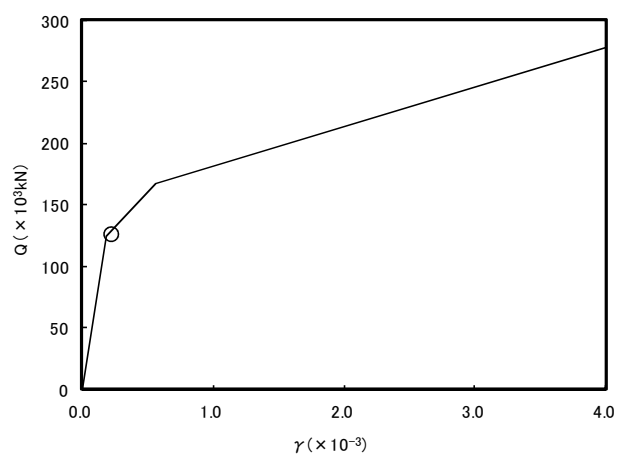


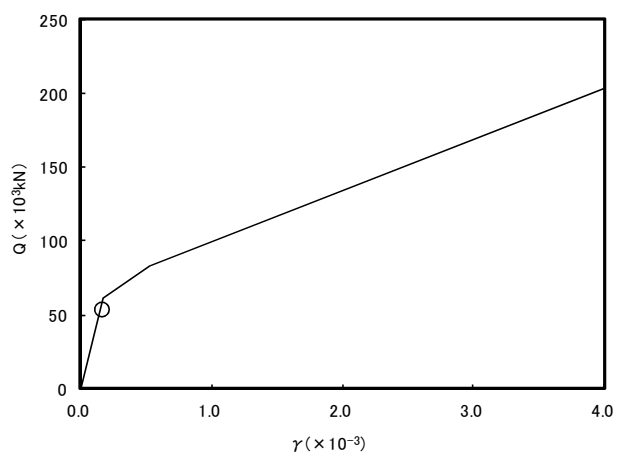
図 2 - 1 2 - 1 3 Q-γ 関係と最大応答値
(原子炉補助建屋 (中間建屋) I/B S_s EW 方向)



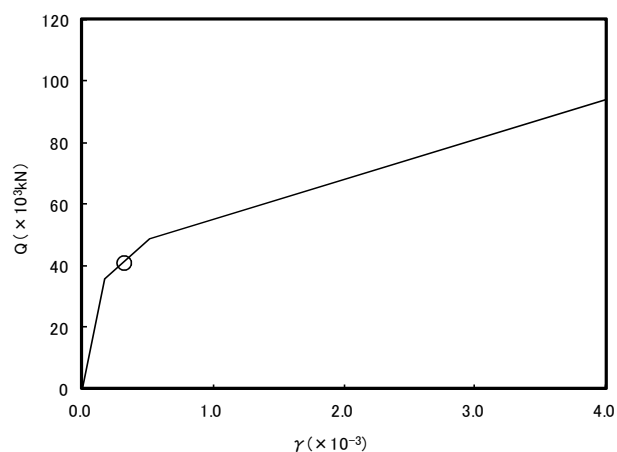
1



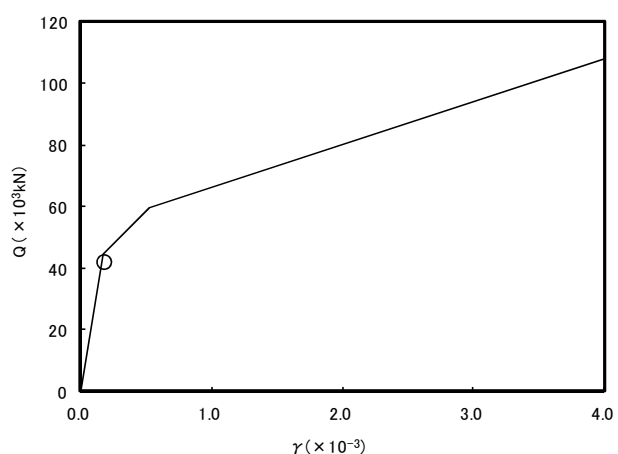
2



3



4



6

図 2 - 1 2 - 1 4 Q - γ 関係と最大応答値
(原子炉補助建屋 (中間建屋) I / B S_s NS 方向)

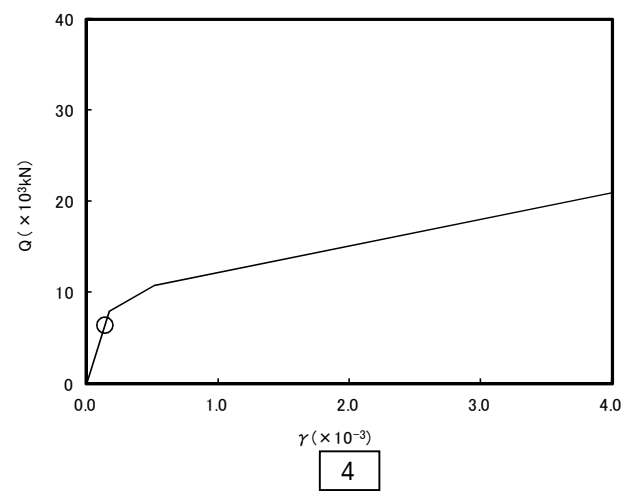
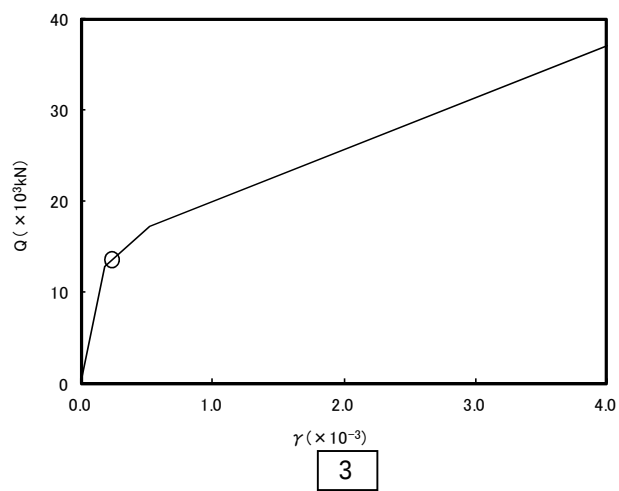
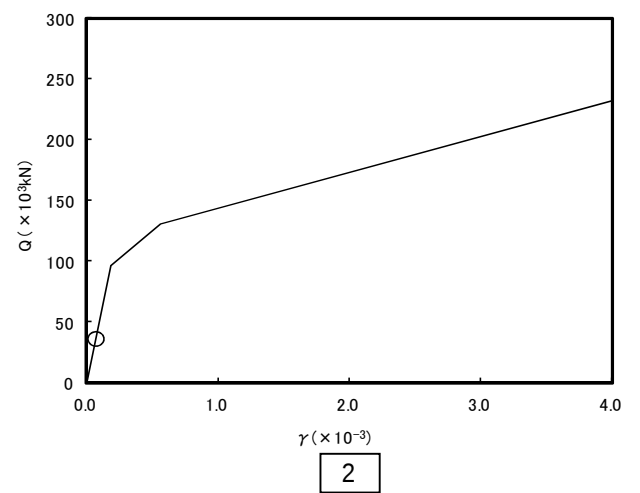
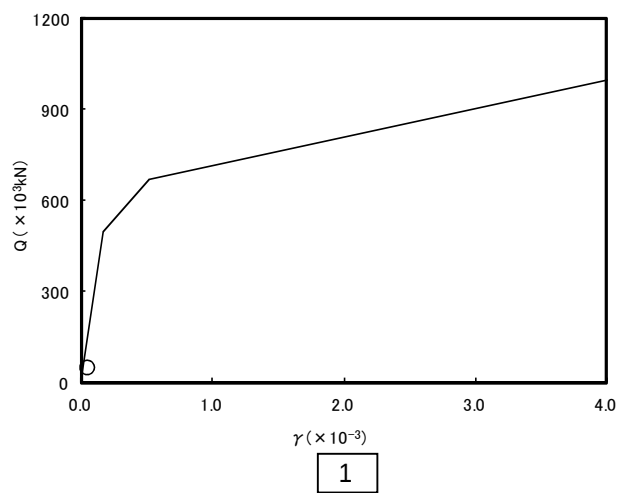
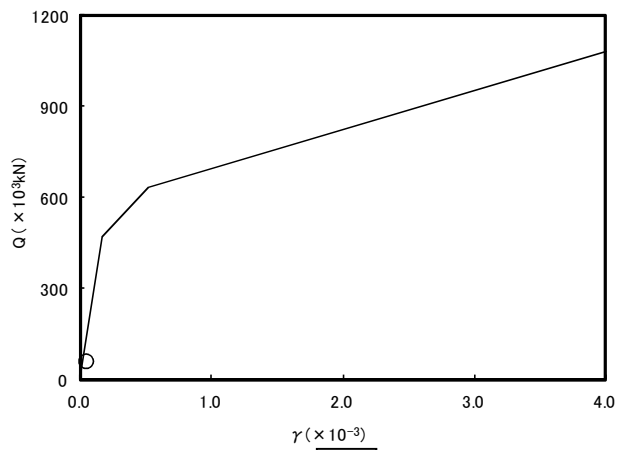
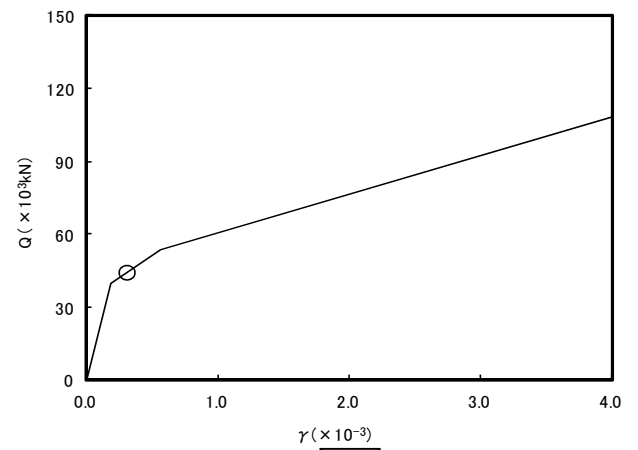


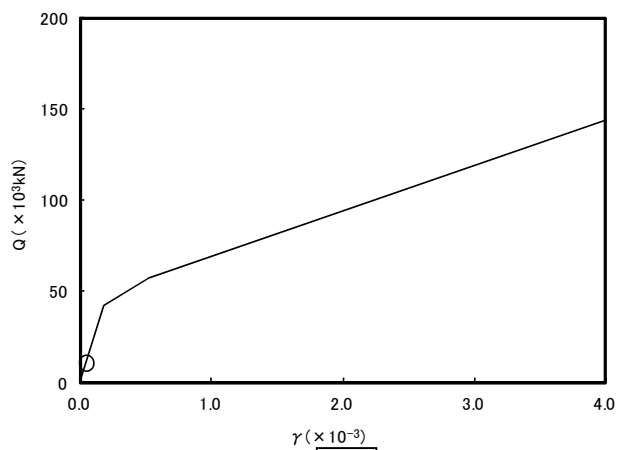
図 2 - 1 2 - 1 5 Q-y 関係と最大応答値
(原子炉補助建屋 (ディーゼル建屋) DG/B S_s EW 方向)



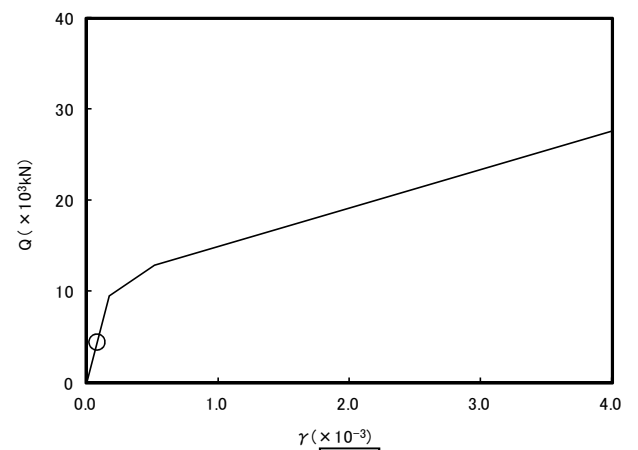
1



2



3



4

図 2 - 1 2 - 1 6 Q- γ 関係と最大応答値
(原子炉補助建屋 (ディーゼル建屋) DG/B S_s NS 方向)

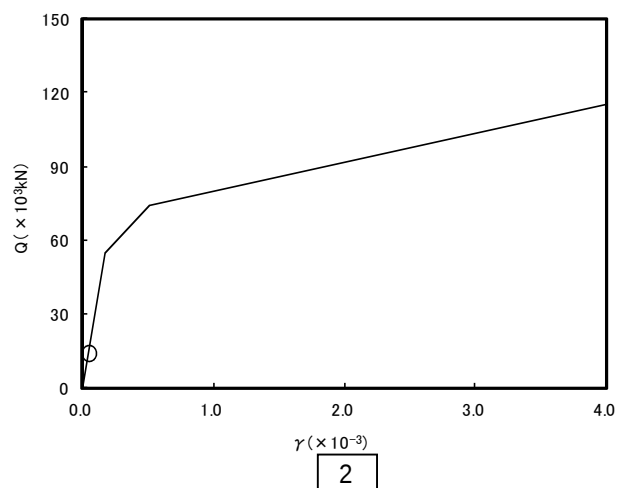
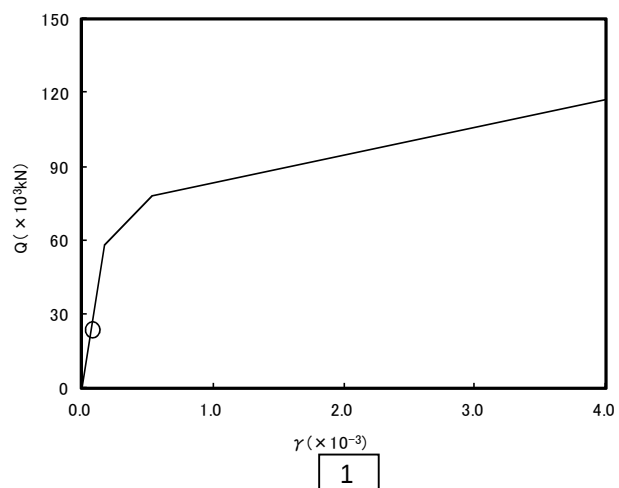


図 2 - 1 2 - 1 7 Q - γ 関係と最大応答値
(原子炉補助建屋(燃料取替用水タンク建屋) RWST/B S_s EW・NS 方向)

3 . 機器・配管系の耐震裕度評価

(1) 評価概要

Sクラスの設備ならびに、BCクラス設備のうち、その破損がSクラス設備に波及的破損を生じさせ、燃料の重大な損傷に関係し得るおそれがある設備を対象とした構造強度評価結果から耐震裕度を評価する。また、Sクラス設備のうち、ポンプ、弁および制御棒等の地震時の動的機能が要求される機器については動的機能維持評価結果から耐震裕度を評価する。ただし、今回の評価に影響を及ぼさないと考えられる設備（Sクラス設備を含む）あるいは、設備の構成部位間の裕度の関係やこれまでの評価実績に基づく工学的判断により、耐震裕度が大きいことが明らかな設備については耐震裕度評価を省略する。

評価に当たり、同一仕様・同一設計の複数の設備が存在する場合は、代表設備について評価する。また、配管系のように類似設備が多数存在する場合は、仕様および使用条件等の観点から耐震安全評価上適切にグループ化し、その代表設備について評価する。

耐震裕度評価は、耐震バックチェックの評価結果を原則として用いる。新たに評価を行う場合には、基準地震動 S_s を用いた動的解析によることを基本とし、機器・配管系の応答性状を適切に表現できるモデルを設定したうえで応答解析を行い、その結果求められた応力値、または応答加速度値等をもとに評価する。解析モデルを設定する際の解析諸元については、設計時の値を用いることを基本とするが、実寸法、実測の物性値および試験研究等で得られた知見も適用する。

原子炉容器、蒸気発生器および1次冷却材ポンプ等の評価にあたっては、水平地震動と鉛直地震動による建屋 - 機器連成応答解析を行い、それぞれの応答結果を二乗和平方根(SRSS)法等により組合せる。

比較的小型の機器等の評価にあたっては、当該設備の据付床の水平方向および鉛直方向それぞれの床応答を用いた応答解析等を行い、それぞれの応答結果を二乗和平方根(SRSS)法等により組合せる。また、裕度を精緻に求める必要が生じた場合には有限要素法、弾塑性解析等の詳細評価手法を用いる。

構造強度評価に際しては、当該設備の耐震安全機能を確認する観点から重要な評価箇所を既往評価の評価範囲を参考に選定する。

また、選定した評価箇所に対して、地震慣性力による 1 次応力評価を基本として構造強度評価を行う。

動的機能維持評価に際しては、地震時に動的機能が要求される動的機器を選定したうえ、動的機器の設置位置における応答加速度（水平・鉛直）と機能確認済加速度（水平・鉛直）との比較を基本として動的機能維持評価を行う。

構造強度評価、動的機能維持評価の両方を行っている設備の裕度評価にあたっては、構造強度評価・動的機能維持評価（水平）・動的機能維持評価（鉛直）の内、最も低い裕度をその設備の裕度とする。

（ 2 ） 具体的な評価内容

a. 構造強度の評価方法

構造強度評価は、原則として、耐震バックチェックで用いられる以下に示す解析法による詳細評価を行って発生値を算定し、評価基準値と比較する。

（ a ） スペクトル モーダル 解析 法

（ b ） 時刻歴 応答 解析 法

構造強度の評価手順を図 3 - 1 に示す。但し、耐震バックチェック手法は相当の保守性を持った評価手法であるため、裕度を精緻に求める必要がある場合には、

（ a ） 極限 解析

（ b ） 有限要素法（ F E M 解析 ）

（ c ） 弾塑性 解析

といった詳細評価手法も用いるものとする。

機器・配管系の地震応答解析モデルは、その振動特性に応じて、代表的な振動モードが表現でき、応力評価等に用いる地震荷重等を算定できるものを使用する。また、解析モデルは既往評価で用いられたもののほか、有限要素法など実績がある手法によるモデルを使用する。モデル化にあたって使用する物性値等については、既往評価で用いられたもののほか、施設運用上の管理値や実測値等を考慮して設定する。

なお、蒸気発生器、加圧器の管台については、耐震バックチェック評価では各々容器の一部として評価を行っているが、クリフ

エッジ評価における裕度整理を分かり易いものとするため、本評価では配管の一部として裕度を整理する。また一次冷却材管の分岐管台についても、本評価では分岐管の一部として裕度を整理する。

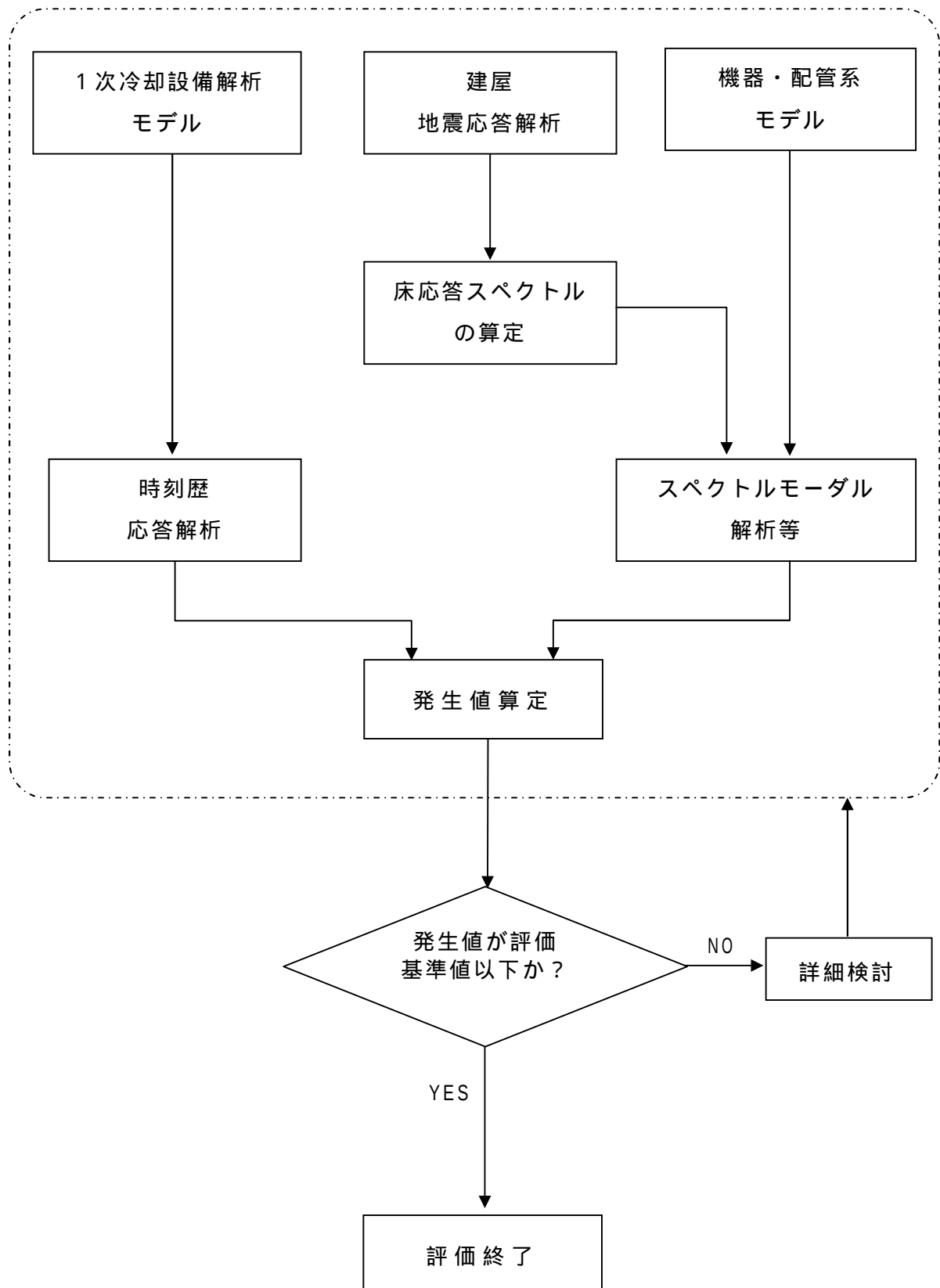


図 3 - 1 構造強度の評価手順

b. 動的機能維持の評価方法

動的機能維持評価は、以下に示す機能確認済加速度との比較、あるいは詳細評価により実施する。

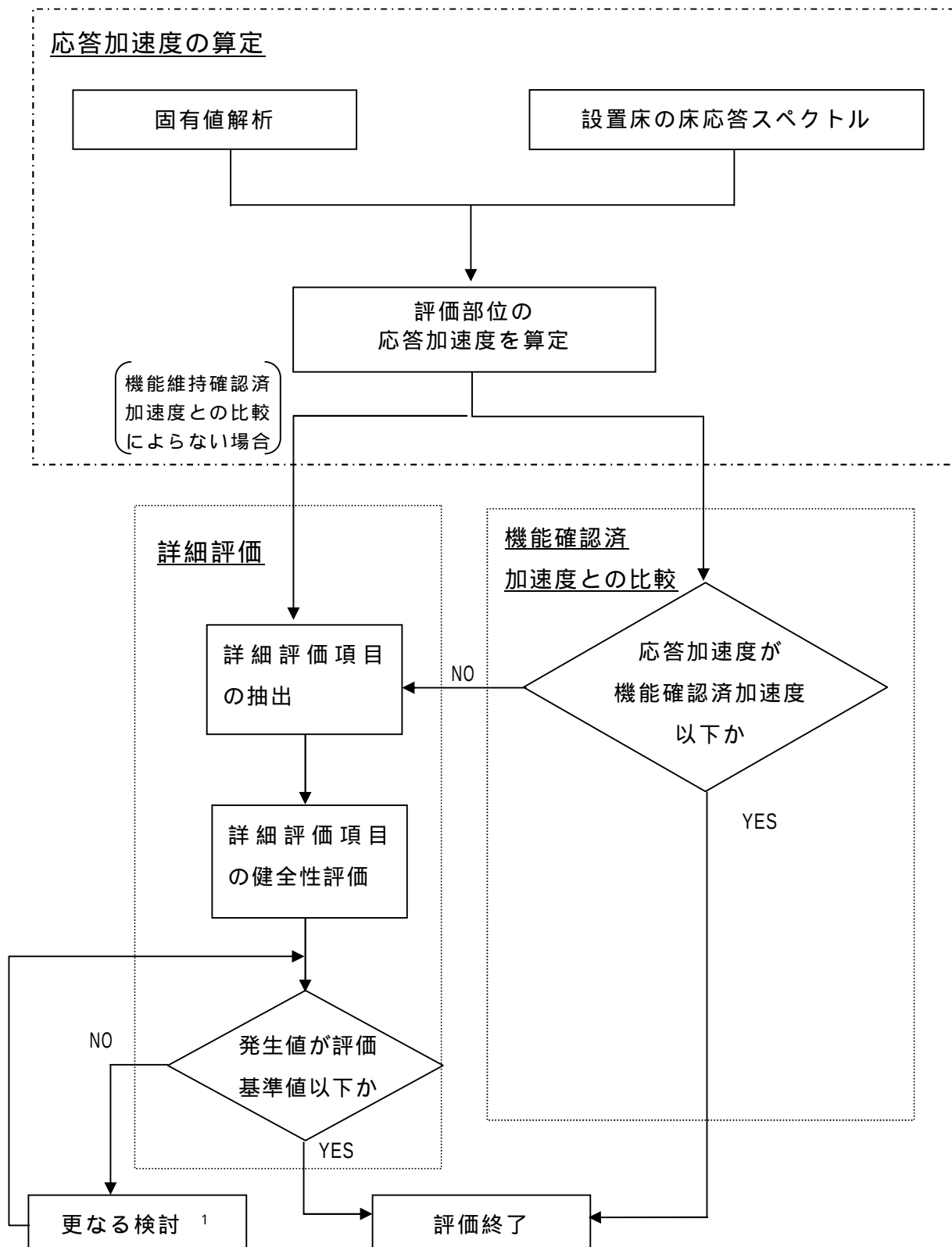
動的機能維持の評価手順を図 3 - 2 に示す。

(a) 機能確認済加速度との比較

基準地震動 S_s による評価対象機器の応答加速度を求め、その加速度が機能確認済加速度以下であることを確認する。なお、機能確認済加速度とは、立形ポンプ、横形ポンプ、およびポンプ駆動用タービン等、機種毎に試験あるいは解析により動的機能維持が確認された加速度である。

(b) 詳細評価

機能確認済加速度の設定されていない機器、基準地震動 S_s による応答加速度が機能確認済加速度を上回る機器、もしくは裕度をより精緻に求めたい機器については、「原子力発電所耐震設計技術規程 JEAC4601-2008」等を参考に動的機能維持を確認するうえで評価が必要となる項目を抽出し、対象部位毎の構造強度評価または動的機能維持評価を行い、発生値が評価基準値を満足していることを確認する。



1 解析、試験等による検討。

図 3 - 2 動的機能維持の評価手順

(3) 主要設備・機器の応答解析

a. 1 次冷却設備の地震応答解析

1 次冷却設備は、原子炉容器を中心として蒸気発生器・一次冷却材ポンプ・一次冷却材管からなる複数の一次冷却ループから構成されており、また蒸気発生器には主蒸気管・主給水管が接続されている。さらに、これらの機器・配管は耐震性を考慮して内部コンクリートに設置された各支持構造物により支持されている。

したがって、1 次冷却設備の地震応答解析では、上記の各設備を 3 次元はり質点系にモデル化し、建屋モデルと連成した解析モデルにより基準地震動 S_s による時刻歴応答解析を実施する。

解析は水平方向（NS および EW の両方向）および鉛直方向について実施する。

原子炉本体（原子炉容器）および 1 次冷却設備（蒸気発生器・一次冷却材ポンプ・一次冷却材管）に作用する地震荷重を算定するための解析モデル例を図 3 - 3 に示す。

1 次冷却設備や主蒸気管・主給水管については、配管要素およびはり要素により 3 次元はり質点系にモデル化し、支持構造物をモデル化した等価ばね等により建屋モデルとの連成を行う。

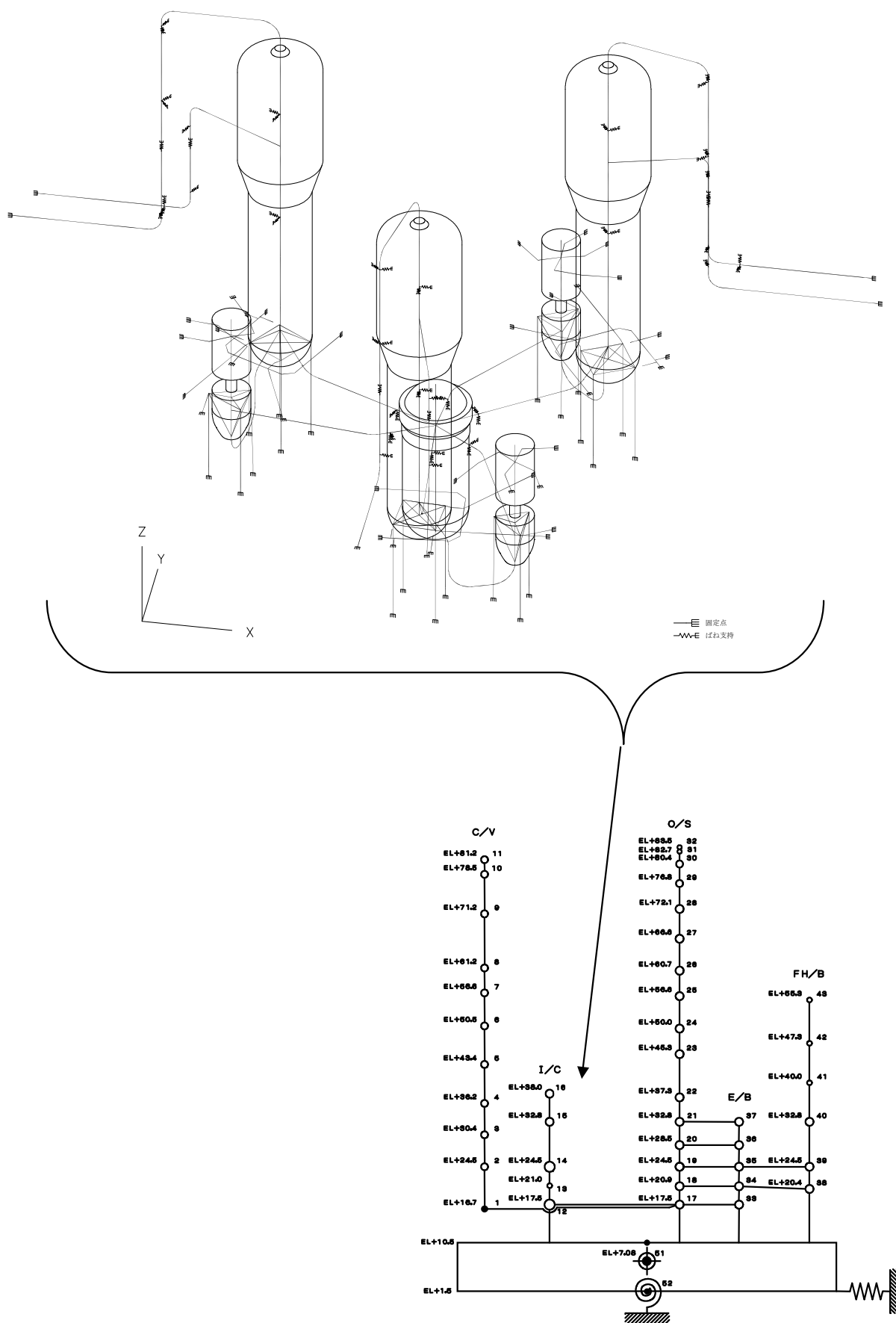


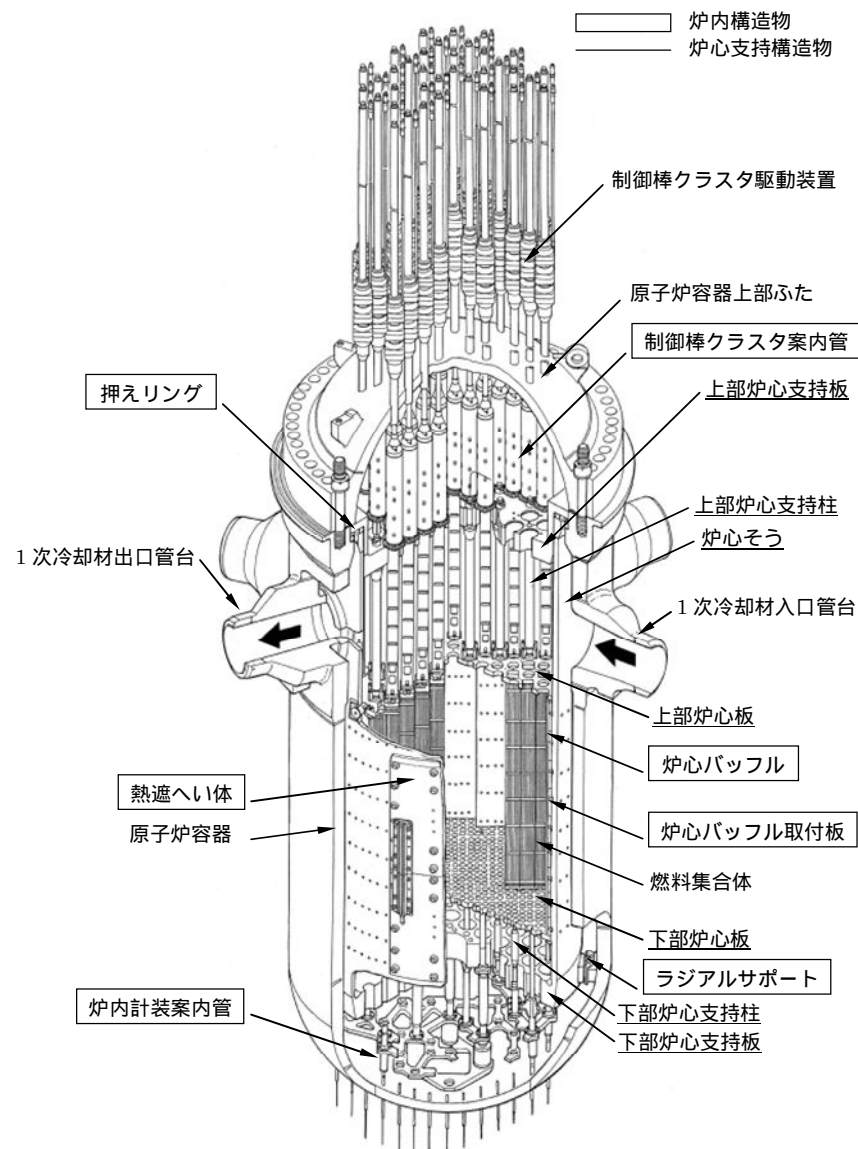
図 3 - 3

1 次冷却設備の建屋 - 機器連成解析モデル (例: 水平方向 (EW))

b. 一般的な機器・配管系の地震応答解析

a. 項にて示した建屋と連成して地震応答解析を行うものの他、一般的な機器・配管系の地震応答解析では、振動特性等に応じたモデル化を行い、床応答スペクトル等を用いた地震応答解析を行う。

機器・配管系の地震応答解析モデル例を図 3 - 4 ~ 6 に示す。



モデル化

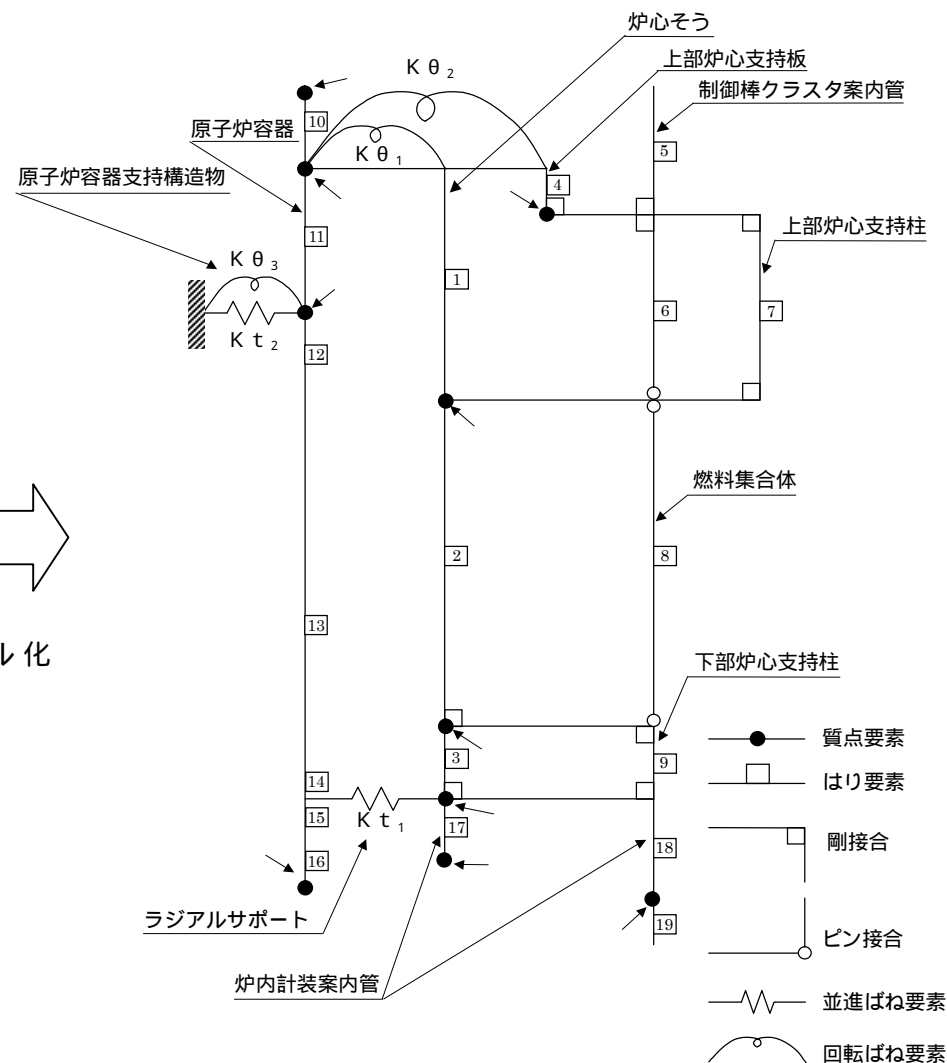
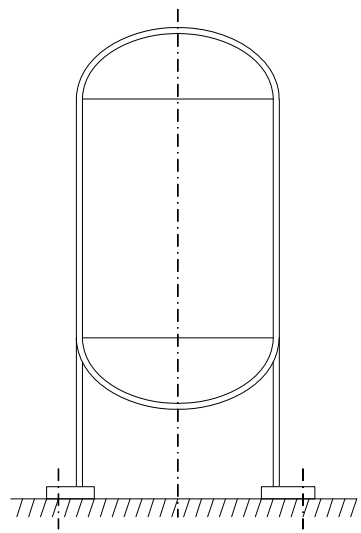
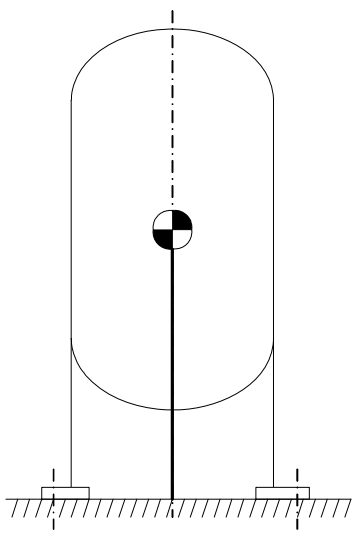


図 3 - 4 地震応答解析モデル（炉心支持構造物等の例）

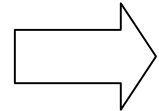
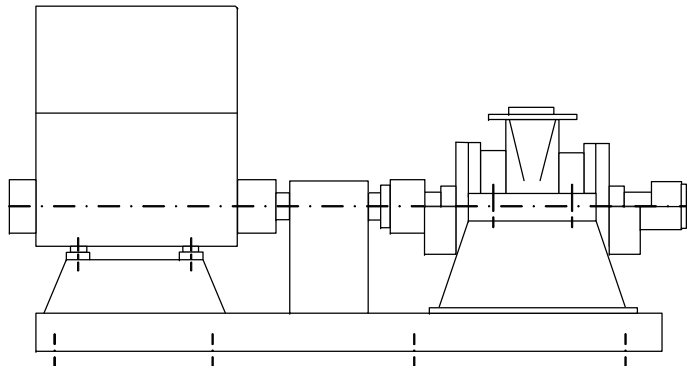
スカート支持たて置円筒形容器



● : 重心位置
— : はり要素



横形ポンプ



モデル化

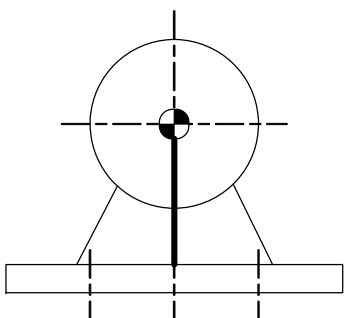
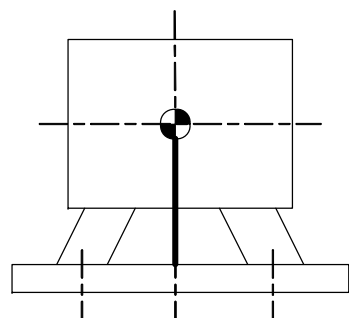


図 3 - 5 地震応答解析モデル（補機の例）

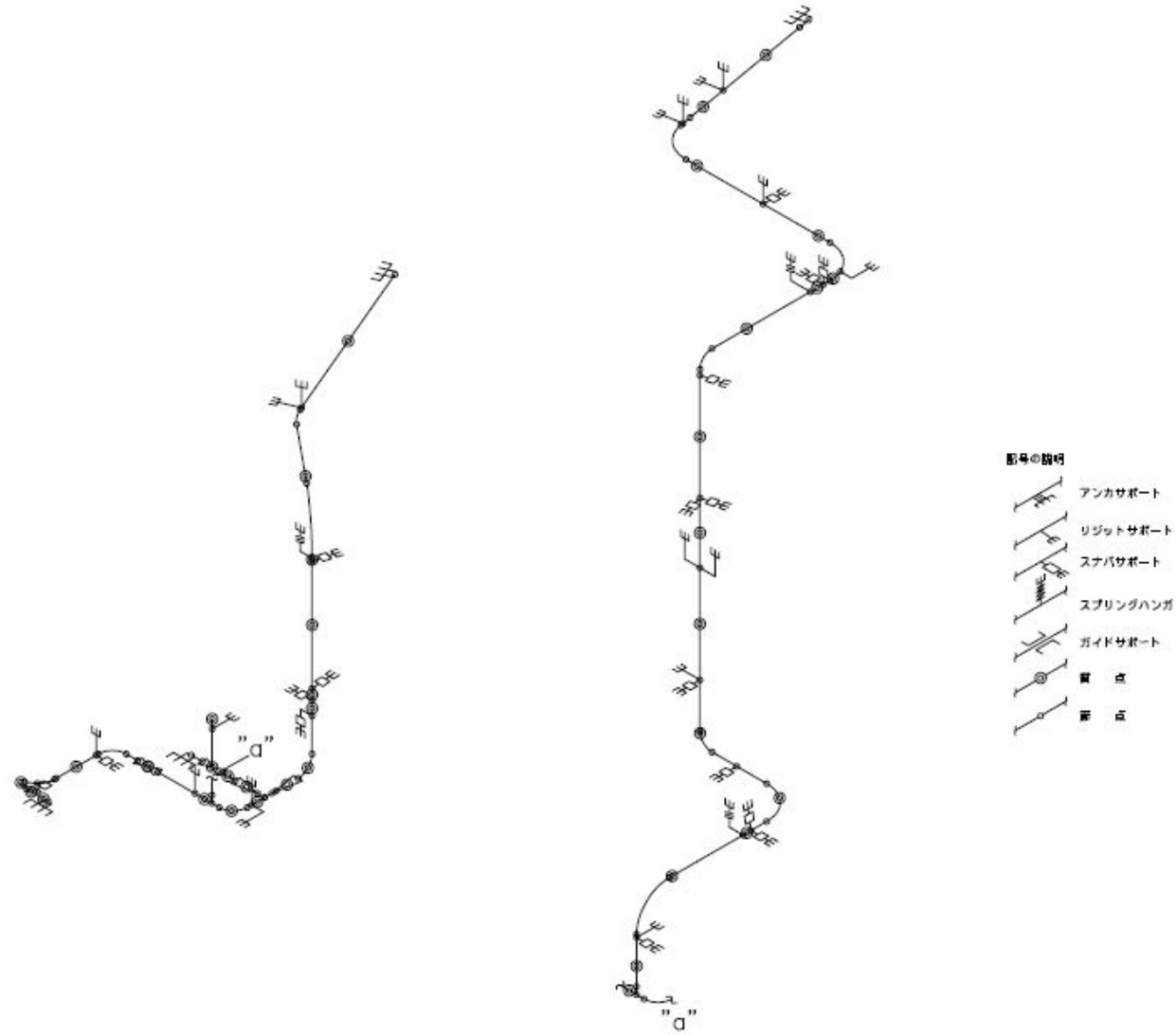


図 3 - 6 地震応答解析モデル（配管系の例）

c. 地震応答解析に用いる減衰定数

機器・配管系の地震応答解析に用いる減衰定数を表 3 - 1 に示す。

減衰定数は、原則として耐震バックチェック評価等で認められている値とし、試験等で妥当性が確認された値や諸外国の規格基準値も評価に用いる。

表 3 - 1 機器・配管系の減衰定数

対象設備	減衰定数(%)	
	水平方向	鉛直方向
溶接構造物	1.0	1.0
ボルトおよびリベット構造物	2.0	2.0
ポンプ・ファン等の機械装置	1.0	1.0
電気盤	4.0	1.0
制御棒駆動装置	5.0	1.0
1 次冷却設備	3.0	1.0
炉内計装引出管	2.5	2.5
蒸気発生器伝熱管	8.0(面外) 15.0(面内)	1.0
配管系	0.5～3.0	0.5～3.0

(4) 許容値

a. 構造強度の評価基準

構造強度評価に用いる許容値は耐震バックチェック評価等で認められている値、または試験等で妥当性が確認されている値を用いる。

より、設備の実力を忠実に反映する観点で、規格基準で規定されている以外の許容値を適用した設備および、その妥当性の検討結果を表 3 - 2 に示す。

表 3 - 2 規格基準より踏み込んだ許容値を用いた設備

設備名	許容値
炉内計装引出管	許容値 $3S_m$ の算出に当たって、JSME 設計・建設規格に定められる設計応力強さ S_m の代わりに実測値（ミルシート値）を使用した。 規格基準に基づく許容値 $3S_m = 3 \times 114 = 342$ 今回使用した許容値 $3S_m = 3 \times 168 = 504$ < 妥当性の説明 > 使用した強度値は当該管台材料の実測値であり、実力評価として適切である。
蒸気発生器 伝熱管	許容値 $\alpha \min (2.4S_m, 2/3S_u)$ の代わりに JSME 設計・建設規格に定められる設計引張強さ S_u に JEAC4601-2008 に定められる形状係数 α を乗じて使用した。（α は、JEAC4601-2008 表 4.2.3.1-1 に基づく形状係数） 規格基準に基づく許容値 $\alpha \min (2.4S_m, 2/3S_u)$ $= 1.34 \times \min (2.4 \times 164, 2/3 \times 501) = 447$ 今回使用した許容値 $\alpha S_u = 1.34 \times 501 = 671$ < 妥当性の説明 > 設計引張強さ S_u は実測値（ミルシート値）の引張強さに比べ保守的な値となっている。また、蒸気発生器伝熱管は、管群が一体となって振動し、管群内で変形によるひずみが制限されることから、弾性解析での応力評価値が S_u に達した場合であっても、ひずみ量は破断ひずみに比べて十分に小さいため、保守的な評価になる。

格納容器スプレイ系配管、スプレイノズル、格納容器再循環サンプ配管（格納容器スプレイ設備配管）	許容値の算出に当たって、JSME設計・建設規格に定められる設計引張強さS_uの代わりに実測値（ミルシート値）の引張強さσ_uを使用した。 規格基準に基づく許容値 $0.9S_u = 0.9 \times 422 = 379$ 今回使用した許容値 $0.9\sigma_u = 0.9 \times 490 = 441$ < 妥当性の説明 > 使用した許容値は当該機器の素材の実測値であり、実力評価として適切である。
---	---

b. 動的機能維持の許容値

機能確認済加速度は、耐震バックチェック評価等で認められている値もしくは試験等で妥当性が確認された値を用いる。

機能確認済加速度を表 3 - 3 に示す。

詳細評価における構造強度評価の評価基準値は、耐震バックチェック評価等で認められている値を用いる。また、部位毎の動的機能維持の許容値は、個別に試験等で妥当性が確認されている値を用いる。

表 3 - 3 機能確認済加速度 (1/2)

種別	機種	加速度 確認部位	機能確認済加速度	
			水平方向 (G ⁻¹)	鉛直方向 (G ⁻¹)
立形ポンプ	立形斜流ポンプ	コラム 先端部	10.0	1.0
横形ポンプ	横形単段遠心式ポンプ	軸位置	3.2 (軸直角方向)	1.0
	横形多段遠心式ポンプ		1.4 (軸方向)	
ポンプ駆動用 タービン	補助給水ポンプ用 タービン	重心位置	1.0	1.0
電動機	横形ころがり軸受電動機	軸受部	4.7	1.0
	横形すべり軸受電動機		2.6	
	立形ころがり軸受電動機		2.5	
	立形すべり軸受電動機			
ファン	遠心直結型ファン	軸受部および メカニカルシールケーシング*	2.3	1.0
	遠心直動型ファン	軸受部	2.6	
	軸流式ファン		2.4	
非常用 ディーゼル 発電機	中速形 ディーゼル機関	機関 重心位置	1.7	1.0
		ガバナ 取付位置	1.8	
制御用 空気圧縮機	V 型 2 気筒圧縮機	シリンダ部	2.2	1.0
弁 (一般弁および 特殊弁)	一般弁 (グローブ弁、ゲート弁、 バタフライ弁、逆止弁)	駆動部	6.0	6.0
	主蒸気隔離弁操作用電磁弁		6.1 ⁻²	3.4 ⁻²
	加圧器安全弁		13.0	3.0
	主蒸気安全弁		13.0 10.0 ⁻³	3.0

表 3 - 3 機能確認済加速度 (2/2)

種別	機種	加速度 確認部位	機能確認済加速度	
			水平方向 (G^{-1})	鉛直方向 (G^{-1})
盤	原子炉盤	据付位置	8.70 ⁴	7.50 ⁴
	安全保護系シーケンスキャビネット		6.00 ⁴	3.00 ⁴
	1次系補助リレーラック		6.00 ⁴	3.00 ⁴
	原子炉安全保護盤		7.10 ⁴	3.00 ⁴
	安全保護系テストラック		6.00 ⁴	3.00 ⁴
	安全保護系補助ラック		6.00 ⁴	3.00 ⁴
	ソレノイド分電盤		8.00 ⁴	12.00 ⁴
	現場操作箱		9.90 ⁴	7.80 ⁴
	直流き電盤		12.00 ⁴	2.00 ⁴
	ドロツパ盤		3.00 ⁴	1.00 ⁴
	原子炉保護系計器ラック		10.00 ⁴	2.00 ⁴
	格納容器外制御用空気圧縮機盤		6.00 ⁴	3.00 ⁴
	格納容器外制御用空気圧縮機計器盤		9.50 ⁴	1.25 ⁴
	制御用容量調整盤		4.30 ⁴	3.00 ⁴
	中央制御室外原子炉停止盤		9.90 ⁴	7.80 ⁴
	タービン動補助給水ポンプ盤		6.00 ⁴	3.00 ⁴
	非常用D / Gコントロールセンタ		7.10 ⁴	3.00 ⁴
	ディーゼル発電機盤		5.20 ⁴	1.30 ⁴
	制御建屋直流分電盤		8.00 ⁴	12.00 ⁴
	パワーセンタ		4.24 ⁵	1.10 ⁴
	原子炉コントロールセンタ		7.10 ⁴	3.00 ⁴
	メタクラ		3.20 ⁶	1.10 ⁴
	充電器盤		3.00 ⁴	1.00 ⁴
	計器用電源装置		12.00 ⁴	8.00 ⁴
	計器用分電盤		7.10 ⁴	3.00 ⁴
	ほう酸ポンプ切換器盤		8.00 ⁴	12.00 ⁴
計装器具	制御用地震計		1.60 ⁴	1.00 ⁴
	1次冷却材高温側及び低温側温度計(広域)		15.00 ⁴	15.00 ⁴
	ディーゼル発電機出力電圧指示計		15.80 ⁴	17.20 ⁴
	その他の計器		6.43 ⁴	2.37 ⁴

1 $G = 9.80665(m/s^2)$

2 独立行政法人 原子力安全基盤機構「平成 19 年度 原子力施設の耐震性評価技術に関する試験及び調査 機器耐力その 4 (弁) に係る報告書」

3 固有振動数 20Hz 未満の安全弁

4 既往試験(電力共通研究、メーカー社内試験等)により確認された数値

5 独立行政法人 原子力安全基盤機構「平成 15 年度 原子力発電施設耐震信頼性実証に関する報告書 機器耐力その 1 (横型ポンプ、電気品)」

6 独立行政法人 原子力安全基盤機構「平成 17 年度 原子力施設等の耐震性評価技術に関する試験及び調査 機器耐力その 3 (総合評価) に係る報告書」

設置許可添付十における起回事象(被ばく評価を除く)
(高浜発電所 原子炉設置許可申請書より)

起回事象	
運転時の異常な過渡変化	原子炉起動時における制御棒の異常な引き抜き
	出力運転中の制御棒の異常な引き抜き
	制御棒の落下及び不整合
	原子炉冷却材中のほう素の異常な希釈
	原子炉冷却材流量の部分喪失
	原子炉冷却材系の停止ループの誤起動
	蒸気負荷の異常な増加
	2次冷却系の異常な減圧
	蒸気発生器への過剰給水
	主給水流量喪失
	外部電源喪失
	原子炉冷却材系の異常な減圧
	出力運転中の非常用炉心冷却系の誤起動
	負荷の喪失
事故	原子炉冷却材流量の喪失
	原子炉冷却材ポンプの軸固着
	主給水管破断
	主蒸気管破断
	蒸気発生器伝熱管破損
	制御棒飛び出し
	原子炉冷却材喪失

内的事象 PSA における起回事象
(高浜 4 号機 PSR 報告書より)

	起回事象	
→	主給水喪失	
→	外部電源喪失	
→	過渡事象	
→	2 次冷却系の 破断	
→	蒸気発生器 伝熱管破損	
→	大破断 LOCA	
→	中破断 LOCA	
→	小破断 LOCA	
→	ATWS	
内的事象 PSA を考えた場 合、追加する起回事象		
	補機冷却水の 喪失	
	余熱除去系 隔離弁 LOCA	
	手動停止	
	極小リーク	

地震を起因とした炉心損傷に至る起回事象

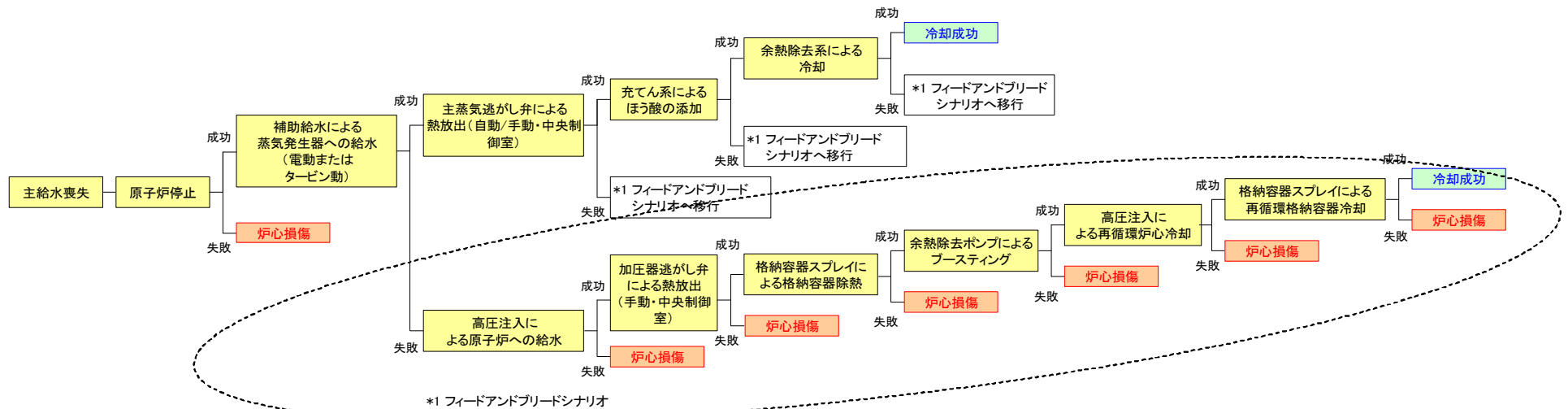
起回事象	発生可能性の有無	検討内容
主給水喪失	有	主給水喪失シナリオとして考慮。 対象とする地震動の範囲において、保守的に主給水系の損傷を仮定する。過渡事象は主給水喪失シナリオに含有。
外部電源喪失	有	外部電源喪失シナリオとして考慮。 DC 母線1系列の喪失は外部電源喪失シナリオに含有。
2次冷却系の破断	有	2次系冷却系の破断シナリオとして考慮。
格納容器バイパス	有	格納容器バイパスシナリオとして考慮。
大破断 LOCA	有	大破断 LOCA シナリオとして考慮。
中破断 LOCA	有	中破断 LOCA シナリオとして考慮。
小破断 LOCA	有	小破断 LOCA シナリオとして考慮。 極小リークは小破断 LOCA シナリオに含有。
ATWS	有	原子炉トリップに失敗した場合は炉心損傷として扱う。
補機冷却水の喪失	有	補機冷却水の喪失シナリオとして考慮。
手動停止	無	原子炉が自動停止する地震加速度以上の地震を対象とすることから対象外。原子炉自動停止に失敗した場合には ATWS として考慮。

地震PSAを考えた場合に追加する起回事象

起回事象	発生可能性の有無	検討内容
炉心損傷直結	有	地震により当該機器等が機能喪失に至ることで、即、炉心損傷につながる。

地震を起因とした炉心損傷に至る起回事象

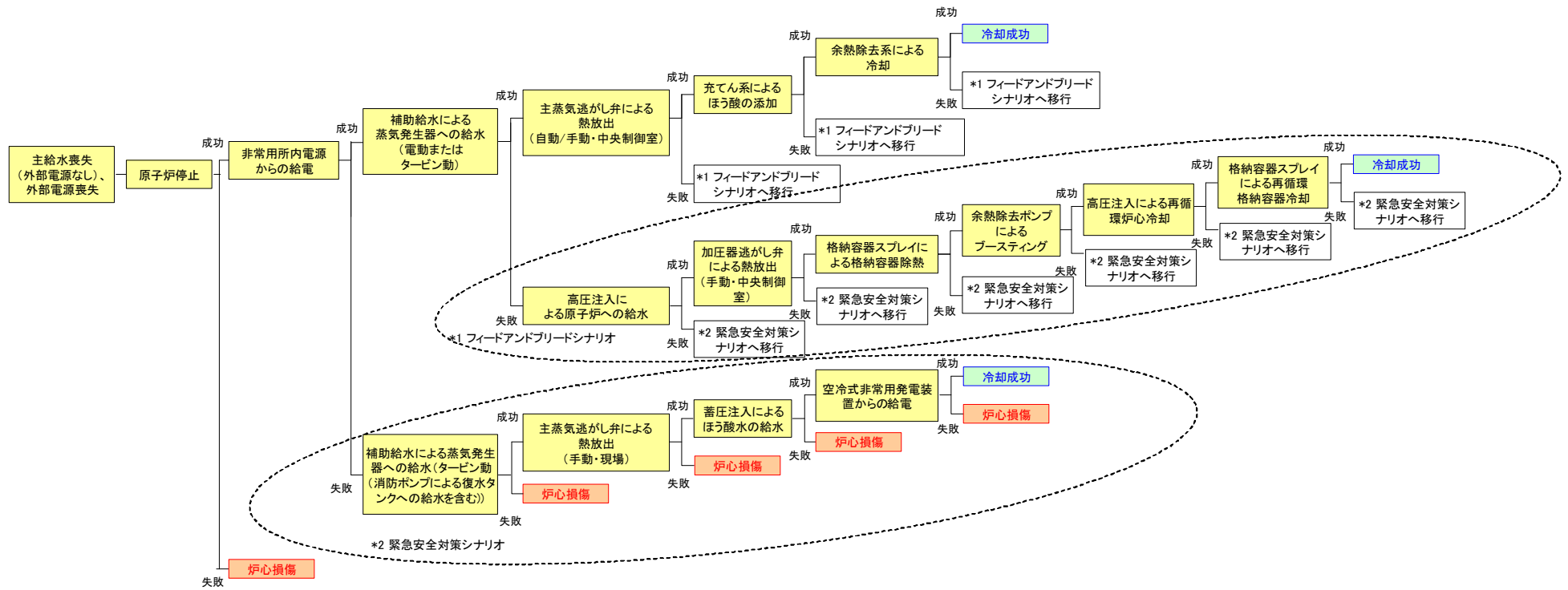
起因事象：主給水喪失（外部電源あり）



各起因事象におけるイベントツリー（地震：炉心損傷）

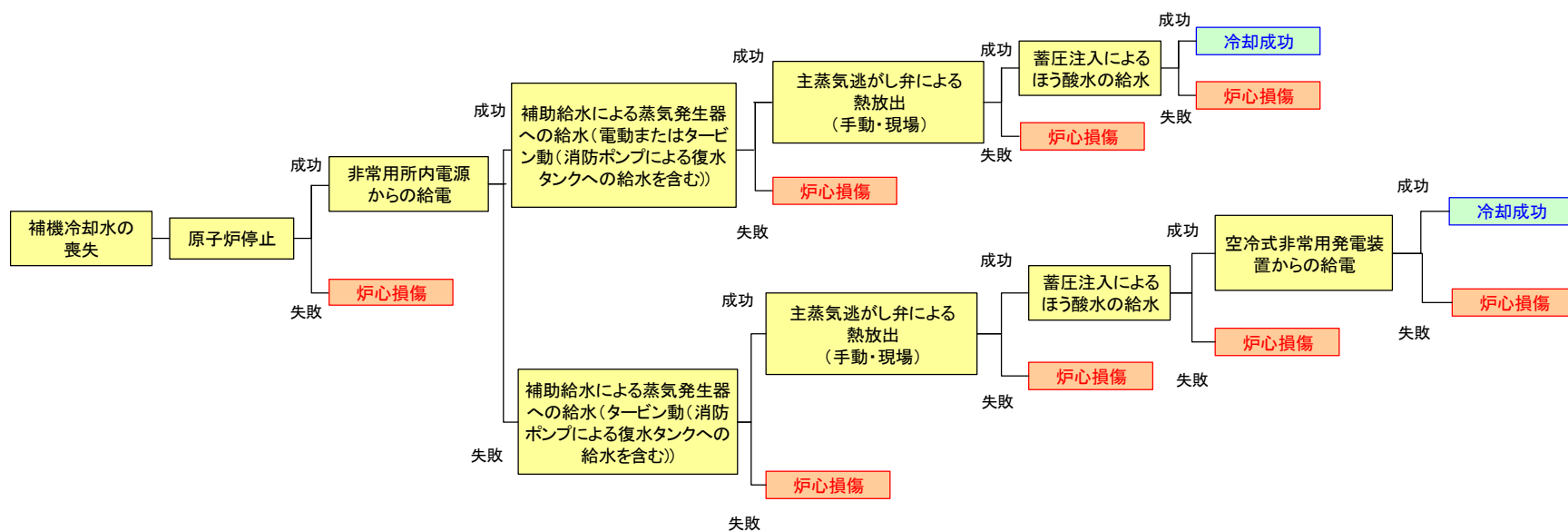
起因事象：主給水喪失（外部電源なし）

起因事象：外部電源喪失



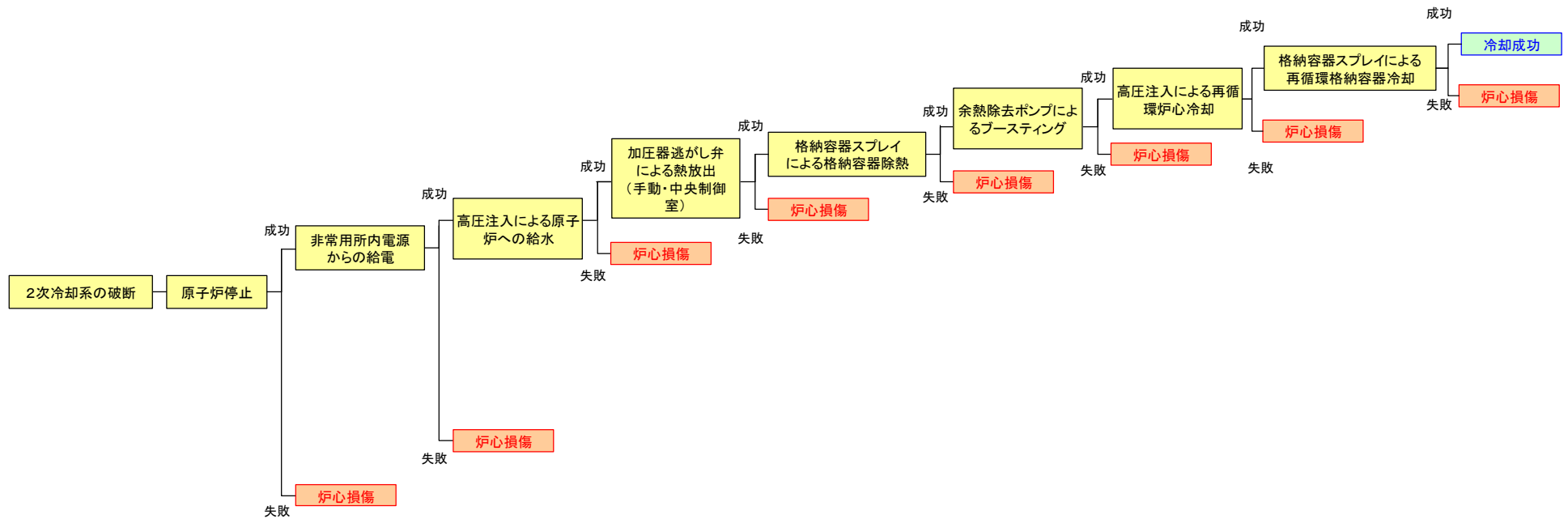
各起因事象におけるイベントツリー（地震：炉心損傷）

起因事象：補機冷却水の喪失



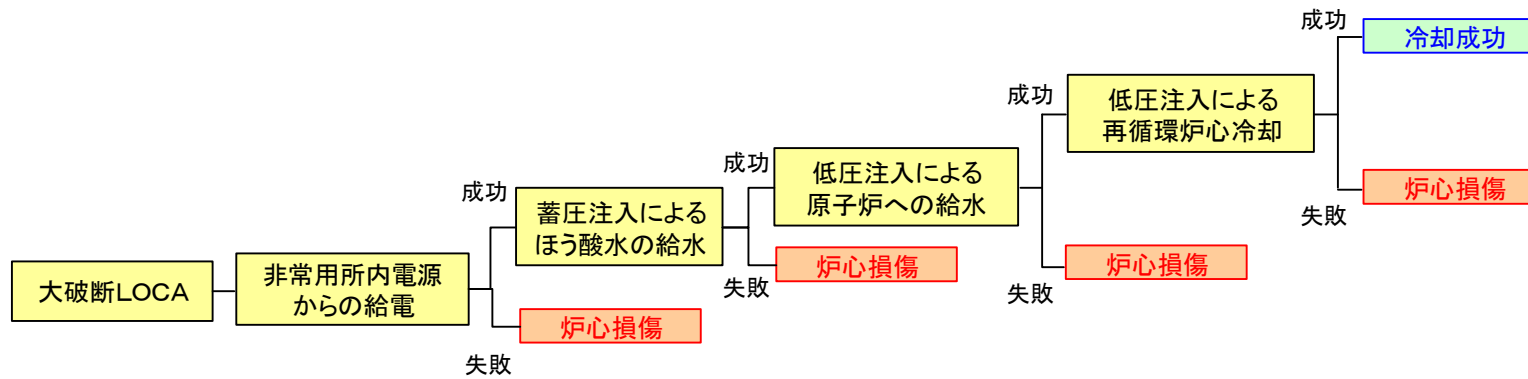
各起因事象におけるイベントツリー（地震：炉心損傷）

起因事象：2次冷却系の破断



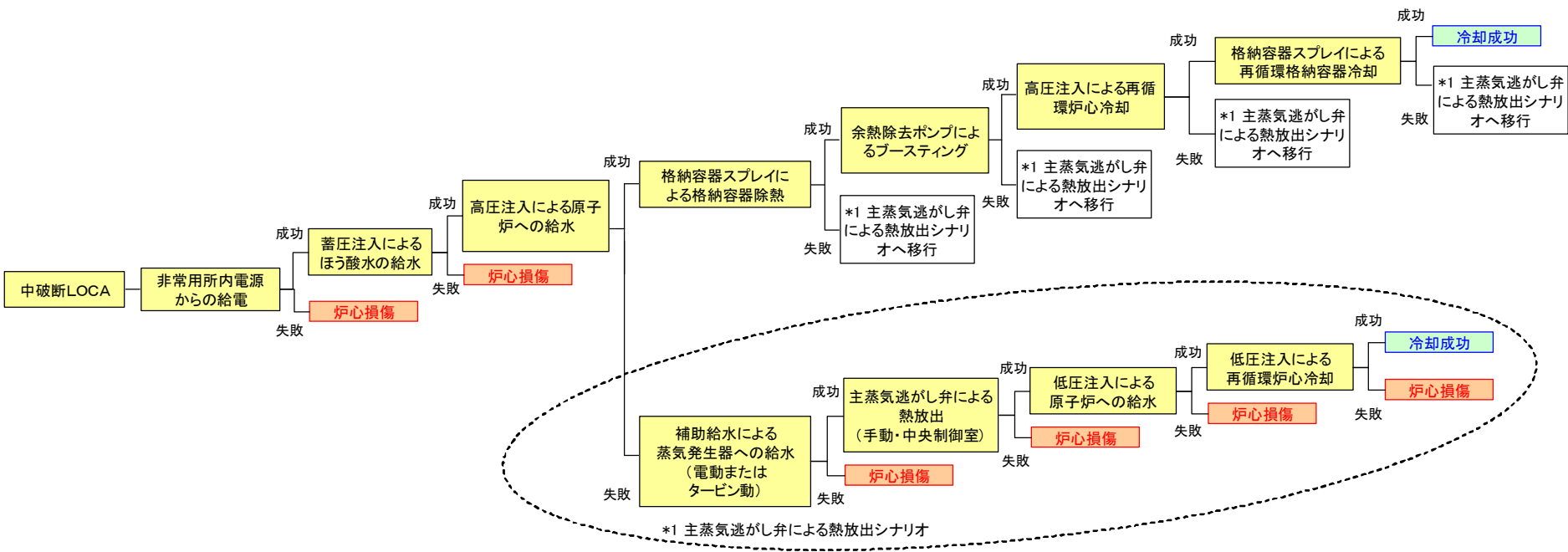
各起因事象におけるイベントツリー（地震：炉心損傷）

起因事象：大破断LOCA



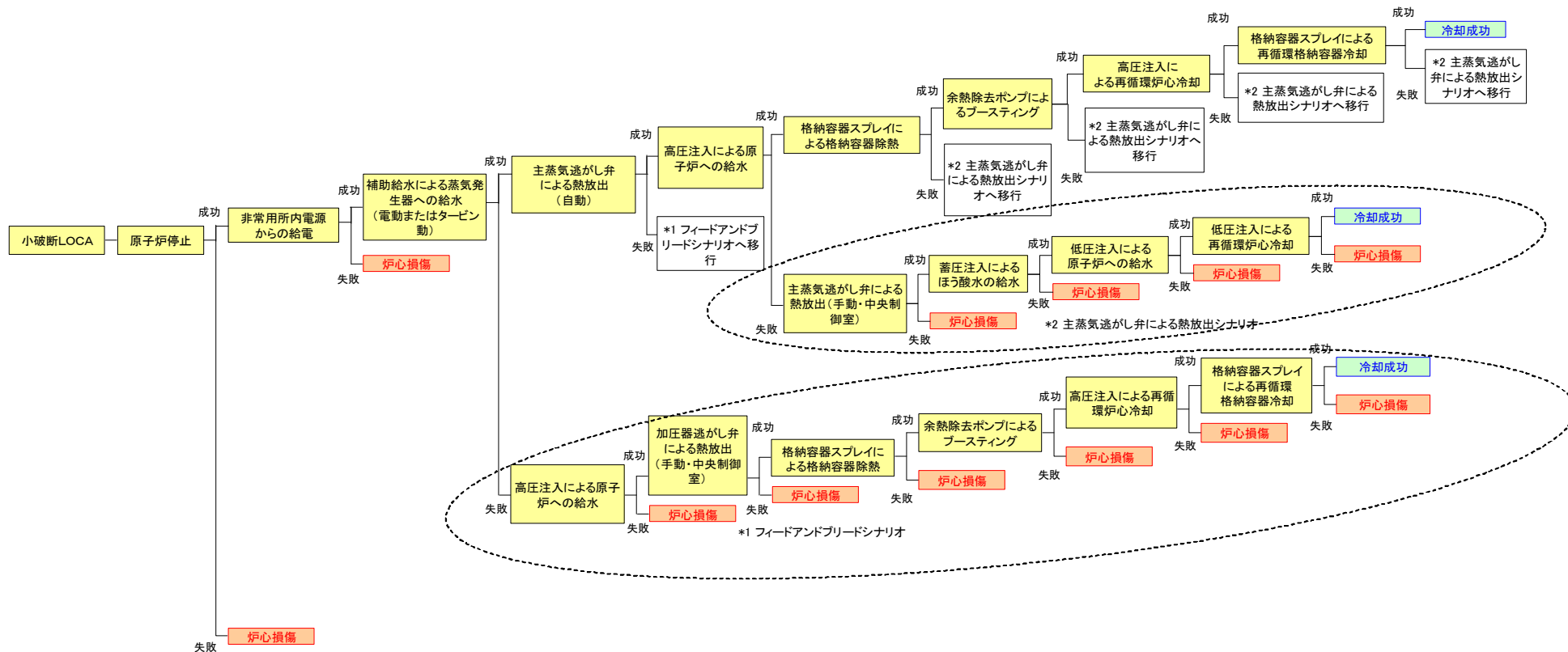
各起因事象におけるイベントツリー（地震：炉心損傷）

起因事象：中破断 L O C A



各起因事象におけるイベントツリー（地震：炉心損傷）

起因事象：小破断LOCA



各起因事象におけるイベントツリー（地震：炉心損傷）

耐震裕度評価結果（地震：炉心損傷）

起因事象に関連する設備

起因事象	設備	設置場所	耐震クラス	損傷モード	単位	評価値(a)	許容値(b)	裕度(b/a)
主給水喪失	工学的判断							
外部電源喪失	工学的判断							
補機冷却水の喪失	原子炉補機冷却水冷却器	A/B	S	構造損傷	MPa	164	270	1.64
	原子炉補機冷却水ポンプ	A/B	S	機能損傷	G	0.49	1.0	2.04
	原子炉補機冷却水ポンプ現場操作箱	A/B	S	機能損傷	G	1.73	9.90	5.72
	原子炉補機冷却水サージタンク	A/B	S	構造損傷	MPa	166	270	1.62
	原子炉補機冷却水系配管	A/B E/B	S	構造損傷	MPa	162	401	2.47
	海水系配管	屋外 A/B	S	構造損傷	MPa	162	401	2.47
	海水ポンプ	屋外	S	構造損傷	MPa	88	180	2.04
	海水ポンプ現場操作箱	屋外	S	機能損傷	G	1.73	9.90	5.72
	海水ストレーナ	屋外	S	構造損傷	MPa	216	354	1.63

2 次冷却系の破断	主蒸気系配管	A/B E/B C/V	S	構造損傷	MPa	182	410	2.25
	主給水系配管	E/B C/V	S	構造損傷	MPa	164	380	2.31
	補助給水系配管	A/B E/B	S	構造損傷	MPa	162	401	2.47
大破断 L O C A	加圧器	C/V	S	構造損傷	MPa	214	430	2.00
	大破断 L O C A 関連配管	C/V	S	構造損傷	MPa	152	383	2.51
中破断 L O C A	中破断 L O C A 関連配管	C/V	S	構造損傷	MPa	158	383	2.42
小破断 L O C A	小破断 L O C A 関連配管	C/V	S	構造損傷	MPa	248	512	2.06
格納容器バイパス	蒸気発生器 内部構造物	C/V	S	構造損傷	MPa	195	418	2.14
炉心損傷直結	原子炉建屋	-	-	構造損傷	2 × S s に対して地震応答解析を実施し、許容値と比較			2
	原子炉補助建屋(補助一般建屋、中間建屋、ディーゼル建屋、燃料取替用水タンク建屋)	-	-	構造損傷	2 × S s に対して地震応答解析を実施し、許容値と比較			2
	原子炉保護系計器ラック	A/B	S	機能損傷	G	0.71	2.00	2.81
	原子炉安全保護盤	A/B	S	機能損傷	G	0.71	3.00	4.22

安全保護系シーケンスキャビネット	A/B	S	機能損傷	G	1.62	6.00	3.70
安全保護系補助ラック	A/B	S	機能損傷	G	1.62	6.00	3.70
1次系補助リレーラック	A/B	S	機能損傷	G	1.62	6.00	3.70
安全保護系テストラック	A/B	S	機能損傷	G	1.62	6.00	3.70
炉心支持構造物	C/V	S	構造損傷	MPa	148	391	2.64
炉内構造物	C/V	S	構造損傷	MPa	27	483	17.88
原子炉容器	C/V	S	構造損傷	MPa	165	422	2.55
蒸気発生器	C/V	S	構造損傷	MPa	177	421	2.37
1次冷却材管	C/V	S	構造損傷	MPa	127	357	2.81
1次冷却材ポンプ	C/V	S	構造損傷	MPa	164	372	2.26
ソレノイド分電盤	A/B	S	機能損傷	G	1.65	8.00	4.84
電動弁	A/B E/B C/V	S	機能損傷	G	2.3	6.0	2.60
炉内計装引出管	C/V	S	構造損傷	MPa	200	489	2.44
制御棒駆動装置	C/V	S	構造損傷	MPa	104	219	2.10
原子炉盤	A/B	S	構造損傷	-	0.30	1	3.33
中央制御室外原子炉停止盤	A/B	S	機能損傷	G	0.66	9.90	15.00

影響緩和機能（フロントライン系）に関連する設備

フロント ライン系	設備	設置 場所	耐震 クラス	損傷 モード	単位	評価値 (a)	許容値 (b)	裕度 (b/a)
原子炉停止	制御用地震計	A/B	S	機能損傷	G	0.42	1.00	2.38
非常用所内電源からの 給電	非常用D / Gコントロールセンタ	A/B	S	機能損傷	G	3.15	7.10	2.25
	内燃機関（ディーゼル機関）	A/B	S	機能損傷	G	0.69	1.7	2.46
	ディーゼル発電機盤	A/B	S	機能損傷	G	0.47	1.30	2.76
	燃料油サービスタンク	A/B	S	構造損傷	MPa	10	240	24.00
	D G 関連配管（燃料油配管等）	A/B	S	構造損傷	MPa	162	401	2.47
	始動用空気だめ	A/B	S	構造損傷	MPa	94	267	2.84
	ディーゼル発電機出力電圧指示計	A/B	S	機能損傷	G	1.62	15.80	9.75
補助給水による蒸気発生器 への給水（電動）	復水タンク	屋外	S	構造損傷	MPa	123	240	1.95
	蒸気発生器狭域水位計	C/V	S	機能損傷	G	0.46	2.37	5.15
	電動補助給水ポンプ	A/B	S	機能損傷	G	0.58	1.4	2.41
	補助給水系配管	A/B E/B	S	構造損傷	MPa	162	401	2.47
	主給水系配管	E/B C/V	S	構造損傷	MPa	164	380	2.31

補助給水による蒸気発生器への給水 (タービン動)	復水タンク	屋外	S	構造損傷	MPa	123	240	1.95
	蒸気発生器狭域水位計	C/V	S	機能損傷	G	0.46	2.37	5.15
	タービン動補助給水ポンプ盤	A/B	S	機能損傷	G	0.48	3.00	6.25
	タービン動補助給水ポンプ	A/B	S	構造損傷	MPa	27	148	5.48
	補助給水系配管	A/B E/B	S	構造損傷	MPa	162	401	2.47
	主給水系配管	E/B C/V	S	構造損傷	MPa	164	380	2.31
	主蒸気系配管	A/B E/B C/V	S	構造損傷	MPa	182	410	2.25
主蒸気逃がし弁による熱放出 (自動/手動・中央制御室)	主蒸気逃がし弁	E/B	S	機能損傷	MPa	45	361	8.02
	主蒸気隔離弁（電磁弁を含む）	E/B	S	機能損傷	G	1.2	6.1	5.08
	蒸気発生器蒸気圧力計	E/B	S	機能損傷	G	0.51	2.37	4.64
	蒸気発生器主蒸気流量計	C/V	S	機能損傷	G	3.05	6.43	2.10
	1次冷却材高温側及び低温側温度計（広域）	C/V	S	機能損傷	G	3.80	15.00	3.94
	1次冷却材圧力計	C/V	S	機能損傷	G	0.46	2.37	5.15

充てん系によるほう酸の添加	ほう酸ポンプ切換器盤	E/B	S	機能損傷	G	1.05	8.00	7.61
	ほう酸ポンプ現場操作箱	E/B	S	機能損傷	G	1.73	9.90	5.72
	ほう酸ポンプ	E/B	S	機能損傷	G	0.42	1.0	2.38
	ほう酸タンク	E/B	S	構造損傷	MPa	28	267	9.53
	ほう酸フィルタ	E/B	S	構造損傷	MPa	13	267	20.53
	充てん / 高圧注入ポンプ	A/B	S	機能損傷	G	0.54	1.0	1.85
	充てん / 高圧注入ポンプ現場操作箱	A/B	S	機能損傷	G	1.73	9.90	5.72
	再生熱交換器	C/V	S	構造損傷	MPa	91	384	4.21
	封水注入フィルタ	A/B	S	構造損傷	MPa	90	267	2.96
	加圧器水位計	C/V	S	機能損傷	G	0.46	2.37	5.15
	充てん系関連配管	A/B E/B C/V	S	構造損傷	MPa	158	383	2.42
余熱除去系による冷却	余熱除去ポンプ	A/B	S	機能損傷	G	0.42	1.0	2.38
	余熱除去ポンプ現場操作箱	A/B	S	機能損傷	G	1.73	9.90	5.72
	1次冷却材高温側及び低温側温度計（広域）	C/V	S	機能損傷	G	3.80	15.00	3.94
	1次冷却材圧力計	C/V	S	機能損傷	G	0.46	2.37	5.15
	余熱除去冷却器	A/B	S	構造損傷	MPa	179	334	1.86
	余熱除去系関連配管	A/B E/B C/V	S	構造損傷	MPa	162	401	2.47

原子炉への給水 高圧注入による	充てん / 高圧注入ポンプ	A/B	S	機能損傷	G	0.54	1.0	1.85
	充てん / 高圧注入ポンプ現場操作箱	A/B	S	機能損傷	G	1.73	9.90	5.72
	ほう酸注入タンク	E/B	S	構造損傷	MPa	114	254	2.22
	高圧注入系関連配管	A/B E/B C/V	S	構造損傷	MPa	162	401	2.47
放出（手動・中央制御室） 加圧器逃がし弁による熱	加圧器逃がし弁	C/V	S	機能損傷	G	2.3	6.0	2.60
格納容器スプレイによる 格納容器除熱	格納容器広域圧力計	E/B	S	機能損傷	G	0.44	2.37	5.38
	格納容器スプレイポンプ	A/B	S	機能損傷	G	0.42	1.0	2.38
	格納容器スプレイポンプ現場操作箱	A/B	S	機能損傷	G	1.73	9.90	5.72
	よう素除去薬品タンク	A/B	S	構造損傷	MPa	71	270	3.80
	格納容器スプレイ冷却器	A/B	S	構造損傷	MPa	160	334	2.08
	格納容器スプレイ系配管	A/B E/B C/V	S	構造損傷	MPa	190	432	2.27
	スプレイノズル	C/V	S	構造損傷	MPa	190	432	2.27

余熱除去ポンプによる プー ス ティ ン グ	余熱除去ポンプ	A/B	S	機能損傷	G	0.42	1.0	2.38
	余熱除去ポンプ現場操作箱	A/B	S	機能損傷	G	1.73	9.90	5.72
	余熱除去ポンプ吐出流量計	A/B	S	機能損傷	G	0.48	2.37	4.93
	余熱除去冷却器	A/B	S	構造損傷	MPa	179	334	1.86
	余熱除去系関連配管	A/B E/B C/V	S	構造損傷	MPa	162	401	2.47
再循環炉心冷却 高圧注入による	充てん / 高圧注入ポンプ	A/B	S	機能損傷	G	0.54	1.0	1.85
	充てん / 高圧注入ポンプ現場操作箱	A/B	S	機能損傷	G	1.73	9.90	5.72
	ほう酸注入タンク	E/B	S	構造損傷	MPa	114	254	2.22
	高圧注入系関連配管	A/B E/B C/V	S	構造損傷	MPa	162	401	2.47
再循環格納容器冷却 格納容器スプレイによる	格納容器スプレイポンプ	A/B	S	機能損傷	G	0.42	1.0	2.38
	格納容器スプレイポンプ現場操作箱	A/B	S	機能損傷	G	1.73	9.90	5.72
	よう素除去薬品タンク	A/B	S	構造損傷	MPa	71	270	3.80
	格納容器スプレイ冷却器	A/B	S	構造損傷	MPa	160	334	2.08
	格納容器スプレイ系配管	A/B E/B C/V	S	構造損傷	MPa	190	432	2.27
	スプレイノズル	C/V	S	構造損傷	MPa	190	432	2.27

補助給水による蒸気発生器への給水（タービン動（消防ポンプによる復水タンクへの給水を含む））	復水タンク	屋外	S	構造損傷	MPa	123	240	1.95
	蒸気発生器狭域水位計	C/V	S	機能損傷	G	0.46	2.37	5.15
	タービン動補助給水ポンプ盤	A/B	S	機能損傷	G	0.48	3.00	6.25
	タービン動補助給水ポンプ	A/B	S	構造損傷	MPa	27	148	5.48
	補助給水系配管	A/B E/B	S	構造損傷	MPa	162	401	2.47
	主給水系配管	E/B C/V	S	構造損傷	MPa	164	380	2.31
	主蒸気系配管	A/B E/B C/V	S	構造損傷	MPa	182	410	2.25
	可搬式消防ポンプ、ホース	屋外	-	-	可搬式消防ポンプ、ホースは地震による影響がないように保管			-
主蒸気逃がし弁による熱放出（手動・現場）	主蒸気逃がし弁	E/B	S	機能損傷	MPa	45	361	8.02
	主蒸気隔離弁（電磁弁を含む）	E/B	S	機能損傷	G	1.2	6.1	5.08
	蒸気発生器蒸気圧力計	E/B	S	機能損傷	G	0.51	2.37	4.64
	蒸気発生器主蒸気流量計	C/V	S	機能損傷	G	3.05	6.43	2.10
	1次冷却材高温側及び低温側温度計（広域）	C/V	S	機能損傷	G	3.80	15.00	3.94
	1次冷却材圧力計	C/V	S	機能損傷	G	0.46	2.37	5.15

補助給水による蒸気発生器への給水（電動またはタービン動（消防ポンプによる復水タンクへの給水を含む））	復水タンク	屋外	S	構造損傷	MPa	123	240	1.95
	蒸気発生器狭域水位計	C/V	S	機能損傷	G	0.46	2.37	5.15
	電動補助給水ポンプ	A/B	S	機能損傷	G	0.58	1.4	2.41
	タービン動補助給水ポンプ盤	A/B	S	機能損傷	G	0.48	3.00	6.25
	タービン動補助給水ポンプ	A/B	S	構造損傷	MPa	27	148	5.48
	補助給水系配管	A/B E/B	S	構造損傷	MPa	162	401	2.47
	主給水系配管	E/B C/V	S	構造損傷	MPa	164	380	2.31
	主蒸気系配管	A/B E/B C/V	S	構造損傷	MPa	182	410	2.25
ほう 蓄圧注入による 酸水の給水	可搬式消防ポンプ、ホース	屋外	-	-	可搬式消防ポンプ、ホースは地震による影響がないように保管			-
	蓄圧タンク	C/V	S	構造損傷	MPa	108	254	2.35
	1次冷却材高温側及び低温側温度計（広域）	C/V	S	機能損傷	G	3.80	15.00	3.94
	1次冷却材圧力計	C/V	S	機能損傷	G	0.46	2.37	5.15
	蓄圧注入系関連配管	C/V	S	構造損傷	MPa	123	342	2.78

空冷式非常用発電装置からの給電	空冷式非常用発電装置	屋外	-	1.80 × Ss に対し、転倒しないことを確認。また地震の影響のないように保管。				1.80
	空冷式非常用発電装置 中継・接続盤	A/B	S	構造損傷	MPa	12	168	14.00
低圧注入による原子炉への給水	余熱除去ポンプ	A/B	S	機能損傷	G	0.42	1.0	2.38
	余熱除去ポンプ現場操作箱	A/B	S	機能損傷	G	1.73	9.90	5.72
	余熱除去ポンプ吐出流量計	A/B	S	機能損傷	G	0.48	2.37	4.93
	余熱除去冷却器	A/B	S	構造損傷	MPa	179	334	1.86
	余熱除去系関連配管	A/B E/B C/V	S	構造損傷	MPa	162	401	2.47
再循環炉心冷却低圧注入による	余熱除去ポンプ	A/B	S	機能損傷	G	0.42	1.0	2.38
	余熱除去ポンプ現場操作箱	A/B	S	機能損傷	G	1.73	9.90	5.72
	余熱除去冷却器	A/B	S	構造損傷	MPa	179	334	1.86
	余熱除去系関連配管	A/B E/B C/V	S	構造損傷	MPa	162	401	2.47

影響緩和機能（サポート系）に関連する設備

サポート系	設備	設置場所	耐震クラス	損傷モード	単位	評価値(a)	許容値(b)	裕度(b/a)
6.6kV AC 電源	メタクラ	A/B	S	機能損傷	G	0.62	1.10	1.77
440V AC 電源	パワーセンタ	A/B	S	機能損傷	G	0.62	1.10	1.77
	原子炉コントロールセンタ	A/B	S	機能損傷	G	0.75	3.00	4.00
	動力変圧器	A/B	S	構造損傷	MPa	12	210	17.50
125V DC 電源	直流き電盤	A/B	S	構造損傷	MPa	138	279	2.02
	制御建屋直流分電盤	A/B	S	機能損傷	G	1.65	8.00	4.84
	充電器盤	A/B	S	機能損傷	G	0.49	1.00	2.04
	ドロツパ盤	A/B	S	機能損傷	G	0.49	1.00	2.04
115V AC 電源	計器用電源装置	A/B	S	機能損傷	G	1.31	12.00	9.16
	計器用分電盤	A/B	S	機能損傷	G	0.65	3.00	4.61
バッテリー	蓄電池	A/B	S	構造損傷	MPa	134	279	2.08
非常用所内電源	非常用 D / G コントロールセンタ	A/B	S	機能損傷	G	3.15	7.10	2.25
	内燃機関（ディーゼル機関）	A/B	S	機能損傷	G	0.69	1.7	2.46
	ディーゼル発電機盤	A/B	S	機能損傷	G	0.47	1.30	2.76
	燃料油サービスタンク	A/B	S	構造損傷	MPa	10	240	24.00
	D G 関連配管（燃料油配管等）	A/B	S	構造損傷	MPa	162	401	2.47
	始動用空気だめ	A/B	S	構造損傷	MPa	94	267	2.84
	ディーゼル発電機出力電圧指示計	A/B	S	機能損傷	G	1.62	15.80	9.75

サポート系	設備	設置 場所	耐震 クラス	損傷 モード	単位	評価値 (a)	許容値 (b)	裕度 (b/a)
C C W	原子炉補機冷却水冷却器	A/B	S	構造損傷	MPa	164	270	1.64
	原子炉補機冷却水ポンプ	A/B	S	機能損傷	G	0.49	1.0	2.04
	原子炉補機冷却水ポンプ現場操作箱	A/B	S	機能損傷	G	1.73	9.90	5.72
	原子炉補機冷却水サージタンク	A/B	S	構造損傷	MPa	166	270	1.62
	原子炉補機冷却水系配管	A/B E/B	S	構造損傷	MPa	162	401	2.47
海水系	海水系配管	屋外 A/B	S	構造損傷	MPa	162	401	2.47
	海水ポンプ	屋外	S	構造損傷	MPa	88	180	2.04
	海水ポンプ現場操作箱	屋外	S	機能損傷	G	1.73	9.90	5.72
	海水ストレーナ	屋外	S	構造損傷	MPa	216	354	1.63
制御用空気系	格納容器外制御用空気圧縮機盤	A/B	S	機能損傷	G	0.48	3.00	6.25
	格納容器外制御用空気圧縮機	A/B	S	機能損傷	G	0.40	1.0	2.50
	格納容器外制御用空気圧縮機計器盤	A/B	S	機能損傷	G	0.48	1.25	2.60
	制御用容量調整盤	A/B	S	機能損傷	G	1.05	4.30	4.09
	格納容器外制御用空気だめ	A/B	S	構造損傷	MPa	53	243	4.58
	格納容器外制御用空気乾燥器	A/B	S	構造損傷	MPa	29	223	7.68
	格納容器外制御用空気母管圧力計	E/B	S	機能損傷	G	0.46	2.37	5.15

サポート系	設備	設置 場所	耐震 クラス	損傷 モード	単位	評価値 (a)	許容値 (b)	裕度 (b/a)
	制御用空気系配管	A/B E/B C/V	S	構造損傷	MPa	162	401	2.47
安全注入信号	格納容器広域圧力計	E/B	S	機能損傷	G	0.44	2.37	5.38
	加圧器圧力計	C/V	S	機能損傷	G	2.16	6.43	2.97
R W S T	ほう酸注入タンク	E/B	S	構造損傷	MPa	114	254	2.22
	余熱除去冷却器	A/B	S	構造損傷	MPa	179	334	1.86
	格納容器スプレイ冷却器	A/B	S	構造損傷	MPa	160	334	2.08
	燃料取替用水タンク	A/B	S	構造損傷	-	0.57	1	1.75
	燃料取替用水系関連配管	E/B A/B	S	構造損傷	MPa	190	432	2.27
再循環切替	燃料取替用水タンク水位計	A/B	S	機能損傷	G	0.40	2.37	5.92
	格納容器再循環サンプ	C/V	S	構造損傷	2 × S s に対して地震応答解析を実施し、許容値と比較			2
	格納容器再循環サンプ配管	C/V E/B	S	構造損傷	MPa	190	432	2.27

関連配管の詳細部位

大破断 L O C A 関連配管	余熱除去ポンプ高温側注入配管、R H R 高温側吸込み配管、加圧器サージ管、蓄圧タンク注入配管（C / L 側）、低圧注入配管（C / L 側）
中破断 L O C A 関連配管	格納容器冷却材ドレン配管、加圧器スプレイライン配管、高圧注入系配管（C / L 側）、充てん注入ライン配管（C / L 側）、充てん / 高圧注入ポンプ高温側注入配管、C V C S 抽出配管、ほう酸注入タンクライン配管
小破断 L O C A 関連配管	R C S 加圧器スプレイヘッドライン配管、S S サンプル冷却器注入配管、加圧器補助スプレイ配管、加圧器安全弁配管、加圧器逃がし弁配管、R V 頂部ベントライン配管、余剰抽出冷却器注入ライン配管
充てん系関連配管	充てん系配管、充てん注入ライン配管（C / L 側）
余熱除去系関連配管	余熱除去系配管 ^{1 2 3 4} 、余熱除去ポンプ高温側注入配管（L O C A 時のみ考慮） ⁴ 、R H R 高温側吸込み配管 ¹ 、高圧注入系配管（C / L 側） ^{1 3 4} 、低圧注入配管（C / L 側） ^{1 3 4} 、充てん / 高圧注入ポンプ高温側注入配管（L O C A 時のみ考慮） ⁴ 、ほう酸注入タンクライン配管 ^{1 3 4} 1 余熱除去系による冷却、 2 余熱除去ポンプによるブースティング、 3 低圧注入による原子炉への給水、 4 低圧注入による再循環炉心冷却
高圧注入系関連配管	充てん / 高圧注入系配管 ^{1 2} 、余熱除去ポンプ高温側注入配管（L O C A 時のみ考慮） ² 、高圧注入系配管（C / L 側） ^{1 2} 、低圧注入配管（C / L 側） ^{1 2} 、充てん / 高圧注入ポンプ高温側注入配管（L O C A 時のみ考慮） ² 、ほう酸注入タンクライン配管 ^{1 2} 1 高圧注入による原子炉への給水、 2 高圧注入による再循環炉心冷却
蓄圧注入系関連配管	蓄圧タンク注入配管、蓄圧タンク注入配管（C / L 側）
燃料取替用水系関連配管	燃料取替用水系配管、余熱除去系配管、充てん / 高圧注入系配管、格納容器スプレイ系配管

主給水喪失(外部電源あり)

		フロントライン系											
		原子炉停止	補助給水による蒸気発生器への給水		主蒸気逃がし弁 による熱放出 (自動/手動・中央 制御室)	充てん系 による ほう酸の添加	余熱除去系 による冷却	高圧注入 による 原子炉への給水	加圧器逃がし弁 による熱放出 (手動・中央制御 室)	格納容器スプレイ による 格納容器除熱	余熱除去ポンプ による ブースティング	高圧注入 による 再循環炉心冷却	格納容器スプレイ による 再循環 格納容器冷却
			電動	タービン動									
サポート系	6.6kV AC電源		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	440V AC電源		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	125V DC電源	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
	115V AC電源	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	バッテリー	○											
	CCW				○	○	○	○	○	○	○	○	○
	海水系				○	○	○	○	○	○	○	○	○
	制御用空気系				○				○				
	再循環切替										○	○	○
	RWST							○		○			

フロントライン系とサポート系の関連表(地震:炉心損傷)

外部電源喪失

		フロントライン系																
		原子炉停止	非常用所内電源からの給電	補助給水による蒸気発生器への給水			主蒸気逃がし弁による熟放出(自動/手動・中央制御室)	充てん系によるほう酸の添加	余熱除去系による冷却	高圧注入による原子炉への給水	加圧器逃がし弁による熟放出(手動・中央制御室)	格納容器スプレイによる格納容器除熱	余熱除去ポンプによるブースティング	高圧注入による再循環炉心冷却	格納容器スプレイによる再循環格納容器冷却	主蒸気逃がし弁による熟放出(手動・現場)	蓄圧注入によるほう酸水の給水	空冷式非常用発電装置による給電
				電動	タービン動	タービン動(消防ポンプによる復水タンクへの給水を含まず)												
サポート系	6.6kV AC電源		○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○			○
	440V AC電源		○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○			○
	125V DC電源	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	115V AC電源	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	バッテリー	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	非常用所内電源		—	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○			
	CCW						○	○	○	○	○	○	○	○	○			
	海水系		○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○			
	制御用空気系						○				○							
	再循環切替												○	○	○			
	RWST									○		○						

フロントライン系とサポート系の関連表（地震：炉心損傷）

補機冷却水の喪失

		フロントライン系						
		原子炉停止	非常用所内電源 からの給電	補助給水による蒸気発生器への給水		主蒸気逃がし弁 による熱放出 (手動・現場)	蓄圧注入 によるほう酸水の給水	空冷式非常用発電装置 による給電
				電動またはタービン動 (消防ポンプによる復水 タンクへの給水を含む)	タービン動 (消防ポンプによる復水 タンクへの給水を含む)			
サポート系	6.6kV AC電源		○	○				○
	440V AC電源		○	○				○
	125V DC電源	○	○	○	○	○	○	○
	115V AC電源	○	○	○	○	○	○	○
	バッテリー	○	○	○	○	○	○	
	非常用所内電源		—	○				
	CCW							
	海水系		○	○				
	制御用空気系							
	再循環切替							
	RWST							

フロントライン系とサポート系の関連表（地震：炉心損傷）

2次冷却系の破断

		フロントライン系							
		原子炉停止	非常用所内電源 からの給電	高圧注入 による原子炉への給水	加圧器逃がし弁 による熱放出 (手動・中央制御室)	格納容器スプレイ による格納容器除熱	余熱除去ポンプ によるプースティング	高圧注入 による再循環炉心冷却	格納容器スプレイ による 再循環格納容器冷却
サポート系	6.6kV AC電源		○	○	○	○	○	○	○
	440V AC電源		○	○	○	○	○	○	○
	125V DC電源	○	○	○	○	○	○	○	○
	115V AC電源	○	○	○	○	○	○	○	○
	バッテリー	○	○	○	○	○	○	○	○
	非常用所内電源		—	○	○	○	○	○	○
	CCW			○	○	○	○	○	○
	海水系		○	○	○	○	○	○	○
	制御用空気系				○				
	再循環切替						○	○	○
	RWST			○		○			

フロントライン系とサポート系の関連表（地震：炉心損傷）

大破断 LOCA

		フロントライン系			
		非常用所内電源 からの給電	蓄圧注入 によるほう酸水の給水	低圧注入 による原子炉への給水	低圧注入 による再循環炉心冷却
サポート系	6.6kV AC電源	○		○	○
	440V AC電源	○		○	○
	125V DC電源	○		○	○
	115V AC電源	○		○	○
	バッテリー	○		○	○
	非常用所内電源	—		○	○
	CCW			○	○
	海水系	○		○	○
	制御用空気系				
	安全注入信号			○	
	再循環切替				○
	RWST			○	

フロントライン系とサポート系の関連表（地震：炉心損傷）

中破断 LOCA

		フロントライン系											
		非常用所内電源 からの給電	蓄圧注入 による ほう酸水の給水	高圧注入 による 原子炉への給水	格納容器スプレイ による 格納容器除熱	余熱除去ポンプ による ブースティング	高圧注入 による 再循環炉心冷却	格納容器スプレイ による 再循環格納容器 冷却	補助給水による蒸気発生器への給水		主蒸気逃がし弁 による熱放出 (手動・中央制御 室)	低圧注入 による 原子炉への給水	低圧注入 による 再循環炉心冷却
									電動	タービン動			
サポート系	6.6kV AC電源	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	440V AC電源	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	125V DC電源	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	115V AC電源	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	バッテリー	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	非常用所内電源	—		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	CCW			○	○	○	○	○			○	○	○
	海水系	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	制御用空気系										○		
	安全注入信号			○									
	再循環切替					○	○	○					○
	RWST			○	○							○	

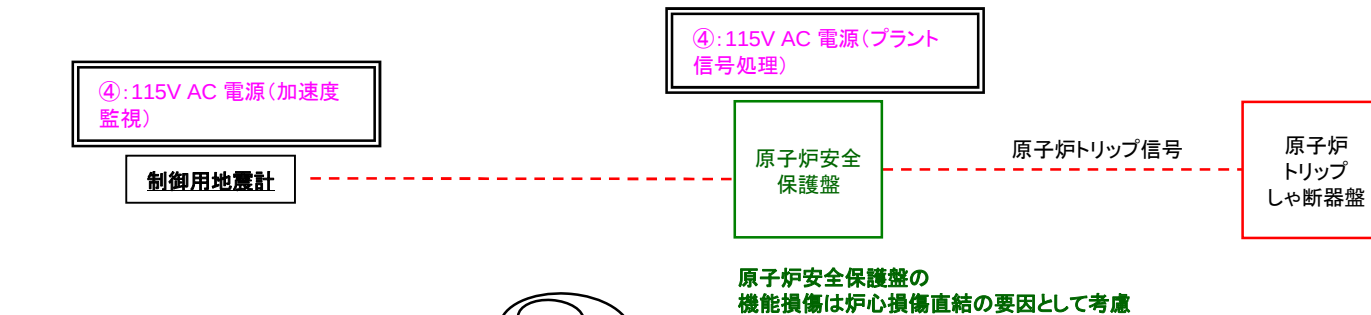
フロントライン系とサポート系の関連表（地震：炉心損傷）

小破断 LOCA

		フロントライン系														
		原子炉停止	非常用所内電源からの給電	補助給水による蒸気発生器への給水		主蒸気逃がし弁による熱放出（自動）	高圧注入による原子炉への給水	格納容器スプレイによる格納容器除熱	余熱除去ポンプによるブースティング	高圧注入による再循環炉心冷却	格納容器スプレイによる再循環格納容器冷却	主蒸気逃がし弁による熱放出（手動・中央制御室）	蓄圧注入によるほう酸水の給水	低圧注入による原子炉への給水	低圧注入による再循環炉心冷却	加圧器逃がし弁による熱放出（手動・中央制御室）
				電動	タービン動											
サポート系	6.6kV AC電源		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○
	440V AC電源		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○
	125V DC電源	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○
	115V AC電源	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○
	バッテリー	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○
	非常用所内電源		—	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○
	CCW					○	○	○	○	○	○	○		○	○	○
	海水系		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○
	制御用空気系					○						○				○
	安全注入信号						○									
	再循環切替								○	○	○				○	
	RWST						○	○						○		

フロントライン系とサポート系の関連表（地震：炉心損傷）

原子炉停止(フロントライン系)



系統の説明

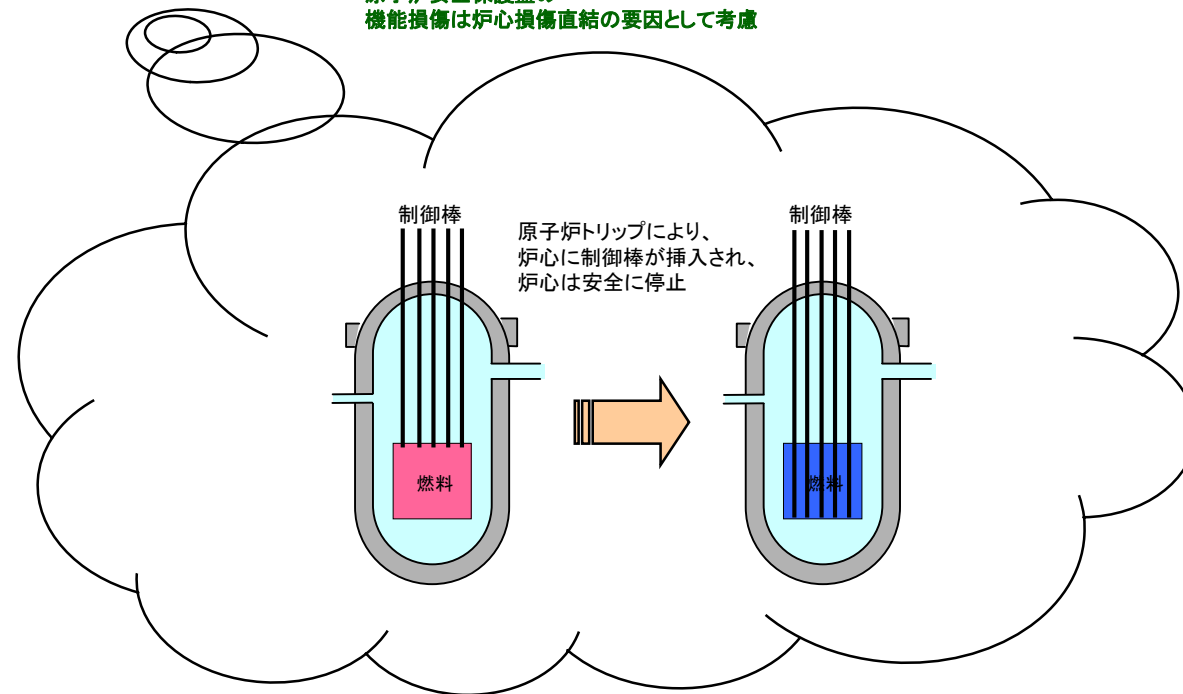
■: 炉心損傷直結起因事象

■: 原子炉停止

各サポート系については、以下のとおり整理した。

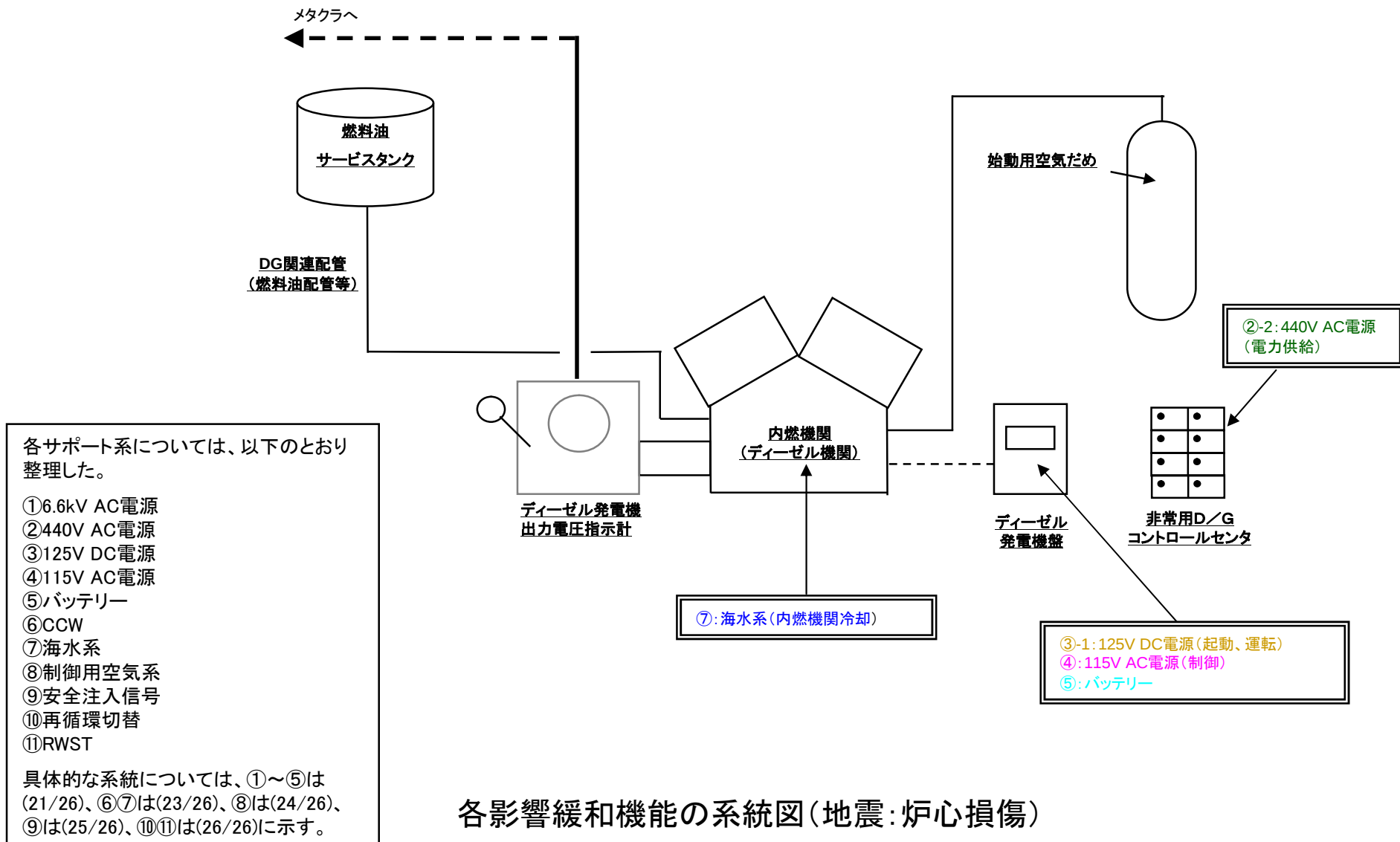
- ①6.6kV AC電源
- ②440V AC電源
- ③125V DC電源
- ④115V AC電源
- ⑤バッテリー
- ⑥CCW
- ⑦海水系
- ⑧制御用空気系
- ⑨安全注入信号
- ⑩再循環切替
- ⑪RWST

具体的な系統については、①～⑤は(21/26)、⑥⑦は(23/26)、⑧は(24/26)、⑨は(25/26)、⑩⑪は(26/26)に示す。

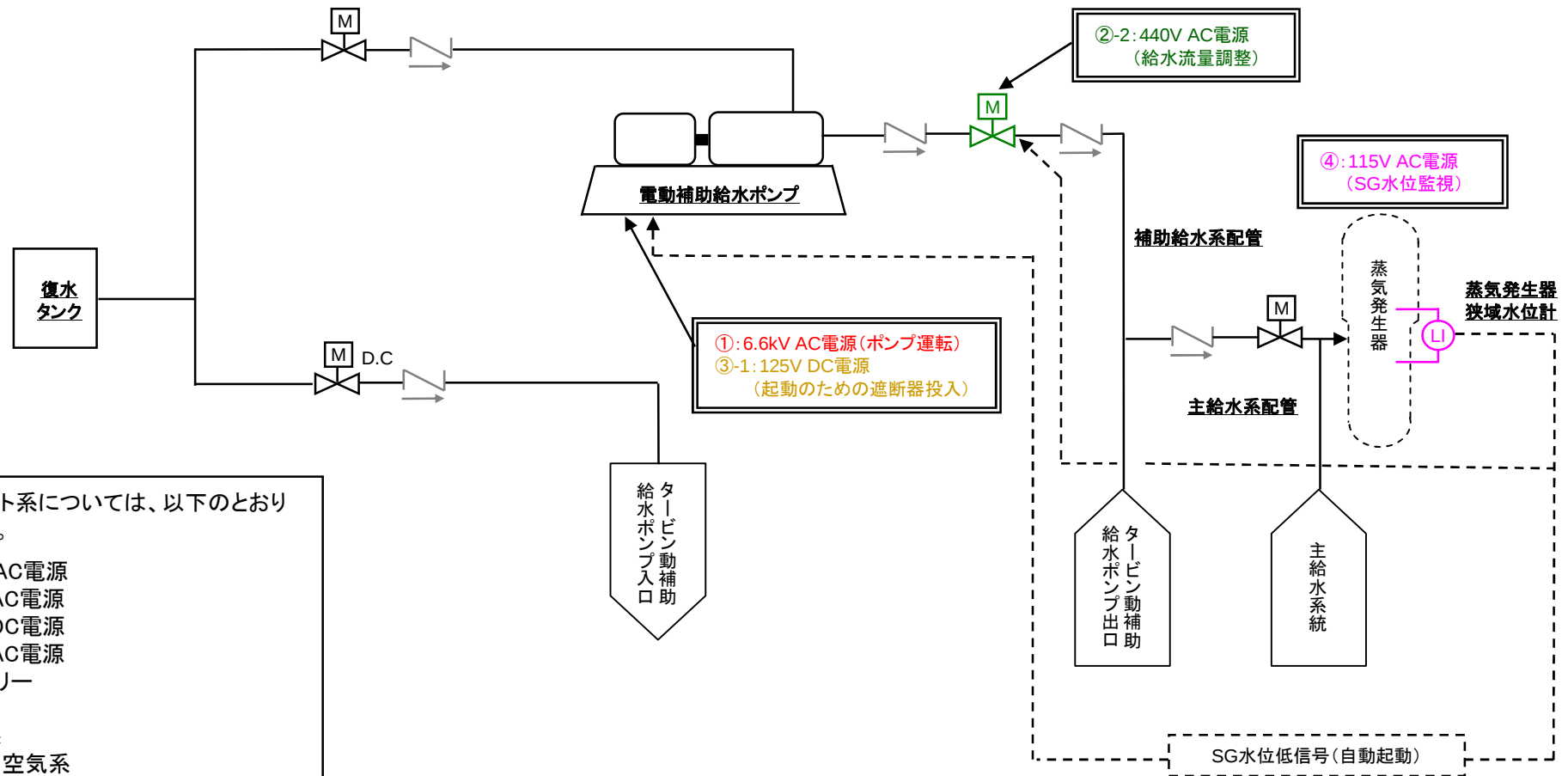


各影響緩和機能の系統図(地震:炉心損傷)

非常用所内電源からの給電(フロントライン系)



補助給水による蒸気発生器への給水(電動)(フロントライン系)



各サポート系については、以下のとおり整理した。

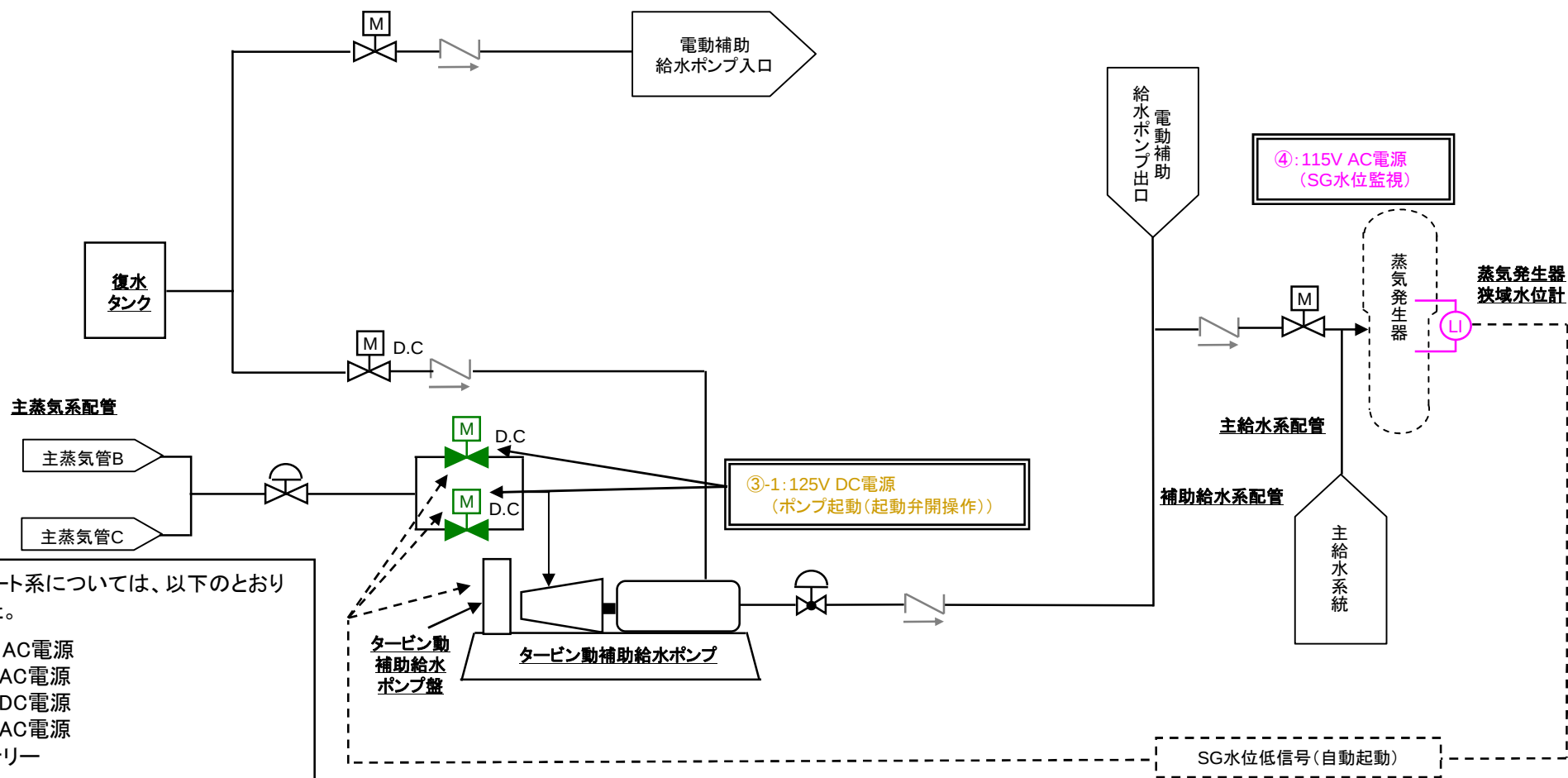
- ① 6.6kV AC電源
- ② 440V AC電源
- ③ 125V DC電源
- ④ 115V AC電源
- ⑤ バッテリー
- ⑥ CCW
- ⑦ 海水系
- ⑧ 制御用空気系
- ⑨ 安全注入信号
- ⑩ 再循環切替
- ⑪ RWST

具体的な系統については、①～⑤は(21/26)、⑥⑦は(23/26)、⑧は(24/26)、⑨は(25/26)、⑩⑪は(26/26)に示す。

■: 炉心損傷直結起因事象
電動弁の機能損傷は炉心損傷直結起因事象の要因として考慮

各影響緩和機能の系統図(地震: 炉心損傷)

補助給水による蒸気発生器への給水(タービン動)(フロントライン系)



各サポート系については、以下のとおり整理した。

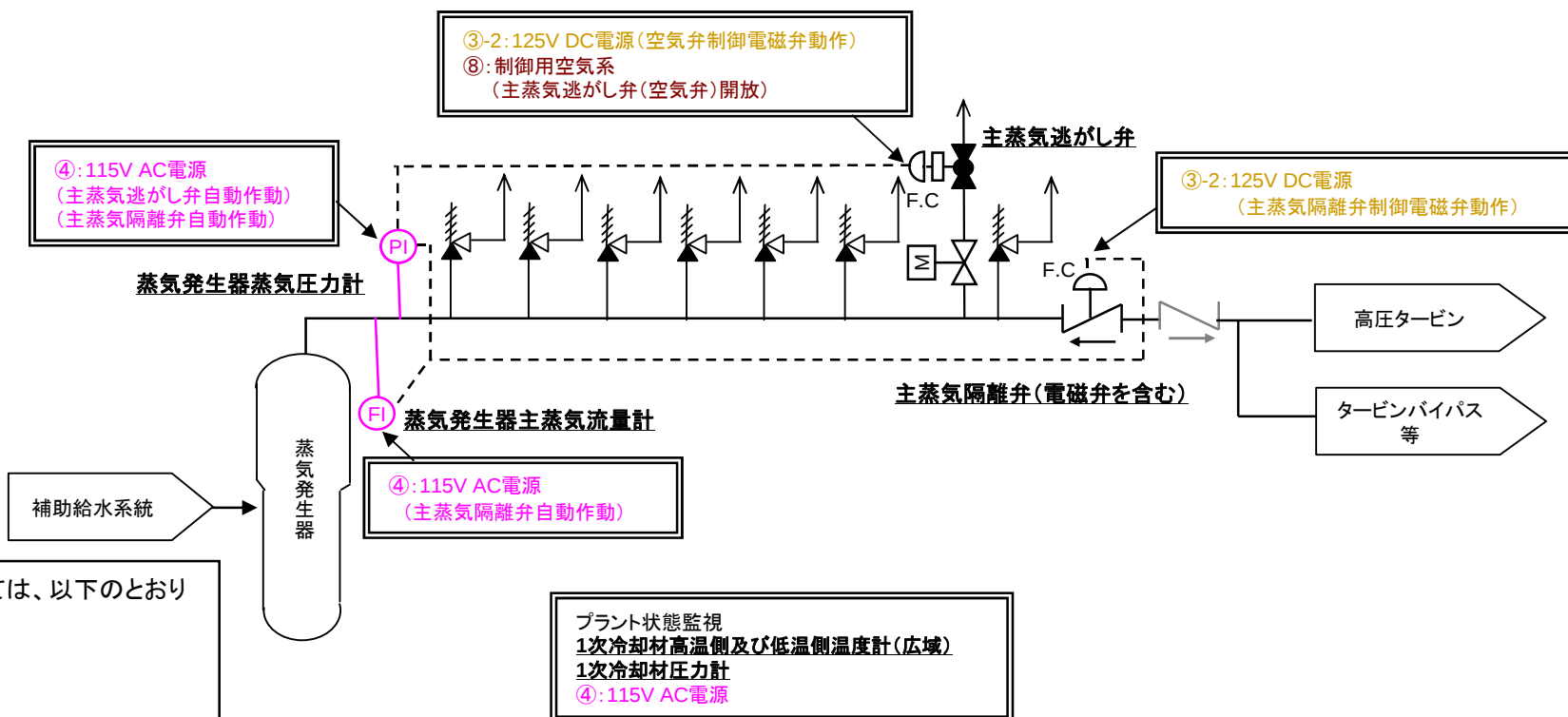
- ① 6.6kV AC電源
- ② 440V AC電源
- ③ 125V DC電源
- ④ 115V AC電源
- ⑤ バッテリー
- ⑥ CCW
- ⑦ 海水系
- ⑧ 制御用空気系
- ⑨ 安全注入信号
- ⑩ 再循環切替
- ⑪ RWST

具体的な系統については、①～⑤は(21/26)、⑥⑦は(23/26)、⑧は(24/26)、⑨は(25/26)、⑩⑪は(26/26)に示す。

■: 炉心損傷直結起因事象
電動弁の機能損傷は炉心損傷直結起因事象の要因として考慮

各影響緩和機能の系統図(地震: 炉心損傷)

主蒸気逃がし弁による熱放出(自動／手動・中央制御室)(フロントライン系)



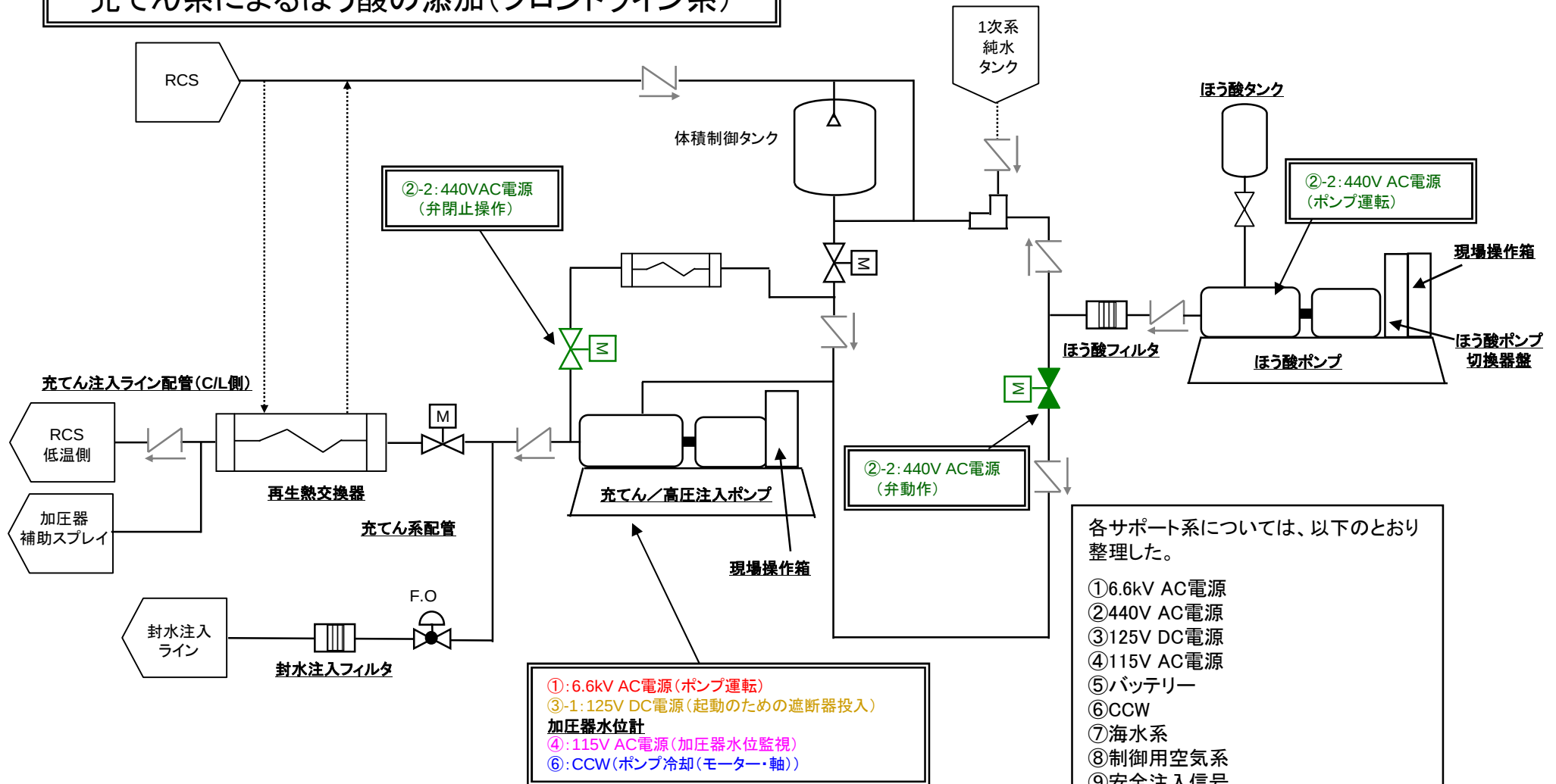
各サポート系については、以下のとおり整理した。

- ① 6.6kV AC電源
- ② 440V AC電源
- ③ 125V DC電源
- ④ 115V AC電源
- ⑤ バッテリー
- ⑥ CCW
- ⑦ 海水系
- ⑧ 制御用空気系
- ⑨ 安全注入信号
- ⑩ 再循環切替
- ⑪ RWST

具体的な系統については、①～⑤は(21/26)、⑥⑦は(23/26)、⑧は(24/26)、⑨は(25/26)、⑩⑪は(26/26)に示す。

各影響緩和機能の系統図(地震: 炉心損傷)

充てん系によるほう酸の添加(フロントライン系)



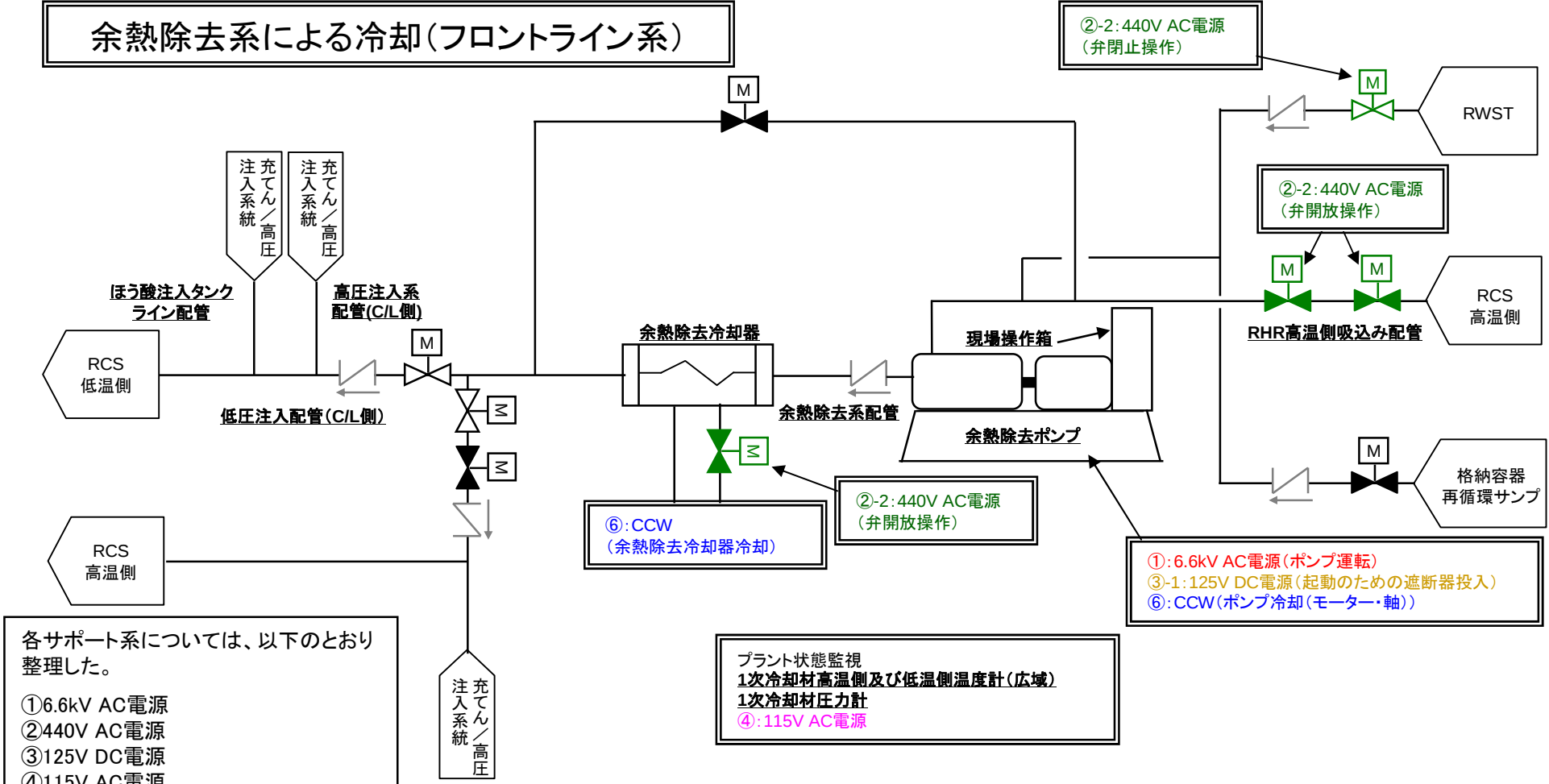
各サポート系については、以下のとおり整理した。

- ① 6.6kV AC電源
- ② 440V AC電源
- ③ 125V DC電源
- ④ 115V AC電源
- ⑤ バッテリー
- ⑥ CCW
- ⑦ 海水系
- ⑧ 制御用空気系
- ⑨ 安全注入信号
- ⑩ 再循環切替
- ⑪ RWST

具体的な系統については、①～⑤は(21/26)、⑥⑦は(23/26)、⑧は(24/26)、⑨は(25/26)、⑩⑪は(26/26)に示す。

各影響緩和機能の系統図(地震: 炉心損傷)

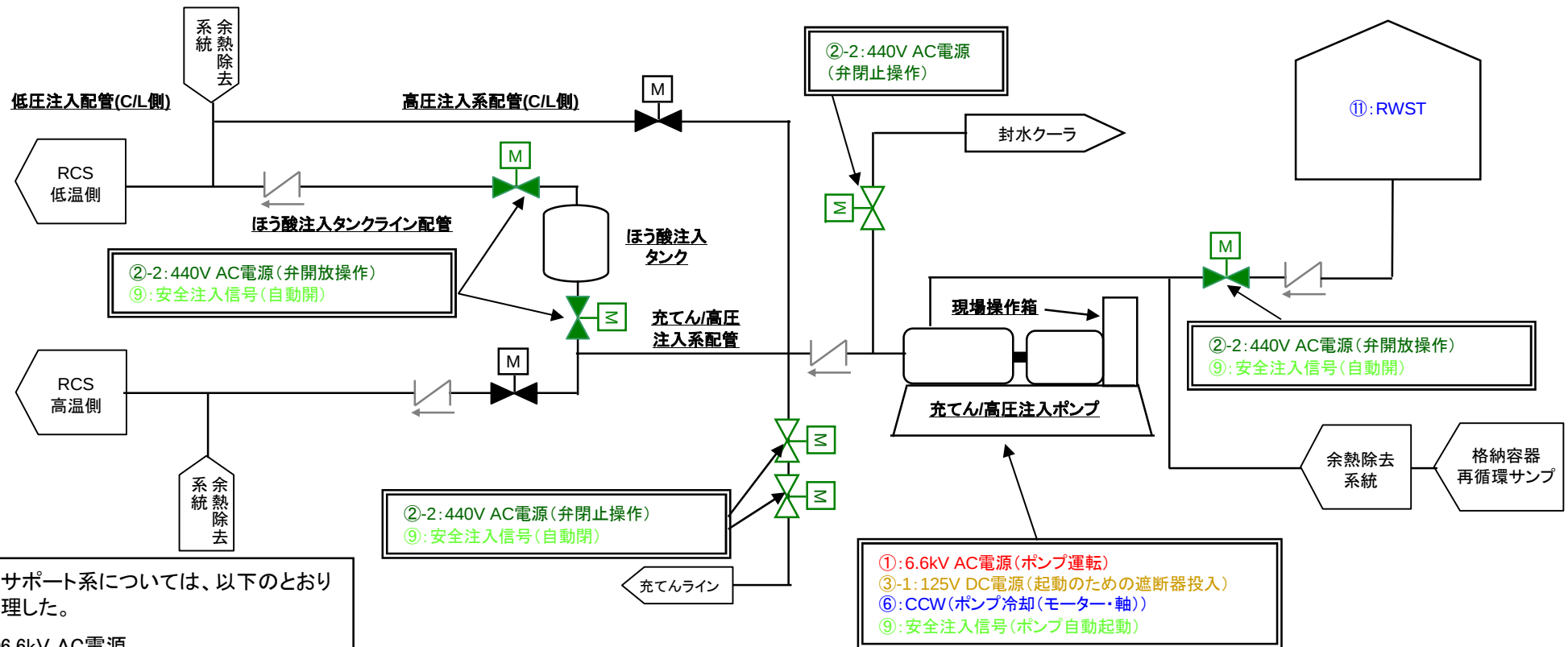
余熱除去系による冷却(フロントライン系)



■: 炉心損傷直結起因事象
電動弁の機能損傷は炉心損傷直結起因事象の要因として考慮

各影響緩和機能の系統図(地震: 炉心損傷)

高圧注入による原子炉への給水(フロントライン系)



各サポート系については、以下のとおり整理した。

- ① 6.6kV AC電源
- ② 440V AC電源
- ③ 125V DC電源
- ④ 115V AC電源
- ⑤ バッテリー
- ⑥ CCW
- ⑦ 海水系
- ⑧ 制御用空気系
- ⑨ 安全注入信号
- ⑩ 再循環切替
- ⑪ RWST

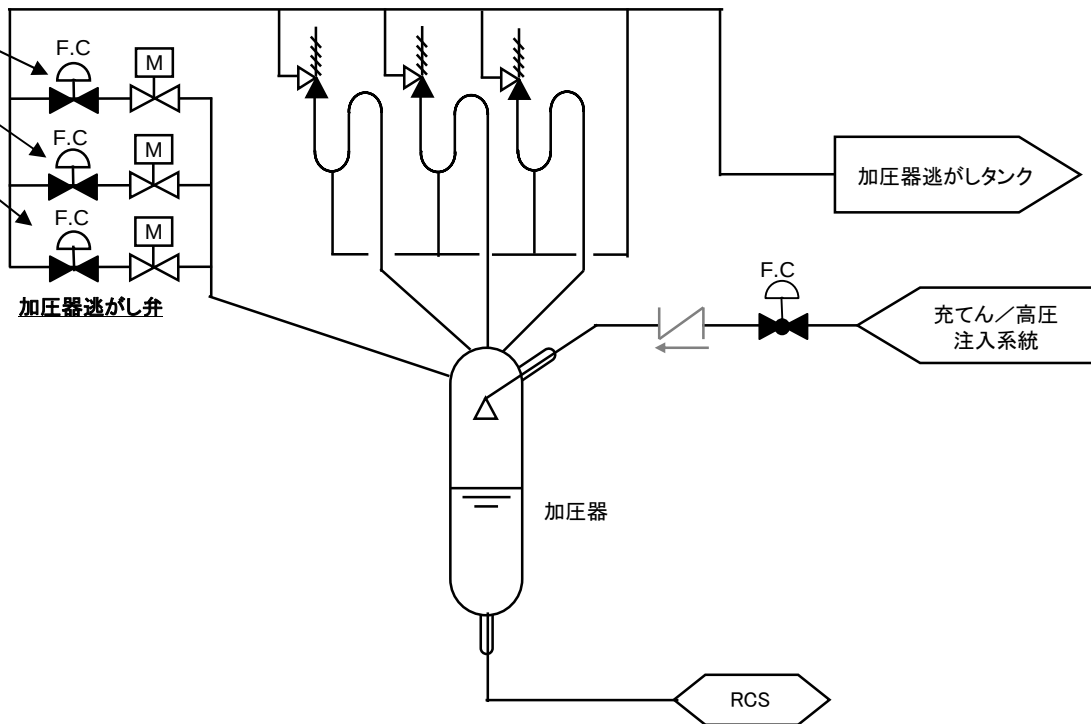
具体的な系統については、①～⑤は(21/26)、⑥⑦は(23/26)、⑧は(24/26)、⑨は(25/26)、⑩⑪は(26/26)に示す。

■: 炉心損傷直結起因事象
電動弁の機能損傷は炉心損傷直結起因事象の要因として考慮

各影響緩和機能の系統図(地震: 炉心損傷)

加圧器逃がし弁による熱放出(手動・中央制御室)(フロントライン系)

- ③-2: 125V DC電源(空気弁制御電磁弁動作)
⑧: 制御用空気系(加圧器逃がし弁(空気弁)開放)



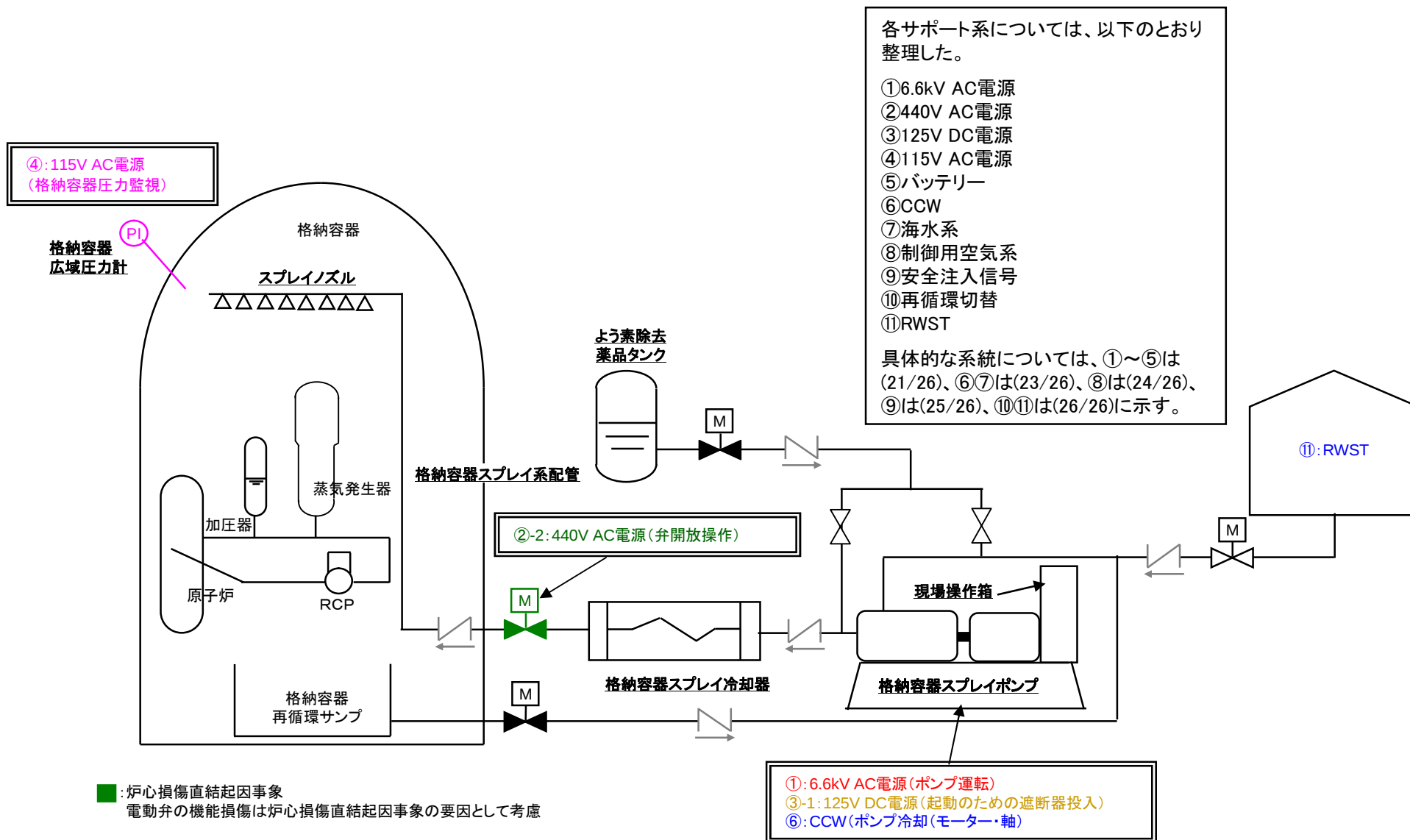
各サポート系については、以下のとおり整理した。

- ①6.6kV AC電源
- ②440V AC電源
- ③125V DC電源
- ④115V AC電源
- ⑤バッテリー
- ⑥CCW
- ⑦海水系
- ⑧制御用空気系
- ⑨安全注入信号
- ⑩再循環切替
- ⑪RWST

具体的な系統については、①～⑤は(21/26)、⑥⑦は(23/26)、⑧は(24/26)、⑨は(25/26)、⑩⑪は(26/26)に示す。

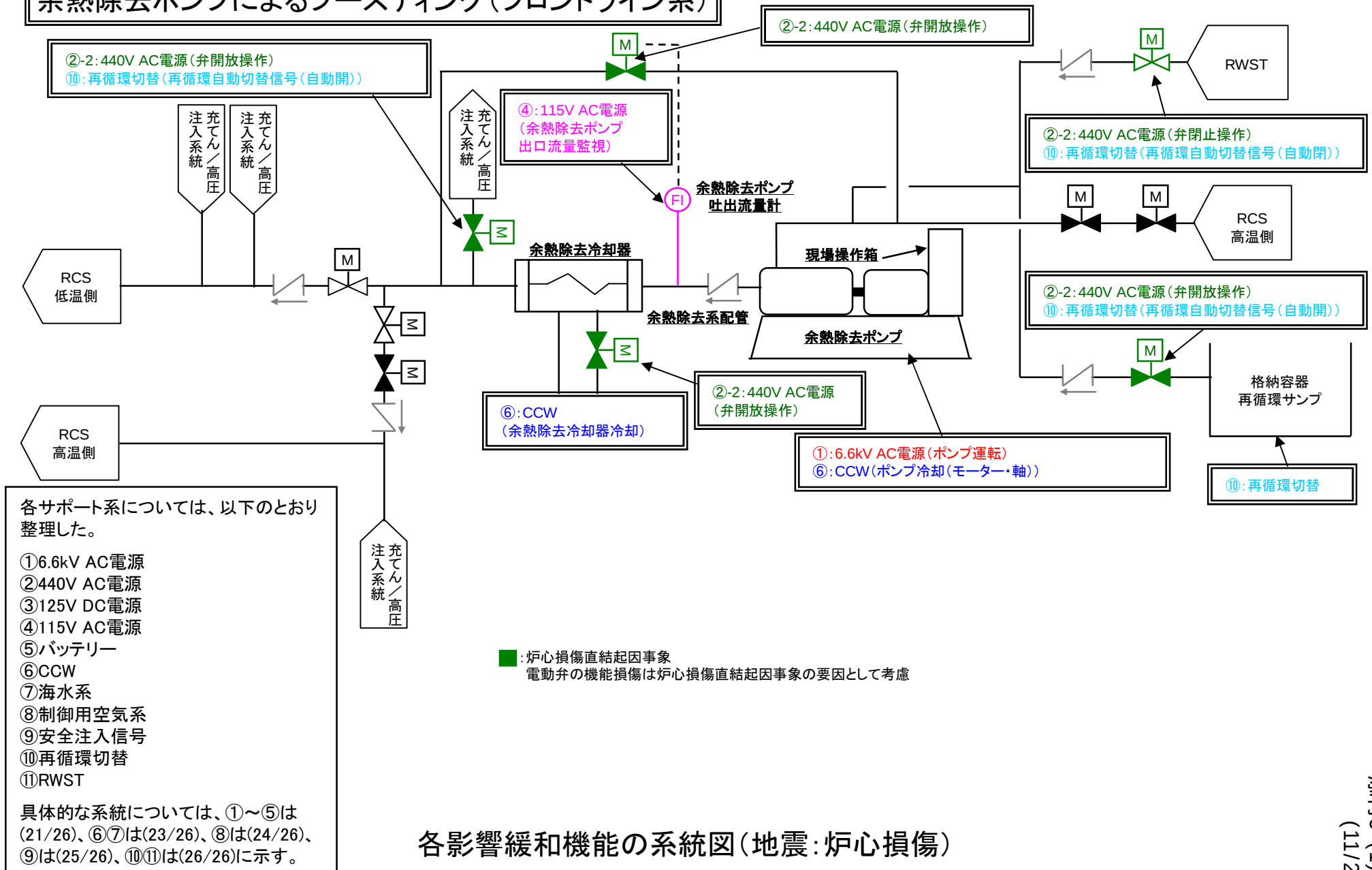
各影響緩和機能の系統図(地震:炉心損傷)

格納容器スプレイによる格納容器除熱(フロントライン系)



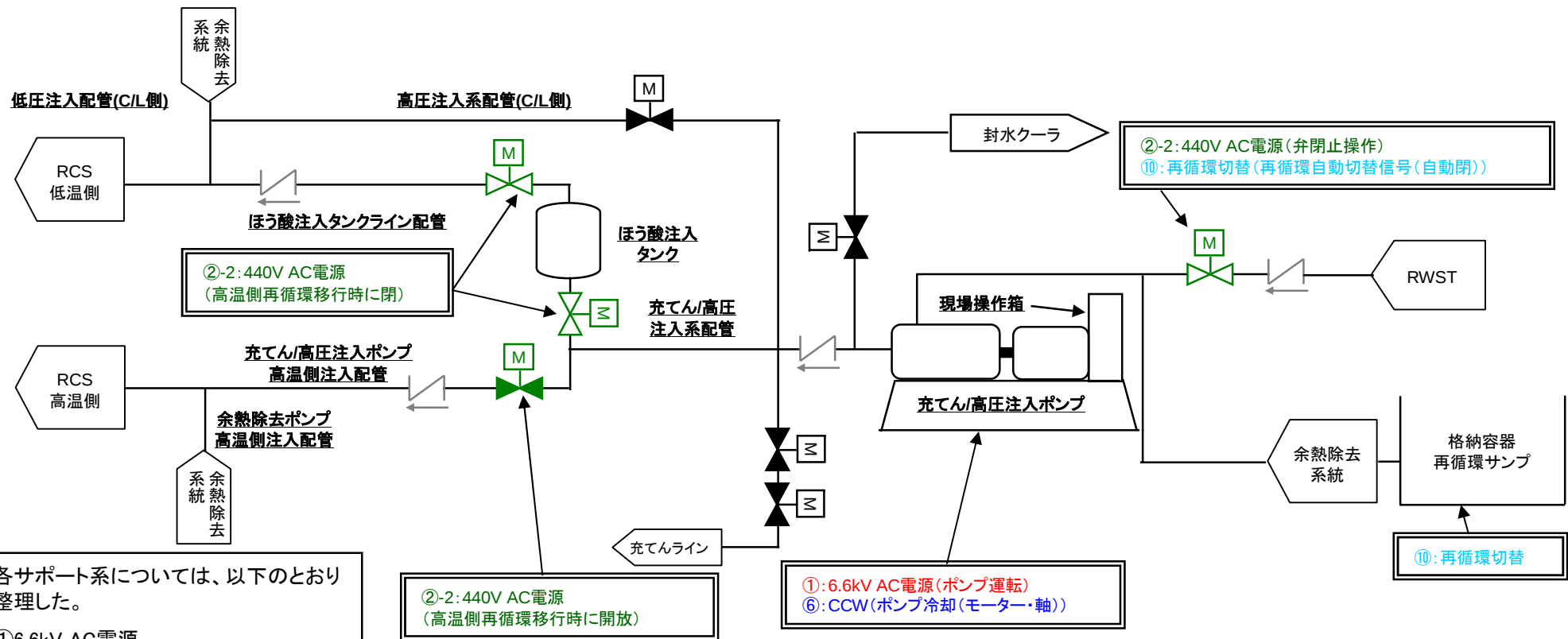
各影響緩和機能の系統図(地震:炉心損傷)

余熱除去ポンプによるブースティング(フロントライン系)



各影響緩和機能の系統図(地震: 炉心損傷)

高圧注入による再循環炉心冷却(フロントライン系)



各サポート系については、以下のとおり整理した。

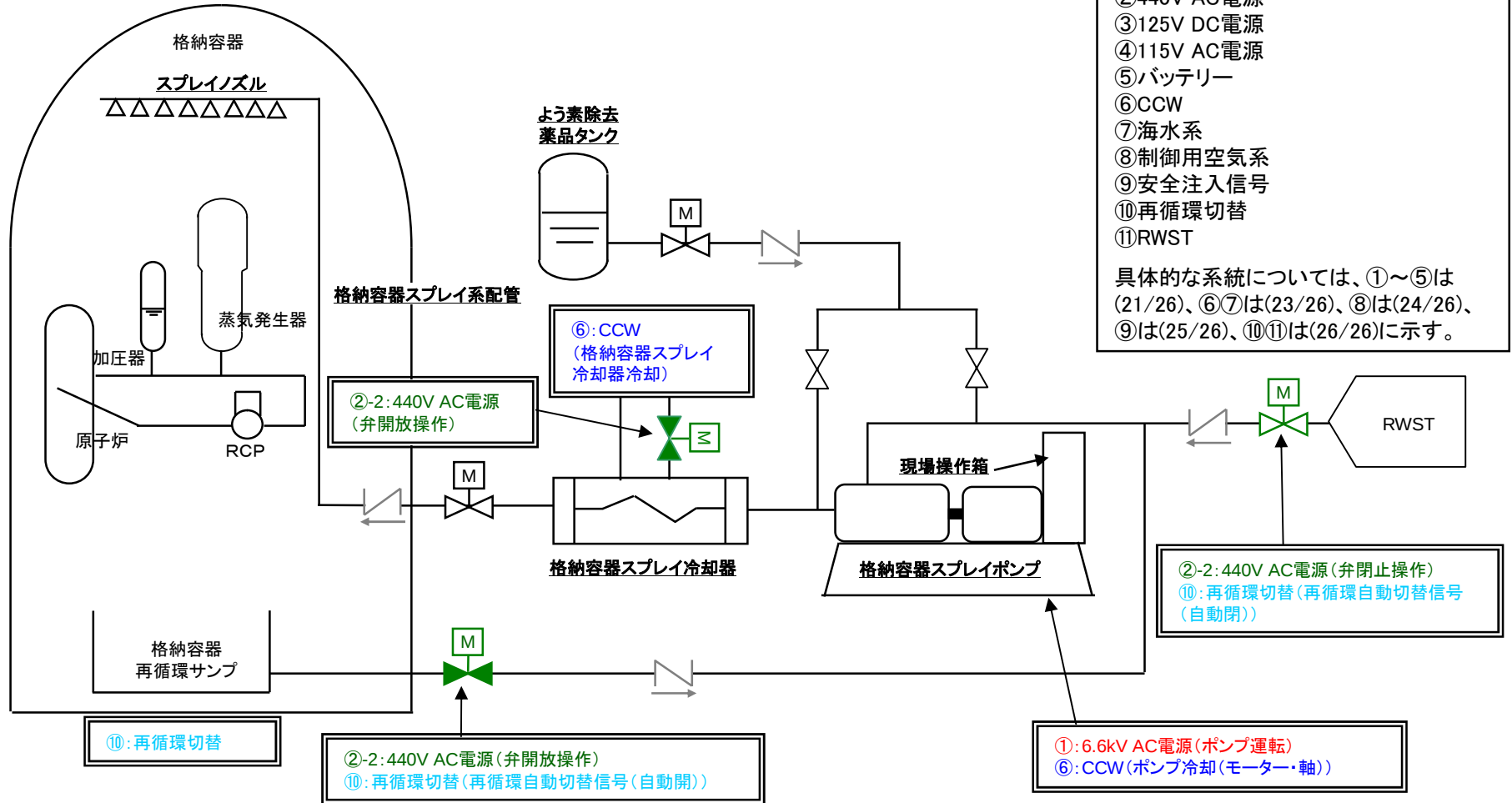
- ① 6.6kV AC電源
- ② 440V AC電源
- ③ 125V DC電源
- ④ 115V AC電源
- ⑤ バッテリー
- ⑥ CCW
- ⑦ 海水系
- ⑧ 制御用空気系
- ⑨ 安全注入信号
- ⑩ 再循環切替
- ⑪ RWST

具体的な系統については、①～⑤は(21/26)、⑥⑦は(23/26)、⑧は(24/26)、⑨は(25/26)、⑩⑪は(26/26)に示す。

■: 炉心損傷直結起因事象
電動弁の機能損傷は炉心損傷直結起因事象の要因として考慮

各影響緩和機能の系統図(地震: 炉心損傷)

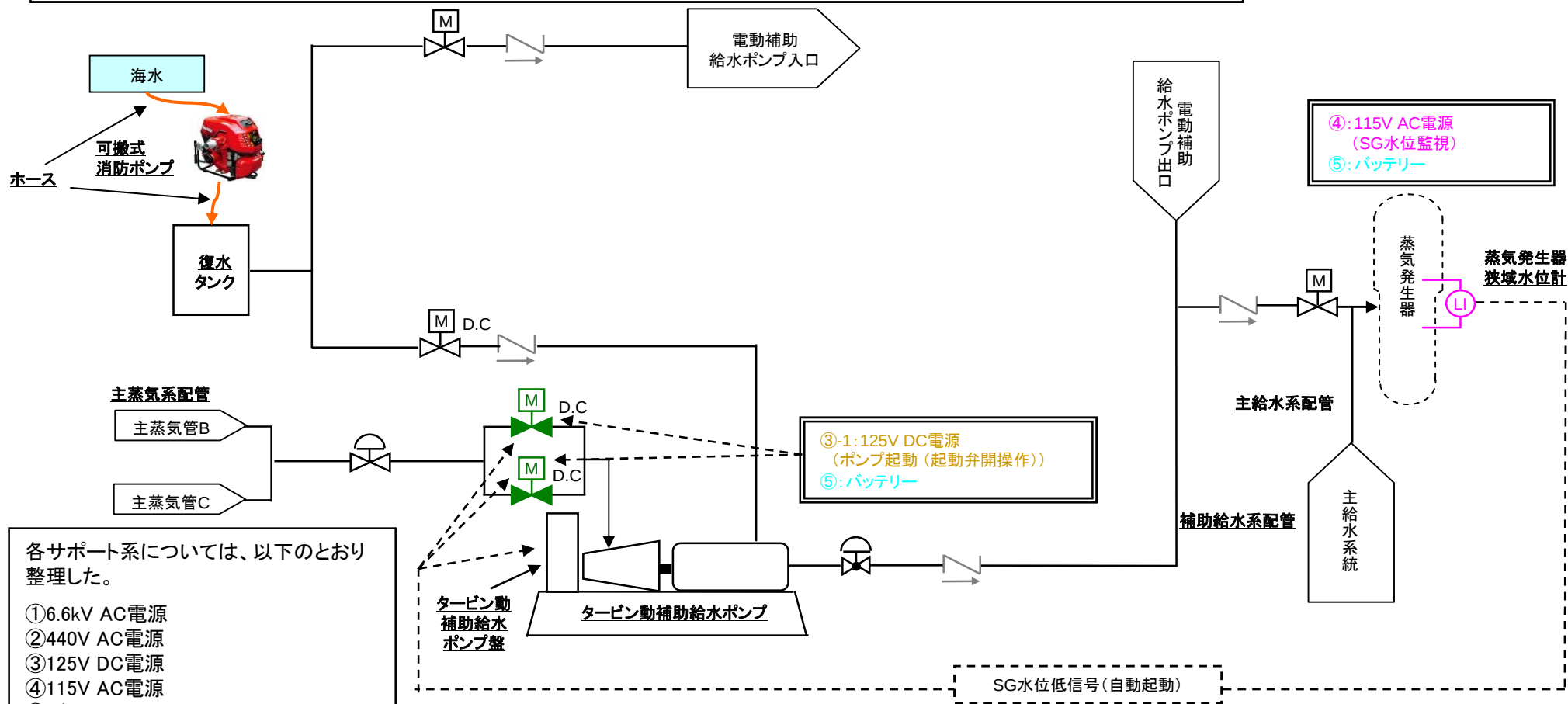
格納容器スプレイによる再循環格納容器冷却(フロントライン系)



■: 炉心損傷直結起因事象
電動弁の機能損傷は炉心損傷直結起因事象の要因として考慮

各影響緩和機能の系統図(地震: 炉心損傷)

補助給水による蒸気発生器への給水 (タービン動(消防ポンプによる復水タンクへの給水を含む))(フロントライン系)



各サポート系については、以下のとおり整理した。

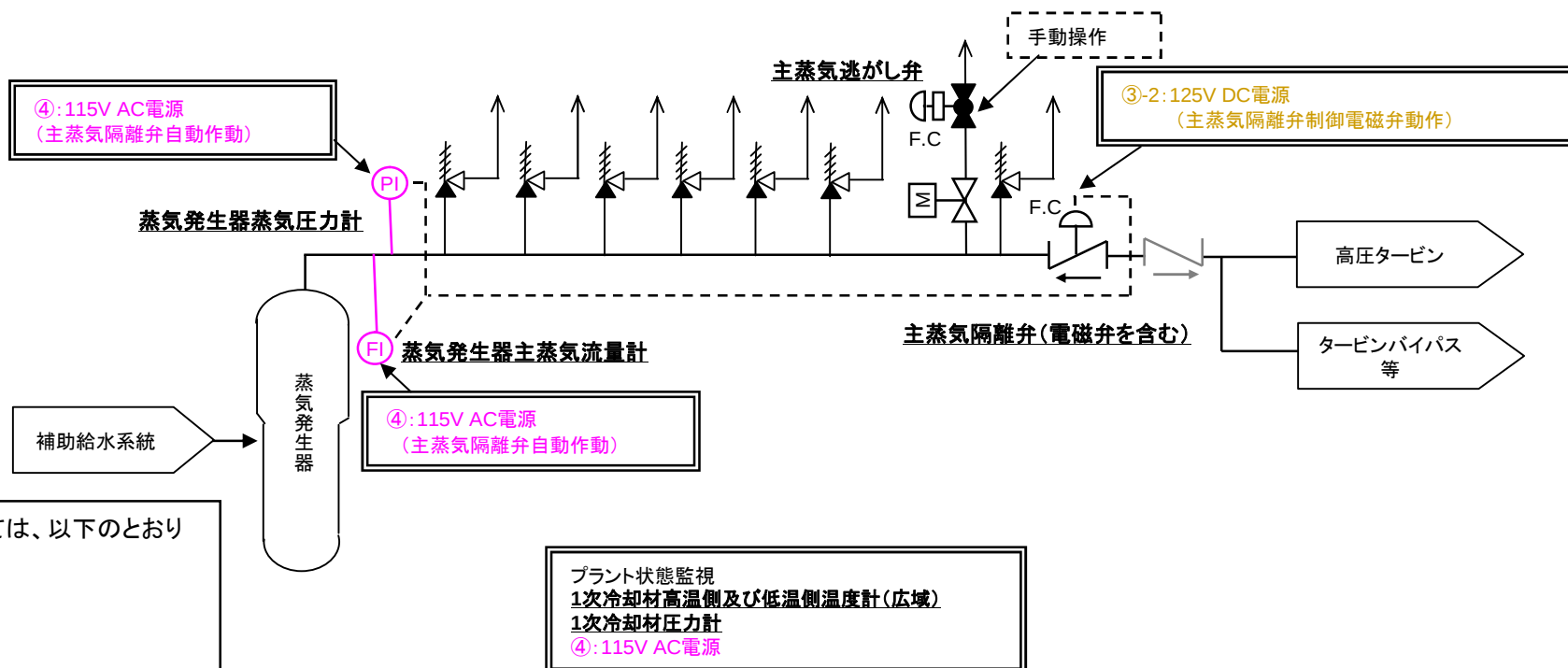
- ①6.6kV AC電源
- ②440V AC電源
- ③125V DC電源
- ④115V AC電源
- ⑤バッテリー
- ⑥CCW
- ⑦海水系
- ⑧制御用空気系
- ⑨安全注入信号
- ⑩再循環切替
- ⑪RWST

具体的な系統については、①～⑤は(21/26)、⑥⑦は(23/26)、⑧は(24/26)、⑨は(25/26)、⑩⑪は(26/26)に示す。

■: 炉心損傷直結起因事象
電動弁の機能損傷は炉心損傷直結起因事象の要因として考慮

各影響緩和機能の系統図(地震: 炉心損傷)

主蒸気逃がし弁による熱放出(手動・現場)(フロントライン系)



各サポート系については、以下のとおり整理した。

- ① 6.6kV AC電源
- ② 440V AC電源
- ③ 125V DC電源
- ④ 115V AC電源
- ⑤ バッテリー
- ⑥ CCW
- ⑦ 海水系
- ⑧ 制御用空気系
- ⑨ 安全注入信号
- ⑩ 再循環切替
- ⑪ RWST

具体的な系統については、①～⑤は(21/26)、⑥⑦は(23/26)、⑧は(24/26)、⑨は(25/26)、⑩⑪は(26/26)に示す。

各影響緩和機能の系統図(地震: 炉心損傷)

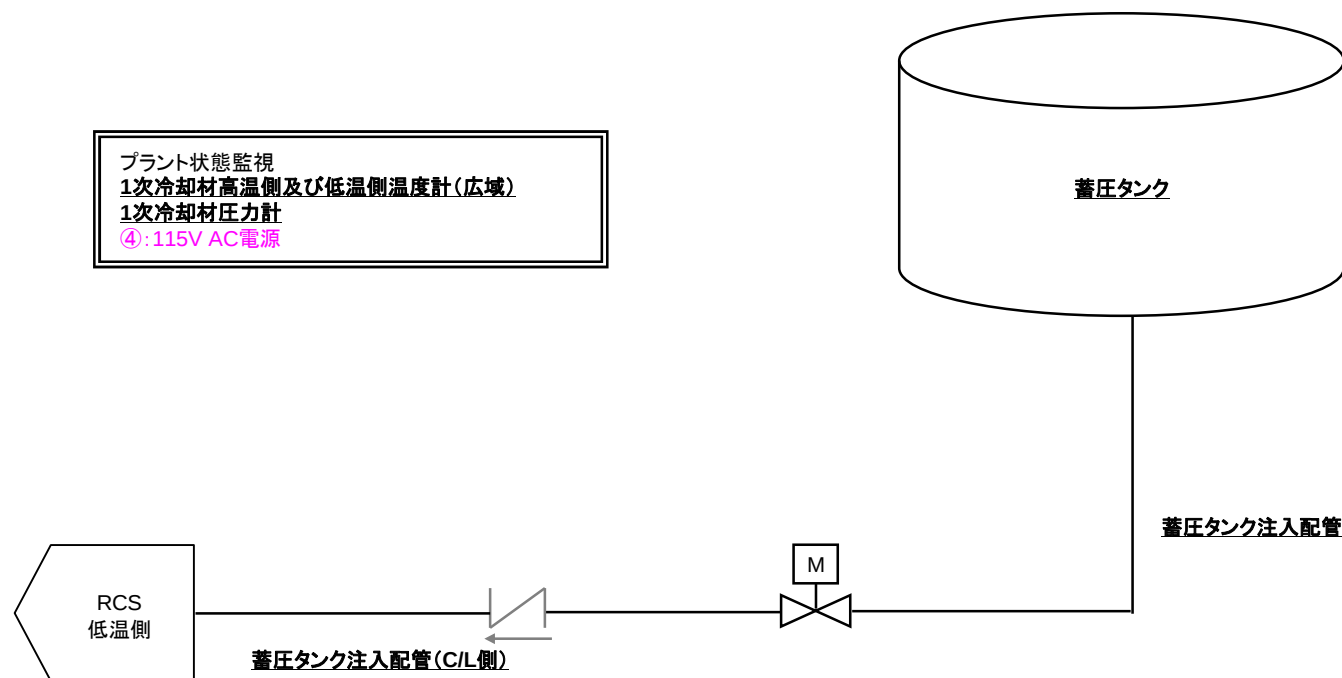
蓄圧注入によるほう酸水の給水(フロントライン系)

プラント状態監視
1次冷却材高温側及び低温側温度計(広域)
1次冷却材圧力計
④: 115V AC電源

各サポート系については、以下のとおり整理した。

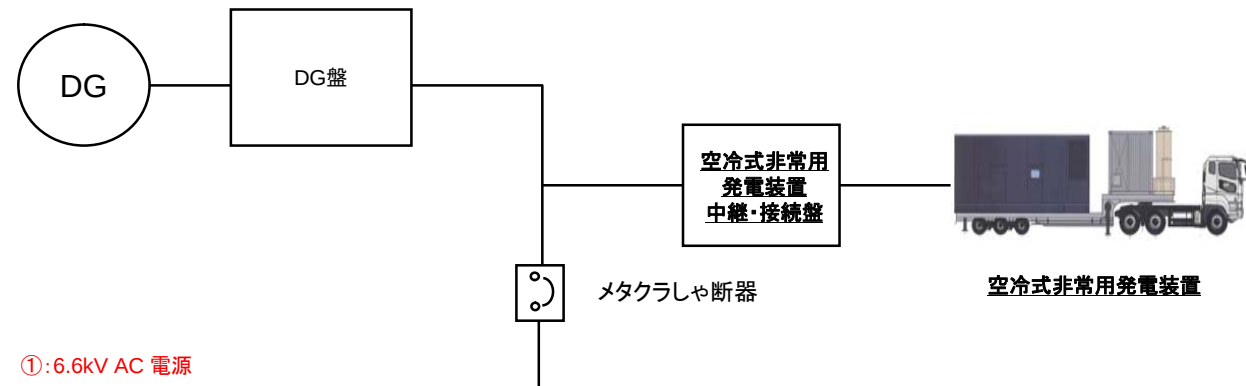
- ①6.6kV AC電源
- ②440V AC電源
- ③125V DC電源
- ④115V AC電源
- ⑤バッテリー
- ⑥CCW
- ⑦海水系
- ⑧制御用空気系
- ⑨安全注入信号
- ⑩再循環切替
- ⑪RWST

具体的な系統については、①～⑤は(21/26)、⑥⑦は(23/26)、⑧は(24/26)、⑨は(25/26)、⑩⑪は(26/26)に示す。



各影響緩和機能の系統図(地震:炉心損傷)

空冷式非常用発電装置からの給電(フロントライン系)

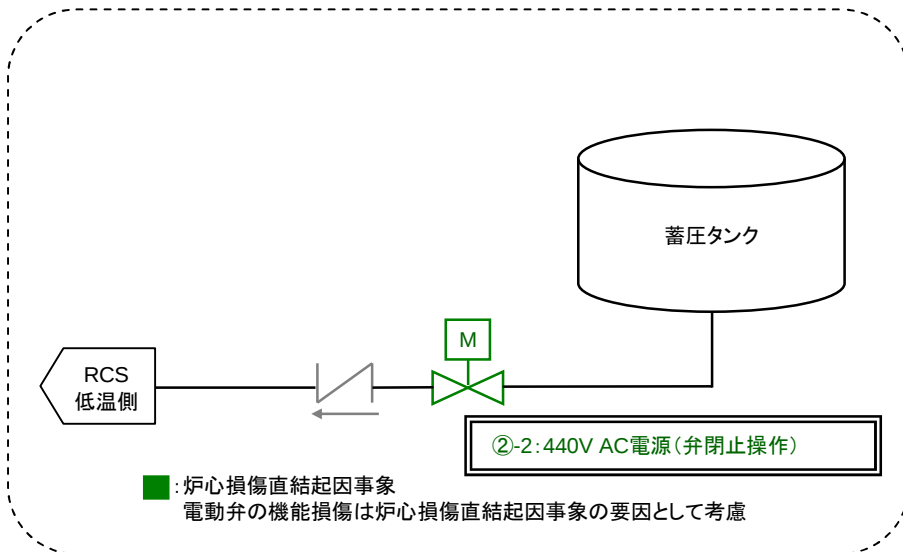


各サポート系については、以下のとおり整理した。

- ① 6.6kV AC電源
- ② 440V AC電源
- ③ 125V DC電源
- ④ 115V AC電源
- ⑤ バッテリー
- ⑥ CCW
- ⑦ 海水系
- ⑧ 制御用空気系
- ⑨ 安全注入信号
- ⑩ 再循環切替
- ⑪ RWST

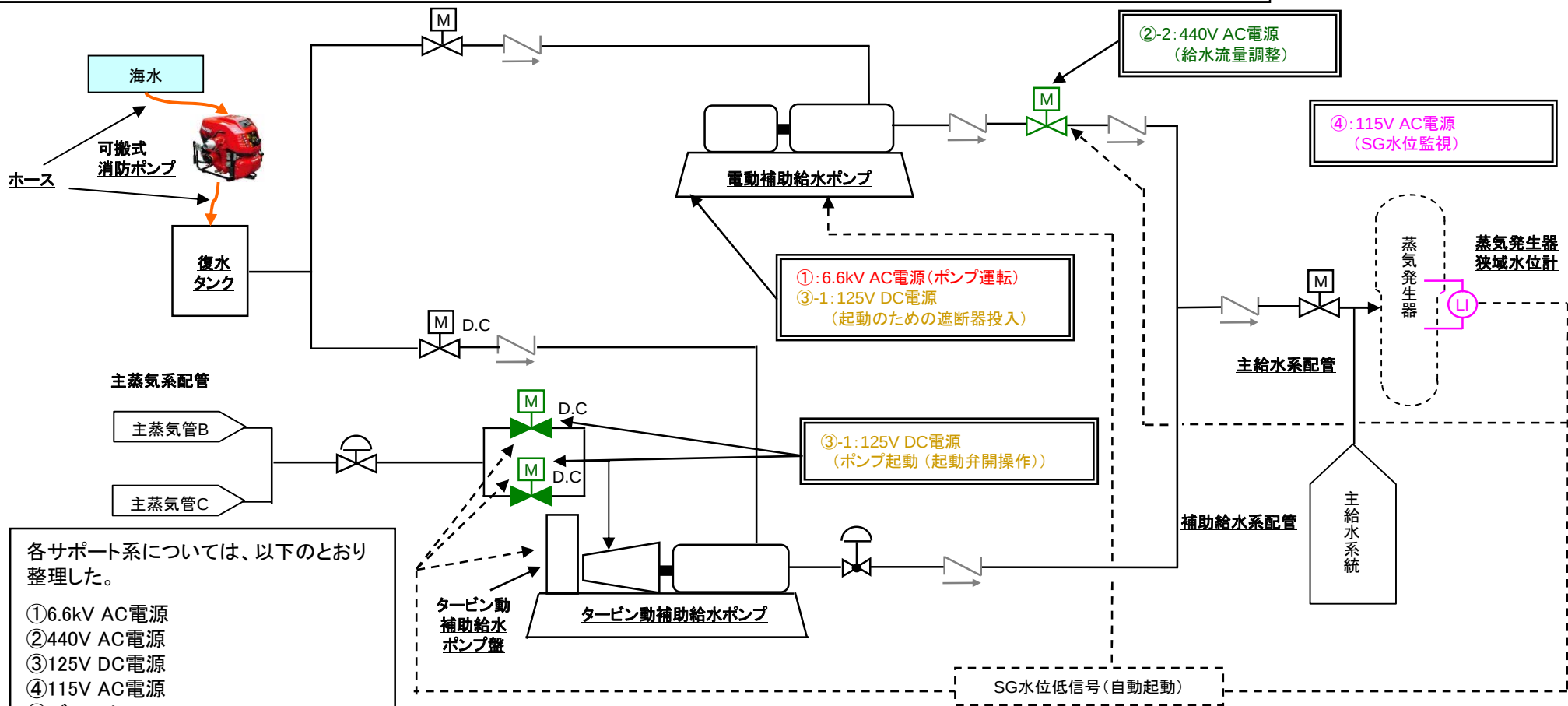
具体的な系統については、①～⑤は(21/26)、⑥⑦は(23/26)、⑧は(24/26)、⑨は(25/26)、⑩⑪は(26/26)に示す。

- ②-1、②-2: 440V AC電源
- ③-1、③-2: 125V DC電源
- ④: 115V AC電源



各影響緩和機能の系統図(地震: 炉心損傷)

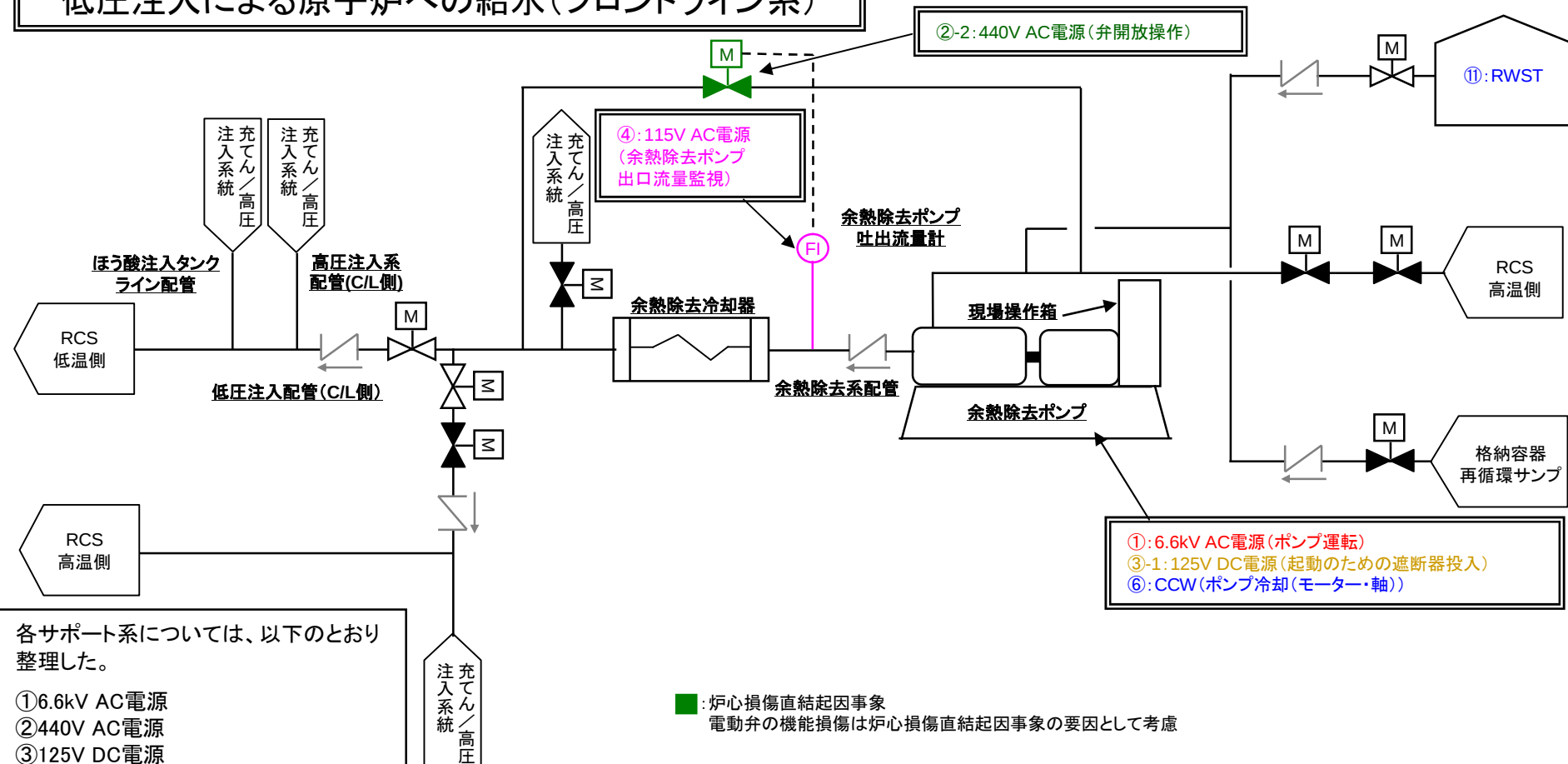
補助給水による蒸気発生器への給水(電動またはタービン動(消防ポンプによる復水タンクへの給水を含む))(フロントライン系)



■: 炉心損傷直結起因事象
電動弁の機能損傷は炉心損傷直結起因事象の要因として考慮

各影響緩和機能の系統図(地震: 炉心損傷)

低圧注入による原子炉への給水(フロントライン系)



各サポート系については、以下のとおり整理した。

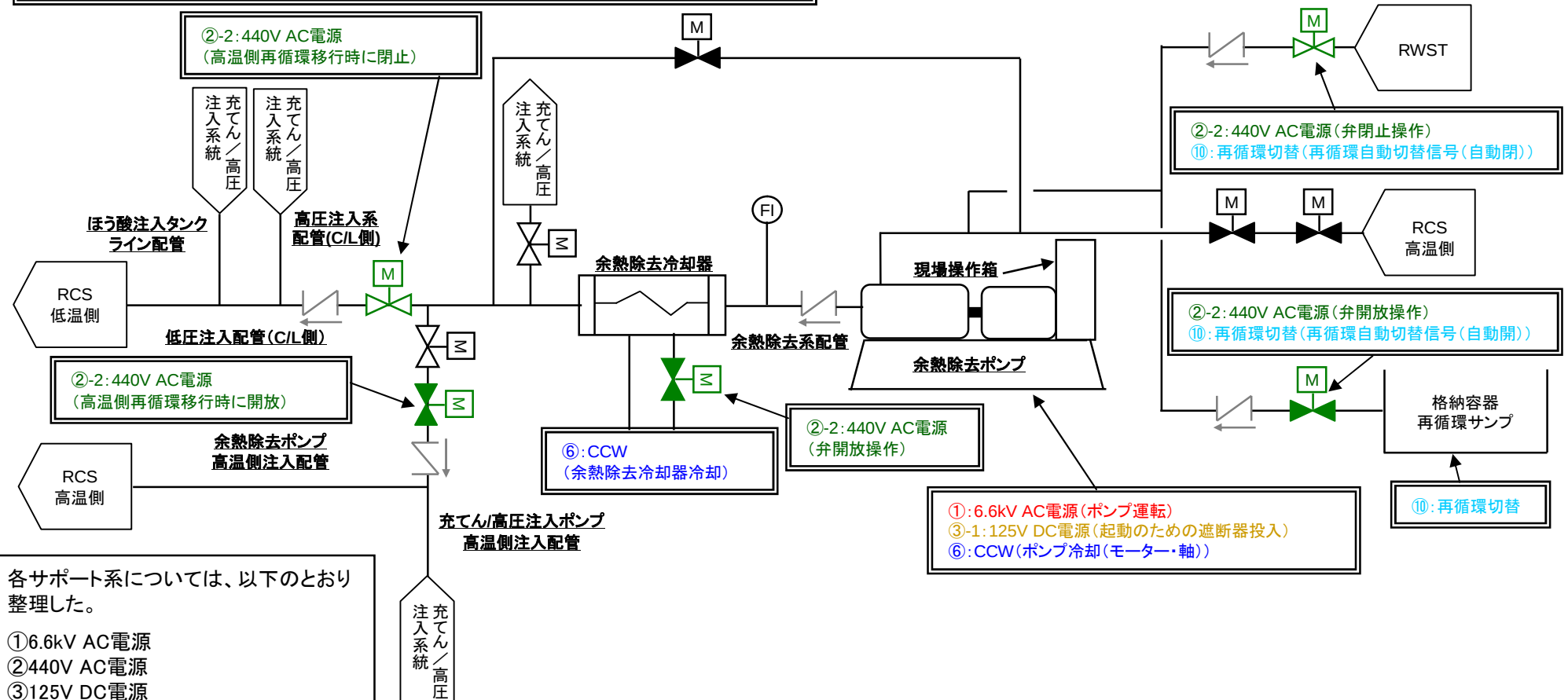
- ①6.6kV AC電源
- ②440V AC電源
- ③125V DC電源
- ④115V AC電源
- ⑤バッテリー
- ⑥CCW
- ⑦海水系
- ⑧制御用空気系
- ⑨安全注入信号
- ⑩再循環切替
- ⑪RWST

具体的な系統については、①～⑤は(21/26)、⑥⑦は(23/26)、⑧は(24/26)、⑨は(25/26)、⑩⑪は(26/26)に示す。

■: 炉心損傷直結起因事象
電動弁の機能損傷は炉心損傷直結起因事象の要因として考慮

各影響緩和機能の系統図(地震: 炉心損傷)

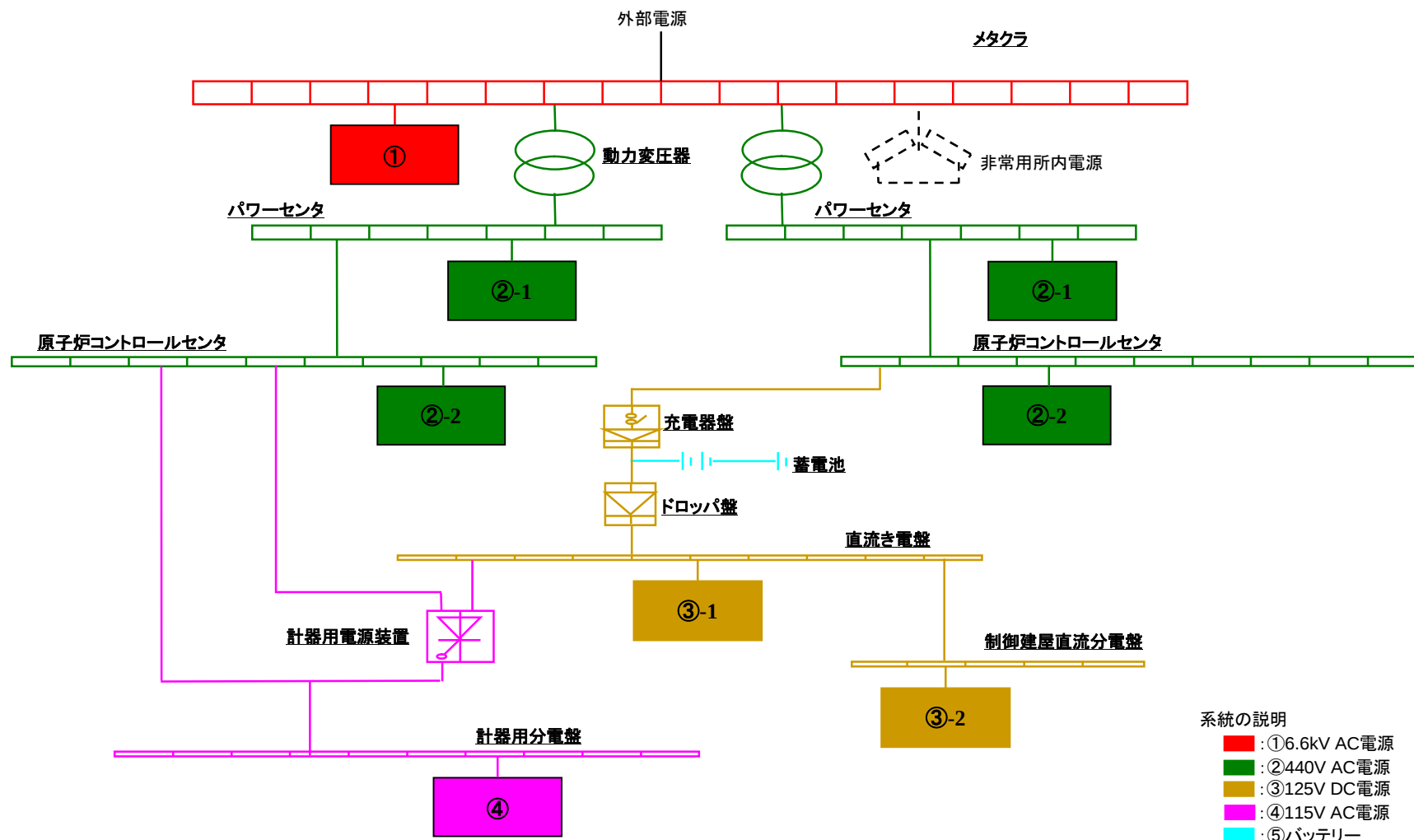
低圧注入による再循環炉心冷却(フロントライン系)



■: 炉心損傷直結起因事象
電動弁の機能損傷は炉心損傷直結起因事象の要因として考慮

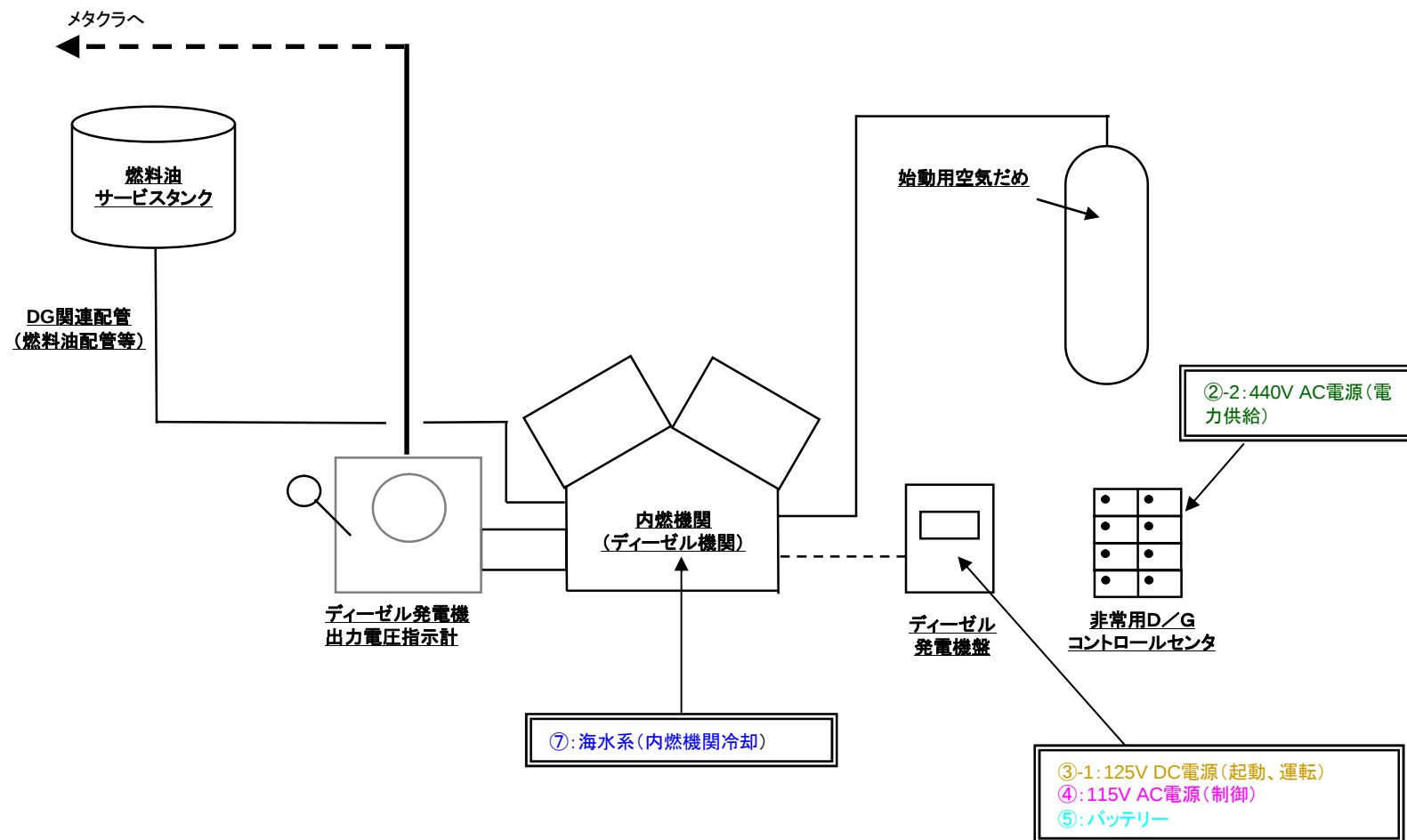
各影響緩和機能の系統図(地震: 炉心損傷)

- ①6.6kV AC電源、②440V AC電源、③125V DC電源、
④115V AC電源、⑤バッテリー（サポート系）



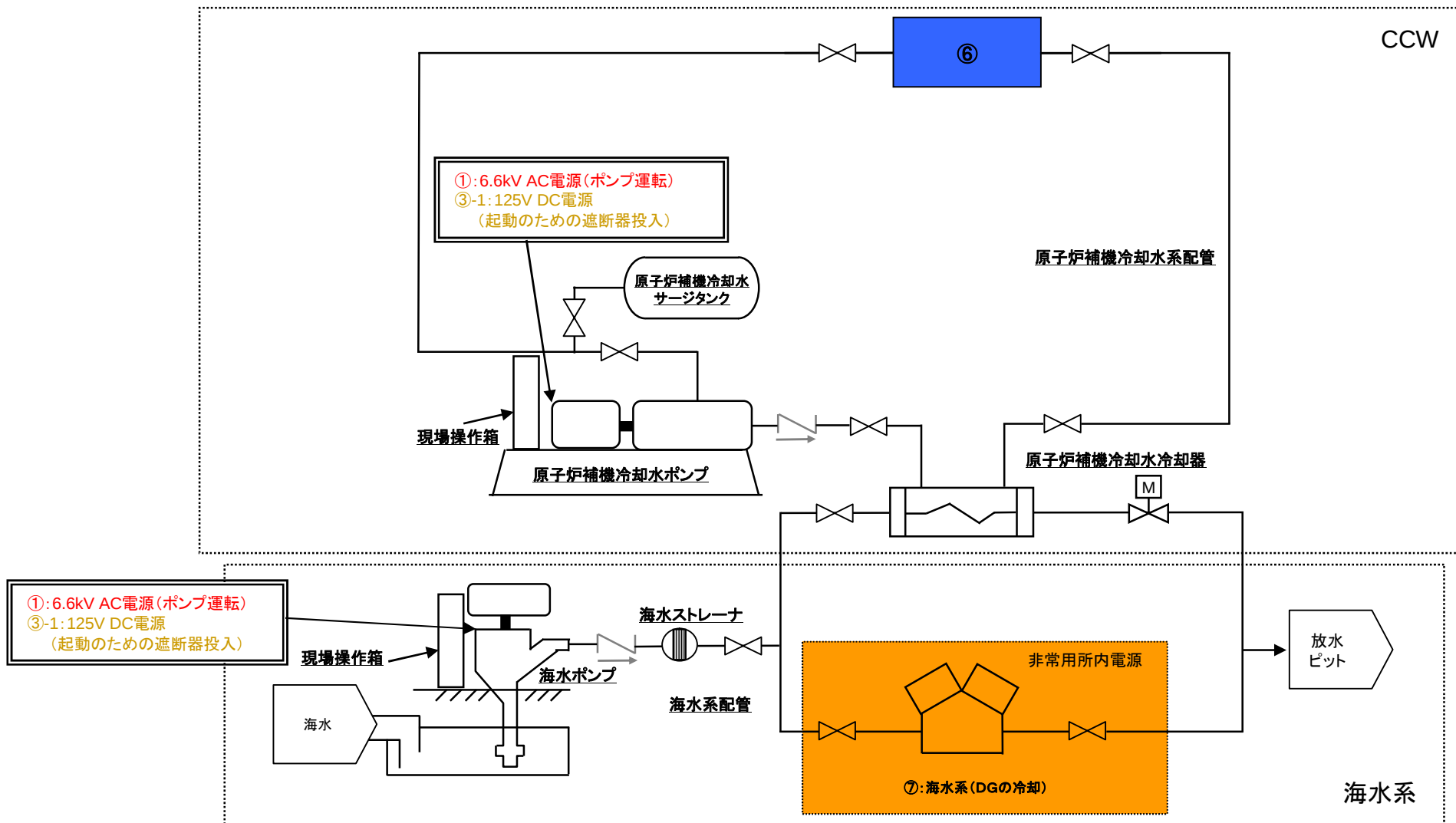
各影響緩和機能の系統図(地震:炉心損傷)

非常用所内電源（サポート系）



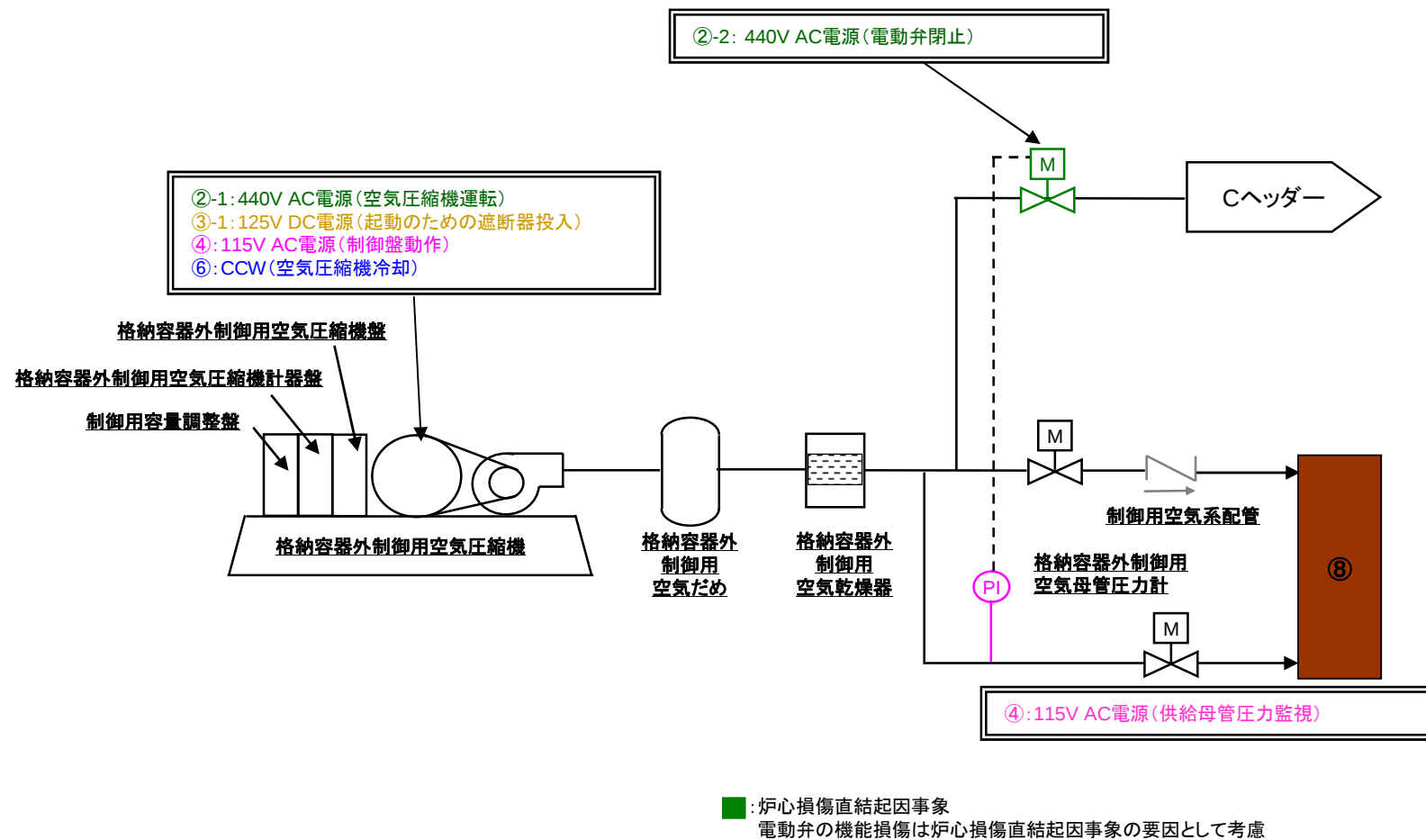
各影響緩和機能の系統図(地震:炉心損傷)

⑥CCW、⑦海水系(サポート系)



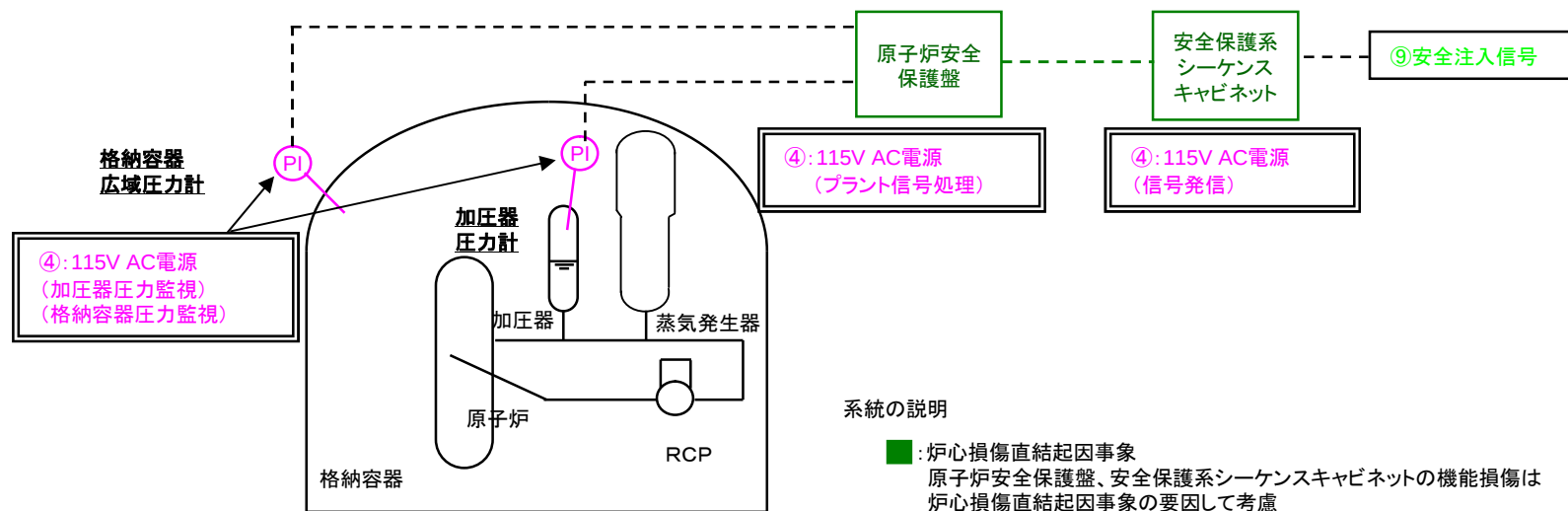
各影響緩和機能の系統図(地震:炉心損傷)

⑧制御用空気系(サポート系)



各影響緩和機能の系統図(地震:炉心損傷)

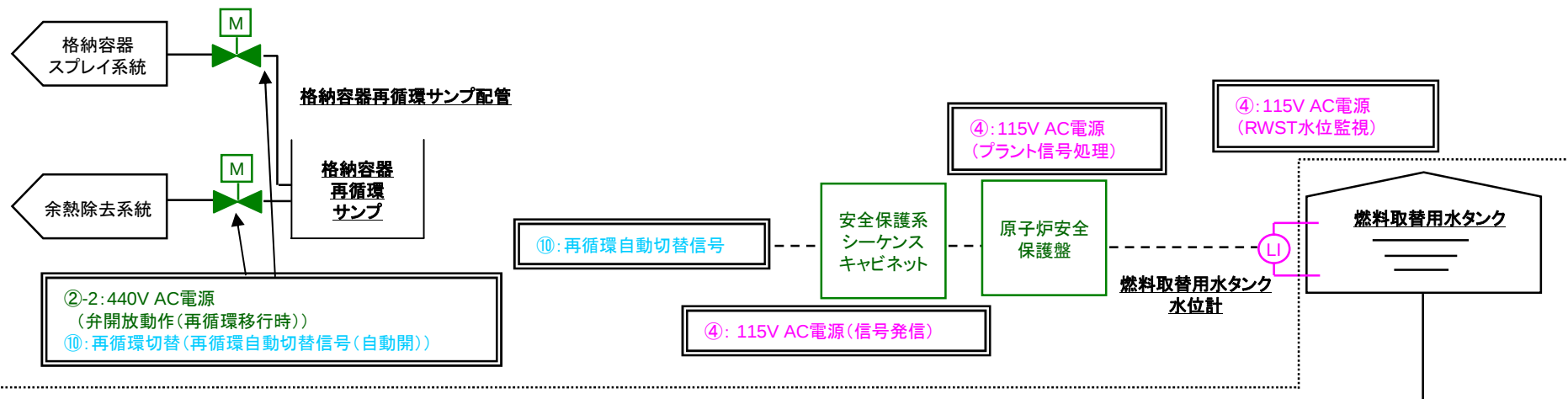
⑨安全注入信号(サポート系)



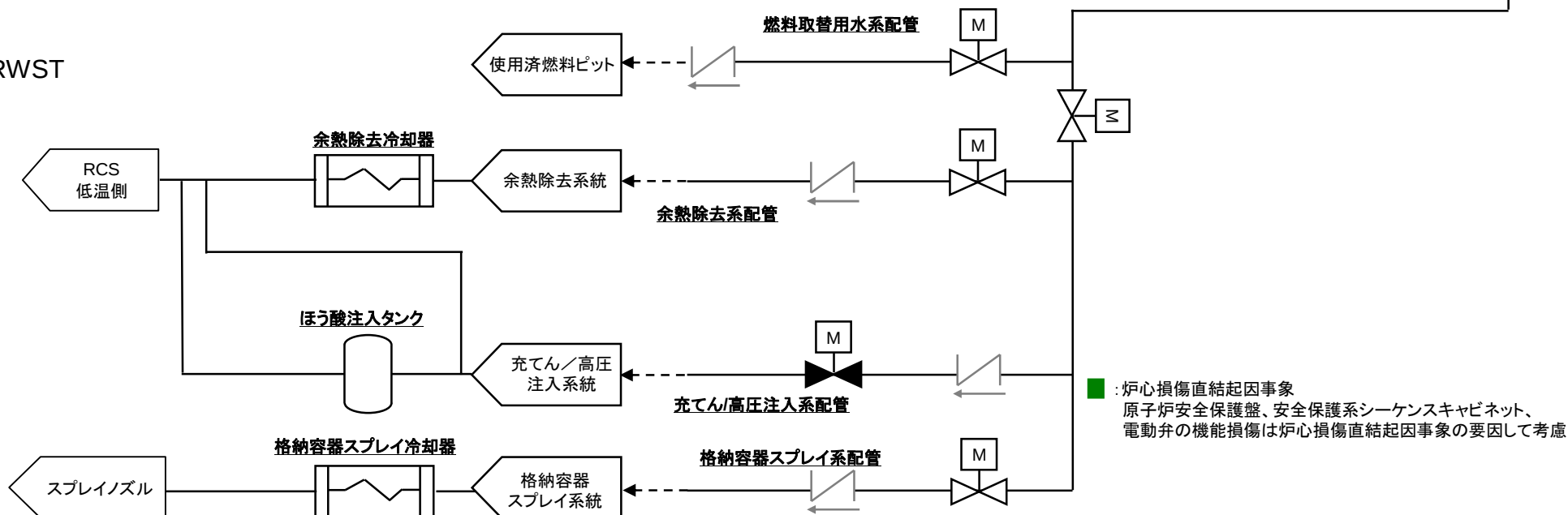
各影響緩和機能の系統図(地震:炉心損傷)

⑩再循環切替、⑪RWST(サポート系)

再循環切替



RWST



各影響緩和機能の系統図(地震:炉心損傷)

クリフエッジ評価において耐震裕度を算定しない設備について

以下の設備については、

地震により安全機能の喪失に至ることが極めて考えにくい

(2 . 支持構造物、 3 . クレーン、 4 . 原子炉トリップ遮断器)

安全機能を失うまでの裕度という観点で耐震裕度が相当あり、少なくとも既往の知見等から 2 倍以上の裕度が存在することが明らかである

(1 . 制御棒挿入性および関連する設備、 2 . 支持構造物)

の理由により、今回のクリフエッジ評価において、結果に影響を及ぼすことはないことから、裕度評価対象外とした。

1 . 制御棒挿入性および関連する設備

制御棒挿入維持の機能に関しては多度津の大型振動台の加振限界である 3.3S₂ までの実験を実施し、それら実験結果に基づく実機条件での解析を行い、制御棒が全挿入されること、挿入経路の各設備 (制御棒駆動装置、制御棒クラスタ案内管、燃料集合体) について、構造強度面での耐力評価で余裕の非常に大きいことが示されている。(以下 (1) を参照)

また、制御棒挿入時間の評価基準値は、安全解析の計算条件に用いている制御棒挿入時間を流用しているものであるが、安全解析における判断基準 (燃料棒被覆管最高温度、最小 DNBR) に達するまで制御棒挿入が遅れると仮定した場合の解析評価により、相当の余裕があることが、原子力安全委員会原子炉安全専門審査会 (以下「原安委 炉安審」という。) における検討で示されている。(以下 (2) を参照)

以上より、地震による制御棒挿入時間の遅れが、クリフエッジ特定の評価に影響を及ぼすことは極めて考えにくいことから、制御棒挿入時間評価ならびに挿入経路設備の構造強度評価については、クリフエッジ評価における裕度評価対象外とした。なお、制御棒駆動装置に関しては、制御棒挿入経路であると同時に一次冷却材圧力バウンダリとしての機能も持つことから、裕度評価対象に含めることとした。また、燃料集合体については崩壊熱除去可能な形状の維持の観点についても考慮が必要であるので、(3) にまとめている。

(1) JNES 機器耐力試験

平成 17 年度 JNES 機器耐力試験 (PWR 制御棒挿入試験) において、大規模加振条件下で制御棒挿入試験を実施しており、実機サイトの S₂ 包絡波 (473gal) の 3.3 倍までの条件でも制御棒が正常に挿入され、挿入経路の構

造健全性についても以下のとおり問題ないことが確認されている。

a. 燃料集合体

実機条件での解析結果、案内シンブルは $6.0S_2$ で許容値に至ると見積もられた。

b. 制御棒駆動装置

実機条件での解析結果、 $5.7S_2$ で許容値に至ると見積もられた。

c. 制御棒クラスタ案内管

実機条件での解析結果、 $45.1S_2$ で許容値に至ると見積もられた。

(2) 原安委 炉安審における制御棒挿入にかかる安全余裕の検討

原安委 炉安審の「制御棒挿入に係る安全余裕検討部会」において、制御棒挿入による原子炉緊急停止に係る安全余裕明確化の検討が行われている。検討では制御棒挿入時間を変えた感度解析により余裕を評価しており、安全解析上の制限値（燃料棒被覆管最高温度 1200 、最小 DNBR 1.45 ）に到達するのは 2 ループプラント（安全解析の想定条件 1.8 秒）は 9 秒程度、3 ループ型プラント（同 1.8 秒）は 7 秒程度、4 ループ型プラント（同 2.2 秒）は 11 秒程度であった。

(3) 燃料集合体の崩壊熱除去可能な形状維持機能について

燃料集合体については崩壊熱除去可能な形状維持を確保する必要があるが、以下の理由により崩壊熱除去可能な形状を維持できると考えられる。

- ・燃料集合体は、鉛直方向は上部炉心板及び下部炉心板により囲まれ、水平方向はバッフル板により囲まれているため、炉心支持構造物の機能が維持されれば冷却性は基本的に確保される。
- ・燃料集合体の上下部ノズル、制御棒案内シンブル、支持格子等の部材に塑性変形等が生じた場合でも、局所的に冷却材流路断面積が小さくなる可能性はあるが、炉内の流路面積の合計は変わらないため、炉心全体での流路は確保される。
- ・燃料被覆管の基準地震動 S_s における強度評価の結果、許容値に対して 2 倍以上の裕度を有している。ここで、燃料被覆管の強度評価の許容値としては保守的な制限として、耐力を用いているため、破断までの余裕はさらに大きくなり、燃料被覆管破断に伴う流路閉塞による崩壊熱除去可能な形状維持が損なわれることは、極めて考え難い。

2．支持構造物

支持構造物が大きな地震荷重を受ける際には、自らの変形によるエネルギー吸収が生じること、他の支持構造物との荷重分担が生じることから、損傷が本体の安全機能喪失に至るまでには大きな余裕がある。この効果については過去の実証試験でも確認されている。

また、支持構造物は地震荷重に対して、本体の地震揺れに伴う荷重を受ける機能を持つものであり、その変形等が本体の安全機能喪失に直接結びつくものではない。さらに、支持構造物は全体の数が非常に多く、安全機能を失うまでの耐震裕度を個別に定量的に算定することが困難である。

以上のことを踏まえ、過去の実証試験や個別評価等で上記に示す耐震裕度が確認されているものについては、クリフエッジ評価の対象外とした。

具体的に対象外となる支持構造物は、重機器支持構造物、配管支持構造物、炉心支持構造物のうち上部炉心支持柱および下部炉心支持柱の取付ボルト類、炉内構造物のうちラジアルサポート、タンク・熱交換器等静的機器の基礎ボルト、使用済燃料ラックである。

3．クレーンの落下による波及的影響

クレーン（ポークレーン、補助建屋クレーン、使用済燃料ピットクレーン）に関しては、耐震バックチェックにおいて、落下による波及的影響防止の観点で転倒（浮上り）防止装置の健全性評価を実施している。しかし、地震時 PSA 評価等の考え方にに基づき転倒・浮上りによる落下が極めて考え難い構造であることから、クリフエッジ評価における考慮対象外とした。

4．原子炉トリップ遮断器

原子炉トリップ遮断器はトリップピンとトリップラッチの係合により遮断器投入状態を保持している。

平成 15 年度 JNES 機器耐力試験による遮断器の加振試験では、設計用基準地震動を上回る条件で、トリップボタンが働く、または係合が外れたことによる、遮断器の開放事象が発生したが、いずれも安全側な動作であり問題となるものではないことが確認されている。また、同試験では誤トリップ事象発生 の 1 . 3 倍程度の値まで加振試験を実施しており、この加速度においても、遮断器の開放阻害の原因となる部品の変形・損傷等がないことが確認されており、十分な構造強度を有していることが確認されている。

これは、原子炉トリップ遮断器を開閉する際に生じる衝撃力（100G 程度）より地震動による発生力（2～3G）が十分小さいことから説明できる。

以上のことから、原子炉トリップ遮断器は耐震許容値を超えた場合の挙動と

しては、操作機構部が損傷することなく、投入状態を保持できなくなることにより開放する、すなわち安全側に動作することから、クリフエッジ評価における考慮対象外とした。

各影響緩和機能の耐震裕度評価結果一覧（地震：炉心損傷）（外部電源喪失）

a. 原子炉停止

	設備		設置 場所	耐震 クラス	損傷 モード	単位	評価値 (a)	許容値 (b)	裕度 (b/a)
フロントライン系	制御用地震計		A/B	S	機能損傷	G	0.42	1.00	2.38
サポート系	125V DC 電源 (バッテリーからの給電であるので充電器盤は不要)	直流き電盤	A/B	S	構造損傷	MPa	138	279	2.02
		制御建屋直流分電盤	A/B	S	機能損傷	G	1.65	8.00	4.84
		ドロツパ盤	A/B	S	機能損傷	G	0.49	1.00	2.04
	115V AC 電源	計器用電源装置	A/B	S	機能損傷	G	1.31	12.00	9.16
		計器用分電盤	A/B	S	機能損傷	G	0.65	3.00	4.61
	バッテリー	蓄電池	A/B	S	構造損傷	MPa	134	279	2.08

b. 非常用所内電源からの給電

	設備		設置 場所	耐震 クラス	損傷 モード	単位	評価値 (a)	許容値 (b)	裕度 (b/a)
フロントライン系	非常用 D / G コントロールセンタ		A/B	S	機能損傷	G	3.15	7.10	2.25
	内燃機関（ディーゼル機関）		A/B	S	機能損傷	G	0.69	1.7	2.46
	ディーゼル発電機盤		A/B	S	機能損傷	G	0.47	1.30	2.76
	燃料油サービスタンク		A/B	S	構造損傷	MPa	10	240	24.00
	D G 関連配管（燃料油配管等）		A/B	S	構造損傷	MPa	162	401	2.47
	始動用空気だめ		A/B	S	構造損傷	MPa	94	267	2.84
	ディーゼル発電機出力電圧指示計		A/B	S	機能損傷	G	1.62	15.80	9.75
サポート系	6.6kV AC 電源	メタクラ	A/B	S	機能損傷	G	0.62	1.10	1.77
	440V AC 電源	パワーセンタ	A/B	S	機能損傷	G	0.62	1.10	1.77
		原子炉コントロールセンタ	A/B	S	機能損傷	G	0.75	3.00	4.00
		動力変圧器	A/B	S	構造損傷	MPa	12	210	17.50
	125V DC 電源	直流き電盤	A/B	S	構造損傷	MPa	138	279	2.02
		制御建屋直流分電盤	A/B	S	機能損傷	G	1.65	8.00	4.84
		充電器盤	A/B	S	機能損傷	G	0.49	1.00	2.04
		ドロップ盤	A/B	S	機能損傷	G	0.49	1.00	2.04

	設備		設置 場所	耐震 クラス	損傷 モード	単位	評価値 (a)	許容値 (b)	裕度 (b/a)
サ ポ ー ト 系	115V AC 電源	計器用電源装置	A/B	S	機能損傷	G	1.31	12.00	9.16
		計器用分電盤	A/B	S	機能損傷	G	0.65	3.00	4.61
	バッテリー	蓄電池	A/B	S	構造損傷	MPa	134	279	2.08
	海水系	海水系配管	屋外 A/B	S	構造損傷	MPa	162	401	2.47
		海水ポンプ	屋外	S	構造損傷	MPa	88	180	2.04
		海水ポンプ現場操作箱	屋外	S	機能損傷	G	1.73	9.90	5.72
		海水ストレーナ	屋外	S	構造損傷	MPa	216	354	1.63

c. 補助給水による蒸気発生器への給水（電動）

	設備		設置 場所	耐震 クラス	損傷 モード	単位	評価値 (a)	許容値 (b)	裕度 (b/a)
フロントライン系	復水タンク		屋外	S	構造損傷	MPa	123	240	1.95
	蒸気発生器狭域水位計		C/V	S	機能損傷	G	0.46	2.37	5.15
	電動補助給水ポンプ		A/B	S	機能損傷	G	0.58	1.4	2.41
	補助給水系配管		A/B E/B	S	構造損傷	MPa	162	401	2.47
	主給水系配管		E/B C/V	S	構造損傷	MPa	164	380	2.31
サポート系	6.6kV AC 電源	メタクラ	A/B	S	機能損傷	G	0.62	1.10	1.77
	440V AC 電源	パワーセンタ	A/B	S	機能損傷	G	0.62	1.10	1.77
		原子炉コントロールセンタ	A/B	S	機能損傷	G	0.75	3.00	4.00
		動力変圧器	A/B	S	構造損傷	MPa	12	210	17.50
	125V DC 電源	直流き電盤	A/B	S	構造損傷	MPa	138	279	2.02
		制御建屋直流分電盤	A/B	S	機能損傷	G	1.65	8.00	4.84
		充電器盤	A/B	S	機能損傷	G	0.49	1.00	2.04
		ドロップ盤	A/B	S	機能損傷	G	0.49	1.00	2.04

	設備		設置 場所	耐震 クラス	損傷 モード	単位	評価値 (a)	許容値 (b)	裕度 (b/a)
サ ポ ー ト 系	115V AC 電源	計器用電源装置	A/B	S	機能損傷	G	1.31	12.00	9.16
		計器用分電盤	A/B	S	機能損傷	G	0.65	3.00	4.61
	バッテリー	蓄電池	A/B	S	構造損傷	MPa	134	279	2.08
	非常用所内電源	非常用 D / G コントロールセンタ	A/B	S	機能損傷	G	3.15	7.10	2.25
		内燃機関（ディーゼル機関）	A/B	S	機能損傷	G	0.69	1.7	2.46
		ディーゼル発電機盤	A/B	S	機能損傷	G	0.47	1.30	2.76
		燃料油サービスタンク	A/B	S	構造損傷	MPa	10	240	24.00
		D G 関連配管（燃料油配管等）	A/B	S	構造損傷	MPa	162	401	2.47
		始動用空気だめ	A/B	S	構造損傷	MPa	94	267	2.84
		ディーゼル発電機出力電圧指示計	A/B	S	機能損傷	G	1.62	15.80	9.75
	海水系	海水系配管	屋外 A/B	S	構造損傷	MPa	162	401	2.47
		海水ポンプ	屋外	S	構造損傷	MPa	88	180	2.04
		海水ポンプ現場操作箱	屋外	S	機能損傷	G	1.73	9.90	5.72
		海水ストレーナ	屋外	S	構造損傷	MPa	216	354	1.63

d. 補助給水による蒸気発生器への給水（タービン動）

	設備		設置 場所	耐震 クラス	損傷 モード	単位	評価値 (a)	許容値 (b)	裕度 (b/a)
フロントライン系	復水タンク		屋外	S	構造損傷	MPa	123	240	1.95
	蒸気発生器狭域水位計		C/V	S	機能損傷	G	0.46	2.37	5.15
	タービン動補助給水ポンプ盤		A/B	S	機能損傷	G	0.48	3.00	6.25
	タービン動補助給水ポンプ		A/B	S	構造損傷	MPa	27	148	5.48
	補助給水系配管		A/B E/B	S	構造損傷	MPa	162	401	2.47
	主給水系配管		E/B C/V	S	構造損傷	MPa	164	380	2.31
	主蒸気系配管		A/B E/B C/V	S	構造損傷	MPa	182	410	2.25
サポート系	6.6kV AC 電源	メタクラ	A/B	S	機能損傷	G	0.62	1.10	1.77
	440V AC 電源	パワーセンタ	A/B	S	機能損傷	G	0.62	1.10	1.77
		原子炉コントロールセンタ	A/B	S	機能損傷	G	0.75	3.00	4.00
		動力変圧器	A/B	S	構造損傷	MPa	12	210	17.50
	125V DC 電源	直流き電盤	A/B	S	構造損傷	MPa	138	279	2.02
		制御建屋直流分電盤	A/B	S	機能損傷	G	1.65	8.00	4.84
		充電器盤	A/B	S	機能損傷	G	0.49	1.00	2.04
		ドロツバ盤	A/B	S	機能損傷	G	0.49	1.00	2.04

	設備		設置 場所	耐震 クラス	損傷 モード	単位	評価値 (a)	許容値 (b)	裕度 (b/a)
サ ポ ー ト 系	115V AC 電源	計器用電源装置	A/B	S	機能損傷	G	1.31	12.00	9.16
		計器用分電盤	A/B	S	機能損傷	G	0.65	3.00	4.61
	バッテリー	蓄電池	A/B	S	構造損傷	MPa	134	279	2.08
	非常用所内電源	非常用 D / G コントロールセンタ	A/B	S	機能損傷	G	3.15	7.10	2.25
		内燃機関（ディーゼル機関）	A/B	S	機能損傷	G	0.69	1.7	2.46
		ディーゼル発電機盤	A/B	S	機能損傷	G	0.47	1.30	2.76
		燃料油サービスタンク	A/B	S	構造損傷	MPa	10	240	24.00
		D G 関連配管（燃料油配管等）	A/B	S	構造損傷	MPa	162	401	2.47
		始動用空気だめ	A/B	S	構造損傷	MPa	94	267	2.84
		ディーゼル発電機出力電圧指示計	A/B	S	機能損傷	G	1.62	15.80	9.75
	海水系	海水系配管	屋外 A/B	S	構造損傷	MPa	162	401	2.47
		海水ポンプ	屋外	S	構造損傷	MPa	88	180	2.04
		海水ポンプ現場操作箱	屋外	S	機能損傷	G	1.73	9.90	5.72
		海水ストレーナ	屋外	S	構造損傷	MPa	216	354	1.63

e. 主蒸気逃がし弁による熱放出（自動／手動・中央制御室）

	設備		設置場所	耐震クラス	損傷モード	単位	評価値 (a)	許容値 (b)	裕度 (b/a)
フロントライン系	主蒸気逃がし弁		E/B	S	機能損傷	MPa	45	361	8.02
	主蒸気隔離弁（電磁弁を含む）		E/B	S	機能損傷	G	1.2	6.1	5.08
	蒸気発生器蒸気圧力計		E/B	S	機能損傷	G	0.51	2.37	4.64
	蒸気発生器主蒸気流量計		C/V	S	機能損傷	G	3.05	6.43	2.10
	1次冷却材高温側及び低温側温度計（広域）		C/V	S	機能損傷	G	3.80	15.00	3.94
	1次冷却材圧力計		C/V	S	機能損傷	G	0.46	2.37	5.15
サポート系	6.6kV AC 電源	メタクラ	A/B	S	機能損傷	G	0.62	1.10	1.77
	440V AC 電源	パワーセンタ	A/B	S	機能損傷	G	0.62	1.10	1.77
		原子炉コントロールセンタ	A/B	S	機能損傷	G	0.75	3.00	4.00
		動力変圧器	A/B	S	構造損傷	MPa	12	210	17.50
	125V DC 電源	直流き電盤	A/B	S	構造損傷	MPa	138	279	2.02
		制御建屋直流分電盤	A/B	S	機能損傷	G	1.65	8.00	4.84
		充電器盤	A/B	S	機能損傷	G	0.49	1.00	2.04
		ドロップ盤	A/B	S	機能損傷	G	0.49	1.00	2.04
	115V AC 電源	計器用電源装置	A/B	S	機能損傷	G	1.31	12.00	9.16
		計器用分電盤	A/B	S	機能損傷	G	0.65	3.00	4.61
	バッテリー	蓄電池	A/B	S	構造損傷	MPa	134	279	2.08

	設備		設置 場所	耐震 クラス	損傷 モード	単位	評価値 (a)	許容値 (b)	裕度 (b/a)
サ ポ ー ト 系	非常用所内電源	非常用 D / G コントロールセンタ	A/B	S	機能損傷	G	3.15	7.10	2.25
		内燃機関（ディーゼル機関）	A/B	S	機能損傷	G	0.69	1.7	2.46
		ディーゼル発電機盤	A/B	S	機能損傷	G	0.47	1.30	2.76
		燃料油サービスタンク	A/B	S	構造損傷	MPa	10	240	24.00
		D G 関連配管（燃料油配管等）	A/B	S	構造損傷	MPa	162	401	2.47
		始動用空気だめ	A/B	S	構造損傷	MPa	94	267	2.84
		ディーゼル発電機出力電圧指示計	A/B	S	機能損傷	G	1.62	15.80	9.75
	C C W	原子炉補機冷却水冷却器	A/B	S	構造損傷	MPa	164	270	1.64
		原子炉補機冷却水ポンプ	A/B	S	機能損傷	G	0.49	1.0	2.04
		原子炉補機冷却水ポンプ現場操作箱	A/B	S	機能損傷	G	1.73	9.90	5.72
		原子炉補機冷却水サージタンク	A/B	S	構造損傷	MPa	166	270	1.62
		原子炉補機冷却水系配管	A/B E/B	S	構造損傷	MPa	162	401	2.47
	海水系	海水系配管	屋外 A/B	S	構造損傷	MPa	162	401	2.47
		海水ポンプ	屋外	S	構造損傷	MPa	88	180	2.04
		海水ポンプ現場操作箱	屋外	S	機能損傷	G	1.73	9.90	5.72
		海水ストレーナ	屋外	S	構造損傷	MPa	216	354	1.63

	設備		設置 場所	耐震 クラス	損傷 モード	単位	評価値 (a)	許容値 (b)	裕度 (b/a)
サ ポ ー ト 系	制 御 用 空 気 系	格納容器外制御用空気圧縮機盤	A/B	S	機能損傷	G	0.48	3.00	6.25
		格納容器外制御用空気圧縮機	A/B	S	機能損傷	G	0.40	1.0	2.50
		格納容器外制御用空気圧縮機計器盤	A/B	S	機能損傷	G	0.48	1.25	2.60
		制御用容量調整盤	A/B	S	機能損傷	G	1.05	4.30	4.09
		格納容器外制御用空気だめ	A/B	S	構造損傷	MPa	53	243	4.58
		格納容器外制御用空気乾燥器	A/B	S	構造損傷	MPa	29	223	7.68
		格納容器外制御用空気母管圧力計	E/B	S	機能損傷	G	0.46	2.37	5.15
		制御用空気系配管	A/B E/B C/V	S	構造損傷	MPa	162	401	2.47

f. 充てん系によるほう酸の添加

	設備	設置 場所	耐震 クラス	損傷 モード	単位	評価値 (a)	許容値 (b)	裕度 (b/a)
フ ロ ン ト ラ イ ン 系	ほう酸ポンプ切換器盤	E/B	S	機能損傷	G	1.05	8.00	7.61
	ほう酸ポンプ現場操作箱	E/B	S	機能損傷	G	1.73	9.90	5.72
	ほう酸ポンプ	E/B	S	機能損傷	G	0.42	1.0	2.38
	ほう酸タンク	E/B	S	構造損傷	MPa	28	267	9.53
	ほう酸フィルタ	E/B	S	構造損傷	MPa	13	267	20.53
	充てん / 高圧注入ポンプ	A/B	S	機能損傷	G	0.54	1.0	1.85
	充てん / 高圧注入ポンプ現場操作箱	A/B	S	機能損傷	G	1.73	9.90	5.72
	再生熱交換器	C/V	S	構造損傷	MPa	91	384	4.21
	封水注入フィルタ	A/B	S	構造損傷	MPa	90	267	2.96
	加圧器水位計	C/V	S	機能損傷	G	0.46	2.37	5.15
	充てん系関連配管	A/B E/B C/V	S	構造損傷	MPa	158	383	2.42

	設備		設置 場所	耐震 クラス	損傷 モード	単位	評価値 (a)	許容値 (b)	裕度 (b/a)
サ ポ ー ト 系	6.6kV AC 電源	メタクラ	A/B	S	機能損傷	G	0.62	1.10	1.77
	440V AC 電源	パワーセンタ	A/B	S	機能損傷	G	0.62	1.10	1.77
		原子炉コントロールセンタ	A/B	S	機能損傷	G	0.75	3.00	4.00
		動力変圧器	A/B	S	構造損傷	MPa	12	210	17.50
	125V DC 電源	直流き電盤	A/B	S	構造損傷	MPa	138	279	2.02
		制御建屋直流分電盤	A/B	S	機能損傷	G	1.65	8.00	4.84
		充電器盤	A/B	S	機能損傷	G	0.49	1.00	2.04
		ドロツパ盤	A/B	S	機能損傷	G	0.49	1.00	2.04
	115V AC 電源	計器用電源装置	A/B	S	機能損傷	G	1.31	12.00	9.16
		計器用分電盤	A/B	S	機能損傷	G	0.65	3.00	4.61
	バッテリー	蓄電池	A/B	S	構造損傷	MPa	134	279	2.08
	非常用所内電源	非常用D / Gコントロールセンタ	A/B	S	機能損傷	G	3.15	7.10	2.25
		内燃機関（ディーゼル機関）	A/B	S	機能損傷	G	0.69	1.7	2.46
		ディーゼル発電機盤	A/B	S	機能損傷	G	0.47	1.30	2.76
		燃料油サービスタンク	A/B	S	構造損傷	MPa	10	240	24.00
		D G 関連配管（燃料油配管等）	A/B	S	構造損傷	MPa	162	401	2.47
		始動用空気だめ	A/B	S	構造損傷	MPa	94	267	2.84
		ディーゼル発電機出力電圧指示計	A/B	S	機能損傷	G	1.62	15.80	9.75

	設備		設置 場所	耐震 クラス	損傷 モード	単位	評価値 (a)	許容値 (b)	裕度 (b/a)
サ ポ ー ト 系	C C W	原子炉補機冷却水冷却器	A/B	S	構造損傷	MPa	164	270	1.64
		原子炉補機冷却水ポンプ	A/B	S	機能損傷	G	0.49	1.0	2.04
		原子炉補機冷却水ポンプ現場操作箱	A/B	S	機能損傷	G	1.73	9.90	5.72
		原子炉補機冷却水サージタンク	A/B	S	構造損傷	MPa	166	270	1.62
		原子炉補機冷却水系配管	A/B E/B	S	構造損傷	MPa	162	401	2.47
	海水系	海水系配管	屋外 A/B	S	構造損傷	MPa	162	401	2.47
		海水ポンプ	屋外	S	構造損傷	MPa	88	180	2.04
		海水ポンプ現場操作箱	屋外	S	機能損傷	G	1.73	9.90	5.72
		海水ストレーナ	屋外	S	構造損傷	MPa	216	354	1.63

g. 余熱除去系による冷却

	設備		設置 場所	耐震 クラス	損傷 モード	単位	評価値 (a)	許容値 (b)	裕度 (b/a)
フロントライン系	余熱除去ポンプ		A/B	S	機能損傷	G	0.42	1.0	2.38
	余熱除去ポンプ現場操作箱		A/B	S	機能損傷	G	1.73	9.90	5.72
	1次冷却材高温側及び低温側温度計（広域）		C/V	S	機能損傷	G	3.80	15.00	3.94
	1次冷却材圧力計		C/V	S	機能損傷	G	0.46	2.37	5.15
	余熱除去冷却器		A/B	S	構造損傷	MPa	179	334	1.86
	余熱除去系関連配管		A/B E/B C/V	S	構造損傷	MPa	162	401	2.47
サポート系	6.6kV AC 電源	メタクラ	A/B	S	機能損傷	G	0.62	1.10	1.77
	440V AC 電源	パワーセンタ	A/B	S	機能損傷	G	0.62	1.10	1.77
		原子炉コントロールセンタ	A/B	S	機能損傷	G	0.75	3.00	4.00
		動力変圧器	A/B	S	構造損傷	MPa	12	210	17.50

	設備		設置 場所	耐震 クラス	損傷 モード	単位	評価値 (a)	許容値 (b)	裕度 (b/a)
サポート系	125V DC 電源	直流き電盤	A/B	S	構造損傷	MPa	138	279	2.02
		制御建屋直流分電盤	A/B	S	機能損傷	G	1.65	8.00	4.84
		充電器盤	A/B	S	機能損傷	G	0.49	1.00	2.04
		ドロップ盤	A/B	S	機能損傷	G	0.49	1.00	2.04
	115V AC 電源	計器用電源装置	A/B	S	機能損傷	G	1.31	12.00	9.16
		計器用分電盤	A/B	S	機能損傷	G	0.65	3.00	4.61
	バッテリー	蓄電池	A/B	S	構造損傷	MPa	134	279	2.08
	非常用所内電源	非常用 D / G コントロールセンタ	A/B	S	機能損傷	G	3.15	7.10	2.25
		内燃機関（ディーゼル機関）	A/B	S	機能損傷	G	0.69	1.7	2.46
		ディーゼル発電機盤	A/B	S	機能損傷	G	0.47	1.30	2.76
		燃料油サービスタンク	A/B	S	構造損傷	MPa	10	240	24.00
		D G 関連配管（燃料油配管等）	A/B	S	構造損傷	MPa	162	401	2.47
		始動用空気だめ	A/B	S	構造損傷	MPa	94	267	2.84
		ディーゼル発電機出力電圧指示計	A/B	S	機能損傷	G	1.62	15.80	9.75

	設備		設置 場所	耐震 クラス	損傷 モード	単位	評価値 (a)	許容値 (b)	裕度 (b/a)
サ ポ ー ト 系	C C W	原子炉補機冷却水冷却器	A/B	S	構造損傷	MPa	164	270	1.64
		原子炉補機冷却水ポンプ	A/B	S	機能損傷	G	0.49	1.0	2.04
		原子炉補機冷却水ポンプ現場操作箱	A/B	S	機能損傷	G	1.73	9.90	5.72
		原子炉補機冷却水サージタンク	A/B	S	構造損傷	MPa	166	270	1.62
		原子炉補機冷却水系配管	A/B E/B	S	構造損傷	MPa	162	401	2.47
	海水系	海水系配管	屋外 A/B	S	構造損傷	MPa	162	401	2.47
		海水ポンプ	屋外	S	構造損傷	MPa	88	180	2.04
		海水ポンプ現場操作箱	屋外	S	機能損傷	G	1.73	9.90	5.72
		海水ストレーナ	屋外	S	構造損傷	MPa	216	354	1.63

h. 高圧注入による原子炉への給水

	設備		設置 場所	耐震 クラス	損傷 モード	単位	評価値 (a)	許容値 (b)	裕度 (b/a)
フロント ライン系	充てん / 高圧注入ポンプ		A/B	S	機能損傷	G	0.54	1.0	1.85
	充てん / 高圧注入ポンプ現場操作箱		A/B	S	機能損傷	G	1.73	9.90	5.72
	ほう酸注入タンク		E/B	S	構造損傷	MPa	114	254	2.22
	高圧注入系関連配管		A/B E/B C/V	S	構造損傷	MPa	162	401	2.47
サポ ート系	6.6kV AC 電源	メタクラ	A/B	S	機能損傷	G	0.62	1.10	1.77
	440V AC 電源	パワーセンタ	A/B	S	機能損傷	G	0.62	1.10	1.77
		原子炉コントロールセンタ	A/B	S	機能損傷	G	0.75	3.00	4.00
		動力変圧器	A/B	S	構造損傷	MPa	12	210	17.50
	125V DC 電源	直流き電盤	A/B	S	構造損傷	MPa	138	279	2.02
		制御建屋直流分電盤	A/B	S	機能損傷	G	1.65	8.00	4.84
		充電器盤	A/B	S	機能損傷	G	0.49	1.00	2.04
		ドロップ盤	A/B	S	機能損傷	G	0.49	1.00	2.04

	設備		設置 場所	耐震 クラス	損傷 モード	単位	評価値 (a)	許容値 (b)	裕度 (b/a)
サ ポ ー ト 系	115V AC 電源	計器用電源装置	A/B	S	機能損傷	G	1.31	12.00	9.16
		計器用分電盤	A/B	S	機能損傷	G	0.65	3.00	4.61
	バッテリー	蓄電池	A/B	S	構造損傷	MPa	134	279	2.08
	非常用所内電源	非常用 D / G コントロールセンタ	A/B	S	機能損傷	G	3.15	7.10	2.25
		内燃機関（ディーゼル機関）	A/B	S	機能損傷	G	0.69	1.7	2.46
		ディーゼル発電機盤	A/B	S	機能損傷	G	0.47	1.30	2.76
		燃料油サービスタンク	A/B	S	構造損傷	MPa	10	240	24.00
		D G 関連配管（燃料油配管等）	A/B	S	構造損傷	MPa	162	401	2.47
		始動用空気だめ	A/B	S	構造損傷	MPa	94	267	2.84
		ディーゼル発電機出力電圧指示計	A/B	S	機能損傷	G	1.62	15.80	9.75
	C C W	原子炉補機冷却水冷却器	A/B	S	構造損傷	MPa	164	270	1.64
		原子炉補機冷却水ポンプ	A/B	S	機能損傷	G	0.49	1.0	2.04
		原子炉補機冷却水ポンプ現場操作箱	A/B	S	機能損傷	G	1.73	9.90	5.72
		原子炉補機冷却水サージタンク	A/B	S	構造損傷	MPa	166	270	1.62
		原子炉補機冷却水系配管	A/B E/B	S	構造損傷	MPa	162	401	2.47

	設備		設置 場所	耐震 クラス	損傷 モード	単位	評価値 (a)	許容値 (b)	裕度 (b/a)
サ ポ ー ト 系	海水系	海水系配管	屋外 A/B	S	構造損傷	MPa	162	401	2.47
		海水ポンプ	屋外	S	構造損傷	MPa	88	180	2.04
		海水ポンプ現場操作箱	屋外	S	機能損傷	G	1.73	9.90	5.72
		海水ストレーナ	屋外	S	構造損傷	MPa	216	354	1.63
	R W S T	ほう酸注入タンク	E/B	S	構造損傷	MPa	114	254	2.22
		余熱除去冷却器	A/B	S	構造損傷	MPa	179	334	1.86
		格納容器スプレイ冷却器	A/B	S	構造損傷	MPa	160	334	2.08
		燃料取替用水タンク	A/B	S	構造損傷	-	0.57	1	1.75
		燃料取替用水系関連配管	E/B A/B	S	構造損傷	MPa	190	432	2.27

i. 加圧器逃がし弁による熱放出（手動・中央制御室）

	設備		設置場所	耐震クラス	損傷モード	単位	評価値 (a)	許容値 (b)	裕度 (b/a)
フロントライン系	加圧器逃がし弁		C/V	S	機能損傷	G	2.3	6.0	2.60
サポート系	6.6kV AC 電源	メタクラ	A/B	S	機能損傷	G	0.62	1.10	1.77
	440V AC 電源	パワーセンタ	A/B	S	機能損傷	G	0.62	1.10	1.77
		原子炉コントロールセンタ	A/B	S	機能損傷	G	0.75	3.00	4.00
		動力変圧器	A/B	S	構造損傷	MPa	12	210	17.50
	125V DC 電源	直流き電盤	A/B	S	構造損傷	MPa	138	279	2.02
		制御建屋直流分電盤	A/B	S	機能損傷	G	1.65	8.00	4.84
		充電器盤	A/B	S	機能損傷	G	0.49	1.00	2.04
		ドロップ盤	A/B	S	機能損傷	G	0.49	1.00	2.04
	115V AC 電源	計器用電源装置	A/B	S	機能損傷	G	1.31	12.00	9.16
		計器用分電盤	A/B	S	機能損傷	G	0.65	3.00	4.61
	バッテリー	蓄電池	A/B	S	構造損傷	MPa	134	279	2.08

	設備		設置 場所	耐震 クラス	損傷 モード	単位	評価値 (a)	許容値 (b)	裕度 (b/a)
サ ポ ー ト 系	非常用所内電源	非常用 D / G コントロールセンタ	A/B	S	機能損傷	G	3.15	7.10	2.25
		内燃機関（ディーゼル機関）	A/B	S	機能損傷	G	0.69	1.7	2.46
		ディーゼル発電機盤	A/B	S	機能損傷	G	0.47	1.30	2.76
		燃料油サービスタンク	A/B	S	構造損傷	MPa	10	240	24.00
		D G 関連配管（燃料油配管等）	A/B	S	構造損傷	MPa	162	401	2.47
		始動用空気だめ	A/B	S	構造損傷	MPa	94	267	2.84
		ディーゼル発電機出力電圧指示計	A/B	S	機能損傷	G	1.62	15.80	9.75
	C C W	原子炉補機冷却水冷却器	A/B	S	構造損傷	MPa	164	270	1.64
		原子炉補機冷却水ポンプ	A/B	S	機能損傷	G	0.49	1.0	2.04
		原子炉補機冷却水ポンプ現場操作箱	A/B	S	機能損傷	G	1.73	9.90	5.72
		原子炉補機冷却水サージタンク	A/B	S	構造損傷	MPa	166	270	1.62
		原子炉補機冷却水系配管	A/B E/B	S	構造損傷	MPa	162	401	2.47
	海水系	海水系配管	屋外 A/B	S	構造損傷	MPa	162	401	2.47
		海水ポンプ	屋外	S	構造損傷	MPa	88	180	2.04
		海水ポンプ現場操作箱	屋外	S	機能損傷	G	1.73	9.90	5.72
		海水ストレーナ	屋外	S	構造損傷	MPa	216	354	1.63

	設備		設置 場所	耐震 クラス	損傷 モード	単位	評価値 (a)	許容値 (b)	裕度 (b/a)
サポート系	制御用空気系	格納容器外制御用空気圧縮機盤	A/B	S	機能損傷	G	0.48	3.00	6.25
		格納容器外制御用空気圧縮機	A/B	S	機能損傷	G	0.40	1.0	2.50
		格納容器外制御用空気圧縮機計器盤	A/B	S	機能損傷	G	0.48	1.25	2.60
		制御用容量調整盤	A/B	S	機能損傷	G	1.05	4.30	4.09
		格納容器外制御用空気だめ	A/B	S	構造損傷	MPa	53	243	4.58
		格納容器外制御用空気乾燥器	A/B	S	構造損傷	MPa	29	223	7.68
		格納容器外制御用空気母管圧力計	E/B	S	機能損傷	G	0.46	2.37	5.15
		制御用空気系配管	A/B E/B C/V	S	構造損傷	MPa	162	401	2.47

j. 格納容器スプレイによる格納容器除熱

	設備		設置 場所	耐震 クラス	損傷 モード	単位	評価値 (a)	許容値 (b)	裕度 (b/a)
フロントライン系	格納容器広域圧力計		E/B	S	機能損傷	G	0.44	2.37	5.38
	格納容器スプレイポンプ		A/B	S	機能損傷	G	0.42	1.0	2.38
	格納容器スプレイポンプ現場操作箱		A/B	S	機能損傷	G	1.73	9.90	5.72
	よう素除去薬品タンク		A/B	S	構造損傷	MPa	71	270	3.80
	格納容器スプレイ冷却器		A/B	S	構造損傷	MPa	160	334	2.08
	格納容器スプレイ系配管		A/B E/B C/V	S	構造損傷	MPa	190	432	2.27
	スプレイノズル		C/V	S	構造損傷	MPa	190	432	2.27
サポート系	6.6kV AC 電源	メタクラ	A/B	S	機能損傷	G	0.62	1.10	1.77
	440V AC 電源	パワーセンタ	A/B	S	機能損傷	G	0.62	1.10	1.77
		原子炉コントロールセンタ	A/B	S	機能損傷	G	0.75	3.00	4.00
		動力変圧器	A/B	S	構造損傷	MPa	12	210	17.50
	125V DC 電源	直流き電盤	A/B	S	構造損傷	MPa	138	279	2.02
		制御建屋直流分電盤	A/B	S	機能損傷	G	1.65	8.00	4.84
		充電器盤	A/B	S	機能損傷	G	0.49	1.00	2.04
		ドロツパ盤	A/B	S	機能損傷	G	0.49	1.00	2.04

	設備		設置 場所	耐震 クラス	損傷 モード	単位	評価値 (a)	許容値 (b)	裕度 (b/a)
サ ポ ー ト 系	115V AC 電源	計器用電源装置	A/B	S	機能損傷	G	1.31	12.00	9.16
		計器用分電盤	A/B	S	機能損傷	G	0.65	3.00	4.61
	バッテリー	蓄電池	A/B	S	構造損傷	MPa	134	279	2.08
	非常用所内電源	非常用 D / G コントロールセンタ	A/B	S	機能損傷	G	3.15	7.10	2.25
		内燃機関（ディーゼル機関）	A/B	S	機能損傷	G	0.69	1.7	2.46
		ディーゼル発電機盤	A/B	S	機能損傷	G	0.47	1.30	2.76
		燃料油サービスタンク	A/B	S	構造損傷	MPa	10	240	24.00
		D G 関連配管（燃料油配管等）	A/B	S	構造損傷	MPa	162	401	2.47
		始動用空気だめ	A/B	S	構造損傷	MPa	94	267	2.84
		ディーゼル発電機出力電圧指示計	A/B	S	機能損傷	G	1.62	15.80	9.75
	C C W	原子炉補機冷却水冷却器	A/B	S	構造損傷	MPa	164	270	1.64
		原子炉補機冷却水ポンプ	A/B	S	機能損傷	G	0.49	1.0	2.04
		原子炉補機冷却水ポンプ現場操作箱	A/B	S	機能損傷	G	1.73	9.90	5.72
		原子炉補機冷却水サージタンク	A/B	S	構造損傷	MPa	166	270	1.62
		原子炉補機冷却水系配管	A/B E/B	S	構造損傷	MPa	162	401	2.47

	設備		設置 場所	耐震 クラス	損傷 モード	単位	評価値 (a)	許容値 (b)	裕度 (b/a)
サ ポ ー ト 系	海水系	海水系配管	屋外 A/B	S	構造損傷	MPa	162	401	2.47
		海水ポンプ	屋外	S	構造損傷	MPa	88	180	2.04
		海水ポンプ現場操作箱	屋外	S	機能損傷	G	1.73	9.90	5.72
		海水ストレーナ	屋外	S	構造損傷	MPa	216	354	1.63
	R W S T	ほう酸注入タンク	E/B	S	構造損傷	MPa	114	254	2.22
		余熱除去冷却器	A/B	S	構造損傷	MPa	179	334	1.86
		格納容器スプレイ冷却器	A/B	S	構造損傷	MPa	160	334	2.08
		燃料取替用水タンク	A/B	S	構造損傷	-	0.57	1	1.75
		燃料取替用水系関連配管	E/B A/B	S	構造損傷	MPa	190	432	2.27

k. 余熱除去ポンプによるブースティング

	設備		設置 場所	耐震 クラス	損傷 モード	単位	評価値 (a)	許容値 (b)	裕度 (b/a)
フロントライン系	余熱除去ポンプ		A/B	S	機能損傷	G	0.42	1.0	2.38
	余熱除去ポンプ現場操作箱		A/B	S	機能損傷	G	1.73	9.90	5.72
	余熱除去ポンプ吐出流量計		A/B	S	機能損傷	G	0.48	2.37	4.93
	余熱除去冷却器		A/B	S	構造損傷	MPa	179	334	1.86
	余熱除去系関連配管		A/B E/B C/V	S	構造損傷	MPa	162	401	2.47
サポート系	6.6kV AC 電源	メタクラ	A/B	S	機能損傷	G	0.62	1.10	1.77
	440V AC 電源	パワーセンタ	A/B	S	機能損傷	G	0.62	1.10	1.77
		原子炉コントロールセンタ	A/B	S	機能損傷	G	0.75	3.00	4.00
		動力変圧器	A/B	S	構造損傷	MPa	12	210	17.50
	125V DC 電源	直流き電盤	A/B	S	構造損傷	MPa	138	279	2.02
		制御建屋直流分電盤	A/B	S	機能損傷	G	1.65	8.00	4.84
		充電器盤	A/B	S	機能損傷	G	0.49	1.00	2.04
		ドロップ盤	A/B	S	機能損傷	G	0.49	1.00	2.04

	設備		設置 場所	耐震 クラス	損傷 モード	単位	評価値 (a)	許容値 (b)	裕度 (b/a)
サ ポ ー ト 系	115V AC 電源	計器用電源装置	A/B	S	機能損傷	G	1.31	12.00	9.16
		計器用分電盤	A/B	S	機能損傷	G	0.65	3.00	4.61
	バッテリー	蓄電池	A/B	S	構造損傷	MPa	134	279	2.08
	非常用所内電源	非常用 D / G コントロールセンタ	A/B	S	機能損傷	G	3.15	7.10	2.25
		内燃機関（ディーゼル機関）	A/B	S	機能損傷	G	0.69	1.7	2.46
		ディーゼル発電機盤	A/B	S	機能損傷	G	0.47	1.30	2.76
		燃料油サービスタンク	A/B	S	構造損傷	MPa	10	240	24.00
		D G 関連配管（燃料油配管等）	A/B	S	構造損傷	MPa	162	401	2.47
		始動用空気だめ	A/B	S	構造損傷	MPa	94	267	2.84
		ディーゼル発電機出力電圧指示計	A/B	S	機能損傷	G	1.62	15.80	9.75
	C C W	原子炉補機冷却水冷却器	A/B	S	構造損傷	MPa	164	270	1.64
		原子炉補機冷却水ポンプ	A/B	S	機能損傷	G	0.49	1.0	2.04
		原子炉補機冷却水ポンプ現場操作箱	A/B	S	機能損傷	G	1.73	9.90	5.72
		原子炉補機冷却水サージタンク	A/B	S	構造損傷	MPa	166	270	1.62
		原子炉補機冷却水系配管	A/B E/B	S	構造損傷	MPa	162	401	2.47

	設備		設置 場所	耐震 クラス	損傷 モード	単位	評価値 (a)	許容値 (b)	裕度 (b/a)
サ ポ ー ト 系	海水系	海水系配管	屋外 A/B	S	構造損傷	MPa	162	401	2.47
		海水ポンプ	屋外	S	構造損傷	MPa	88	180	2.04
		海水ポンプ現場操作箱	屋外	S	機能損傷	G	1.73	9.90	5.72
		海水ストレーナ	屋外	S	構造損傷	MPa	216	354	1.63
	再循環切替	燃料取替用水タンク水位計	A/B	S	機能損傷	G	0.40	2.37	5.92
		格納容器再循環サンプ	C/V	S	構造損傷	2 × S s に対して地震応答解析 を実施し、許容値と比較			2
		格納容器再循環サンプ配管	C/V E/B	S	構造損傷	MPa	190	432	2.27

I. 高圧注入による再循環炉心冷却

	設備		設置 場所	耐震 クラス	損傷 モード	単位	評価値 (a)	許容値 (b)	裕度 (b/a)
フロント ライン系	充てん / 高圧注入ポンプ		A/B	S	機能損傷	G	0.54	1.0	1.85
	充てん / 高圧注入ポンプ現場操作箱		A/B	S	機能損傷	G	1.73	9.90	5.72
	ほう酸注入タンク		E/B	S	構造損傷	MPa	114	254	2.22
	高圧注入系関連配管		A/B E/B C/V	S	構造損傷	MPa	162	401	2.47
サポ ート系	6.6kV AC 電源	メタクラ	A/B	S	機能損傷	G	0.62	1.10	1.77
	440V AC 電源	パワーセンタ	A/B	S	機能損傷	G	0.62	1.10	1.77
		原子炉コントロールセンタ	A/B	S	機能損傷	G	0.75	3.00	4.00
		動力変圧器	A/B	S	構造損傷	MPa	12	210	17.50
	125V DC 電源	直流き電盤	A/B	S	構造損傷	MPa	138	279	2.02
		制御建屋直流分電盤	A/B	S	機能損傷	G	1.65	8.00	4.84
		充電器盤	A/B	S	機能損傷	G	0.49	1.00	2.04
		ドロップ盤	A/B	S	機能損傷	G	0.49	1.00	2.04

	設備		設置 場所	耐震 クラス	損傷 モード	単位	評価値 (a)	許容値 (b)	裕度 (b/a)
サ ポ ー ト 系	115V AC 電源	計器用電源装置	A/B	S	機能損傷	G	1.31	12.00	9.16
		計器用分電盤	A/B	S	機能損傷	G	0.65	3.00	4.61
	バッテリー	蓄電池	A/B	S	構造損傷	MPa	134	279	2.08
	非常用所内電源	非常用 D / G コントロールセンタ	A/B	S	機能損傷	G	3.15	7.10	2.25
		内燃機関（ディーゼル機関）	A/B	S	機能損傷	G	0.69	1.7	2.46
		ディーゼル発電機盤	A/B	S	機能損傷	G	0.47	1.30	2.76
		燃料油サービスタンク	A/B	S	構造損傷	MPa	10	240	24.00
		D G 関連配管（燃料油配管等）	A/B	S	構造損傷	MPa	162	401	2.47
		始動用空気だめ	A/B	S	構造損傷	MPa	94	267	2.84
		ディーゼル発電機出力電圧指示計	A/B	S	機能損傷	G	1.62	15.80	9.75
	C C W	原子炉補機冷却水冷却器	A/B	S	構造損傷	MPa	164	270	1.64
		原子炉補機冷却水ポンプ	A/B	S	機能損傷	G	0.49	1.0	2.04
		原子炉補機冷却水ポンプ現場操作箱	A/B	S	機能損傷	G	1.73	9.90	5.72
		原子炉補機冷却水サージタンク	A/B	S	構造損傷	MPa	166	270	1.62
		原子炉補機冷却水系配管	A/B E/B	S	構造損傷	MPa	162	401	2.47

	設備		設置 場所	耐震 クラス	損傷 モード	単位	評価値 (a)	許容値 (b)	裕度 (b/a)
サ ポ ー ト 系	海水系	海水系配管	屋外 A/B	S	構造損傷	MPa	162	401	2.47
		海水ポンプ	屋外	S	構造損傷	MPa	88	180	2.04
		海水ポンプ現場操作箱	屋外	S	機能損傷	G	1.73	9.90	5.72
		海水ストレーナ	屋外	S	構造損傷	MPa	216	354	1.63
	再循環切替	燃料取替用水タンク水位計	A/B	S	機能損傷	G	0.40	2.37	5.92
		格納容器再循環サンプ	C/V	S	構造損傷	2 × S s に対して地震応答解析 を実施し、許容値と比較			2
		格納容器再循環サンプ配管	C/V E/B	S	構造損傷	MPa	190	432	2.27

m. 格納容器スプレイによる再循環格納容器冷却

	設備		設置 場所	耐震 クラス	損傷 モード	単位	評価値 (a)	許容値 (b)	裕度 (b/a)
フロント ライン系	格納容器スプレイポンプ		A/B	S	機能損傷	G	0.42	1.0	2.38
	格納容器スプレイポンプ現場操作箱		A/B	S	機能損傷	G	1.73	9.90	5.72
	よう素除去薬品タンク		A/B	S	構造損傷	MPa	71	270	3.80
	格納容器スプレイ冷却器		A/B	S	構造損傷	MPa	160	334	2.08
	格納容器スプレイ系配管		A/B E/B C/V	S	構造損傷	MPa	190	432	2.27
	スプレイノズル		C/V	S	構造損傷	MPa	190	432	2.27
サポ ート系	6.6kV AC 電源	メタクラ	A/B	S	機能損傷	G	0.62	1.10	1.77
	440V AC 電源	パワーセンタ	A/B	S	機能損傷	G	0.62	1.10	1.77
		原子炉コントロールセンタ	A/B	S	機能損傷	G	0.75	3.00	4.00
		動力変圧器	A/B	S	構造損傷	MPa	12	210	17.50
	125V DC 電源	直流き電盤	A/B	S	構造損傷	MPa	138	279	2.02
		制御建屋直流分電盤	A/B	S	機能損傷	G	1.65	8.00	4.84
		充電器盤	A/B	S	機能損傷	G	0.49	1.00	2.04
		ドロップ盤	A/B	S	機能損傷	G	0.49	1.00	2.04

	設備		設置 場所	耐震 クラス	損傷 モード	単位	評価値 (a)	許容値 (b)	裕度 (b/a)
サ ポ ー ト 系	115V AC 電源	計器用電源装置	A/B	S	機能損傷	G	1.31	12.00	9.16
		計器用分電盤	A/B	S	機能損傷	G	0.65	3.00	4.61
	バッテリー	蓄電池	A/B	S	構造損傷	MPa	134	279	2.08
	非常用所内電源	非常用 D / G コントロールセンタ	A/B	S	機能損傷	G	3.15	7.10	2.25
		内燃機関（ディーゼル機関）	A/B	S	機能損傷	G	0.69	1.7	2.46
		ディーゼル発電機盤	A/B	S	機能損傷	G	0.47	1.30	2.76
		燃料油サービスタンク	A/B	S	構造損傷	MPa	10	240	24.00
		D G 関連配管（燃料油配管等）	A/B	S	構造損傷	MPa	162	401	2.47
		始動用空気だめ	A/B	S	構造損傷	MPa	94	267	2.84
		ディーゼル発電機出力電圧指示計	A/B	S	機能損傷	G	1.62	15.80	9.75
	C C W	原子炉補機冷却水冷却器	A/B	S	構造損傷	MPa	164	270	1.64
		原子炉補機冷却水ポンプ	A/B	S	機能損傷	G	0.49	1.0	2.04
		原子炉補機冷却水ポンプ現場操作箱	A/B	S	機能損傷	G	1.73	9.90	5.72
		原子炉補機冷却水サージタンク	A/B	S	構造損傷	MPa	166	270	1.62
		原子炉補機冷却水系配管	A/B E/B	S	構造損傷	MPa	162	401	2.47

	設備		設置 場所	耐震 クラス	損傷 モード	単位	評価値 (a)	許容値 (b)	裕度 (b/a)
サ ポ ー ト 系	海水系	海水系配管	屋外 A/B	S	構造損傷	MPa	162	401	2.47
		海水ポンプ	屋外	S	構造損傷	MPa	88	180	2.04
		海水ポンプ現場操作箱	屋外	S	機能損傷	G	1.73	9.90	5.72
		海水ストレーナ	屋外	S	構造損傷	MPa	216	354	1.63
	再循環切替	燃料取替用水タンク水位計	A/B	S	機能損傷	G	0.40	2.37	5.92
		格納容器再循環サンプ	C/V	S	構造損傷	2 × S s に対して地震応答解析 を実施し、許容値と比較			2
		格納容器再循環サンプ配管	C/V E/B	S	構造損傷	MPa	190	432	2.27

n. 補助給水による蒸気発生器への給水（タービン動（消防ポンプによる復水タンクへの給水を含む））

	設備		設置場所	耐震クラス	損傷モード	単位	評価値(a)	許容値(b)	裕度(b/a)
フロントライン系	復水タンク		屋外	S	構造損傷	MPa	123	240	1.95
	蒸気発生器狭域水位計		C/V	S	機能損傷	G	0.46	2.37	5.15
	タービン動補助給水ポンプ盤		A/B	S	機能損傷	G	0.48	3.00	6.25
	タービン動補助給水ポンプ		A/B	S	構造損傷	MPa	27	148	5.48
	補助給水系配管		A/B E/B	S	構造損傷	MPa	162	401	2.47
	主給水系配管		E/B C/V	S	構造損傷	MPa	164	380	2.31
	主蒸気系配管		A/B E/B C/V	S	構造損傷	MPa	182	410	2.25
	可搬式消防ポンプ、ホース		屋外	-	-	可搬式消防ポンプ、ホースは地震による影響がないように保管			-
サポート系	125V DC 電源 (バッテリーからの給電であるので充電器盤は不要)	直流き電盤	A/B	S	構造損傷	MPa	138	279	2.02
		制御建屋直流分電盤	A/B	S	機能損傷	G	1.65	8.00	4.84
		ドロップ盤	A/B	S	機能損傷	G	0.49	1.00	2.04
	115V AC 電源	計器用電源装置	A/B	S	機能損傷	G	1.31	12.00	9.16
		計器用分電盤	A/B	S	機能損傷	G	0.65	3.00	4.61
	バッテリー	蓄電池	A/B	S	構造損傷	MPa	134	279	2.08

o. 主蒸気逃がし弁による熱放出（手動・現場）

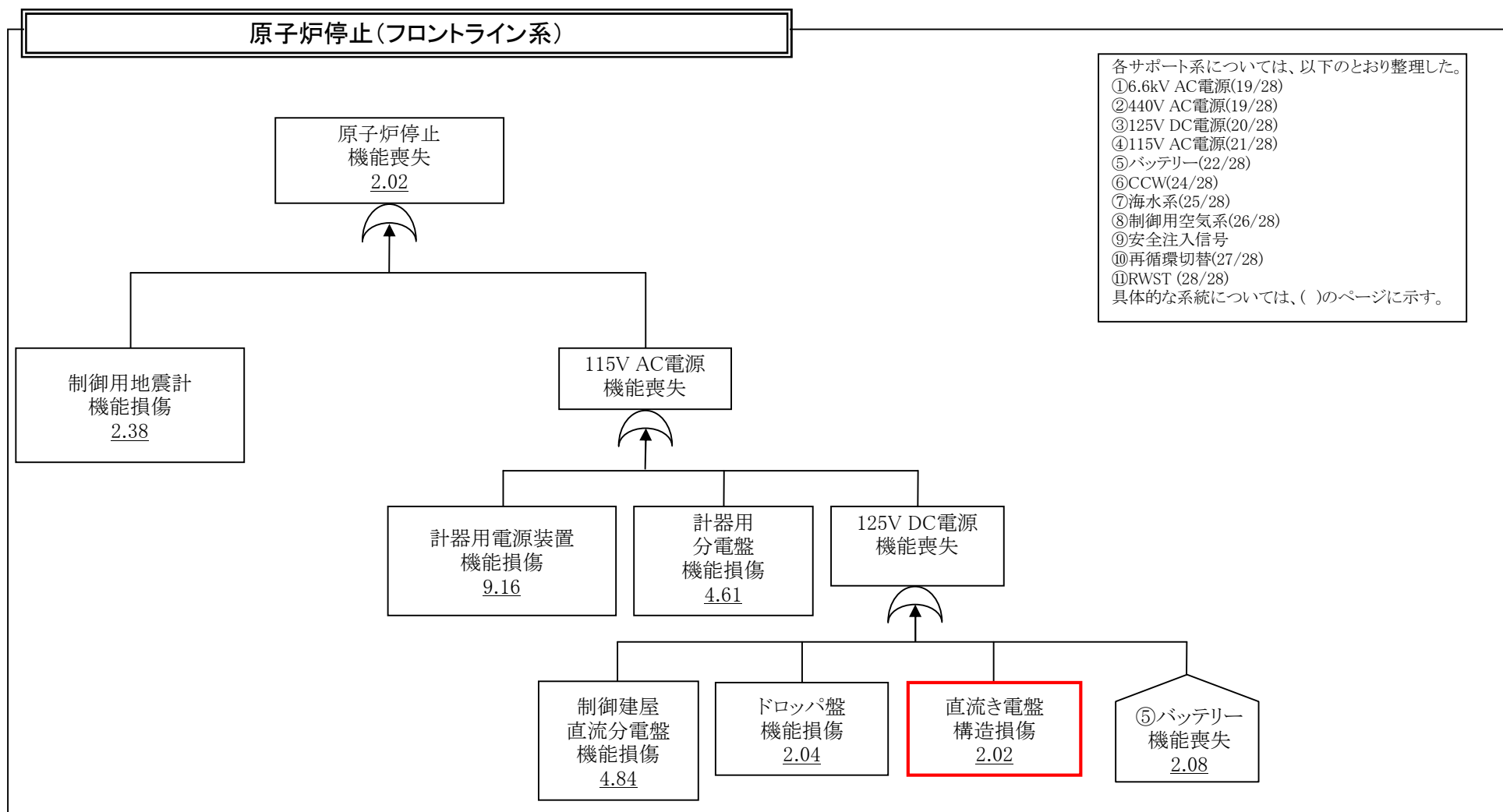
	設備		設置 場所	耐震 クラス	損傷 モード	単位	評価値 (a)	許容値 (b)	裕度 (b/a)
フ ロ ン ト ラ イ ン 系	主蒸気逃がし弁		E/B	S	機能損傷	MPa	45	361	8.02
	主蒸気隔離弁（電磁弁を含む）		E/B	S	機能損傷	G	1.2	6.1	5.08
	蒸気発生器蒸気圧力計		E/B	S	機能損傷	G	0.51	2.37	4.64
	蒸気発生器主蒸気流量計		C/V	S	機能損傷	G	3.05	6.43	2.10
	1次冷却材高温側及び低温側温度計（広域）		C/V	S	機能損傷	G	3.80	15.00	3.94
	1次冷却材圧力計		C/V	S	機能損傷	G	0.46	2.37	5.15
サ ポ ー ト 系	125V DC 電源 (バッテリーからの給 電であるので充電器 盤は不要)	直流き電盤	A/B	S	構造損傷	MPa	138	279	2.02
		制御建屋直流分電盤	A/B	S	機能損傷	G	1.65	8.00	4.84
		ドロップ盤	A/B	S	機能損傷	G	0.49	1.00	2.04
	115V AC 電源	計器用電源装置	A/B	S	機能損傷	G	1.31	12.00	9.16
		計器用分電盤	A/B	S	機能損傷	G	0.65	3.00	4.61
	バッテリー	蓄電池	A/B	S	構造損傷	MPa	134	279	2.08

p. 蓄圧注入によるほう酸水の給水

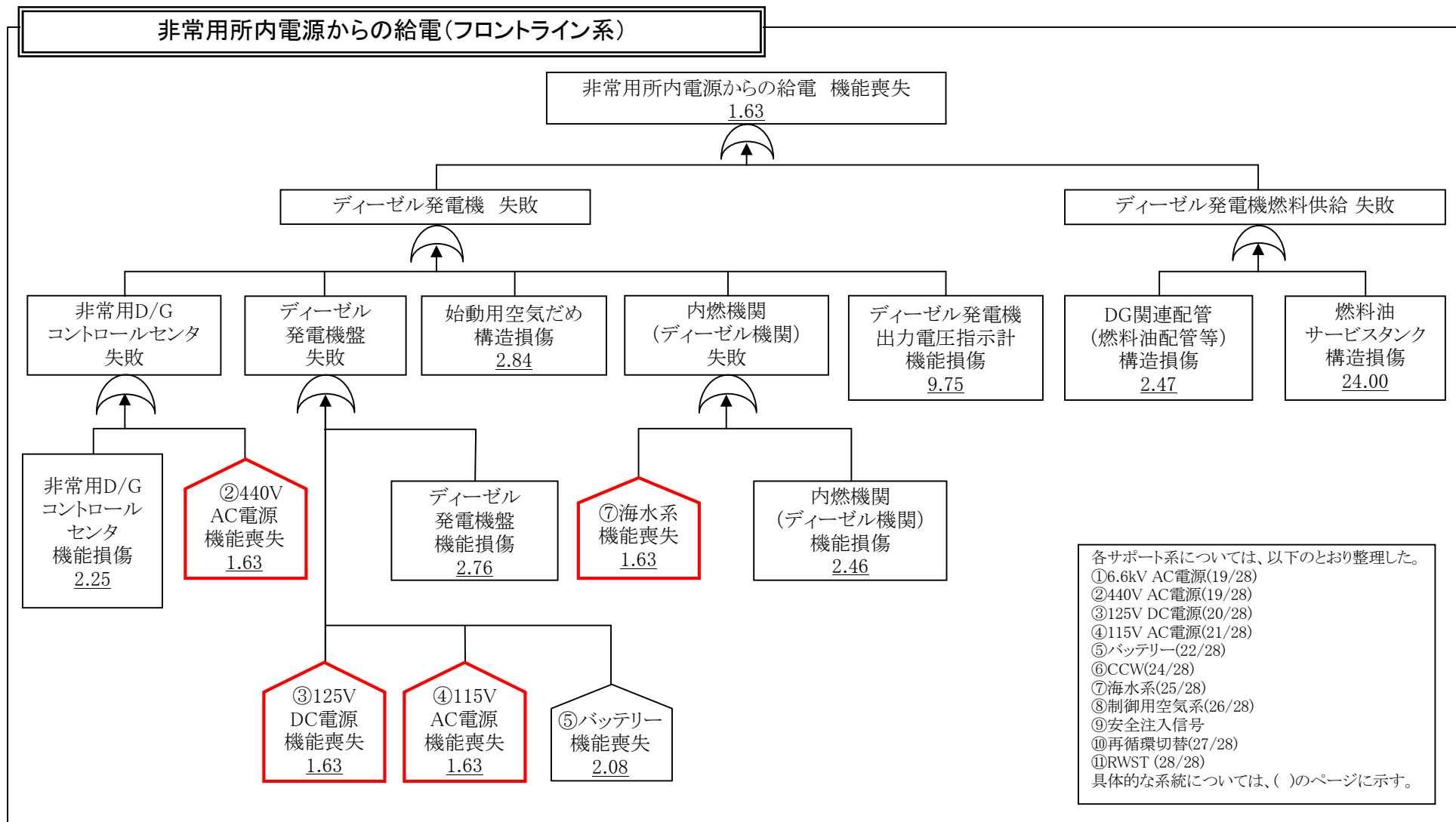
	設備		設置 場所	耐震 クラス	損傷 モード	単位	評価値 (a)	許容値 (b)	裕度 (b/a)
フロントライン系	蓄圧タンク		C/V	S	構造損傷	MPa	108	254	2.35
	1 次冷却材高温側及び低温側温度計（広域）		C/V	S	機能損傷	G	3.80	15.00	3.94
	1 次冷却材圧力計		C/V	S	機能損傷	G	0.46	2.37	5.15
	蓄圧注入系関連配管		C/V	S	構造損傷	MPa	123	342	2.78
サポート系	125V DC 電源 (バッテリーからの給電であるので充電器盤は不要)	直流き電盤	A/B	S	構造損傷	MPa	138	279	2.02
		制御建屋直流分電盤	A/B	S	機能損傷	G	1.65	8.00	4.84
		ドロツバ盤	A/B	S	機能損傷	G	0.49	1.00	2.04
	115V AC 電源	計器用電源装置	A/B	S	機能損傷	G	1.31	12.00	9.16
		計器用分電盤	A/B	S	機能損傷	G	0.65	3.00	4.61
	バッテリー	蓄電池	A/B	S	構造損傷	MPa	134	279	2.08

q. 空冷式非常用発電装置からの給電

	設備		設置 場所	耐震 クラス	損傷 モード	単位	評価値 (a)	許容値 (b)	裕度 (b/a)
フロントライン系	空冷式非常用発電装置		屋外	-	1.80 × Ss に対し、転倒しないことを確認。 また地震の影響のないように保管。				1.80
	空冷式非常用発電装置 中継・接続盤		A/B	S	構造損傷	MPa	12	168	14.00
サポート系	6.6kV AC 電源	メタクラ	A/B	S	機能損傷	G	0.62	1.10	1.77
	440V AC 電源	パワーセンタ	A/B	S	機能損傷	G	0.62	1.10	1.77
		原子炉コントロールセンタ	A/B	S	機能損傷	G	0.75	3.00	4.00
		動力変圧器	A/B	S	構造損傷	MPa	12	210	17.50
	125V DC 電源	直流き電盤	A/B	S	構造損傷	MPa	138	279	2.02
		制御建屋直流分電盤	A/B	S	機能損傷	G	1.65	8.00	4.84
		充電器盤	A/B	S	機能損傷	G	0.49	1.00	2.04
		ドロツパ盤	A/B	S	機能損傷	G	0.49	1.00	2.04
	115V AC 電源	計器用電源装置	A/B	S	機能損傷	G	1.31	12.00	9.16
		計器用分電盤	A/B	S	機能損傷	G	0.65	3.00	4.61

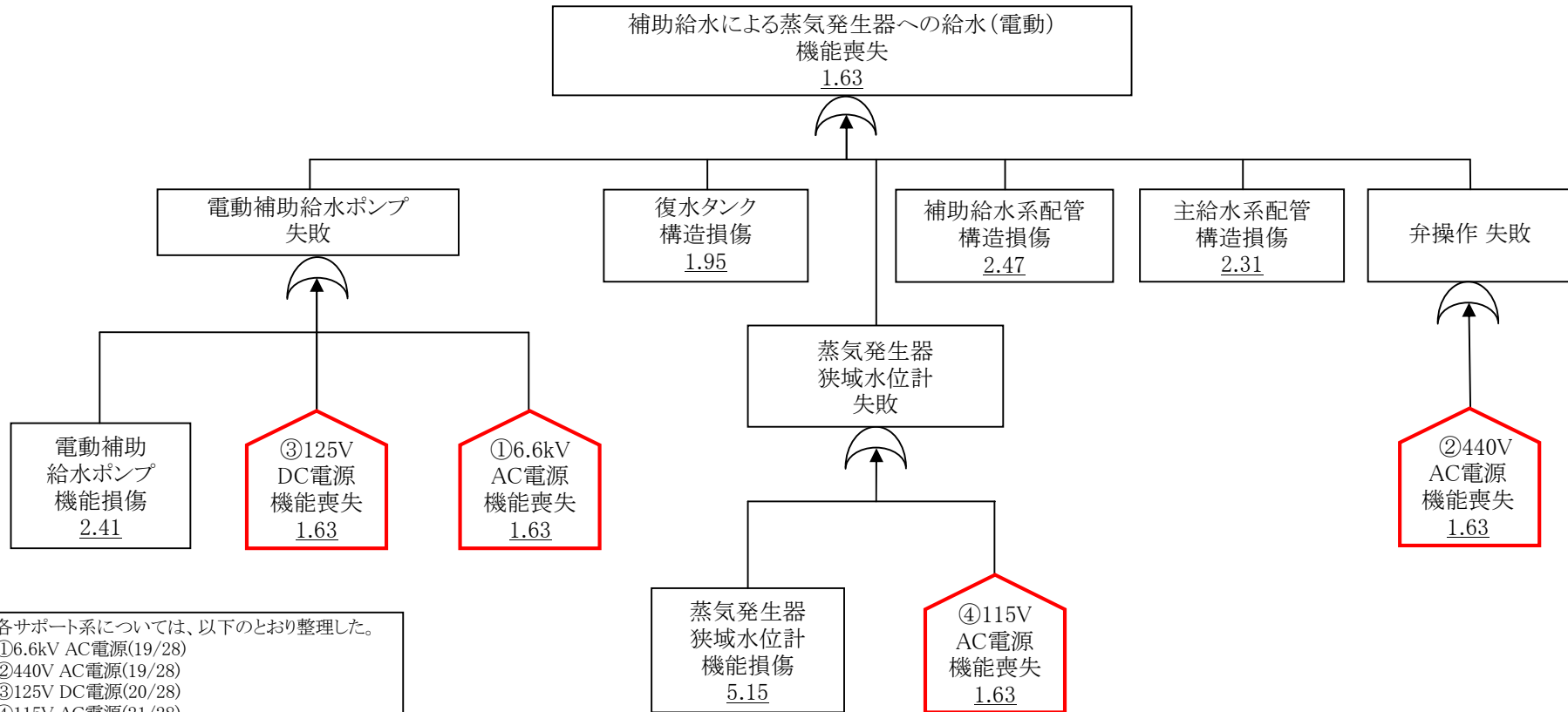


各影響緩和機能のフォールトツリー(地震:炉心損傷)



各影響緩和機能のフォールトツリー(地震:炉心損傷)

補助給水による蒸気発生器への給水(電動)(フロントライン系)



各サポート系については、以下のとおり整理した。
 ①6.6kV AC電源(19/28)
 ②440V AC電源(19/28)
 ③125V DC電源(20/28)
 ④115V AC電源(21/28)
 ⑤バッテリー(22/28)
 ⑥CCW(24/28)
 ⑦海水系(25/28)
 ⑧制御用空気系(26/28)
 ⑨安全注入信号
 ⑩再循環切替(27/28)
 ⑪RWST (28/28)
 具体的な系統については、()のページに示す。

各影響緩和機能のフォールトツリー(地震:炉心損傷)

主蒸気逃がし弁による熱放出(自動/手動・中央制御室)(フロントライン系)

各サポート系については、以下のとおり整理した。
 ①6.6kV AC電源(19/28)
 ②440V AC電源(19/28)
 ③125V DC電源(20/28)
 ④115V AC電源(21/28)
 ⑤バッテリー(22/28)
 ⑥CCW(24/28)
 ⑦海水系(25/28)
 ⑧制御用空気系(26/28)
 ⑨安全注入信号
 ⑩再循環切替(27/28)
 ⑪RWST (28/28)
 具体的な系統については、()のページに示す。

主蒸気逃がし弁による熱放出
 (自動/手動・中央制御室)
 機能喪失
 1.62

主蒸気逃がし弁
 機能損傷
 8.02

③125V
 DC電源
 機能喪失
 1.63

⑧制御用
 空気系
 機能喪失
 1.62

1次冷却材
 高温側及び低温側
 温度計(広域)
 失敗

1次冷却材
 圧力計 失敗

蒸気発生器
 蒸気圧力計
 失敗

主蒸気隔離弁
 閉止失敗

蒸気発生器
 主蒸気流量計
 失敗

1次冷却材
 高温側及び低温側
 温度計(広域)
 機能損傷
 3.94

④115V
 AC電源
 機能喪失
 1.63

1次冷却材
 圧力計
 機能損傷
 5.15

④115V
 AC電源
 機能喪失
 1.63

蒸気発生器
 蒸気圧力計
 機能損傷
 4.64

④115V
 AC電源
 機能喪失
 1.63

蒸気発生器
 主蒸気流量計
 機能損傷
 2.10

④115V
 AC電源
 機能喪失
 1.63

125V DC電源
 機能喪失

主蒸気隔離弁
 (電磁弁を含む)
 機能損傷
 5.08

制御建屋
 直流分電盤
 機能損傷
 4.84

ドロツパ盤
 機能損傷
 2.04

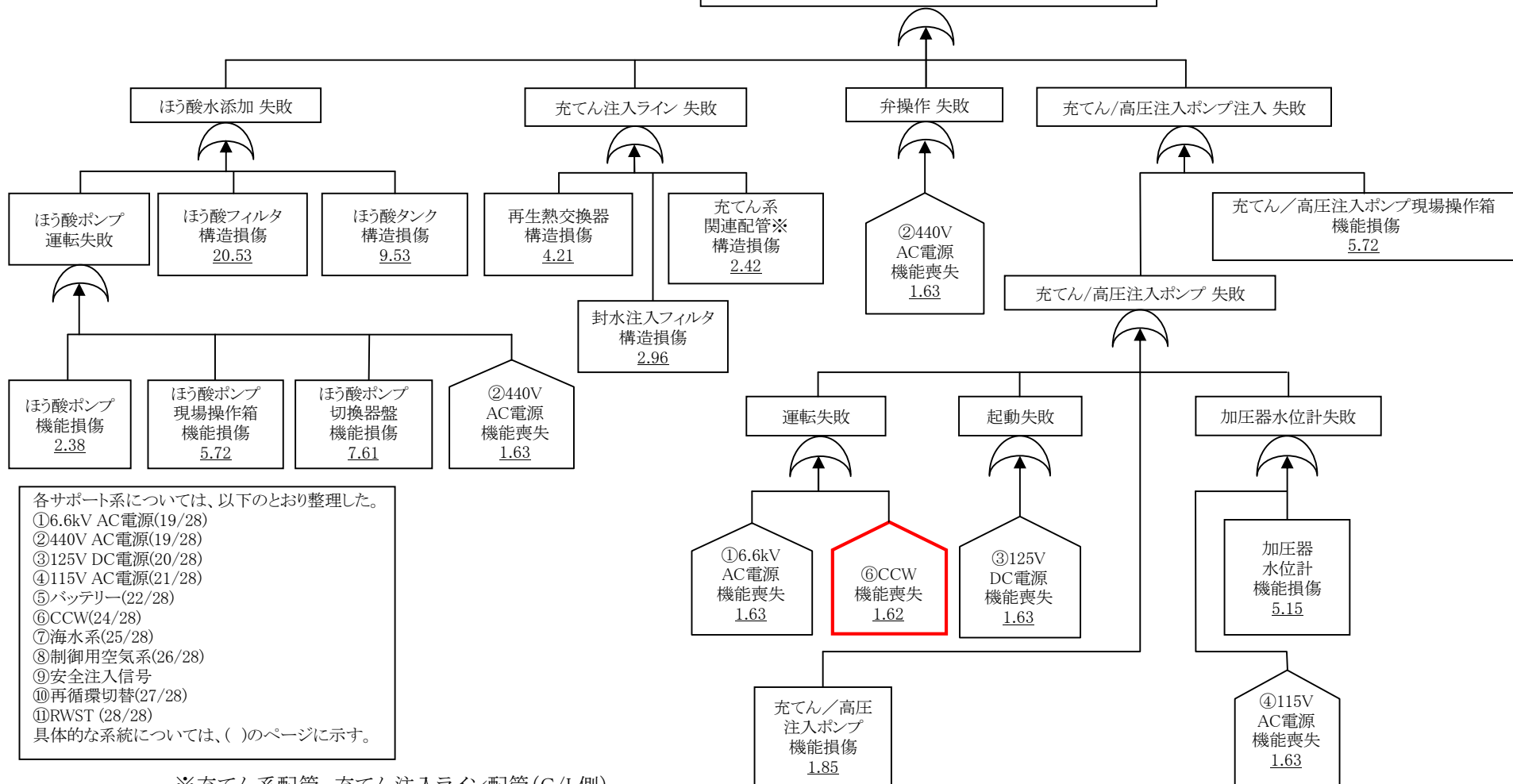
直流き電盤
 構造損傷
 2.02

⑤バッテリー
 機能喪失
 2.08

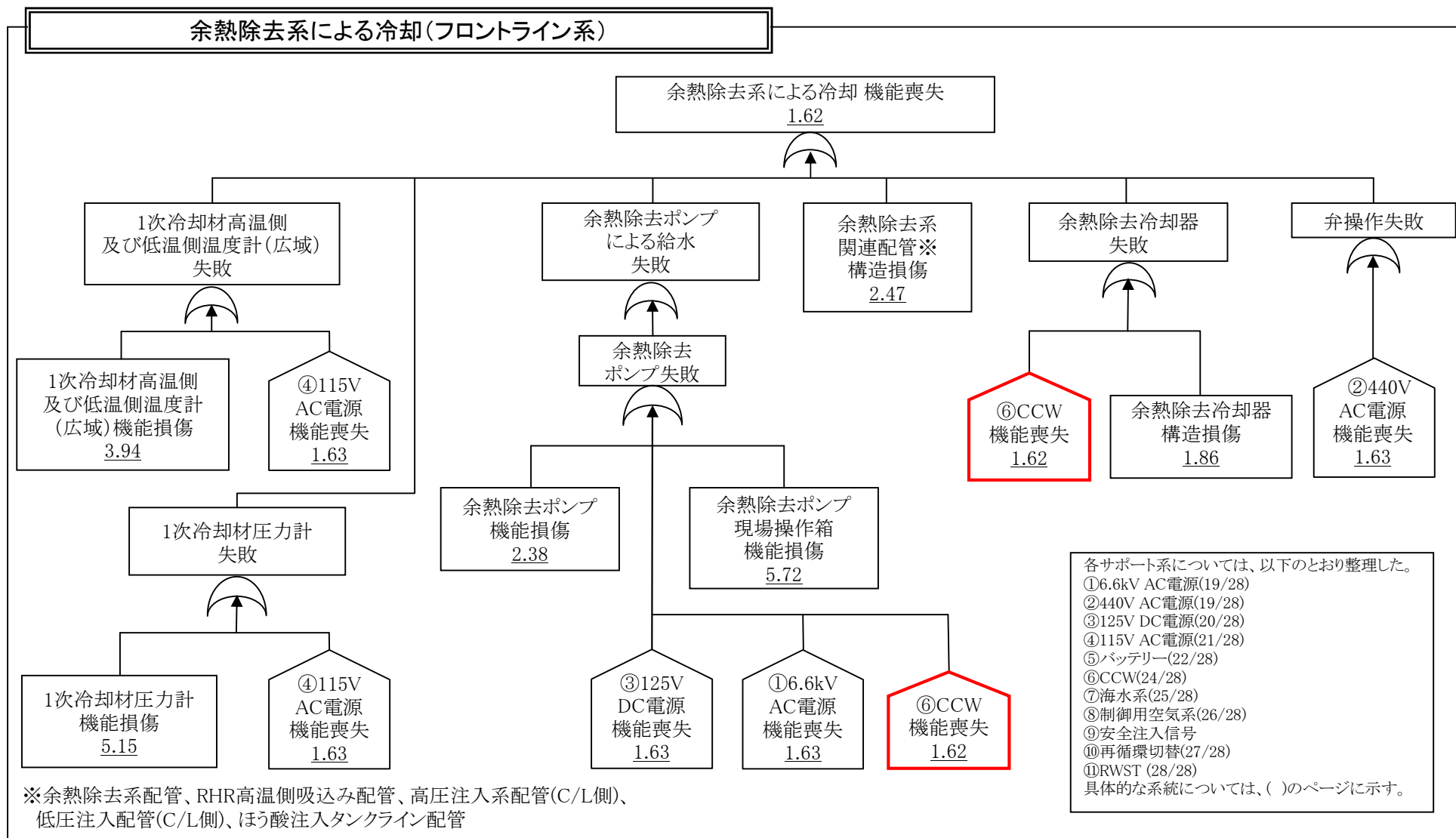
各影響緩和機能のフォールトツリ(地震:炉心損傷)

充てん系によるほう酸の添加(フロントライン系)

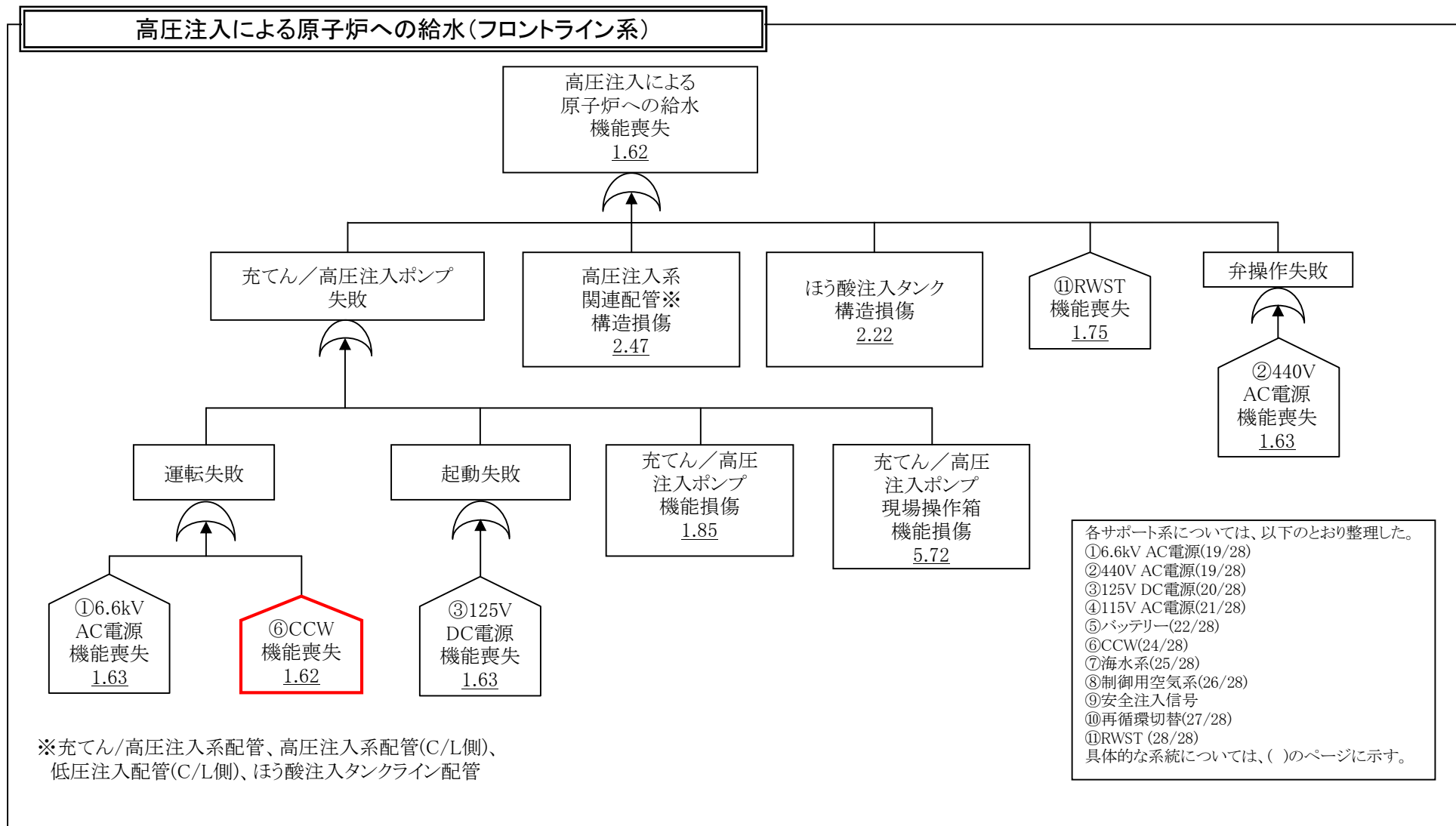
充てん系によるほう酸の添加 機能喪失 1.62



各影響緩和機能のフォールトツリー(地震:炉心損傷)

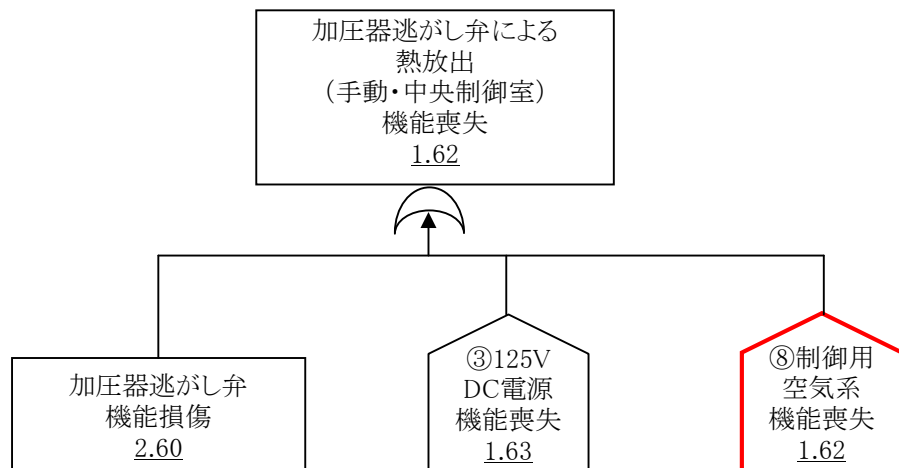


各影響緩和機能のフォールトツリー(地震:炉心損傷)



各影響緩和機能のフォールトツリー(地震:炉心損傷)

加圧器逃がし弁による熱放出(手動・中央制御室)(フロントライン系)

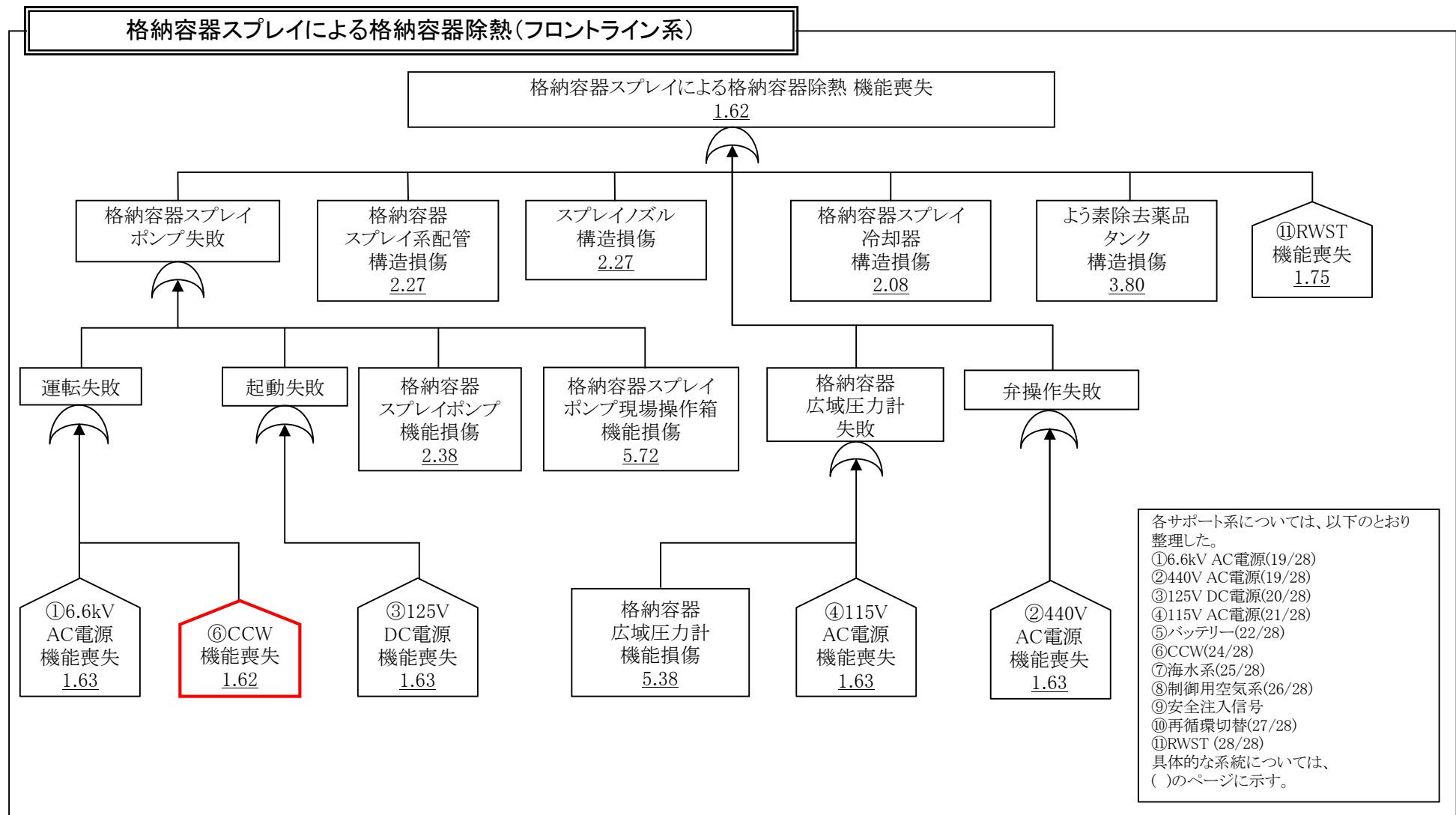


各サポート系については、以下のとおり整理した。

- ①6.6kV AC電源(19/28)
- ②440V AC電源(19/28)
- ③125V DC電源(20/28)
- ④115V AC電源(21/28)
- ⑤バッテリー(22/28)
- ⑥CCW(24/28)
- ⑦海水系(25/28)
- ⑧制御用空気系(26/28)
- ⑨安全注入信号
- ⑩再循環切替(27/28)
- ⑪RWST (28/28)

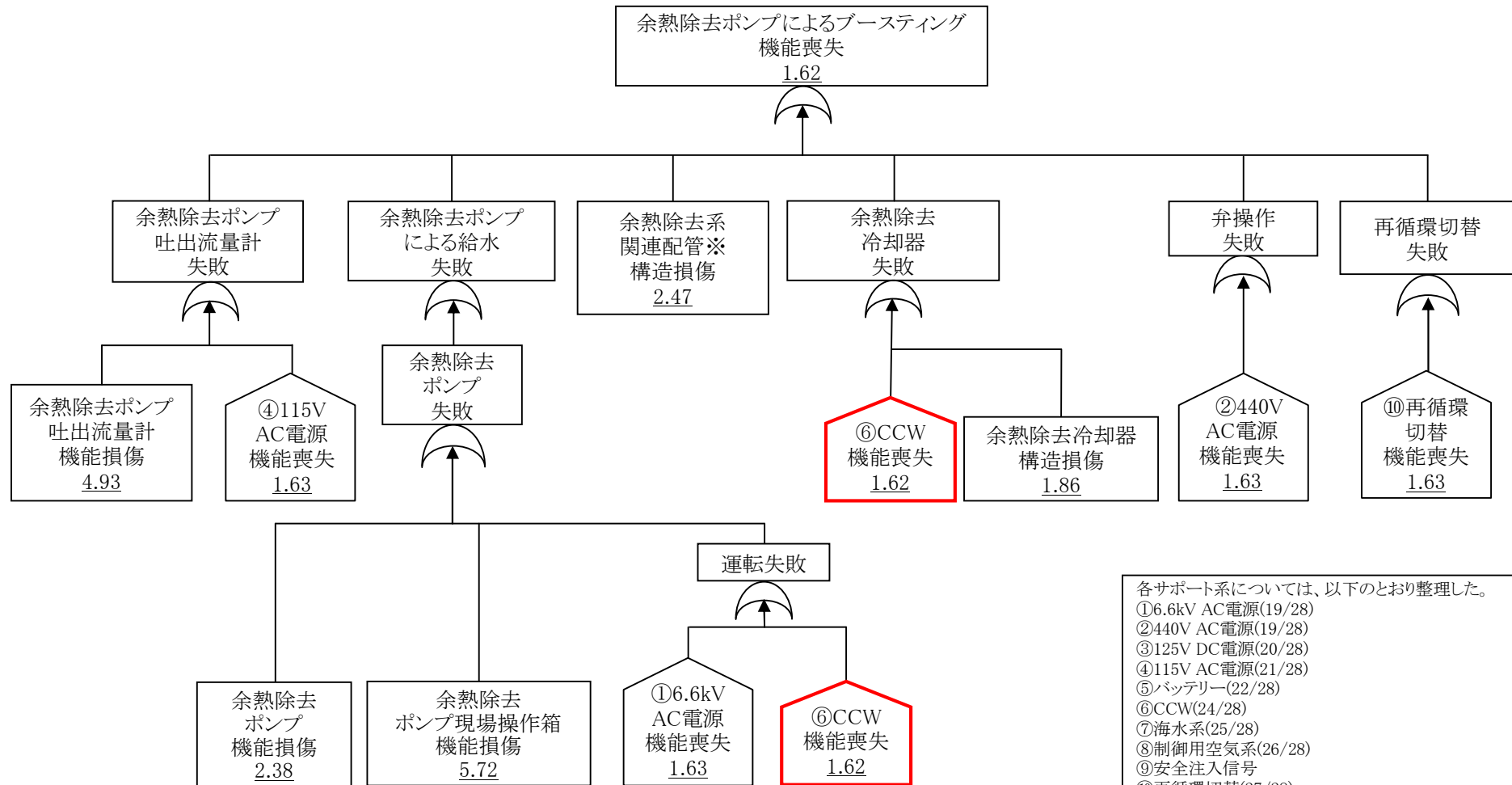
具体的な系統については、()のページに示す。

各影響緩和機能のフォールトツリー(地震:炉心損傷)



各影響緩和機能のフォールトツリー(地震:炉心損傷)

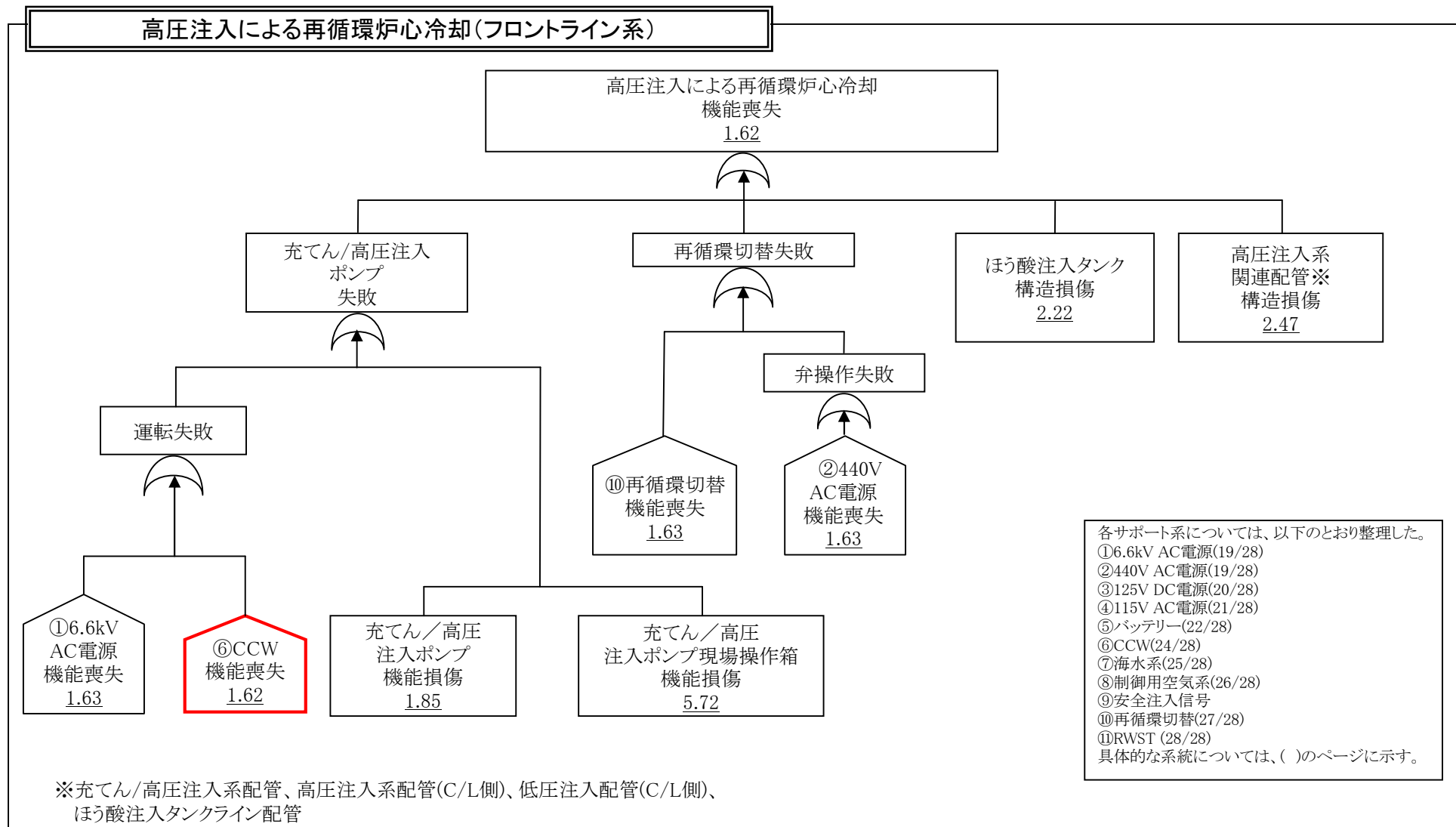
余熱除去ポンプによるブースティング(フロントライン系)



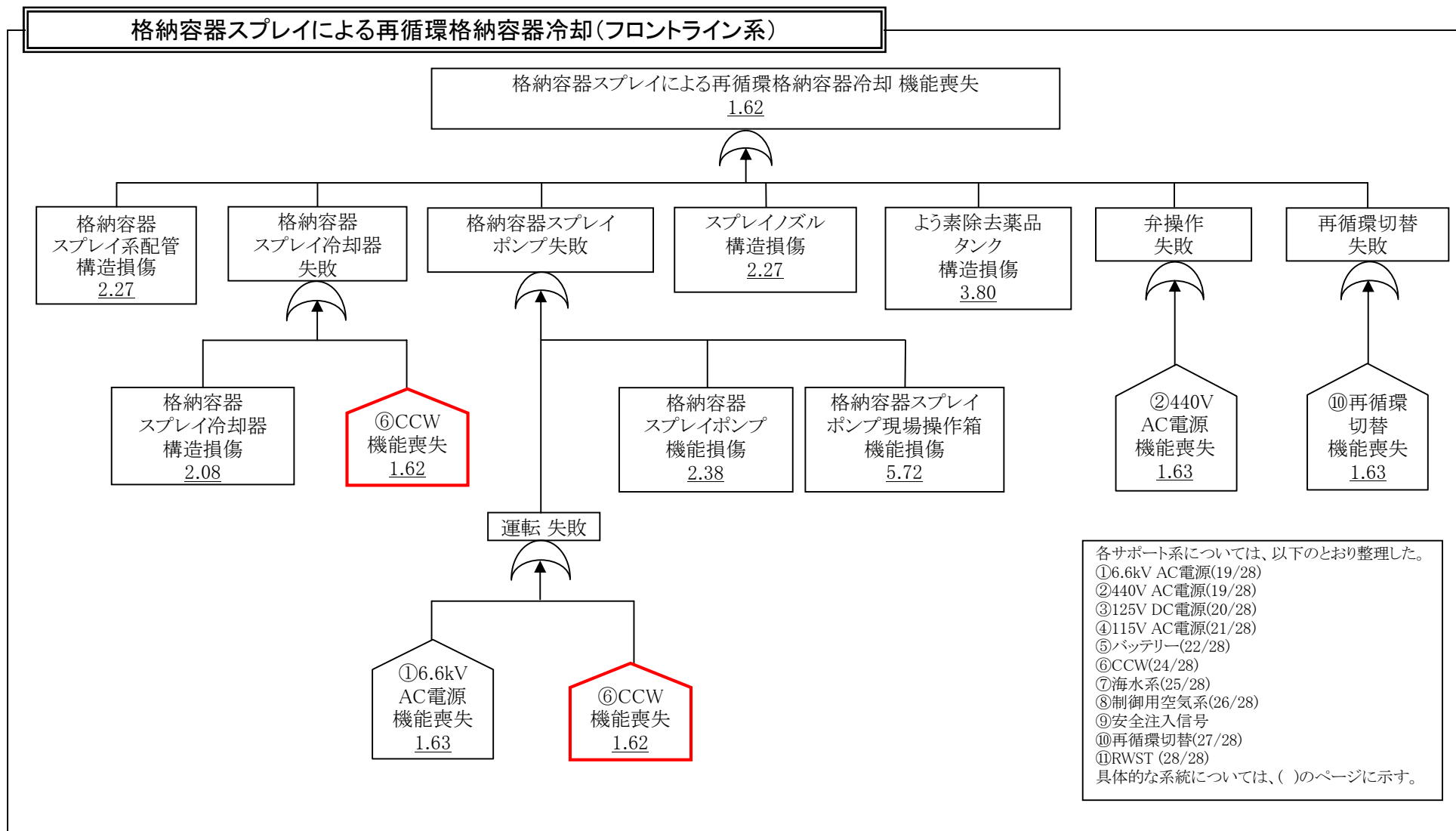
※余熱除去系配管

各サポート系については、以下のとおり整理した。
 ①6.6kV AC電源(19/28)
 ②440V AC電源(19/28)
 ③125V DC電源(20/28)
 ④115V AC電源(21/28)
 ⑤バッテリー(22/28)
 ⑥CCW(24/28)
 ⑦海水系(25/28)
 ⑧制御用空気系(26/28)
 ⑨安全注入信号
 ⑩再循環切替(27/28)
 ⑪RWST(28/28)
 具体的な系統については、()のページに示す。

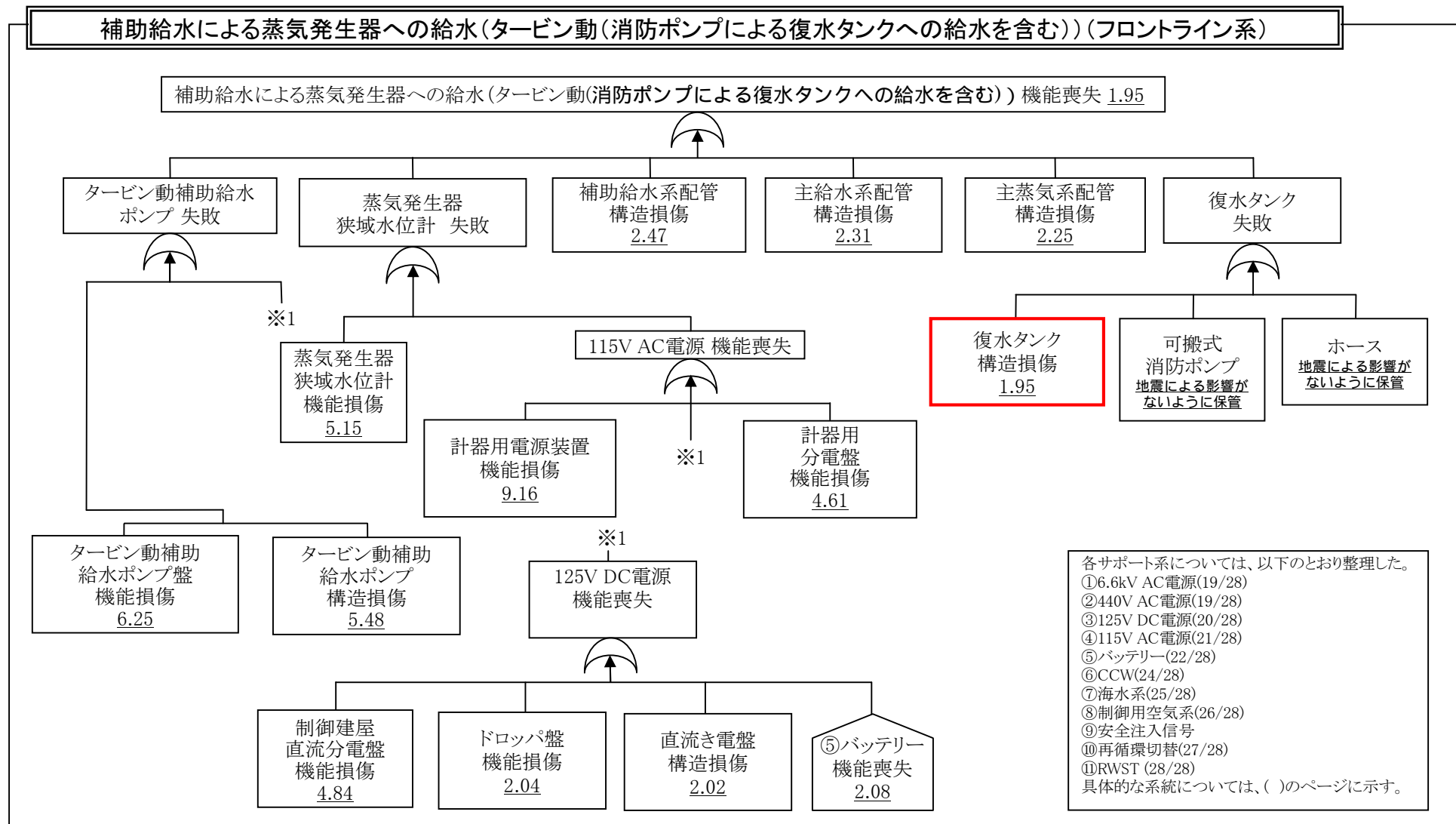
各影響緩和機能のフォールトツリー(地震:炉心損傷)



各影響緩和機能のフォールトツリー(地震:炉心損傷)



各影響緩和機能のフォールトツリー(地震:炉心損傷)



各影響緩和機能のフォールトツリー(地震:炉心損傷)

主蒸気逃がし弁による熱放出(手動・現場)(フロントライン系)

各サポート系については、以下のとおり整理した。
 ①6.6kV AC電源(19/28)
 ②440V AC電源(19/28)
 ③125V DC電源(20/28)
 ④115V AC電源(21/28)
 ⑤バッテリー(22/28)
 ⑥CCW(24/28)
 ⑦海水系(25/28)
 ⑧制御用空気系(26/28)
 ⑨安全注入信号
 ⑩再循環切替(27/28)
 ⑪RWST (28/28)
 具体的な系統については、()のページに示す。

主蒸気逃がし弁による熱放出
(手動・現場) 機能喪失
2.02

主蒸気逃がし弁
機能損傷
8.02

蒸気発生器
主蒸気流量計
失敗

1次冷却材圧力計
失敗

1次冷却材高温側
及び低温側温度計
(広域) 失敗

蒸気発生器
蒸気圧力計
失敗

主蒸気隔離弁
閉止失敗

蒸気発生器
主蒸気流量計
機能損傷
2.10

1次冷却材圧力計
機能損傷
5.15

1次冷却材
高温側及び低温側
温度計(広域)
機能損傷
3.94

蒸気発生器
蒸気圧力計
機能損傷
4.64

115V AC電源
機能喪失

計器用電源装置
機能損傷
9.16

計器用
分電盤
機能損傷
4.61

125V DC電源
機能喪失

主蒸気隔離弁
(電磁弁を含む)
機能損傷
5.08

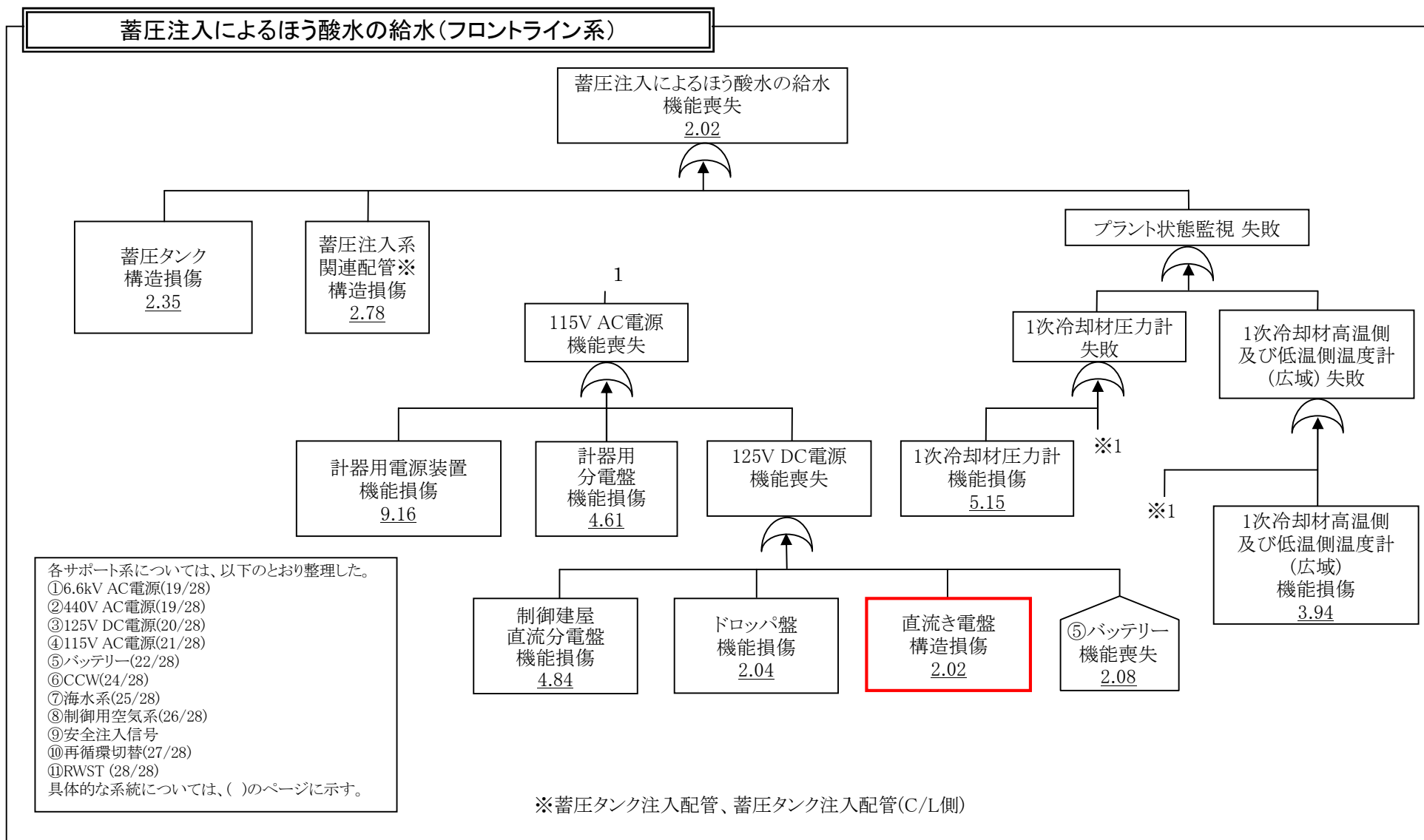
制御建屋
直流分電盤
機能損傷
4.84

ドロップ盤
機能損傷
2.04

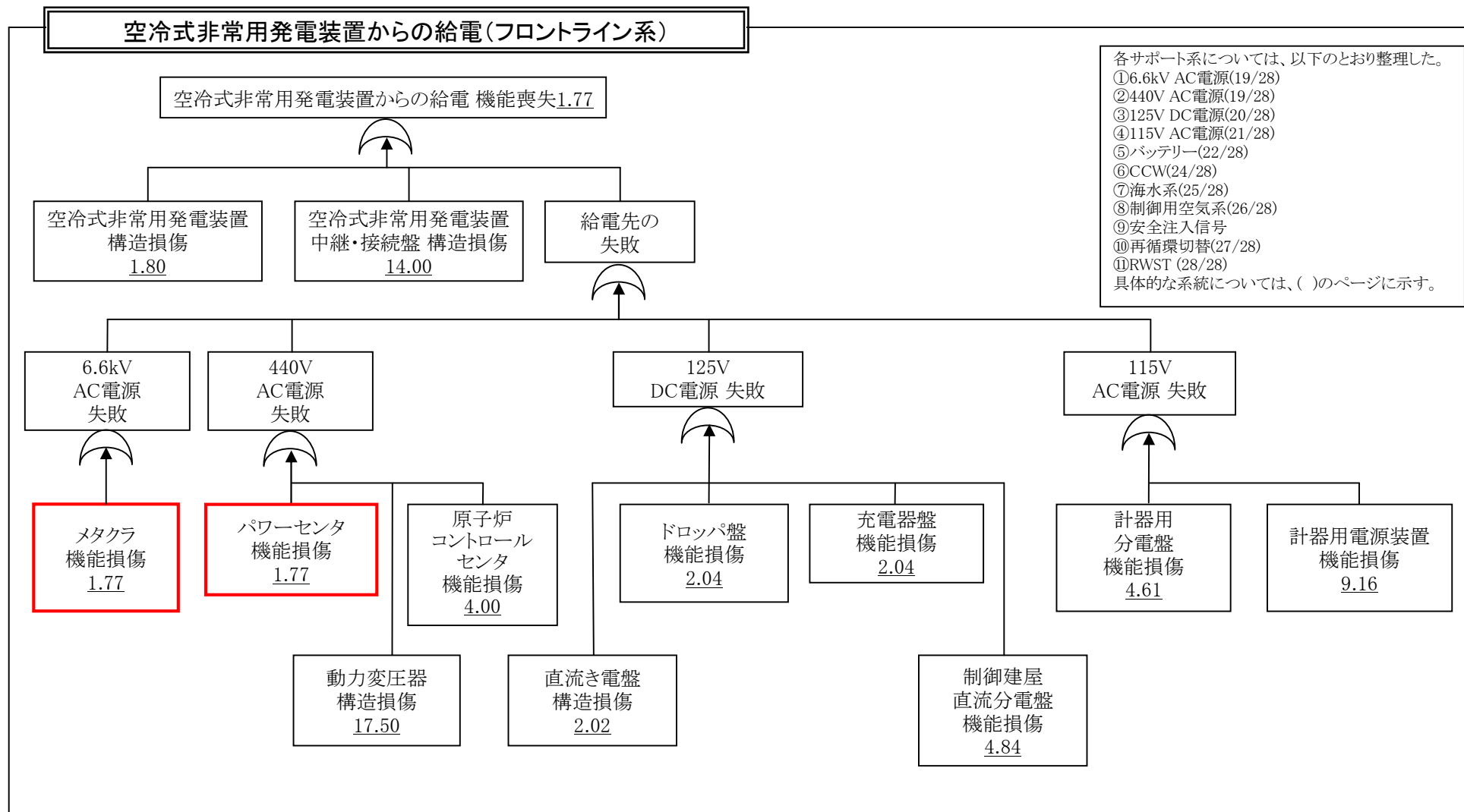
直流き電盤
構造損傷
2.02

⑤バッテリー
機能喪失
2.08

各影響緩和機能のフォールトツリー(地震:炉心損傷)

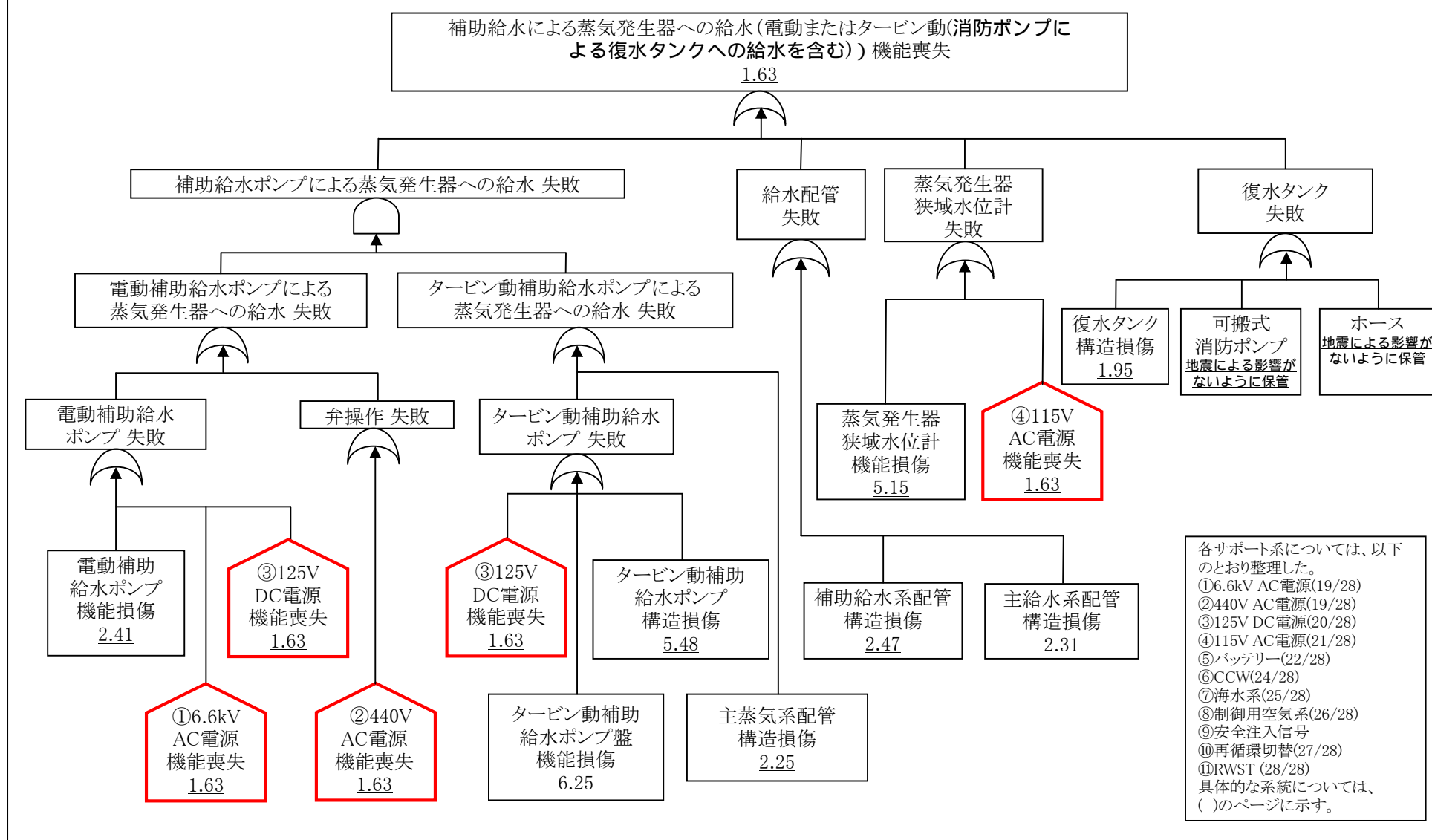


各影響緩和機能のフォールトツリー(地震:炉心損傷)

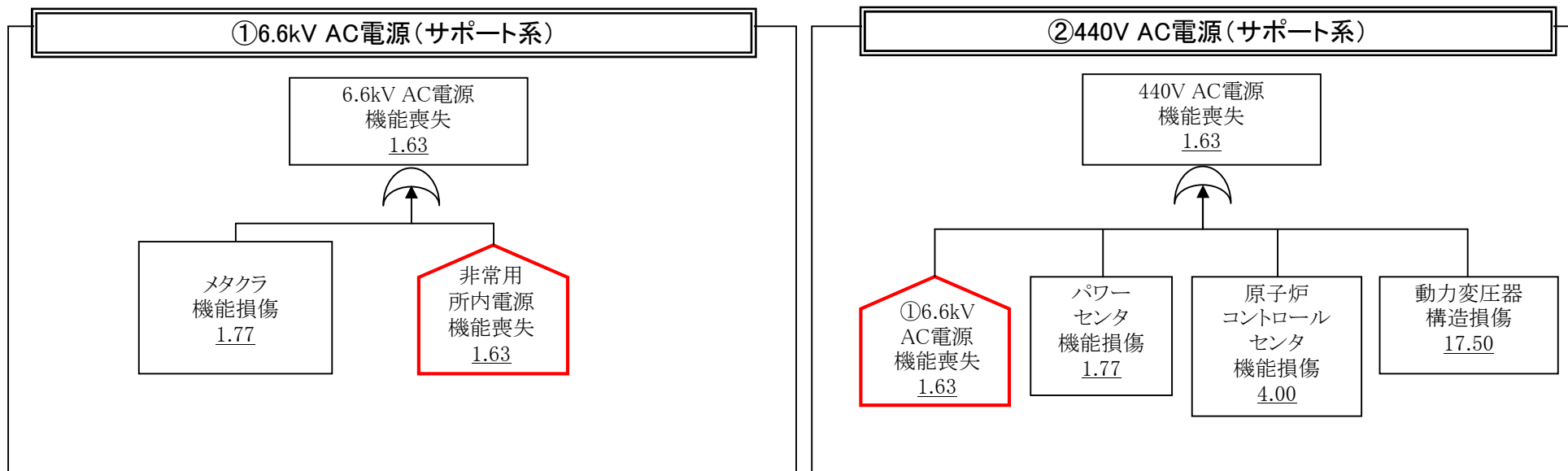


各影響緩和機能のフォールトツリー(地震:炉心損傷)

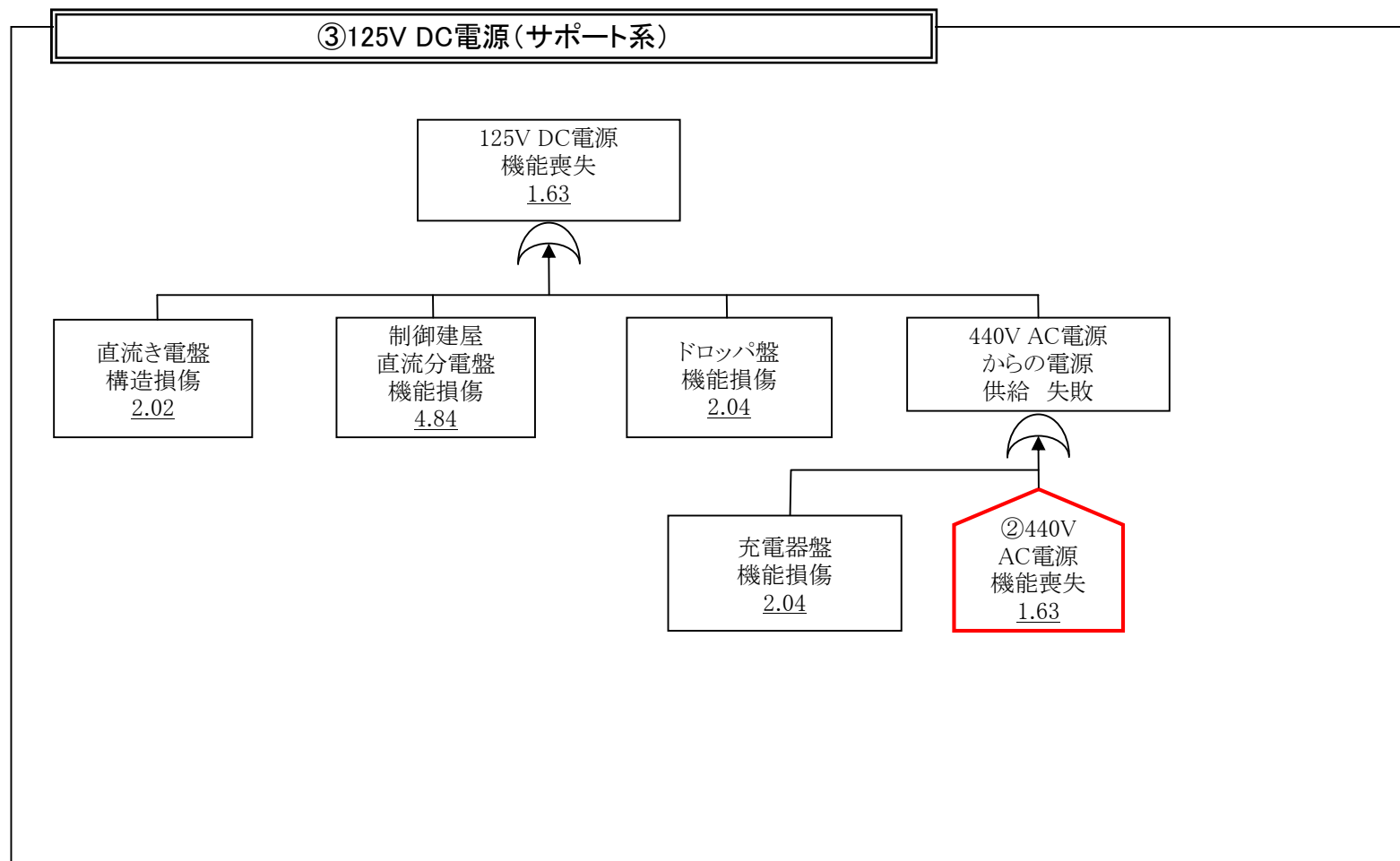
補助給水による蒸気発生器への給水(電動またはタービン動(消防ポンプによる復水タンクへの給水を含む))(フロントライン系)



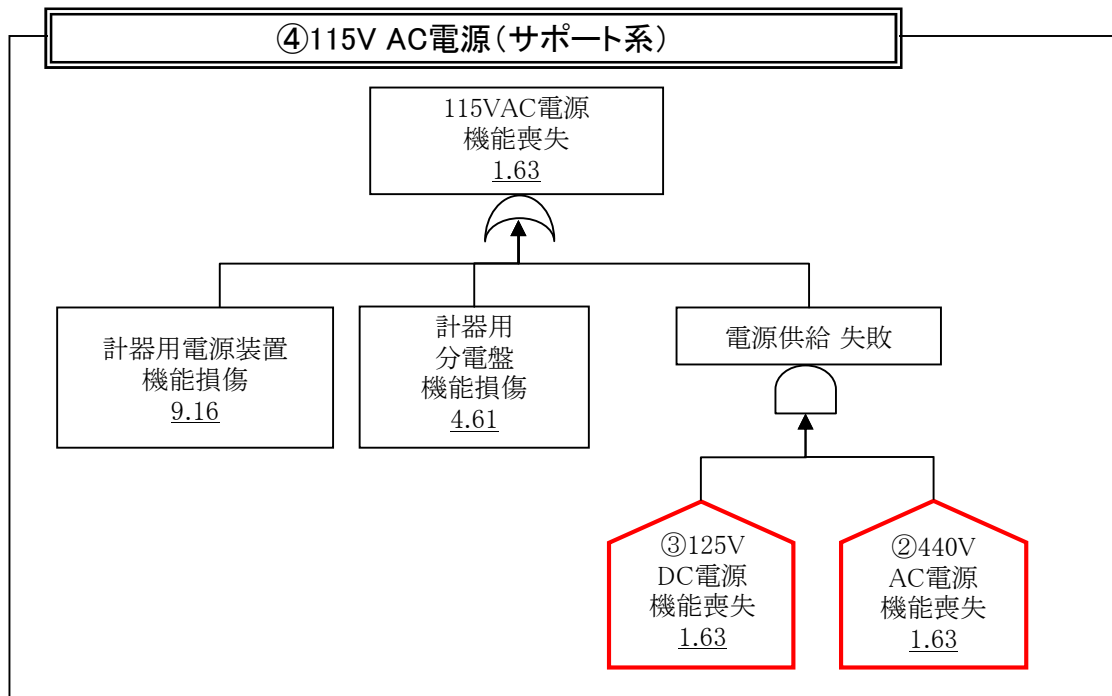
各影響緩和機能のフォールトツリー(地震:炉心損傷)



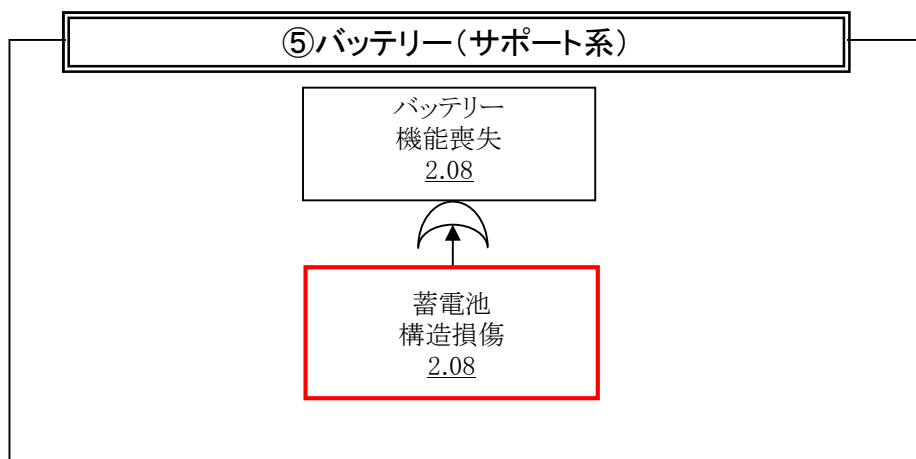
各影響緩和機能のフォールトツリー(地震:炉心損傷)



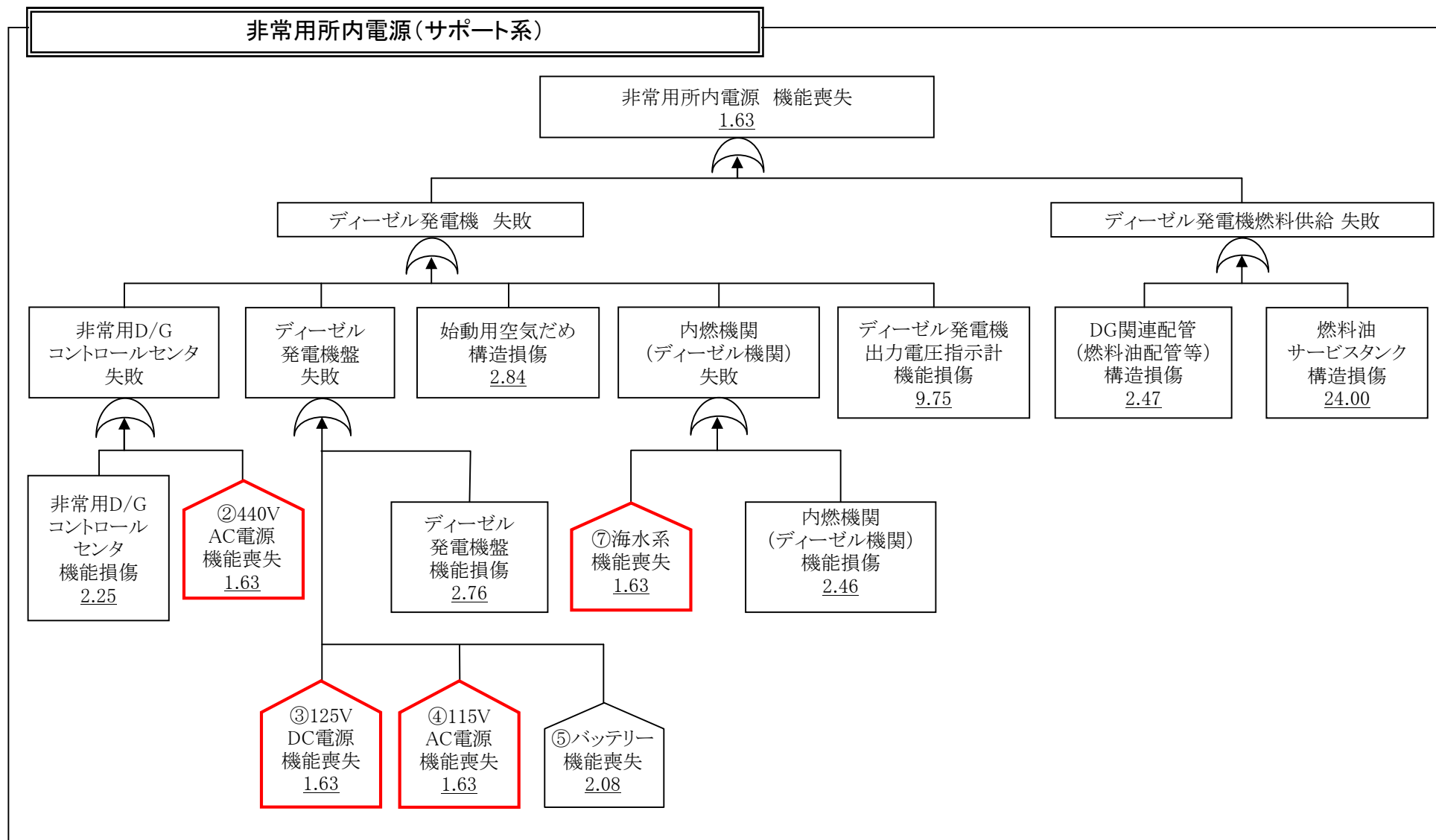
各影響緩和機能のフォールトツリー(地震:炉心損傷)



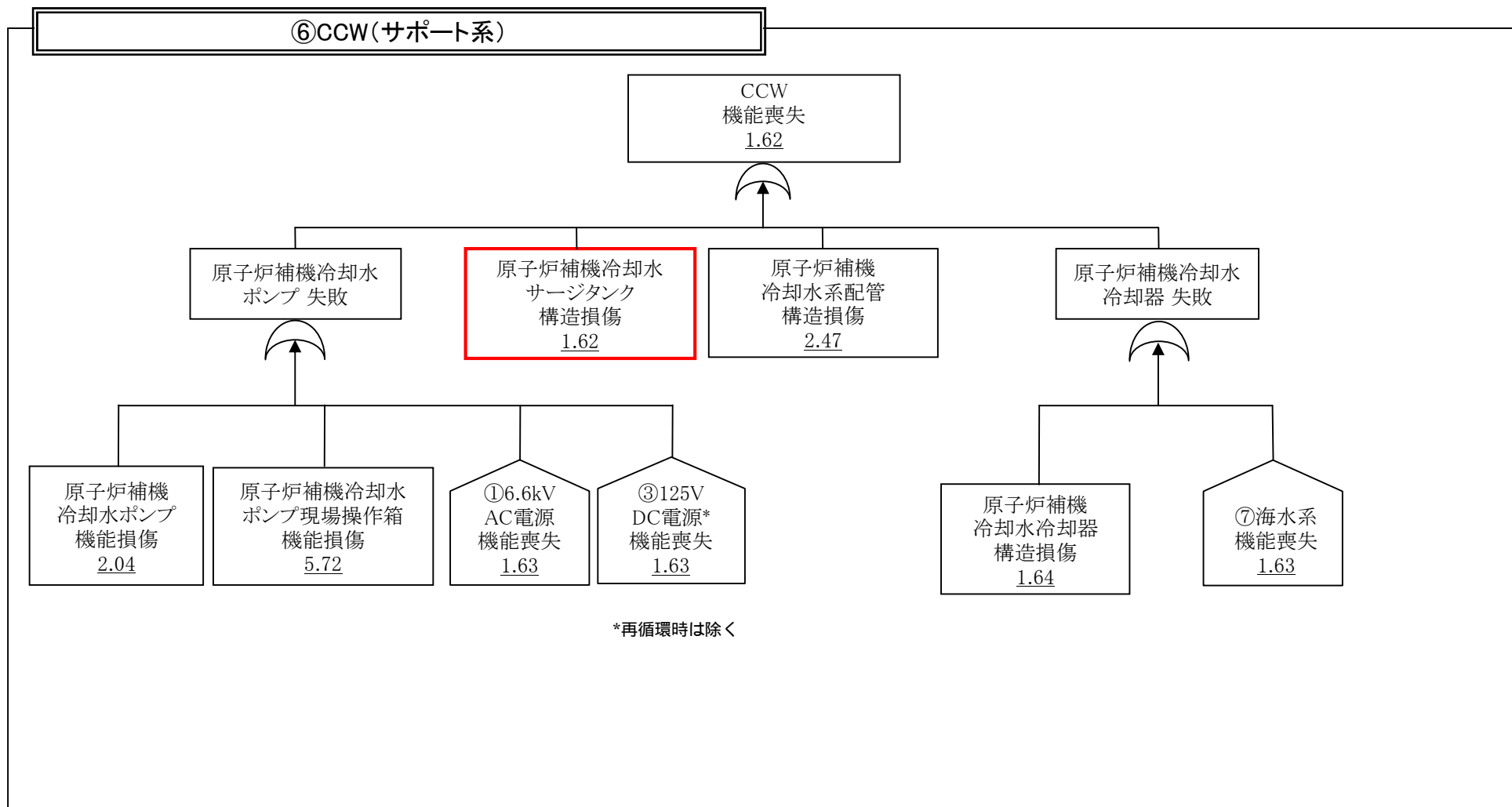
各影響緩和機能のフォールトツリー(地震:炉心損傷)



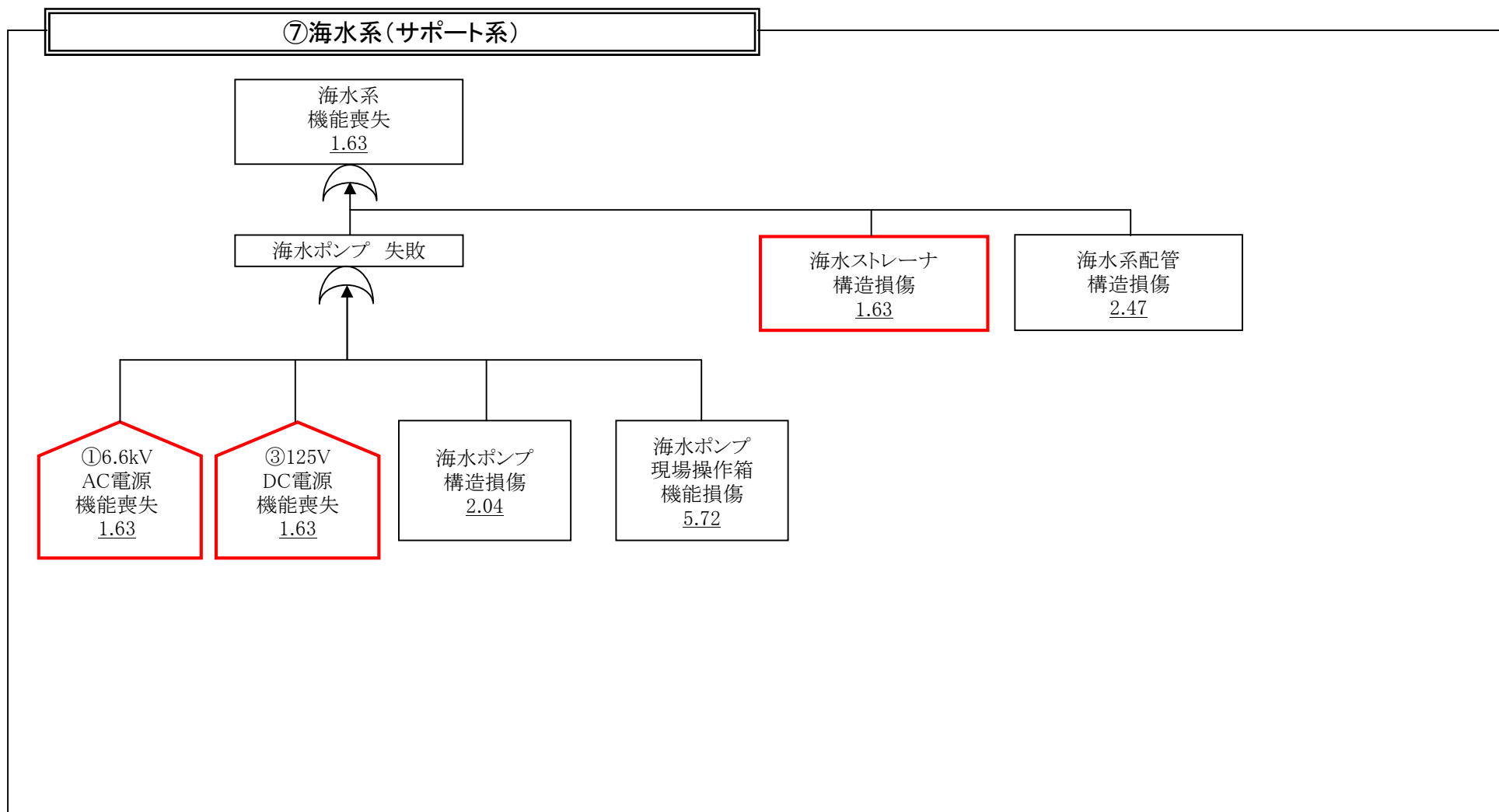
各影響緩和機能のフォールトツリー(地震:炉心損傷)



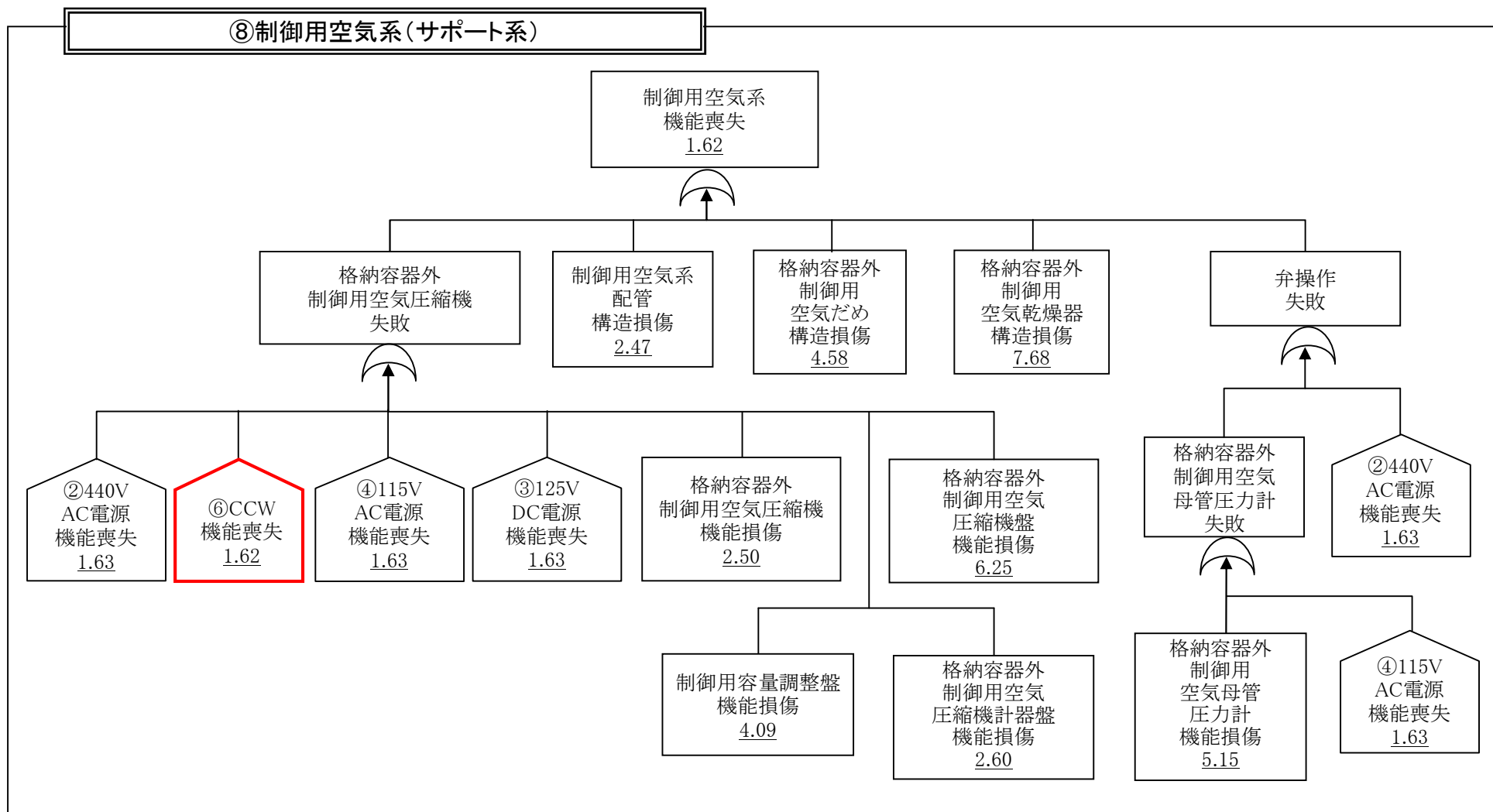
各影響緩和機能のフォールトツリー(地震:炉心損傷)



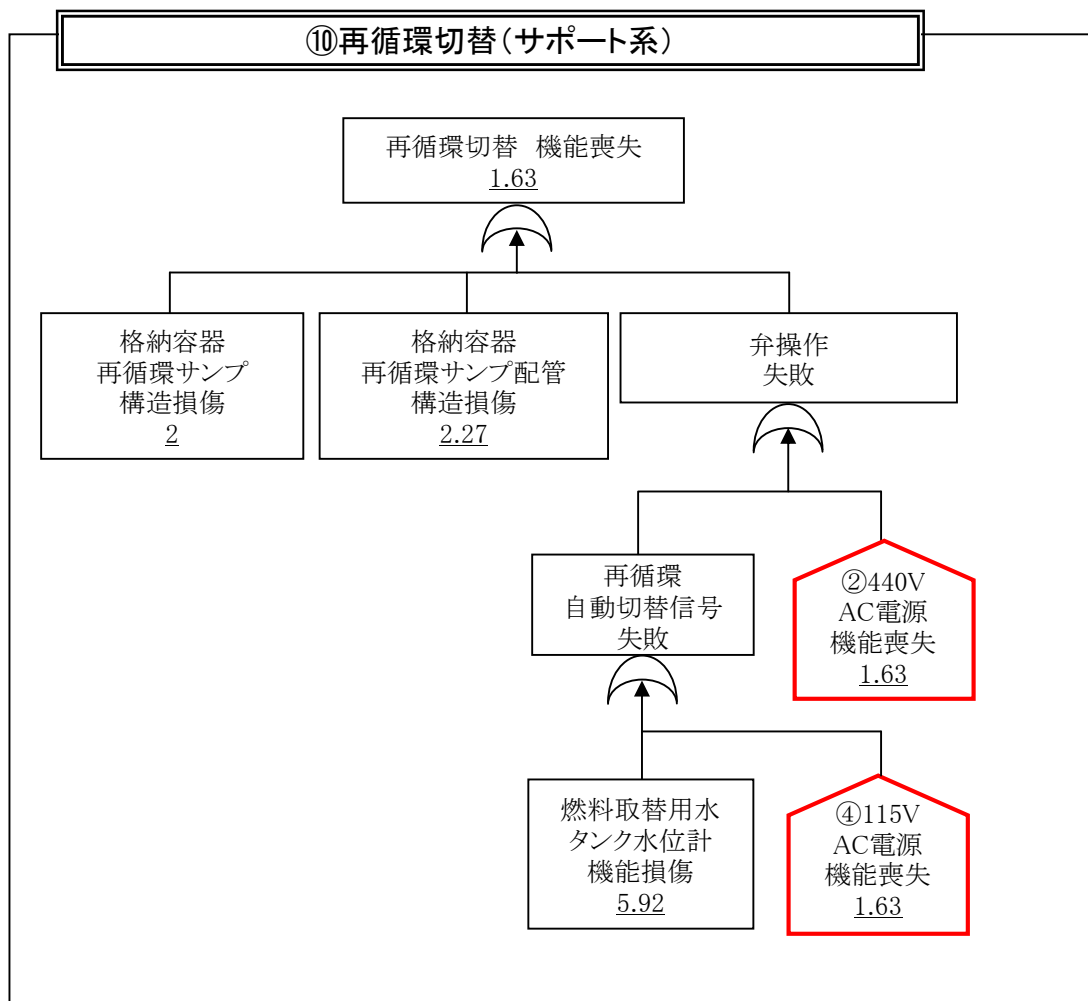
各影響緩和機能のフォールトツリー(地震:炉心損傷)



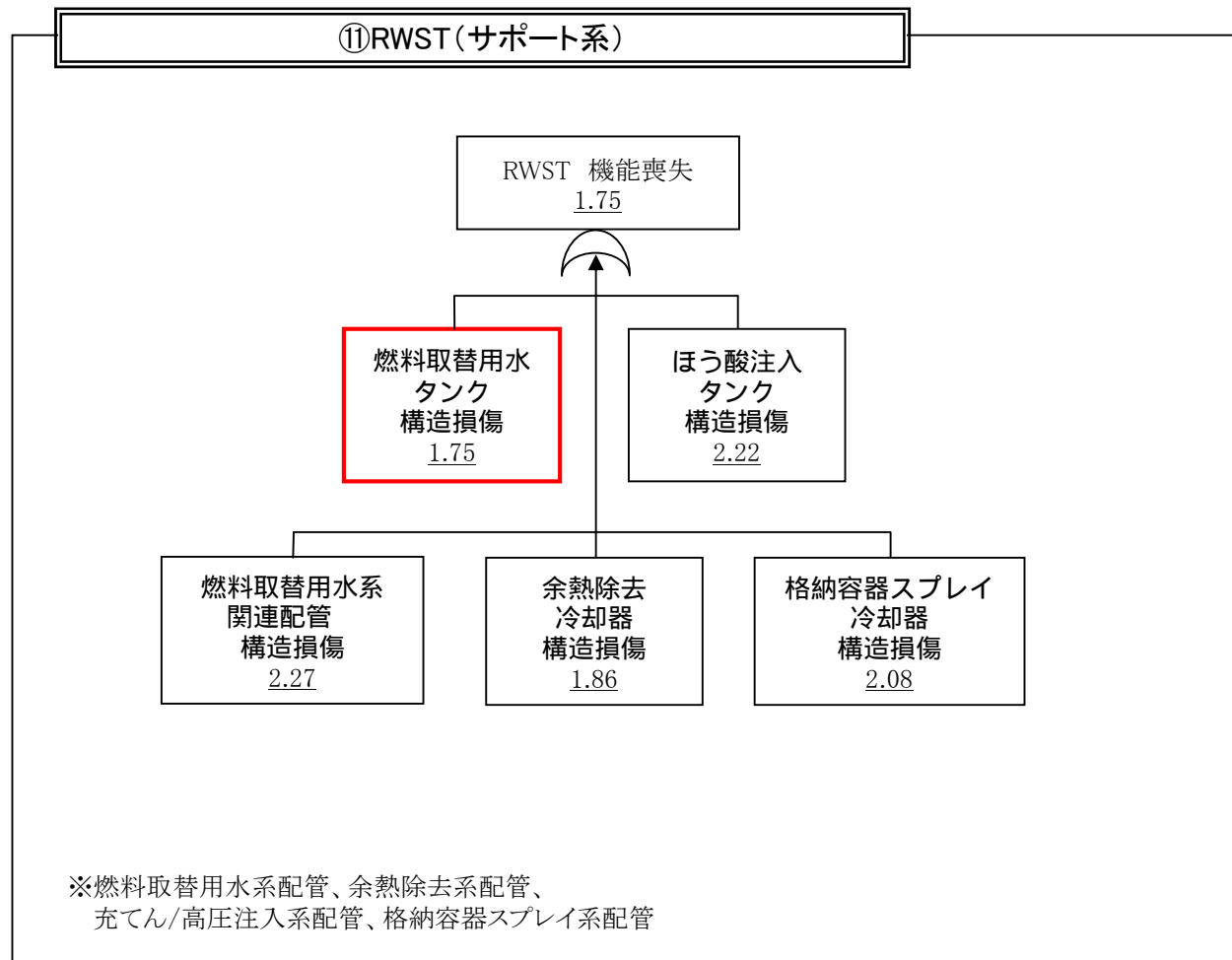
各影響緩和機能のフォールトツリー(地震:炉心損傷)



各影響緩和機能のフォールトツリー(地震:炉心損傷)

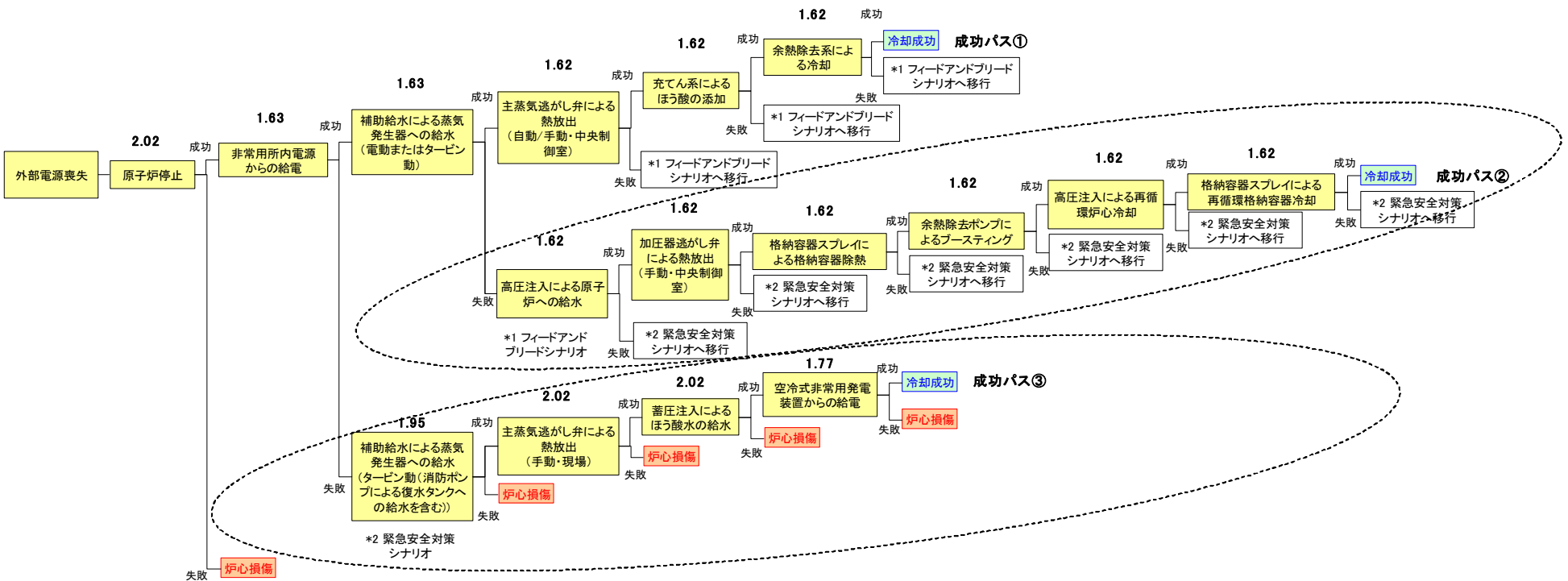


各影響緩和機能のフォールトツリー(地震:炉心損傷)



各影響緩和機能のフォールトツリー(地震:炉心損傷)

起因事象：外部電源喪失



イベントツリーの耐震裕度及びクリフエッジ評価（外部電源喪失）（地震：炉心損傷）

各影響緩和機能の耐震裕度評価結果一覧（地震：炉心損傷）（補機冷却水の喪失）

a. 原子炉停止

	設備		設置 場所	耐震 クラス	損傷 モード	単位	評価値 (a)	許容値 (b)	裕度 (b/a)
フロントライン系	制御用地震計		A/B	S	機能損傷	G	0.42	1.00	2.38
サポート系	125V DC 電源 (バッテリーからの給電であるので充電器盤は不要)	直流き電盤	A/B	S	構造損傷	MPa	138	279	2.02
		制御建屋直流分電盤	A/B	S	機能損傷	G	1.65	8.00	4.84
		ドロツパ盤	A/B	S	機能損傷	G	0.49	1.00	2.04
	115V AC 電源	計器用電源装置	A/B	S	機能損傷	G	1.31	12.00	9.16
		計器用分電盤	A/B	S	機能損傷	G	0.65	3.00	4.61
	バッテリー	蓄電池	A/B	S	構造損傷	MPa	134	279	2.08

b. 非常用所内電源からの給電

	設備		設置 場所	耐震 クラス	損傷 モード	単位	評価値 (a)	許容値 (b)	裕度 (b/a)
フロントライン系	非常用 D / G コントロールセンタ		A/B	S	機能損傷	G	3.15	7.10	2.25
	内燃機関（ディーゼル機関）		A/B	S	機能損傷	G	0.69	1.7	2.46
	ディーゼル発電機盤		A/B	S	機能損傷	G	0.47	1.30	2.76
	燃料油サービスタンク		A/B	S	構造損傷	MPa	10	240	24.00
	D G 関連配管（燃料油配管等）		A/B	S	構造損傷	MPa	162	401	2.47
	始動用空気だめ		A/B	S	構造損傷	MPa	94	267	2.84
	ディーゼル発電機出力電圧指示計		A/B	S	機能損傷	G	1.62	15.80	9.75
サポート系	6.6kV AC 電源	メタクラ	A/B	S	機能損傷	G	0.62	1.10	1.77
	440V AC 電源	パワーセンタ	A/B	S	機能損傷	G	0.62	1.10	1.77
		原子炉コントロールセンタ	A/B	S	機能損傷	G	0.75	3.00	4.00
		動力変圧器	A/B	S	構造損傷	MPa	12	210	17.50
	125V DC 電源	直流き電盤	A/B	S	構造損傷	MPa	138	279	2.02
		制御建屋直流分電盤	A/B	S	機能損傷	G	1.65	8.00	4.84
		充電器盤	A/B	S	機能損傷	G	0.49	1.00	2.04
		ドロツパ盤	A/B	S	機能損傷	G	0.49	1.00	2.04

	設備		設置 場所	耐震 クラス	損傷 モード	単位	評価値 (a)	許容値 (b)	裕度 (b/a)
サ ポ ー ト 系	115V AC 電源	計器用電源装置	A/B	S	機能損傷	G	1.31	12.00	9.16
		計器用分電盤	A/B	S	機能損傷	G	0.65	3.00	4.61
	バッテリー	蓄電池	A/B	S	構造損傷	MPa	134	279	2.08
	海水系	海水系配管	屋外 A/B	S	構造損傷	MPa	162	401	2.47
		海水ポンプ	屋外	S	構造損傷	MPa	88	180	2.04
		海水ポンプ現場操作箱	屋外	S	機能損傷	G	1.73	9.90	5.72
		海水ストレーナ	屋外	S	構造損傷	MPa	216	354	1.63

c. 補助給水による蒸気発生器への給水（電動またはタービン動（消防ポンプによる復水タンクへの給水を含む））

	設備		設置 場所	耐震 クラス	損傷 モード	単位	評価値 (a)	許容値 (b)	裕度 (b/a)
フロントライン系	復水タンク		屋外	S	構造損傷	MPa	123	240	1.95
	蒸気発生器狭域水位計		C/V	S	機能損傷	G	0.46	2.37	5.15
	電動補助給水ポンプ		A/B	S	機能損傷	G	0.58	1.4	2.41
	タービン動補助給水ポンプ盤		A/B	S	機能損傷	G	0.48	3.00	6.25
	タービン動補助給水ポンプ		A/B	S	構造損傷	MPa	27	148	5.48
	補助給水系配管		A/B E/B	S	構造損傷	MPa	162	401	2.47
	主給水系配管		E/B C/V	S	構造損傷	MPa	164	380	2.31
	主蒸気系配管		A/B E/B C/V	S	構造損傷	MPa	182	410	2.25
	可搬式消防ポンプ、ホース		屋外	-	-	可搬式消防ポンプ、ホースは地震による影響がないように保管			-
サポート系	6.6kV AC 電源	メタクラ	A/B	S	機能損傷	G	0.62	1.10	1.77
	440V AC 電源	パワーセンタ	A/B	S	機能損傷	G	0.62	1.10	1.77
		原子炉コントロールセンタ	A/B	S	機能損傷	G	0.75	3.00	4.00
		動力変圧器	A/B	S	構造損傷	MPa	12	210	17.50

	設備		設置 場所	耐震 クラス	損傷 モード	単位	評価値 (a)	許容値 (b)	裕度 (b/a)
サ ポ ー ト 系	125V DC 電源	直流き電盤	A/B	S	構造損傷	MPa	138	279	2.02
		制御建屋直流分電盤	A/B	S	機能損傷	G	1.65	8.00	4.84
		充電器盤	A/B	S	機能損傷	G	0.49	1.00	2.04
		ドロップ盤	A/B	S	機能損傷	G	0.49	1.00	2.04
	115V AC 電源	計器用電源装置	A/B	S	機能損傷	G	1.31	12.00	9.16
		計器用分電盤	A/B	S	機能損傷	G	0.65	3.00	4.61
	バッテリー	蓄電池	A/B	S	構造損傷	MPa	134	279	2.08
	非常用所内電源	非常用 D / G コントロールセンタ	A/B	S	機能損傷	G	3.15	7.10	2.25
		内燃機関（ディーゼル機関）	A/B	S	機能損傷	G	0.69	1.7	2.46
		ディーゼル発電機盤	A/B	S	機能損傷	G	0.47	1.30	2.76
		燃料油サービスタンク	A/B	S	構造損傷	MPa	10	240	24.00
		D G 関連配管（燃料油配管等）	A/B	S	構造損傷	MPa	162	401	2.47
		始動用空気だめ	A/B	S	構造損傷	MPa	94	267	2.84
		ディーゼル発電機出力電圧指示計	A/B	S	機能損傷	G	1.62	15.80	9.75

	設備		設置 場所	耐震 クラス	損傷 モード	単位	評価値 (a)	許容値 (b)	裕度 (b/a)
	海水系	海水系配管	屋外 A/B	S	構造損傷	MPa	162	401	2.47
		海水ポンプ	屋外	S	構造損傷	MPa	88	180	2.04
		海水ポンプ現場操作箱	屋外	S	機能損傷	G	1.73	9.90	5.72
		海水ストレーナ	屋外	S	構造損傷	MPa	216	354	1.63

d. 主蒸気逃がし弁による熱放出（手動・現場）

	設備		設置場所	耐震クラス	損傷モード	単位	評価値 (a)	許容値 (b)	裕度 (b/a)
フロントライン系	主蒸気逃がし弁		E/B	S	機能損傷	MPa	45	361	8.02
	主蒸気隔離弁（電磁弁を含む）		E/B	S	機能損傷	G	1.2	6.1	5.08
	蒸気発生器蒸気圧力計		E/B	S	機能損傷	G	0.51	2.37	4.64
	蒸気発生器主蒸気流量計		C/V	S	機能損傷	G	3.05	6.43	2.10
	1次冷却材高温側及び低温側温度計（広域）		C/V	S	機能損傷	G	3.80	15.00	3.94
	1次冷却材圧力計		C/V	S	機能損傷	G	0.46	2.37	5.15
サポート系	125V DC 電源 (バッテリーからの給電であるので充電器盤は不要)	直流き電盤	A/B	S	構造損傷	MPa	138	279	2.02
		制御建屋直流分電盤	A/B	S	機能損傷	G	1.65	8.00	4.84
		ドロップ盤	A/B	S	機能損傷	G	0.49	1.00	2.04
	115V AC 電源	計器用電源装置	A/B	S	機能損傷	G	1.31	12.00	9.16
		計器用分電盤	A/B	S	機能損傷	G	0.65	3.00	4.61
	バッテリー	蓄電池	A/B	S	構造損傷	MPa	134	279	2.08

e. 蓄圧注入によるほう酸水の給水

	設備		設置 場所	耐震 クラス	損傷 モード	単位	評価値 (a)	許容値 (b)	裕度 (b/a)
フロントライン系	蓄圧タンク		C/V	S	構造損傷	MPa	108	254	2.35
	1次冷却材高温側及び低温側温度計（広域）		C/V	S	機能損傷	G	3.80	15.00	3.94
	1次冷却材圧力計		C/V	S	機能損傷	G	0.46	2.37	5.15
	蓄圧注入系関連配管		C/V	S	構造損傷	MPa	123	342	2.78
サポート系	125V DC 電源 (バッテリーからの給電であるので充電器盤は不要)	直流き電盤	A/B	S	構造損傷	MPa	138	279	2.02
		制御建屋直流分電盤	A/B	S	機能損傷	G	1.65	8.00	4.84
		ドロップ盤	A/B	S	機能損傷	G	0.49	1.00	2.04
	115V AC 電源	計器用電源装置	A/B	S	機能損傷	G	1.31	12.00	9.16
		計器用分電盤	A/B	S	機能損傷	G	0.65	3.00	4.61
	バッテリー	蓄電池	A/B	S	構造損傷	MPa	134	279	2.08

f. 補助給水による蒸気発生器への給水（タービン動（消防ポンプによる復水タンクへの給水を含む））

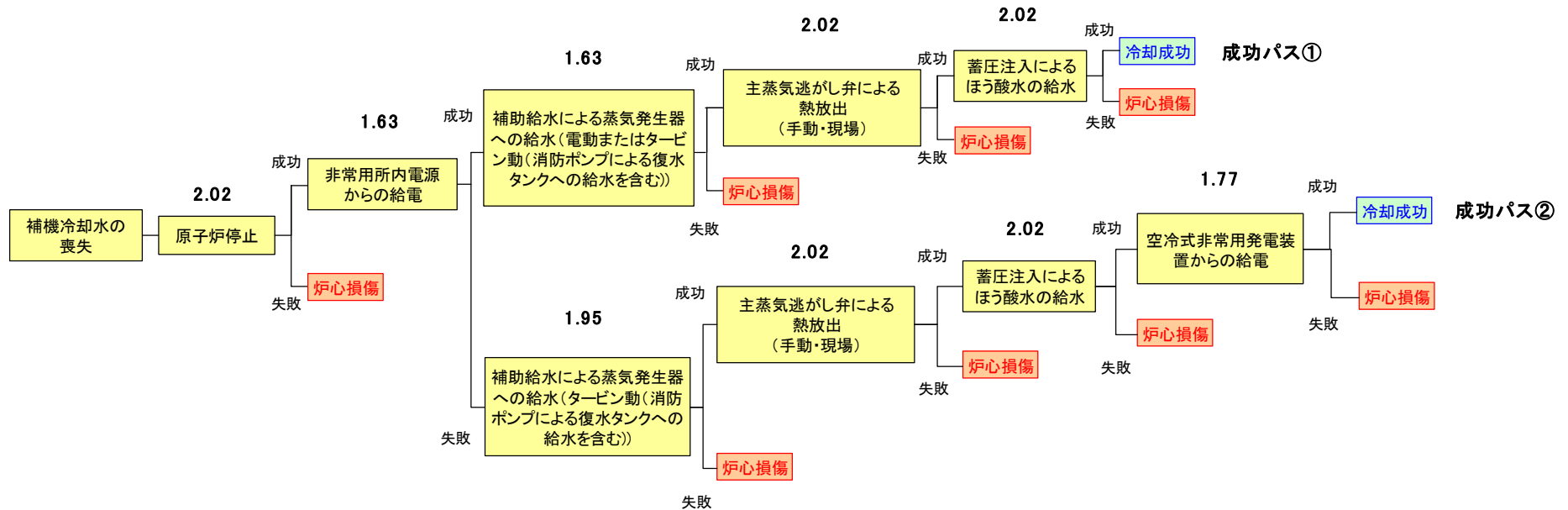
	設備		設置 場所	耐震 クラス	損傷 モード	単位	評価値 (a)	許容値 (b)	裕度 (b/a)
フ ロ ン ト ラ イ ン 系	復水タンク		屋外	S	構造損傷	MPa	123	240	1.95
	蒸気発生器狭域水位計		C/V	S	機能損傷	G	0.46	2.37	5.15
	タービン動補助給水ポンプ盤		A/B	S	機能損傷	G	0.48	3.00	6.25
	タービン動補助給水ポンプ		A/B	S	構造損傷	MPa	27	148	5.48
	補助給水系配管		A/B E/B	S	構造損傷	MPa	162	401	2.47
	主給水系配管		E/B C/V	S	構造損傷	MPa	164	380	2.31
	主蒸気系配管		A/B E/B C/V	S	構造損傷	MPa	182	410	2.25
	可搬式消防ポンプ、ホース		屋外	-	-	可搬式消防ポンプ、ホースは地震による影響がないように保管			-
サ ポ ー ト 系	125V DC 電源 (バッテリーからの給電であるので充電器盤は不要)	直流き電盤	A/B	S	構造損傷	MPa	138	279	2.02
		制御建屋直流分電盤	A/B	S	機能損傷	G	1.65	8.00	4.84
		ドロップ盤	A/B	S	機能損傷	G	0.49	1.00	2.04

	設備		設置 場所	耐震 クラス	損傷 モード	単位	評価値 (a)	許容値 (b)	裕度 (b/a)
サ ポ ー ト 系	115V AC 電源	計器用電源装置	A/B	S	機能損傷	G	1.31	12.00	9.16
		計器用分電盤	A/B	S	機能損傷	G	0.65	3.00	4.61
	バッテリー	蓄電池	A/B	S	構造損傷	MPa	134	279	2.08

g. 空冷式非常用発電装置からの給電

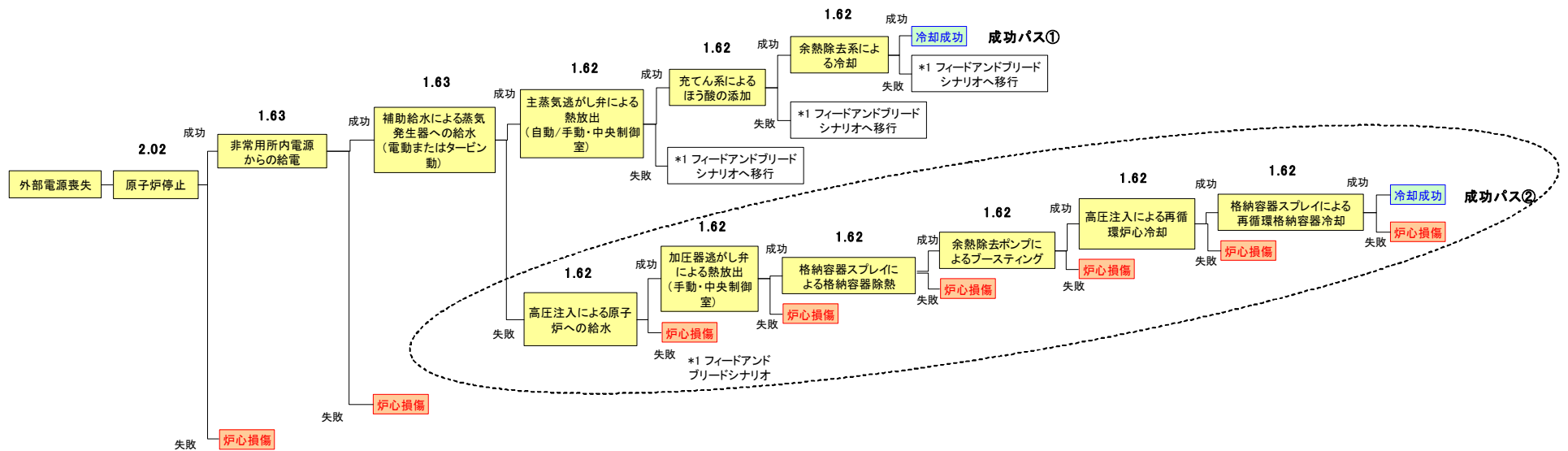
	設備		設置 場所	耐震 クラス	損傷 モード	単位	評価値 (a)	許容値 (b)	裕度 (b/a)
フロント ライン系	空冷式非常用発電装置		屋外	-	1.80 × Ss に対し、転倒しないことを確認。 また地震の影響のないように保管。				1.80
	空冷式非常用発電装置 中継・接続盤		A/B	S	構造損傷	MPa	12	168	14.00
サポ ート系	6.6kV AC 電源	メタクラ	A/B	S	機能損傷	G	0.62	1.10	1.77
	440V AC 電源	パワーセンタ	A/B	S	機能損傷	G	0.62	1.10	1.77
		原子炉コントロールセンタ	A/B	S	機能損傷	G	0.75	3.00	4.00
		動力変圧器	A/B	S	構造損傷	MPa	12	210	17.50
	125V DC 電源	直流き電盤	A/B	S	構造損傷	MPa	138	279	2.02
		制御建屋直流分電盤	A/B	S	機能損傷	G	1.65	8.00	4.84
		充電器盤	A/B	S	機能損傷	G	0.49	1.00	2.04
		ドロツパ盤	A/B	S	機能損傷	G	0.49	1.00	2.04
	115V AC 電源	計器用電源装置	A/B	S	機能損傷	G	1.31	12.00	9.16
		計器用分電盤	A/B	S	機能損傷	G	0.65	3.00	4.61

起因事象：補機冷却水の喪失



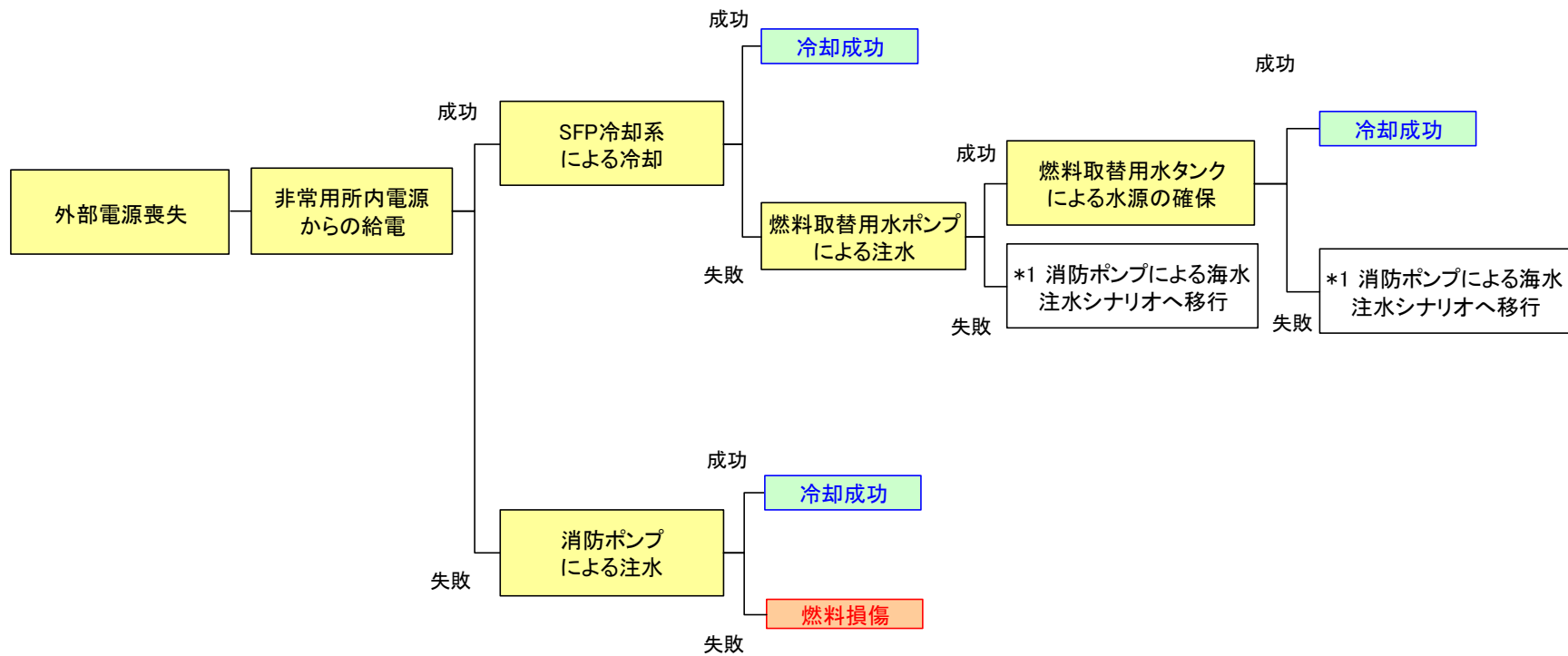
イベントツリーの耐震裕度及びクリフエッジ評価（補機冷却水の喪失）（地震：炉心損傷）

起因事象：外部電源喪失



イベントツリーの耐震裕度及びクリフエッジ評価（緊急安全対策前）（地震：炉心損傷）

起因事象：外部電源喪失

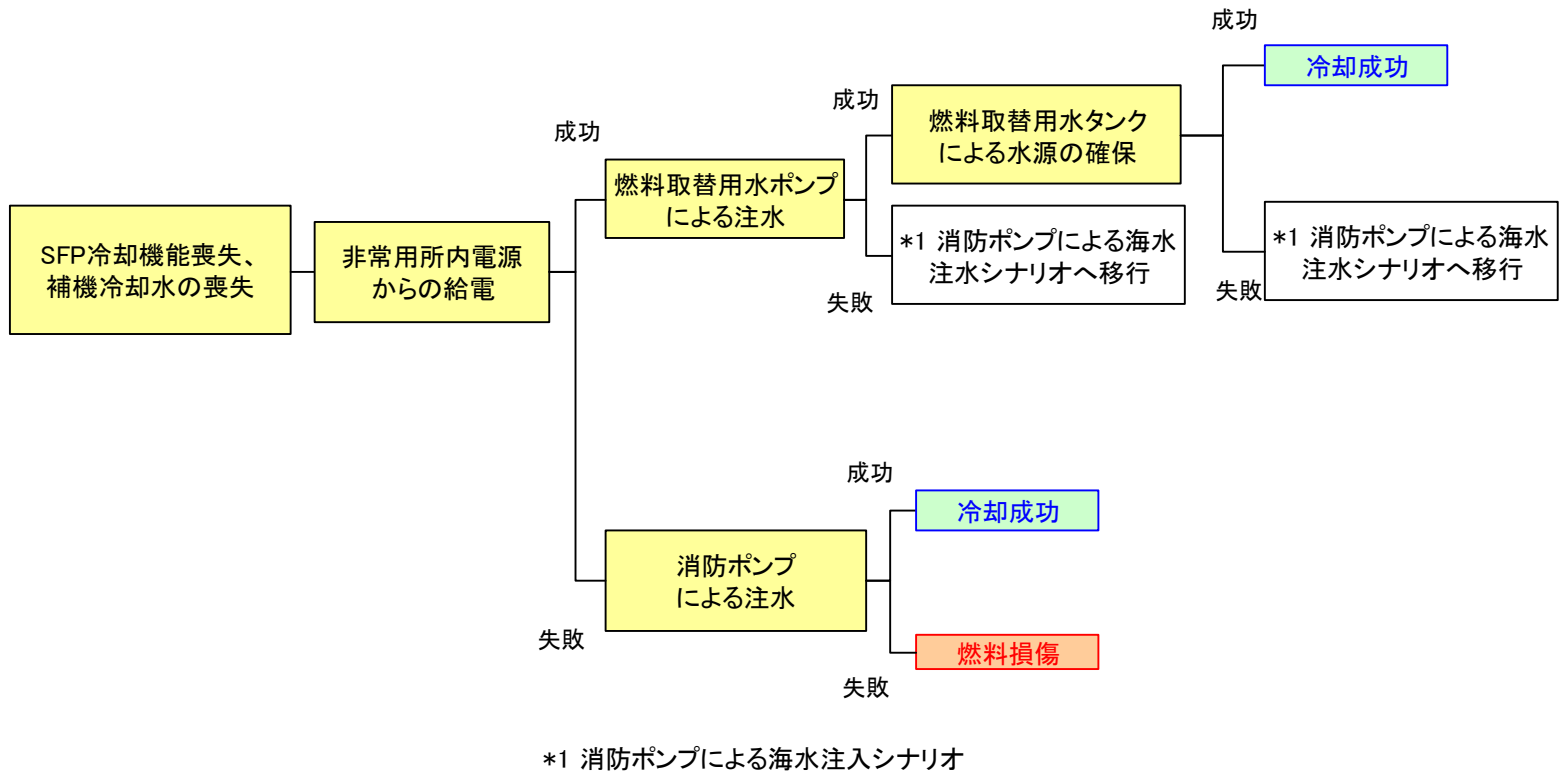


*1 消防ポンプによる海水注入シナリオ

各起因事象におけるイベントツリー（地震：SFP 燃料損傷）

起因事象：SFP冷却機能喪失

起因事象：補機冷却水の喪失



各起因事象におけるイベントツリー（地震：SFP 燃料損傷）

耐震裕度評価結果(地震:SFP燃料損傷)

起因事象に関連する設備

起因事象	設備	設置 場所	耐震 クラス	損傷 モード	単位	評価値 (a)	許容値 (b)	裕度 (b/a)
外部電源喪失	工学的判断							
S F P 冷却機能喪失	使用済燃料ピット冷却器	E/B	B	構造損傷	MPa	131	334	2.54
	使用済燃料ピットポンプ現場操作箱	E/B	B	機能損傷	G	1.73	9.90	5.72
	使用済燃料ピットポンプ	E/B	B	機能損傷	G	0.95	1.4	1.47
	使用済燃料ピット冷却系配管（循環ライン）	E/B	B	構造損傷	MPa	120	379	3.15
	原子炉補機冷却水冷却器	A/B	S	構造損傷	MPa	164	270	1.64
	原子炉補機冷却水ポンプ	A/B	S	機能損傷	G	0.49	1.0	2.04
	原子炉補機冷却水ポンプ現場操作箱	A/B	S	機能損傷	G	1.73	9.90	5.72
	原子炉補機冷却水サージタンク	A/B	S	構造損傷	MPa	166	270	1.62
	原子炉補機冷却水系配管	A/B E/B	S	構造損傷	MPa	162	401	2.47
	海水系配管	屋外 A/B	S	構造損傷	MPa	162	401	2.47
	海水ポンプ	屋外	S	構造損傷	MPa	88	180	2.04
	海水ポンプ現場操作箱	屋外	S	機能損傷	G	1.73	9.90	5.72
	海水ストレーナ	屋外	S	構造損傷	MPa	216	354	1.63

補機冷却水の喪失	原子炉補機冷却水冷却器	A/B	S	構造損傷	MPa	164	270	1.64
	原子炉補機冷却水ポンプ	A/B	S	機能損傷	G	0.49	1.0	2.04
	原子炉補機冷却水ポンプ現場操作箱	A/B	S	機能損傷	G	1.73	9.90	5.72
	原子炉補機冷却水サージタンク	A/B	S	構造損傷	MPa	166	270	1.62
	原子炉補機冷却水系配管	A/B E/B	S	構造損傷	MPa	162	401	2.47
	海水系配管	屋外 A/B	S	構造損傷	MPa	162	401	2.47
	海水ポンプ	屋外	S	構造損傷	MPa	88	180	2.04
	海水ポンプ現場操作箱	屋外	S	機能損傷	G	1.73	9.90	5.72
	海水ストレーナ	屋外	S	構造損傷	MPa	216	354	1.63
S F P 損傷	使用済燃料ピット	E/B	S	構造損傷	2 × S s に対して地震応答解析を実施し、許容値と比較			2

影響緩和機能（フロントライン系）に関連する設備

フロント ライン系	設備	設置 場所	耐震 クラス	損傷 モード	単位	評価値 (a)	許容値 (b)	裕度 (b/a)
非常用所内電源からの 給電	非常用D / Gコントロールセンタ	A/B	S	機能損傷	G	3.15	7.10	2.25
	内燃機関（ディーゼル機関）	A/B	S	機能損傷	G	0.69	1.7	2.46
	ディーゼル発電機盤	A/B	S	機能損傷	G	0.47	1.30	2.76
	燃料油サービスタンク	A/B	S	構造損傷	MPa	10	240	24.00
	D G 関連配管（燃料油配管等）	A/B	S	構造損傷	MPa	162	401	2.47
	始動用空気だめ	A/B	S	構造損傷	MPa	94	267	2.84
	ディーゼル発電機出力電圧指示計	A/B	S	機能損傷	G	1.62	15.80	9.75
SFP冷却系による冷 却	使用済燃料ピット冷却器	E/B	B	構造損傷	MPa	131	334	2.54
	使用済燃料ピットポンプ現場操作箱	E/B	B	機能損傷	G	1.73	9.90	5.72
	使用済燃料ピットポンプ	E/B	B	機能損傷	G	0.95	1.4	1.47
	使用済燃料ピット冷却系配管（循環ライン）	E/B	B	構造損傷	MPa	120	379	3.15
燃料取替用水ポンプ による注水	燃料取替用水ポンプ	E/B	S	機能損傷	G	0.42	1.0	2.38
	燃料取替用水ポンプ現場操作箱	E/B	S	機能損傷	G	1.73	9.90	5.72
	非常用ピット冷却系配管（燃料取替用水ポンプから使用済燃料ピットまで）	E/B A/B	S	構造損傷	MPa	162	401	2.47

燃料取替用水タンクによる 水源の確保	ほう酸注入タンク	E/B	S	構造損傷	MPa	114	254	2.22
	余熱除去冷却器	A/B	S	構造損傷	MPa	179	334	1.86
	格納容器スプレイ冷却器	A/B	S	構造損傷	MPa	160	334	2.08
	燃料取替用水タンク	A/B	S	構造損傷	-	0.57	1	1.75
	燃料取替用水系関連配管	E/B A/B	S	構造損傷	MPa	190	432	2.27
消防ポンプ による注水	可搬式消防ポンプ、ホース	屋外	-	-	可搬式消防ポンプ、ホースは地震による影響がないように保管			-

影響緩和機能（サポート系）に関連する設備

サポート系	設備	設置 場所	耐震 クラス	損傷 モード	単位	評価値 (a)	許容値 (b)	裕度 (b/a)
6.6kV AC 電源	メタクラ	A/B	S	機能損傷	G	0.62	1.10	1.77
440V AC 電源	パワーセンタ	A/B	S	機能損傷	G	0.62	1.10	1.77
	原子炉コントロールセンタ	A/B	S	機能損傷	G	0.75	3.00	4.00
	動力変圧器	A/B	S	構造損傷	MPa	12	210	17.50
125V DC 電源	直流き電盤	A/B	S	構造損傷	MPa	138	279	2.02
	制御建屋直流分電盤	A/B	S	機能損傷	G	1.65	8.00	4.84
	充電器盤	A/B	S	機能損傷	G	0.49	1.00	2.04
	ドロツパ盤	A/B	S	機能損傷	G	0.49	1.00	2.04
115V AC 電源	計器用電源装置	A/B	S	機能損傷	G	1.31	12.00	9.16
	計器用分電盤	A/B	S	機能損傷	G	0.65	3.00	4.61
バッテリー	蓄電池	A/B	S	構造損傷	MPa	134	279	2.08
非常用所内電源	非常用 D / G コントロールセンタ	A/B	S	機能損傷	G	3.15	7.10	2.25
	内燃機関（ディーゼル機関）	A/B	S	機能損傷	G	0.69	1.7	2.46
	ディーゼル発電機盤	A/B	S	機能損傷	G	0.47	1.30	2.76
	燃料油サービスタンク	A/B	S	構造損傷	MPa	10	240	24.00
	D G 関連配管（燃料油配管等）	A/B	S	構造損傷	MPa	162	401	2.47
	始動用空気だめ	A/B	S	構造損傷	MPa	94	267	2.84
	ディーゼル発電機出力電圧指示計	A/B	S	機能損傷	G	1.62	15.80	9.75

サポート系	設備	設置 場所	耐震 クラス	損傷 モード	単位	評価値 (a)	許容値 (b)	裕度 (b/a)
C C W	原子炉補機冷却水冷却器	A/B	S	構造損傷	MPa	164	270	1.64
	原子炉補機冷却水ポンプ	A/B	S	機能損傷	G	0.49	1.0	2.04
	原子炉補機冷却水ポンプ現場操作箱	A/B	S	機能損傷	G	1.73	9.90	5.72
	原子炉補機冷却水サージタンク	A/B	S	構造損傷	MPa	166	270	1.62
	原子炉補機冷却水系配管	A/B E/B	S	構造損傷	MPa	162	401	2.47
海水系	海水系配管	屋外 A/B	S	構造損傷	MPa	162	401	2.47
	海水ポンプ	屋外	S	構造損傷	MPa	88	180	2.04
	海水ポンプ現場操作箱	屋外	S	機能損傷	G	1.73	9.90	5.72
	海水ストレーナ	屋外	S	構造損傷	MPa	216	354	1.63

関連配管の詳細部位

燃料取替用水系関連配管	燃料取替用水系配管、余熱除去系配管、充てん / 高圧注入系配管、格納容器スプレイ系配管
-------------	---

外部電源喪失

		フロントライン系				
		非常用所内電源 からの給電	SFP冷却系 による冷却	燃料取替用水ポンプ による注水	燃料取替用水タンク による水源の確保	消防ポンプによる注水
サポート系	6.6kV AC電源	○	○	○		
	440V AC電源	○	○	○		
	125V DC電源	○	○	○		
	115V AC電源	○	○	○		
	バッテリー	○	○	○		
	非常用所内電源		○	○		
	CCW		○			
	海水系	○	○	○		

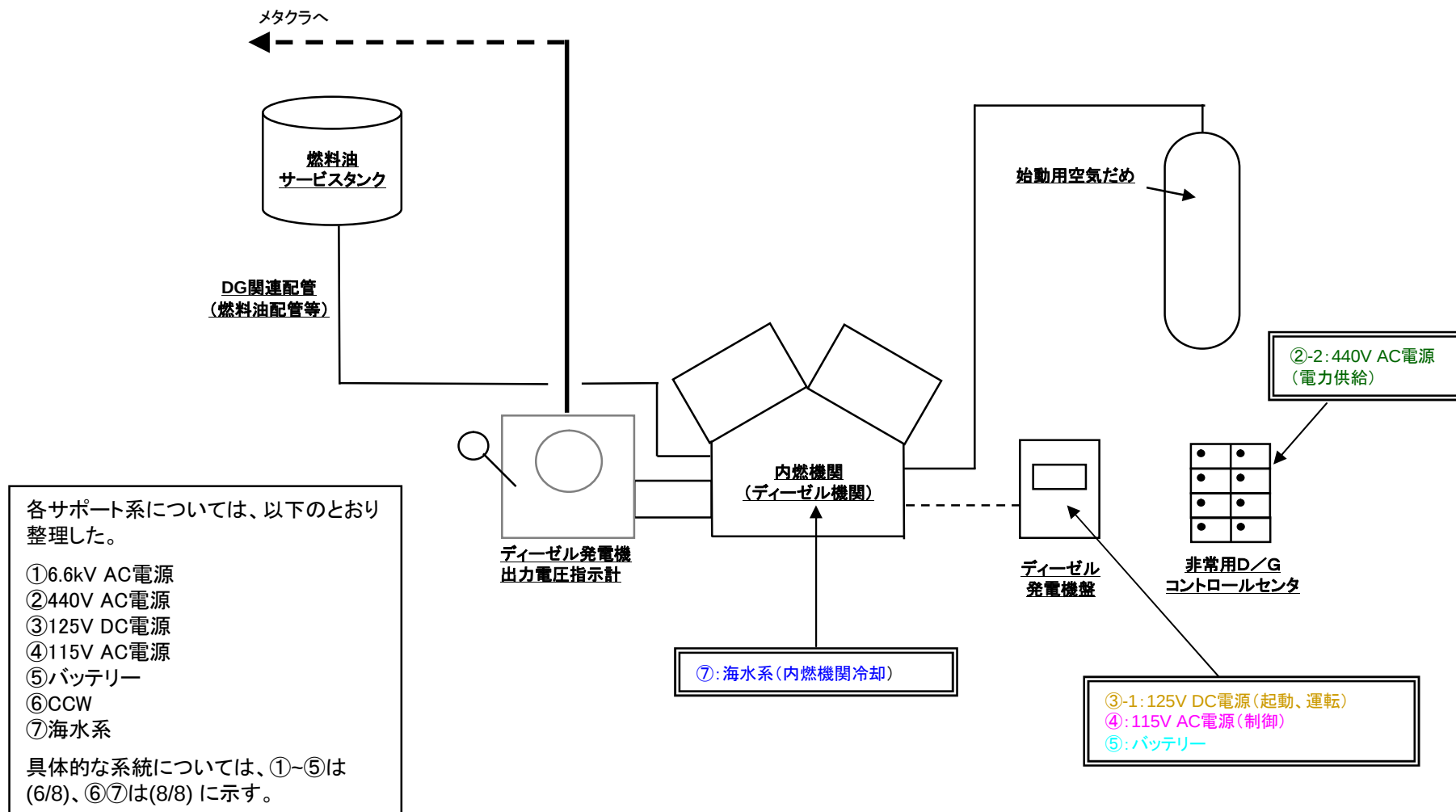
フロントライン系とサポート系の関連表（地震：S F P 燃料損傷）

SFP冷却機能喪失、補機冷却水の喪失

		フロントライン系			
		非常用所内電源 からの給電	燃料取替用水ポンプ による注水	燃料取替用水タンク による水源の確保	消防ポンプによる注水
サポート系	6.6kV AC電源	○	○		
	440V AC電源	○	○		
	125V DC電源	○	○		
	115V AC電源	○	○		
	バッテリー	○	○		
	非常用所内電源		○		
	海水系	○	○		

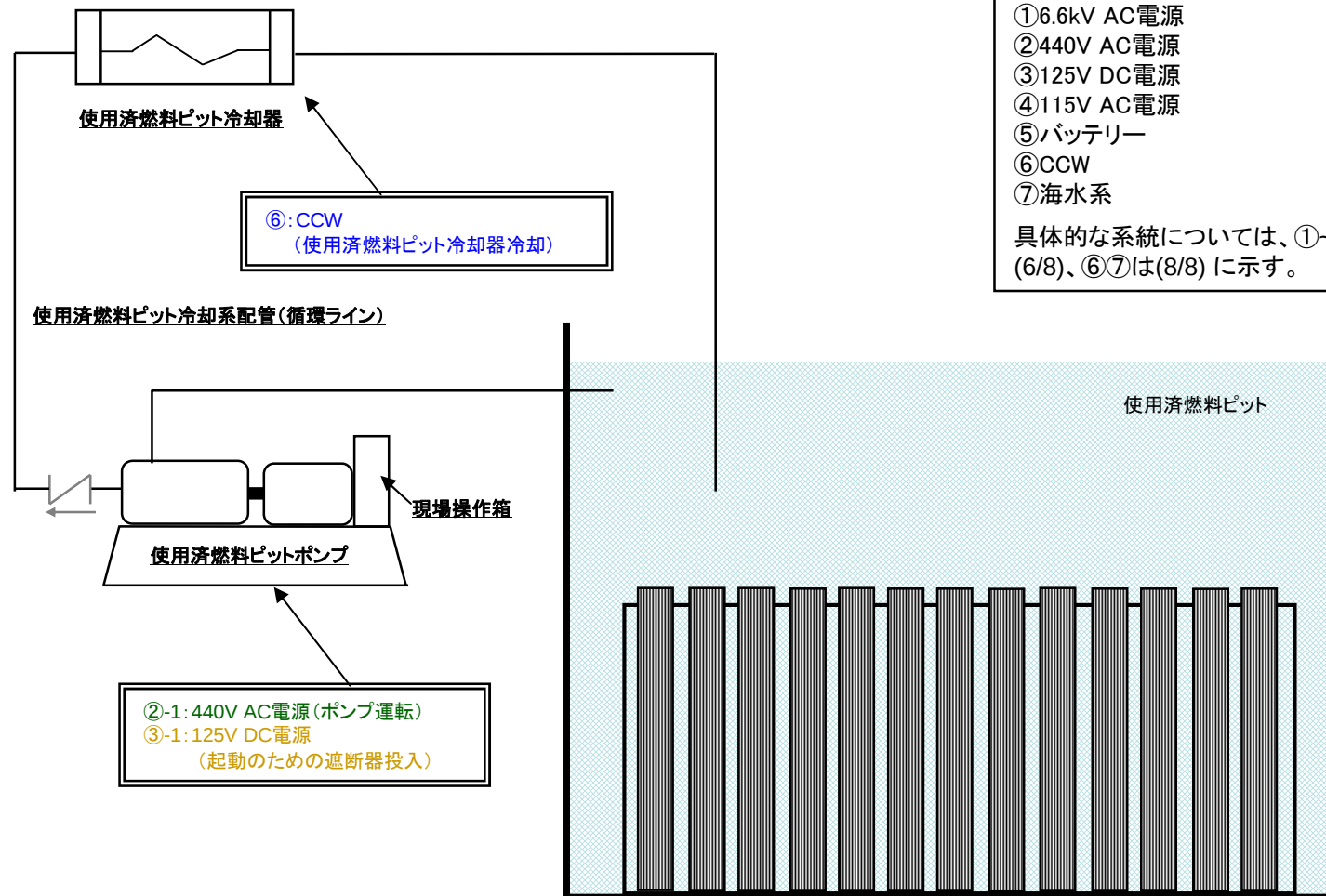
フロントライン系とサポート系の関連表（地震：SFP燃料損傷）

非常用所内電源からの給電(フロントライン系)



各影響緩和機能の系統図(地震:SFP燃料損傷)

SFP冷却系による冷却(フロントライン系)



各サポート系については、以下のとおり整理した。

- ① 6.6kV AC電源
- ② 440V AC電源
- ③ 125V DC電源
- ④ 115V AC電源
- ⑤ バッテリー
- ⑥ CCW
- ⑦ 海水系

具体的な系統については、①～⑤は(6/8)、⑥⑦は(8/8)に示す。

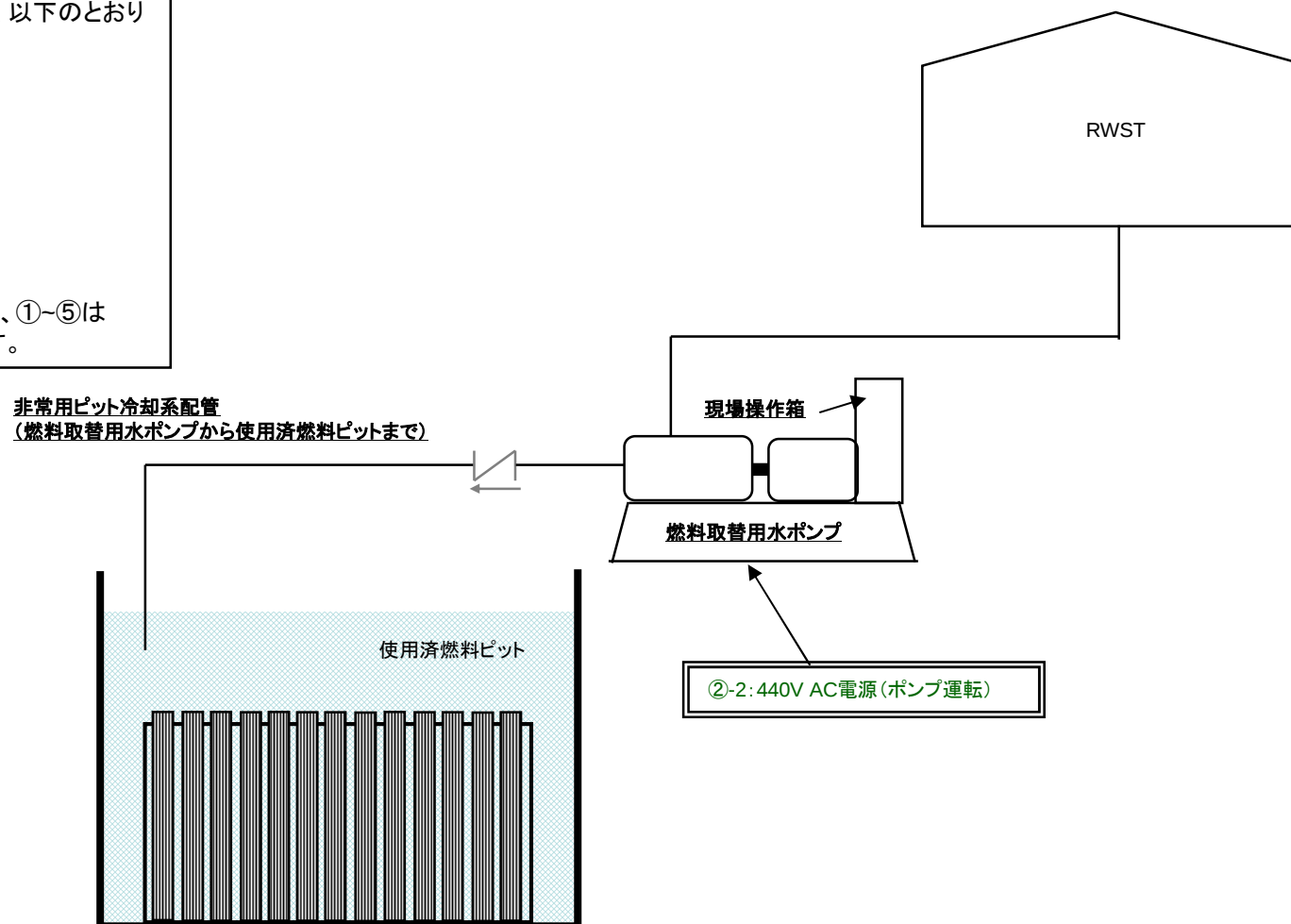
各影響緩和機能の系統図(地震:SFP燃料損傷)

燃料取替用水ポンプによる注水(フロントライン系)

各サポート系については、以下のとおり整理した。

- ①6.6kV AC電源
- ②440V AC電源
- ③125V DC電源
- ④115V AC電源
- ⑤バッテリー
- ⑥CCW
- ⑦海水系

具体的な系統については、①～⑤は(6/8)、⑥⑦は(8/8)に示す。



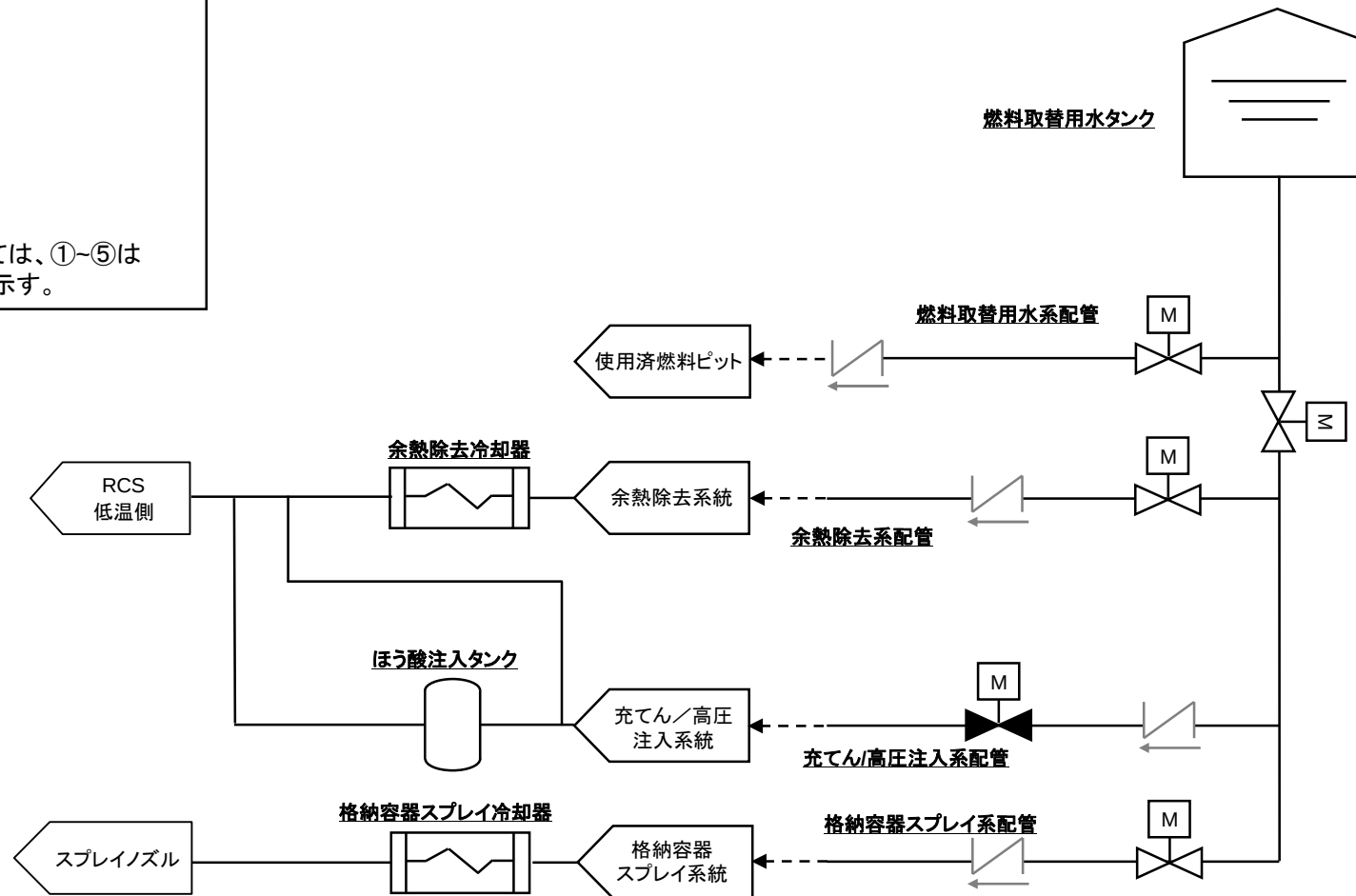
各影響緩和機能の系統図(地震:SFP燃料損傷)

燃料取替用水タンクによる水源の確保(フロントライン系)

各サポート系については、以下のとおり整理した。

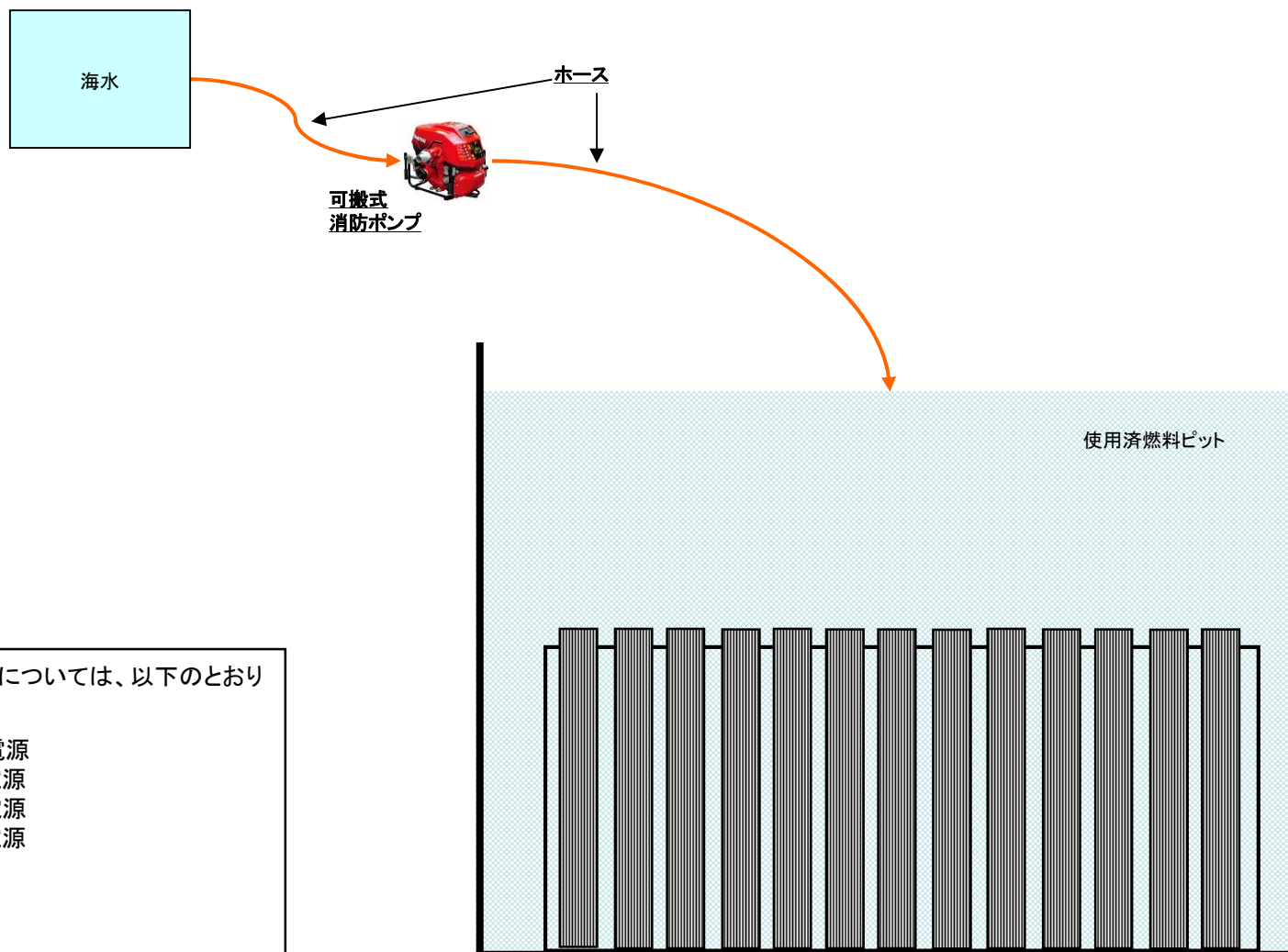
- ①6.6kV AC電源
- ②440V AC電源
- ③125V DC電源
- ④115V AC電源
- ⑤バッテリー
- ⑥CCW
- ⑦海水系

具体的な系統については、①～⑤は(6/8)、⑥⑦は(8/8)に示す。



各影響緩和機能の系統図(地震:SFP燃料損傷)

消防ポンプによる注水(フロントライン系)



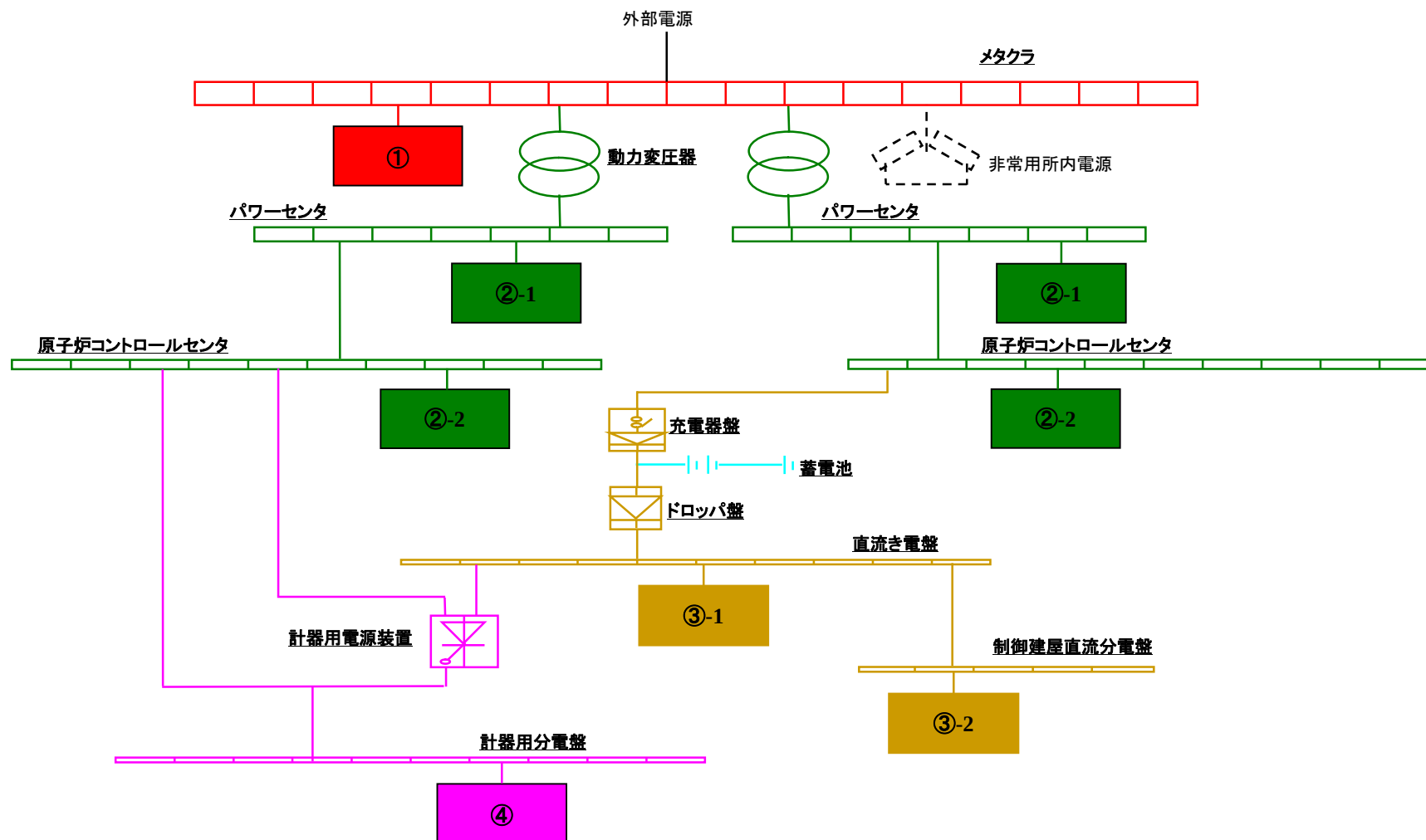
各サポート系については、以下のとおり整理した。

- ①6.6kV AC電源
- ②440V AC電源
- ③125V DC電源
- ④115V AC電源
- ⑤バッテリー
- ⑥CCW
- ⑦海水系

具体的な系統については、①～⑤は(6/8)、⑥⑦は(8/8)に示す。

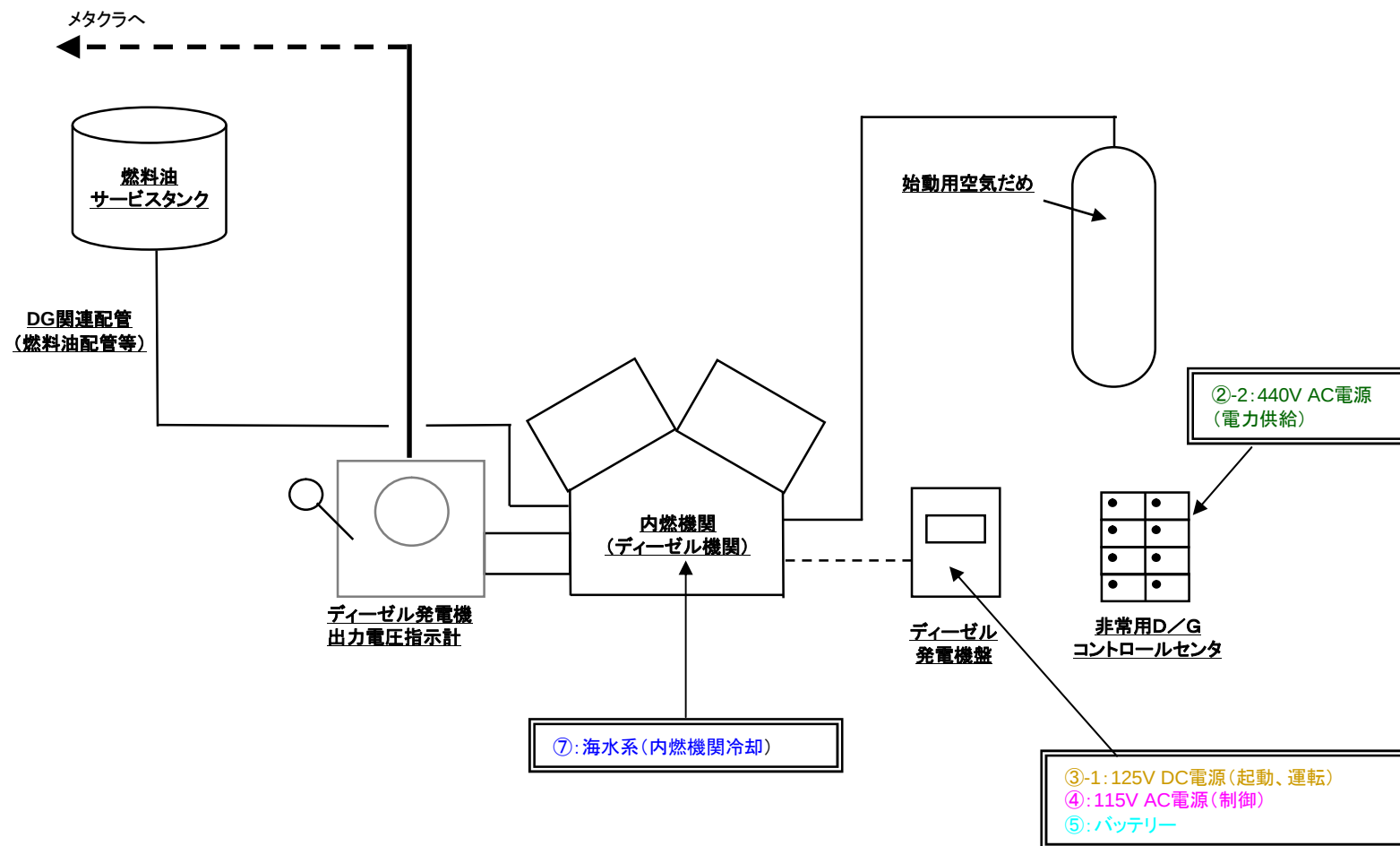
各影響緩和機能の系統図(地震:SFP燃料損傷)

- ①6.6kV AC電源、②440V AC電源、③125V DC電源、
④115V AC電源、⑤バッテリー（サポート系）



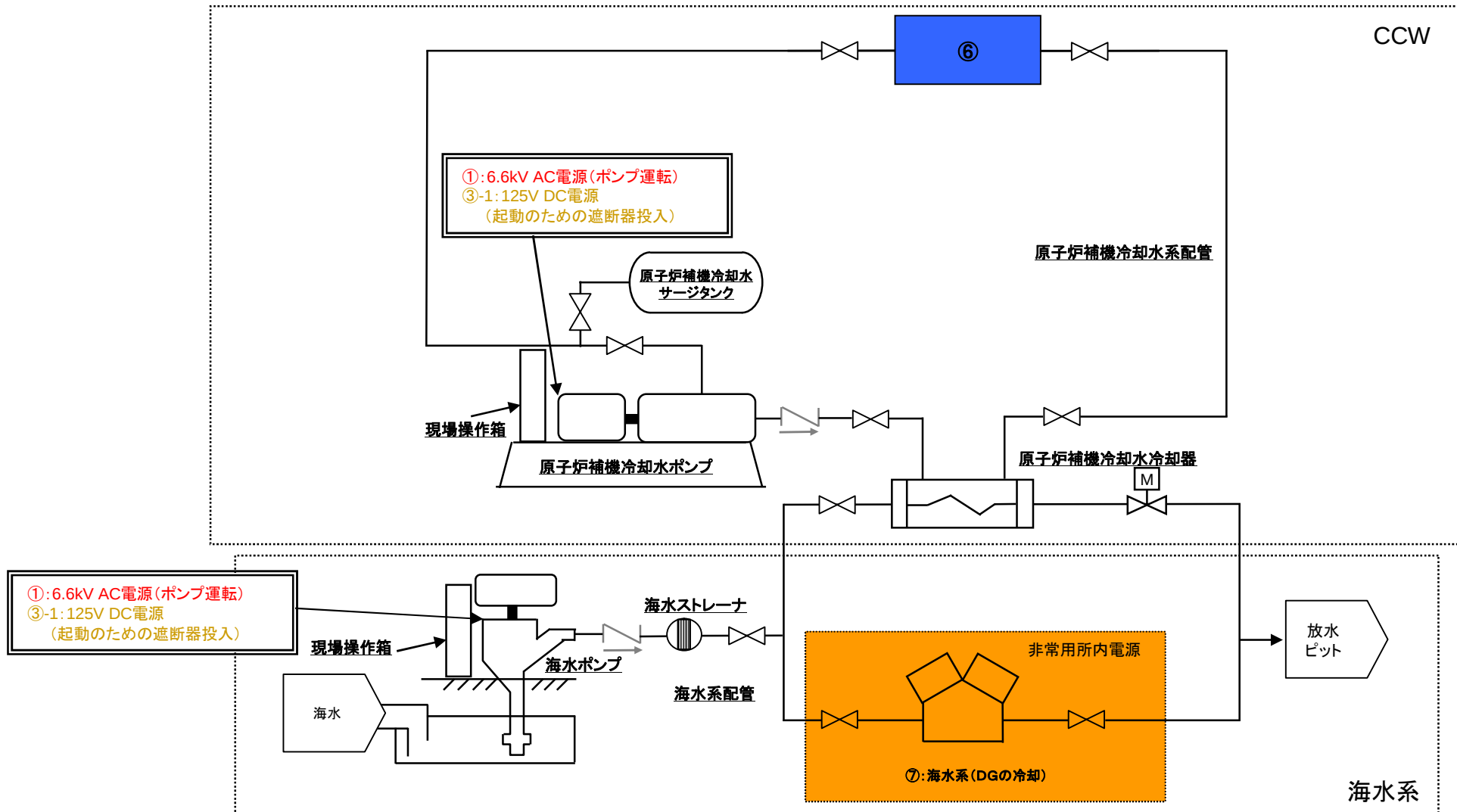
各影響緩和機能の系統図(地震:SFP燃料損傷)

非常用所内電源（サポート系）



各影響緩和機能の系統図（地震：SFP燃料損傷）

⑥CCW、⑦海水系(サポート系)



各影響緩和機能の系統図(地震:SFP燃料損傷)

各影響緩和機能の耐震裕度評価結果一覧（地震：S F P 燃料損傷）（外部電源喪失）

a. 非常用所内電源からの給電

	設備		設置場所	耐震クラス	損傷モード	単位	評価値(a)	許容値(b)	裕度(b/a)
フロントライン系	非常用 D / G コントロールセンタ		A/B	S	機能損傷	G	3.15	7.10	2.25
	内燃機関（ディーゼル機関）		A/B	S	機能損傷	G	0.69	1.7	2.46
	ディーゼル発電機盤		A/B	S	機能損傷	G	0.47	1.30	2.76
	燃料油サービスタンク		A/B	S	構造損傷	MPa	10	240	24.00
	D G 関連配管（燃料油配管等）		A/B	S	構造損傷	MPa	162	401	2.47
	始動用空気だめ		A/B	S	構造損傷	MPa	94	267	2.84
	ディーゼル発電機出力電圧指示計		A/B	S	機能損傷	G	1.62	15.80	9.75
サポート系	6.6kV AC 電源	メタクラ	A/B	S	機能損傷	G	0.62	1.10	1.77
	440V AC 電源	パワーセンタ	A/B	S	機能損傷	G	0.62	1.10	1.77
		原子炉コントロールセンタ	A/B	S	機能損傷	G	0.75	3.00	4.00
		動力変圧器	A/B	S	構造損傷	MPa	12	210	17.50
	125V DC 電源	直流き電盤	A/B	S	構造損傷	MPa	138	279	2.02
		制御建屋直流分電盤	A/B	S	機能損傷	G	1.65	8.00	4.84
		充電器盤	A/B	S	機能損傷	G	0.49	1.00	2.04
		ドロツパ盤	A/B	S	機能損傷	G	0.49	1.00	2.04
	115V AC 電源	計器用電源装置	A/B	S	機能損傷	G	1.31	12.00	9.16
		計器用分電盤	A/B	S	機能損傷	G	0.65	3.00	4.61

	設備		設置 場所	耐震 クラス	損傷 モード	単位	評価値 (a)	許容値 (b)	裕度 (b/a)
サ ポ ー ト 系	バッテリー	蓄電池	A/B	S	構造損傷	MPa	134	279	2.08
	海水系	海水系配管	屋外 A/B	S	構造損傷	MPa	162	401	2.47
		海水ポンプ	屋外	S	構造損傷	MPa	88	180	2.04
		海水ポンプ現場操作箱	屋外	S	機能損傷	G	1.73	9.90	5.72
		海水ストレーナ	屋外	S	構造損傷	MPa	216	354	1.63

b. S F P冷却系による冷却

	設備		設置 場所	耐震 クラス	損傷 モード	単位	評価値 (a)	許容値 (b)	裕度 (b/a)
フ ロ ン ト ラ イ ン	使用済燃料ピット冷却器		E/B	B	構造損傷	MPa	131	334	2.54
	使用済燃料ピットポンプ現場操作箱		E/B	B	機能損傷	G	1.73	9.90	5.72
	使用済燃料ピットポンプ		E/B	B	機能損傷	G	0.95	1.4	1.47
	使用済燃料ピット冷却系配管（循環ライン）		E/B	B	構造損傷	MPa	120	379	3.15
サ ポ ー ト 系	6.6kV AC 電源	メタクラ	A/B	S	機能損傷	G	0.62	1.10	1.77
	440V AC 電源	パワーセンタ	A/B	S	機能損傷	G	0.62	1.10	1.77
		原子炉コントロールセンタ	A/B	S	機能損傷	G	0.75	3.00	4.00
		動力変圧器	A/B	S	構造損傷	MPa	12	210	17.50
	125V DC 電源	直流き電盤	A/B	S	構造損傷	MPa	138	279	2.02
		制御建屋直流分電盤	A/B	S	機能損傷	G	1.65	8.00	4.84
		充電器盤	A/B	S	機能損傷	G	0.49	1.00	2.04
		ドロツバ盤	A/B	S	機能損傷	G	0.49	1.00	2.04
	115V AC 電源	計器用電源装置	A/B	S	機能損傷	G	1.31	12.00	9.16
		計器用分電盤	A/B	S	機能損傷	G	0.65	3.00	4.61
	バッテリー	蓄電池	A/B	S	構造損傷	MPa	134	279	2.08

	設備		設置 場所	耐震 クラス	損傷 モード	単位	評価値 (a)	許容値 (b)	裕度 (b/a)
サ ポ ー ト 系	非常用所内電源	非常用D / Gコントロールセンタ	A/B	S	機能損傷	G	3.15	7.10	2.25
		内燃機関（ディーゼル機関）	A/B	S	機能損傷	G	0.69	1.7	2.46
		ディーゼル発電機盤	A/B	S	機能損傷	G	0.47	1.30	2.76
		燃料油サービスタンク	A/B	S	構造損傷	MPa	10	240	24.00
		D G 関連配管（燃料油配管等）	A/B	S	構造損傷	MPa	162	401	2.47
		始動用空気だめ	A/B	S	構造損傷	MPa	94	267	2.84
		ディーゼル発電機出力電圧指示計	A/B	S	機能損傷	G	1.62	15.80	9.75
	C C W	原子炉補機冷却水冷却器	A/B	S	構造損傷	MPa	164	270	1.64
		原子炉補機冷却水ポンプ	A/B	S	機能損傷	G	0.49	1.0	2.04
		原子炉補機冷却水ポンプ現場操作箱	A/B	S	機能損傷	G	1.73	9.90	5.72
		原子炉補機冷却水サージタンク	A/B	S	構造損傷	MPa	166	270	1.62
		原子炉補機冷却水系配管	A/B E/B	S	構造損傷	MPa	162	401	2.47
	海水系	海水系配管	屋外 A/B	S	構造損傷	MPa	162	401	2.47
		海水ポンプ	屋外	S	構造損傷	MPa	88	180	2.04
		海水ポンプ現場操作箱	屋外	S	機能損傷	G	1.73	9.90	5.72
		海水ストレーナ	屋外	S	構造損傷	MPa	216	354	1.63

c. 燃料取替用水ポンプによる注水

	設備		設置 場所	耐震 クラス	損傷 モード	単位	評価値 (a)	許容値 (b)	裕度 (b/a)
フロントライン系	燃料取替用水ポンプ		E/B	S	機能損傷	G	0.42	1.0	2.38
	燃料取替用水ポンプ現場操作箱		E/B	S	機能損傷	G	1.73	9.90	5.72
	非常用ピット冷却系配管（燃料取替用水ポンプから使用済燃料ピットまで）		E/B A/B	S	構造損傷	MPa	162	401	2.47
サポート系	6.6kV AC 電源	メタクラ	A/B	S	機能損傷	G	0.62	1.10	1.77
	440V AC 電源	パワーセンタ	A/B	S	機能損傷	G	0.62	1.10	1.77
		原子炉コントロールセンタ	A/B	S	機能損傷	G	0.75	3.00	4.00
		動力変圧器	A/B	S	構造損傷	MPa	12	210	17.50
	125V DC 電源	直流き電盤	A/B	S	構造損傷	MPa	138	279	2.02
		制御建屋直流分電盤	A/B	S	機能損傷	G	1.65	8.00	4.84
		充電器盤	A/B	S	機能損傷	G	0.49	1.00	2.04
		ドロツバ盤	A/B	S	機能損傷	G	0.49	1.00	2.04
	115V AC 電源	計器用電源装置	A/B	S	機能損傷	G	1.31	12.00	9.16
		計器用分電盤	A/B	S	機能損傷	G	0.65	3.00	4.61
	バッテリー	蓄電池	A/B	S	構造損傷	MPa	134	279	2.08

	設備		設置 場所	耐震 クラス	損傷 モード	単位	評価値 (a)	許容値 (b)	裕度 (b/a)
サ ポ ー ト 系	非常用所内電源	非常用D / Gコントロールセンタ	A/B	S	機能損傷	G	3.15	7.10	2.25
		内燃機関（ディーゼル機関）	A/B	S	機能損傷	G	0.69	1.7	2.46
		ディーゼル発電機盤	A/B	S	機能損傷	G	0.47	1.30	2.76
		燃料油サービスタンク	A/B	S	構造損傷	MPa	10	240	24.00
		D G 関連配管（燃料油配管等）	A/B	S	構造損傷	MPa	162	401	2.47
		始動用空気だめ	A/B	S	構造損傷	MPa	94	267	2.84
		ディーゼル発電機出力電圧指示計	A/B	S	機能損傷	G	1.62	15.80	9.75
	海水系	海水系配管	屋外 A/B	S	構造損傷	MPa	162	401	2.47
		海水ポンプ	屋外	S	構造損傷	MPa	88	180	2.04
		海水ポンプ現場操作箱	屋外	S	機能損傷	G	1.73	9.90	5.72
		海水ストレーナ	屋外	S	構造損傷	MPa	216	354	1.63

d. 燃料取替用水タンクによる水源の確保

	設備	設置 場所	耐震 クラス	損傷 モード	単位	評価値 (a)	許容値 (b)	裕度 (b/a)
フ ロ ン ト ラ イ ン 系	ほう酸注入タンク	E/B	S	構造損傷	MPa	114	254	2.22
	余熱除去冷却器	A/B	S	構造損傷	MPa	179	334	1.86
	格納容器スプレイ冷却器	A/B	S	構造損傷	MPa	160	334	2.08
	燃料取替用水タンク	A/B	S	構造損傷	-	0.57	1	1.75
	燃料取替用水系関連配管	E/B A/B	S	構造損傷	MPa	190	432	2.27

e. 消防ポンプによる注水

	設備	設置 場所	耐震 クラス	損傷 モード	単位	評価値 (a)	許容値 (b)	裕度 (b/a)
フロント ライン系	可搬式消防ポンプ、ホース	屋外	-	-	可搬式消防ポンプ、ホースは地震による影響がないように保管			-

各影響緩和機能の耐震裕度評価結果一覧（地震：S F P 燃料損傷）（SFP 冷却機能喪失、補機冷却水の喪失）

a. 非常用所内電源からの給電

	設備		設置場所	耐震クラス	損傷モード	単位	評価値(a)	許容値(b)	裕度(b/a)
フロントライン系	非常用 D / G コントロールセンタ		A/B	S	機能損傷	G	3.15	7.10	2.25
	内燃機関（ディーゼル機関）		A/B	S	機能損傷	G	0.69	1.7	2.46
	ディーゼル発電機盤		A/B	S	機能損傷	G	0.47	1.30	2.76
	燃料油サービスタンク		A/B	S	構造損傷	MPa	10	240	24.00
	D G 関連配管（燃料油配管等）		A/B	S	構造損傷	MPa	162	401	2.47
	始動用空気だめ		A/B	S	構造損傷	MPa	94	267	2.84
	ディーゼル発電機出力電圧指示計		A/B	S	機能損傷	G	1.62	15.80	9.75
サポート系	6.6kV AC 電源	メタクラ	A/B	S	機能損傷	G	0.62	1.10	1.77
	440V AC 電源	パワーセンタ	A/B	S	機能損傷	G	0.62	1.10	1.77
		原子炉コントロールセンタ	A/B	S	機能損傷	G	0.75	3.00	4.00
		動力変圧器	A/B	S	構造損傷	MPa	12	210	17.50
	125V DC 電源	直流き電盤	A/B	S	構造損傷	MPa	138	279	2.02
		制御建屋直流分電盤	A/B	S	機能損傷	G	1.65	8.00	4.84
		充電器盤	A/B	S	機能損傷	G	0.49	1.00	2.04
		ドロツパ盤	A/B	S	機能損傷	G	0.49	1.00	2.04
	115V AC 電源	計器用電源装置	A/B	S	機能損傷	G	1.31	12.00	9.16
		計器用分電盤	A/B	S	機能損傷	G	0.65	3.00	4.61

	設備		設置 場所	耐震 クラス	損傷 モード	単位	評価値 (a)	許容値 (b)	裕度 (b/a)
サ ポ ー ト 系	バッテリー	蓄電池	A/B	S	構造損傷	MPa	134	279	2.08
	海水系	海水系配管	屋外 A/B	S	構造損傷	MPa	162	401	2.47
		海水ポンプ	屋外	S	構造損傷	MPa	88	180	2.04
		海水ポンプ現場操作箱	屋外	S	機能損傷	G	1.73	9.90	5.72
		海水ストレーナ	屋外	S	構造損傷	MPa	216	354	1.63

b. 燃料取替用水ポンプによる注水

	設備		設置 場所	耐震 クラス	損傷 モード	単位	評価値 (a)	許容値 (b)	裕度 (b/a)
フロントライン系	燃料取替用水ポンプ		E/B	S	機能損傷	G	0.42	1.0	2.38
	燃料取替用水ポンプ現場操作箱		E/B	S	機能損傷	G	1.73	9.90	5.72
	非常用ピット冷却系配管（燃料取替用水ポンプから使用済燃料ピットまで）		E/B A/B	S	構造損傷	MPa	162	401	2.47
サポート系	6.6kV AC 電源	メタクラ	A/B	S	機能損傷	G	0.62	1.10	1.77
	440V AC 電源	パワーセンタ	A/B	S	機能損傷	G	0.62	1.10	1.77
		原子炉コントロールセンタ	A/B	S	機能損傷	G	0.75	3.00	4.00
		動力変圧器	A/B	S	構造損傷	MPa	12	210	17.50
	125V DC 電源	直流き電盤	A/B	S	構造損傷	MPa	138	279	2.02
		制御建屋直流分電盤	A/B	S	機能損傷	G	1.65	8.00	4.84
		充電器盤	A/B	S	機能損傷	G	0.49	1.00	2.04
		ドロツバ盤	A/B	S	機能損傷	G	0.49	1.00	2.04
	115V AC 電源	計器用電源装置	A/B	S	機能損傷	G	1.31	12.00	9.16
		計器用分電盤	A/B	S	機能損傷	G	0.65	3.00	4.61
	バッテリー	蓄電池	A/B	S	構造損傷	MPa	134	279	2.08

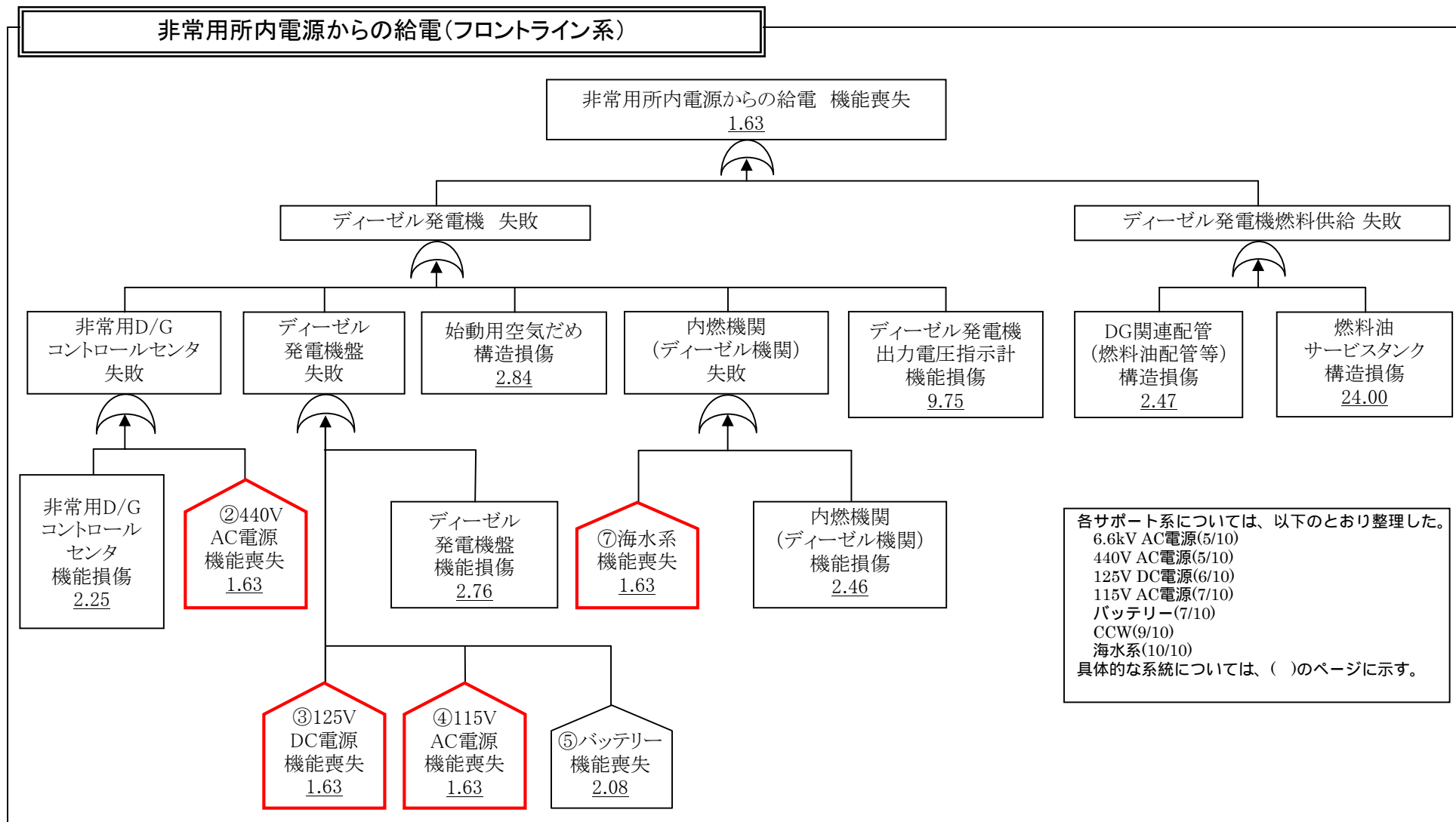
	設備		設置 場所	耐震 クラス	損傷 モード	単位	評価値 (a)	許容値 (b)	裕度 (b/a)
サ ポ ー ト 系	非常用所内電源	非常用D / Gコントロールセンタ	A/B	S	機能損傷	G	3.15	7.10	2.25
		内燃機関（ディーゼル機関）	A/B	S	機能損傷	G	0.69	1.7	2.46
		ディーゼル発電機盤	A/B	S	機能損傷	G	0.47	1.30	2.76
		燃料油サービスタンク	A/B	S	構造損傷	MPa	10	240	24.00
		D G 関連配管（燃料油配管等）	A/B	S	構造損傷	MPa	162	401	2.47
		始動用空気だめ	A/B	S	構造損傷	MPa	94	267	2.84
		ディーゼル発電機出力電圧指示計	A/B	S	機能損傷	G	1.62	15.80	9.75
	海水系	海水系配管	屋外 A/B	S	構造損傷	MPa	162	401	2.47
		海水ポンプ	屋外	S	構造損傷	MPa	88	180	2.04
		海水ポンプ現場操作箱	屋外	S	機能損傷	G	1.73	9.90	5.72
		海水ストレーナ	屋外	S	構造損傷	MPa	216	354	1.63

c. 燃料取替用水タンクによる水源の確保

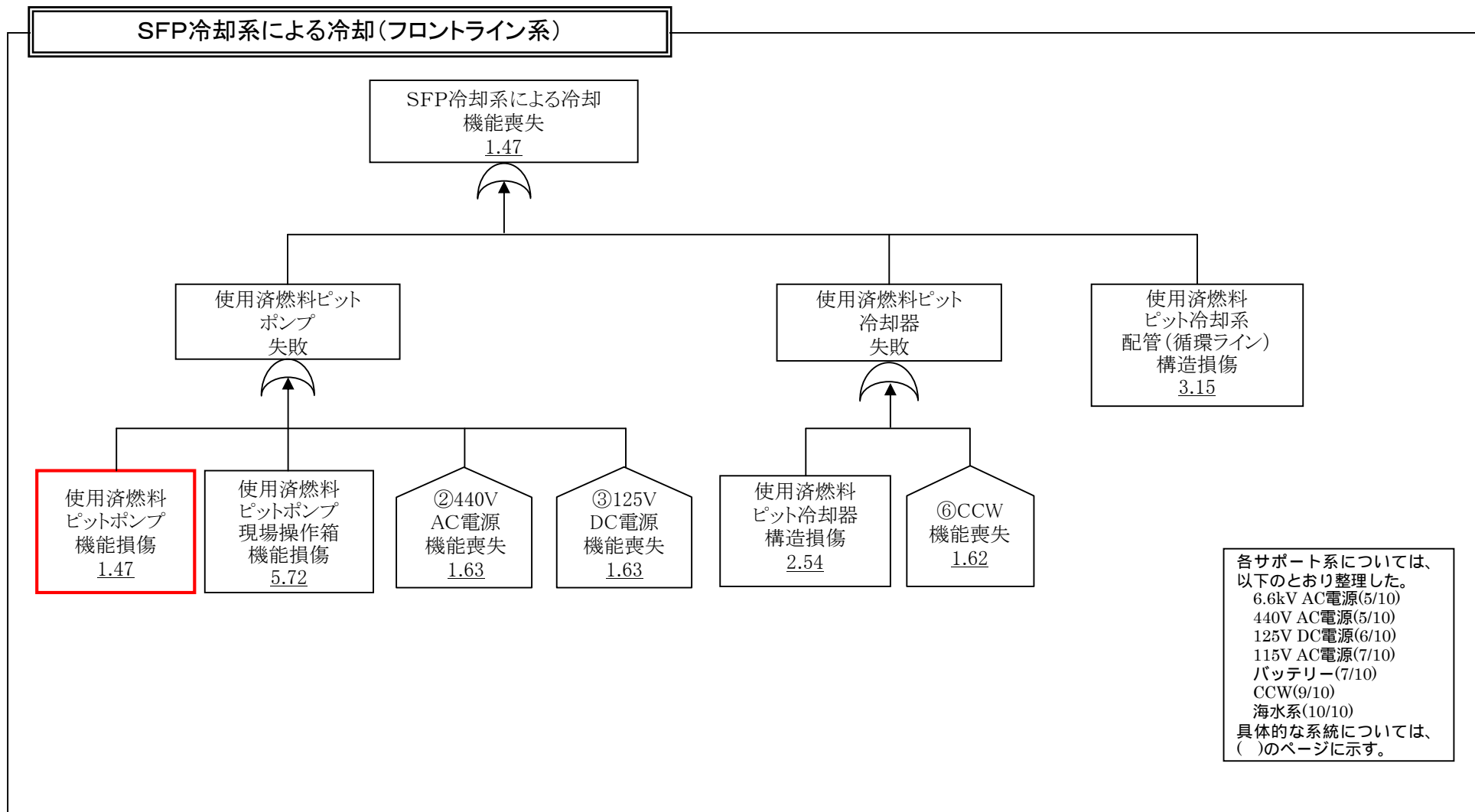
	設備	設置 場所	耐震 クラス	損傷 モード	単位	評価値 (a)	許容値 (b)	裕度 (b/a)
フ ロ ン ト ラ イ ン 系	ほう酸注入タンク	E/B	S	構造損傷	MPa	114	254	2.22
	余熱除去冷却器	A/B	S	構造損傷	MPa	179	334	1.86
	格納容器スプレイ冷却器	A/B	S	構造損傷	MPa	160	334	2.08
	燃料取替用水タンク	A/B	S	構造損傷	-	0.57	1	1.75
	燃料取替用水系関連配管	E/B A/B	S	構造損傷	MPa	190	432	2.27

d. 消防ポンプによる注水

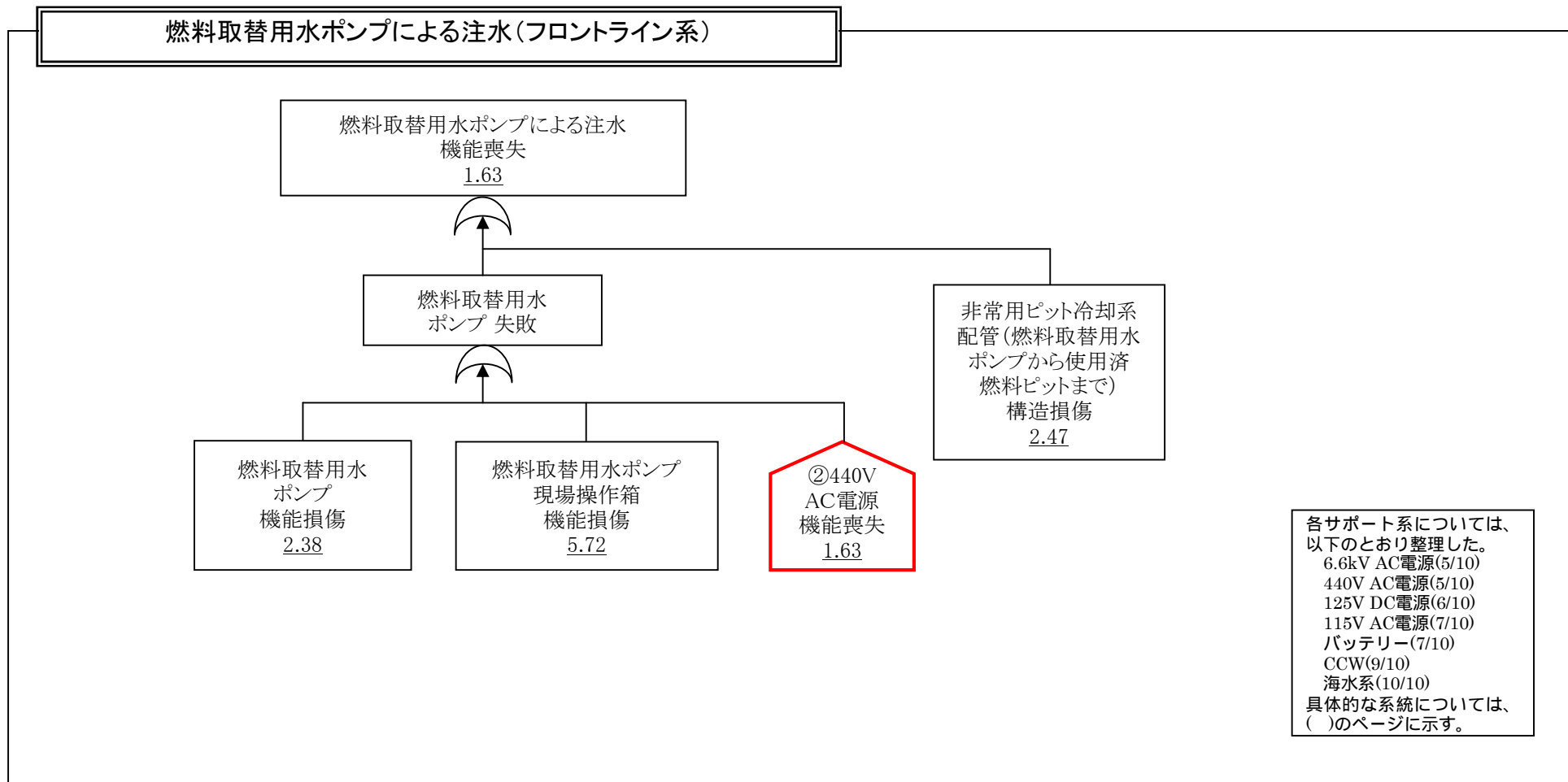
	設備	設置 場所	耐震 クラス	損傷 モード	単位	評価値 (a)	許容値 (b)	裕度 (b/a)
フロント ライン系	可搬式消防ポンプ、ホース	屋外	-	-	可搬式消防ポンプ、ホースは地震による影響がないように保管			-



各影響緩和機能のフォールトツリー(地震:SFP燃料損傷)

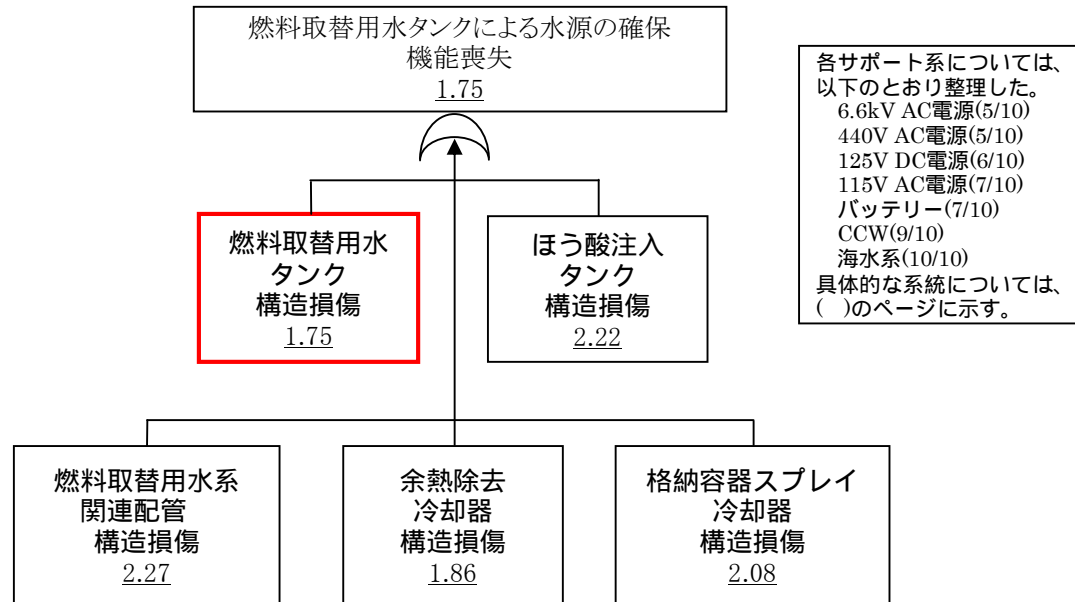


各影響緩和機能のフォールトツリー(地震:SFP燃料損傷)



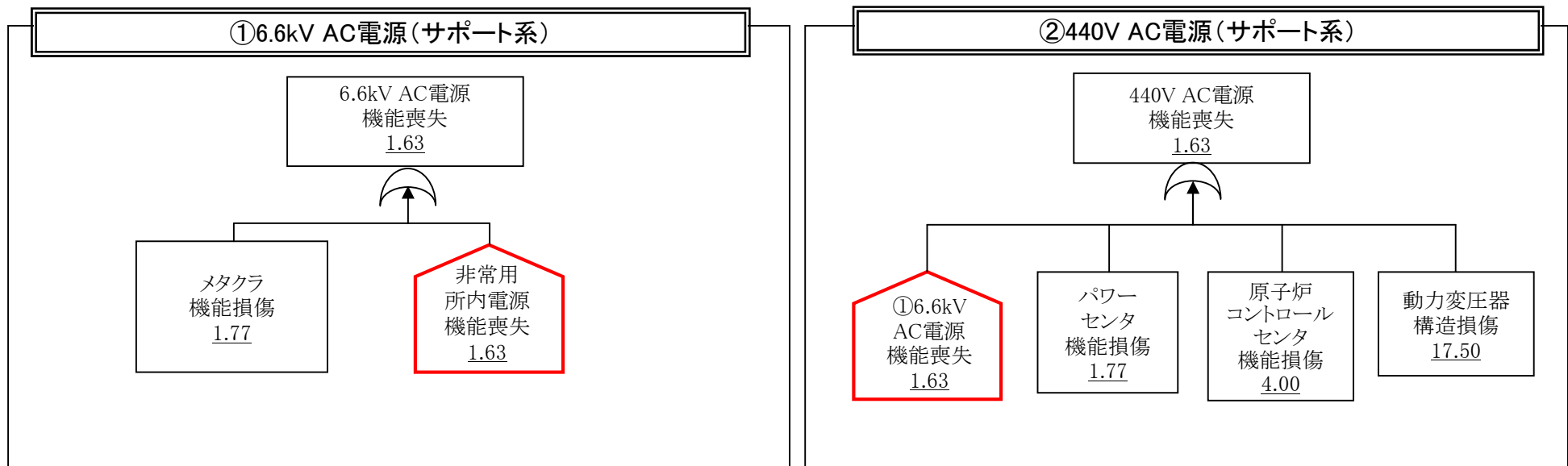
各影響緩和機能のフォールトツリー(地震:SFP燃料損傷)

燃料取替用水タンクによる水源の確保(フロントライン系)

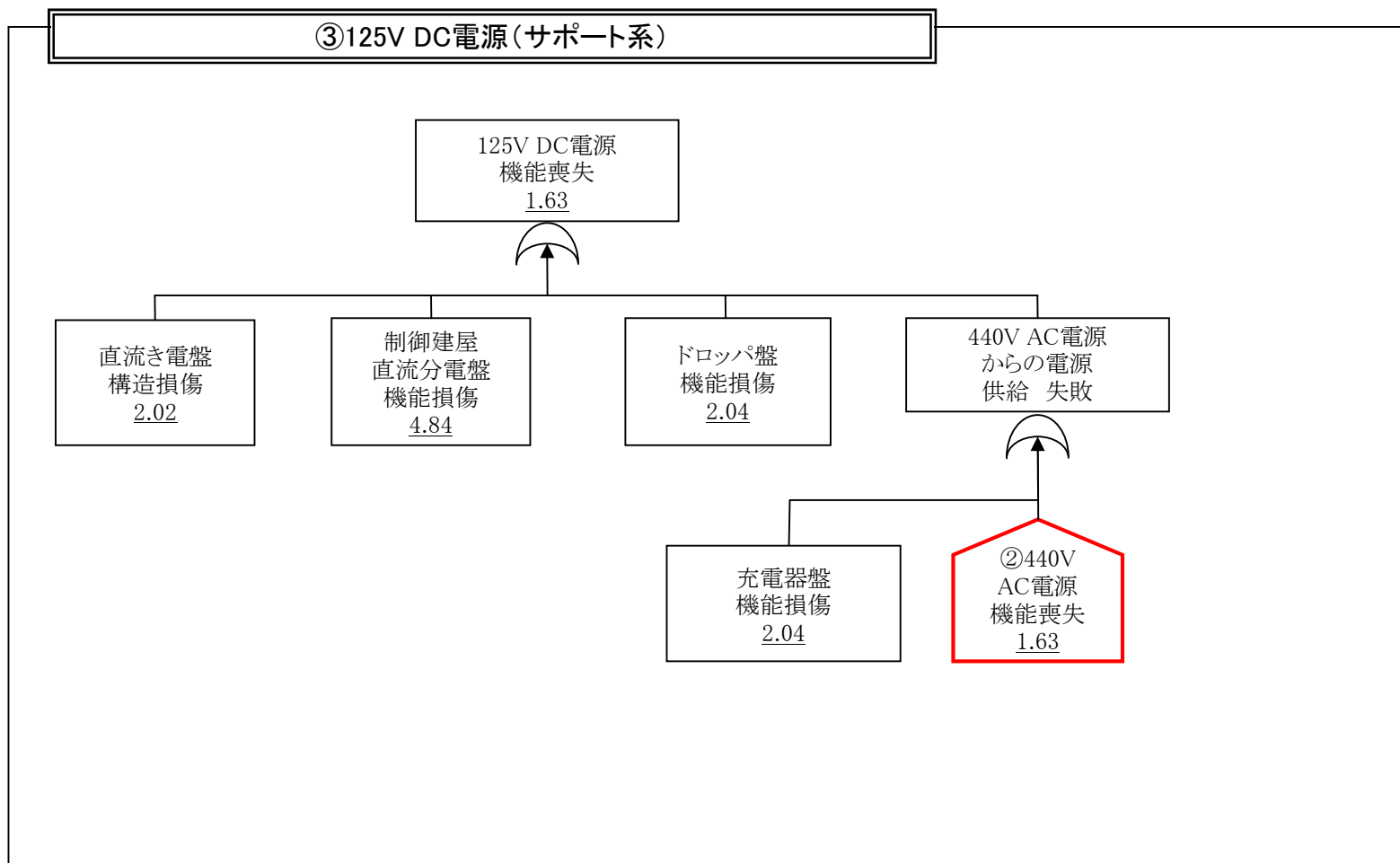


※燃料取替用水系配管、余熱除去系配管、
充てん/高圧注入系配管、格納容器スプレイ系配管

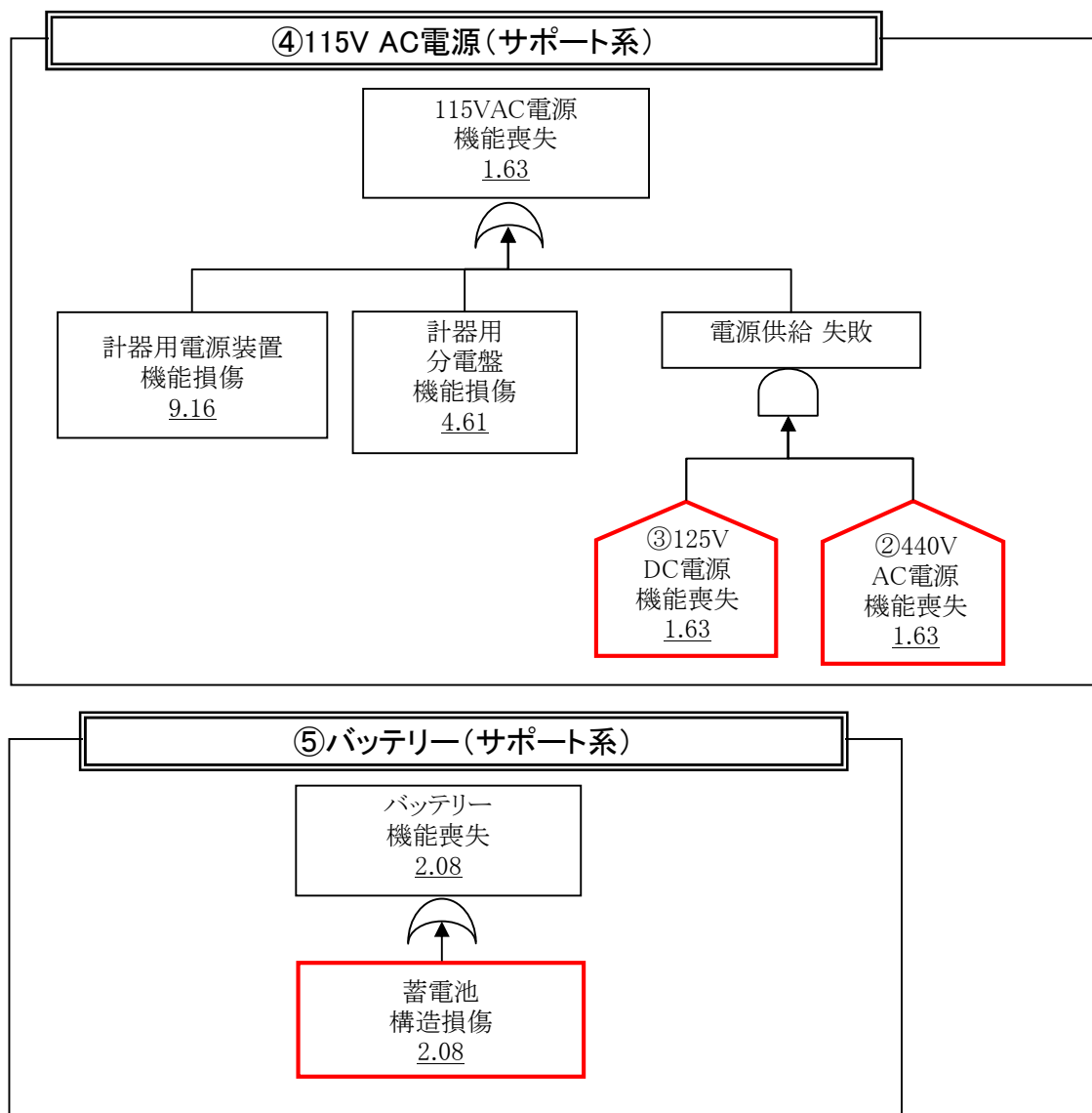
各影響緩和機能のフォールトツリー(地震:SFP燃料損傷)



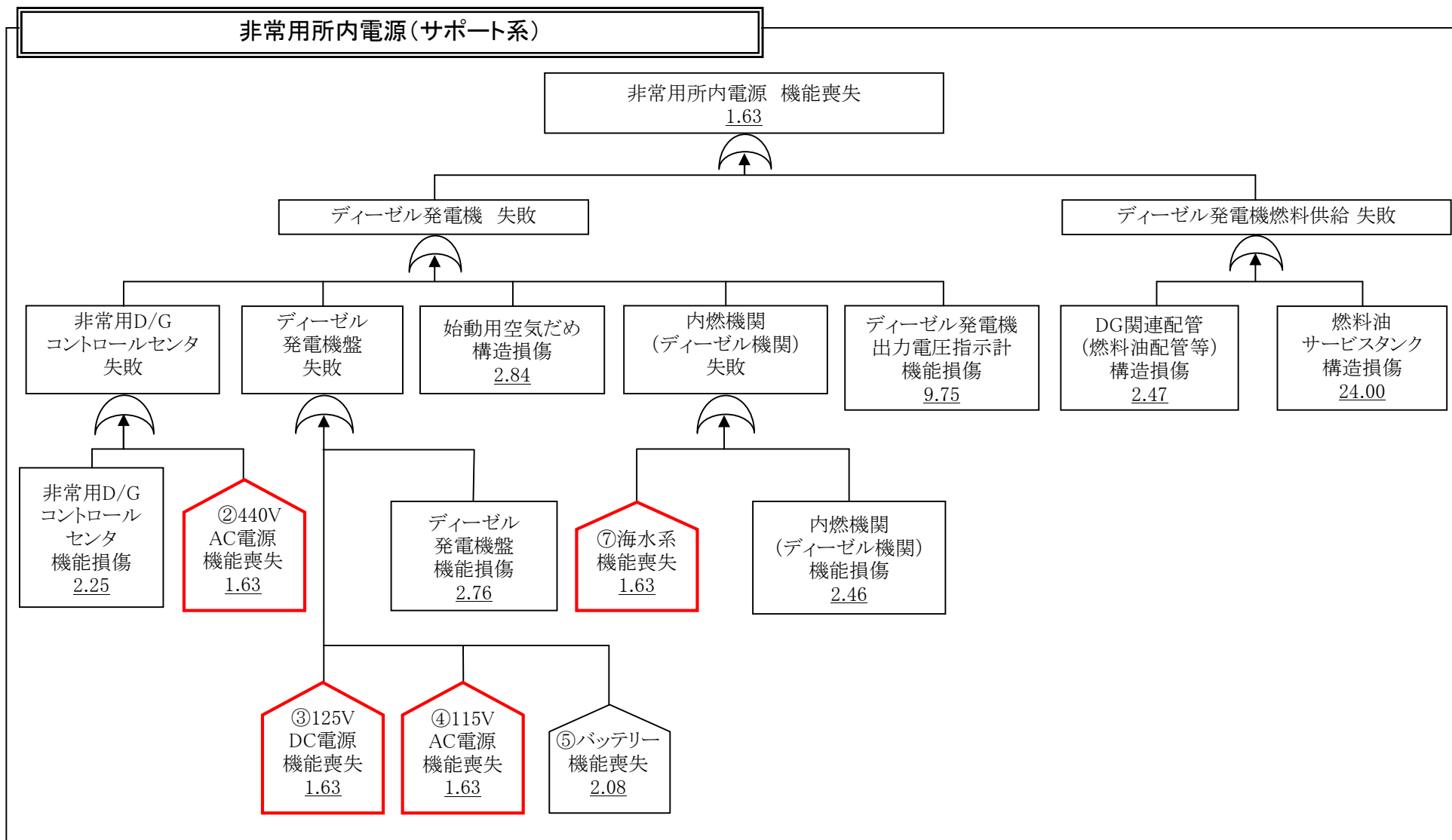
各影響緩和機能のフォールトツリー(地震:SFP燃料損傷)



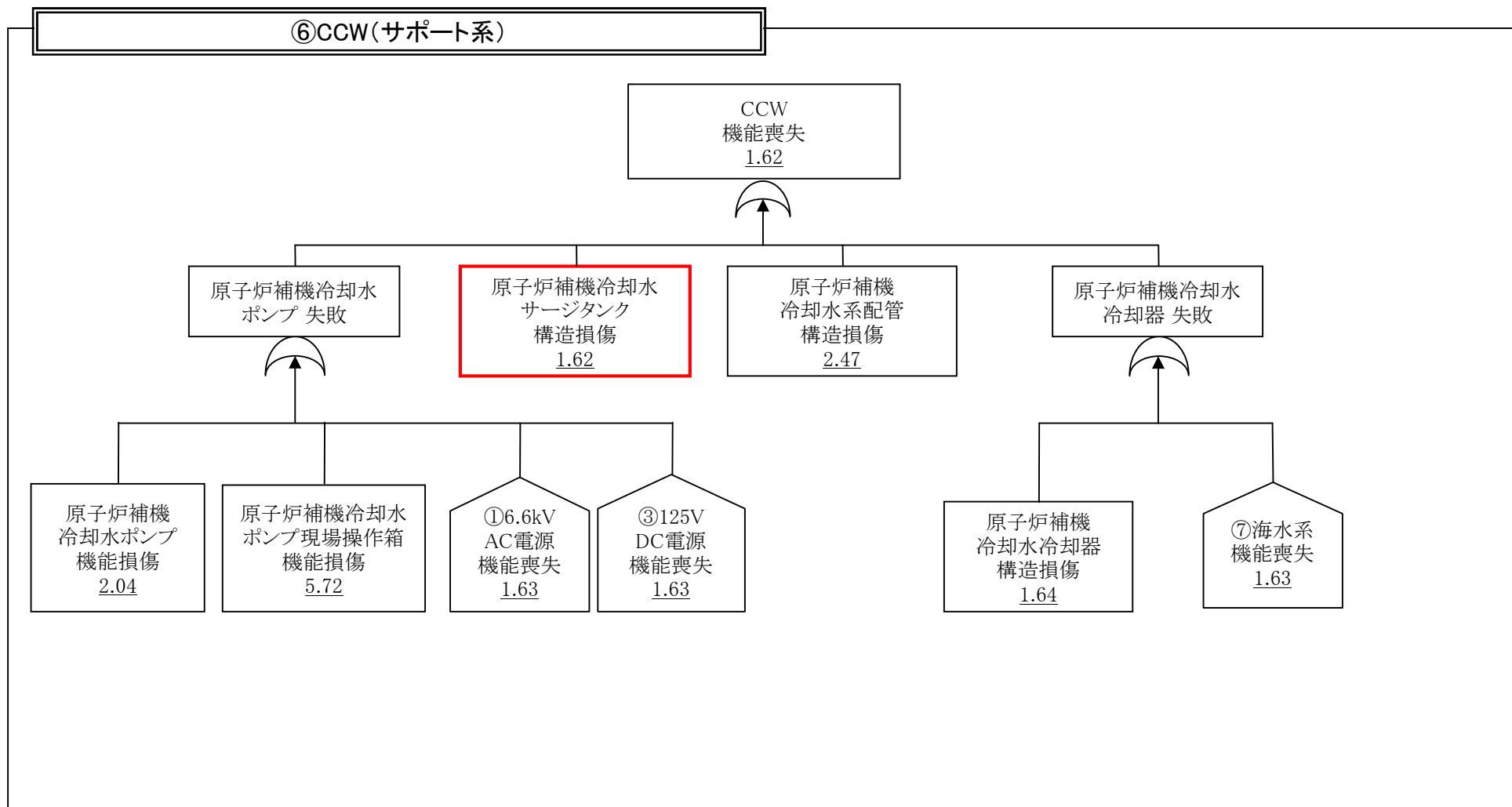
各影響緩和機能のフォールトツリー(地震:SFP燃料損傷)



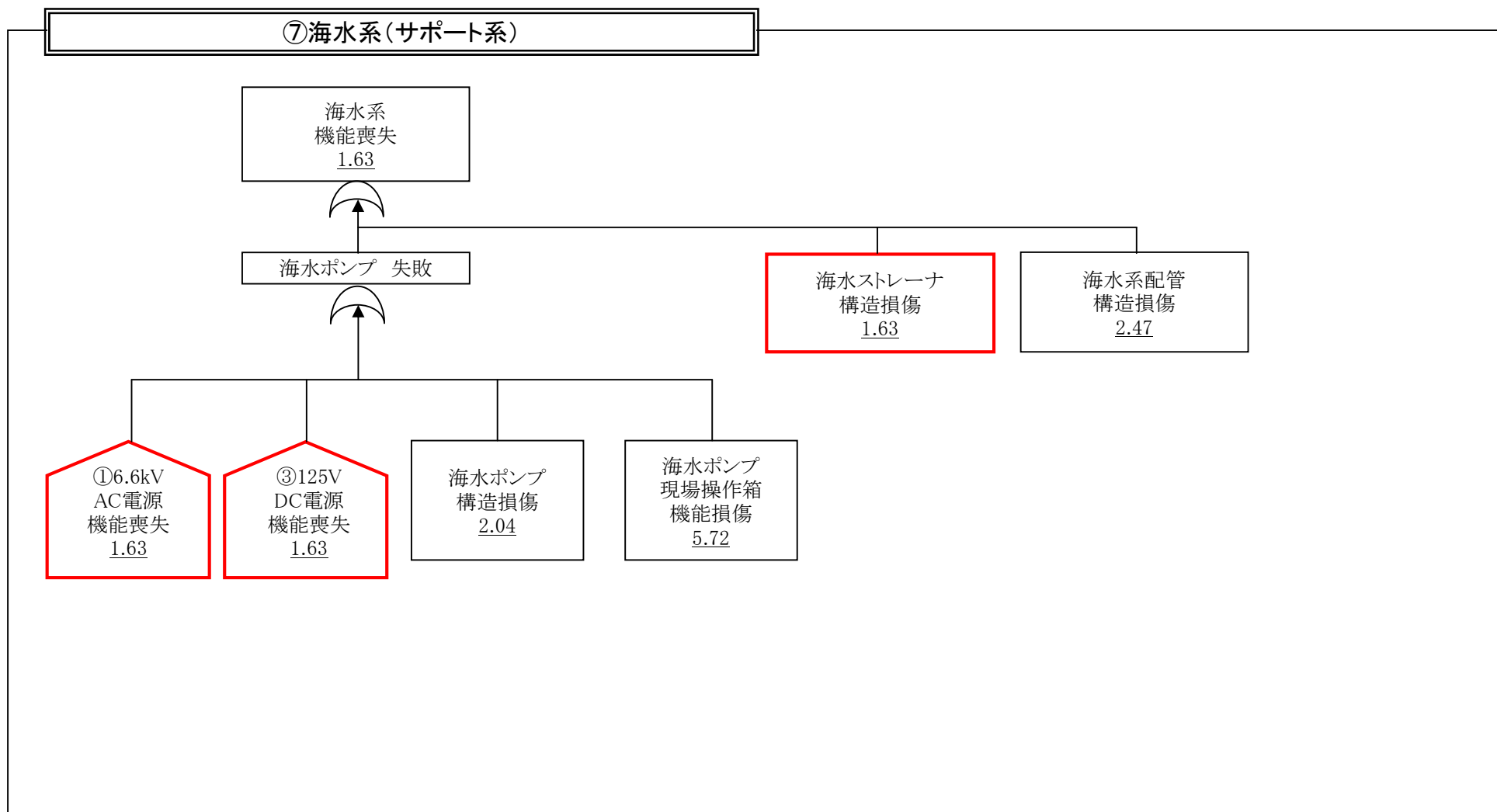
各影響緩和機能のフォールトツリー(地震:SFP燃料損傷)



各影響緩和機能のフォールトツリー(地震:SFP燃料損傷)

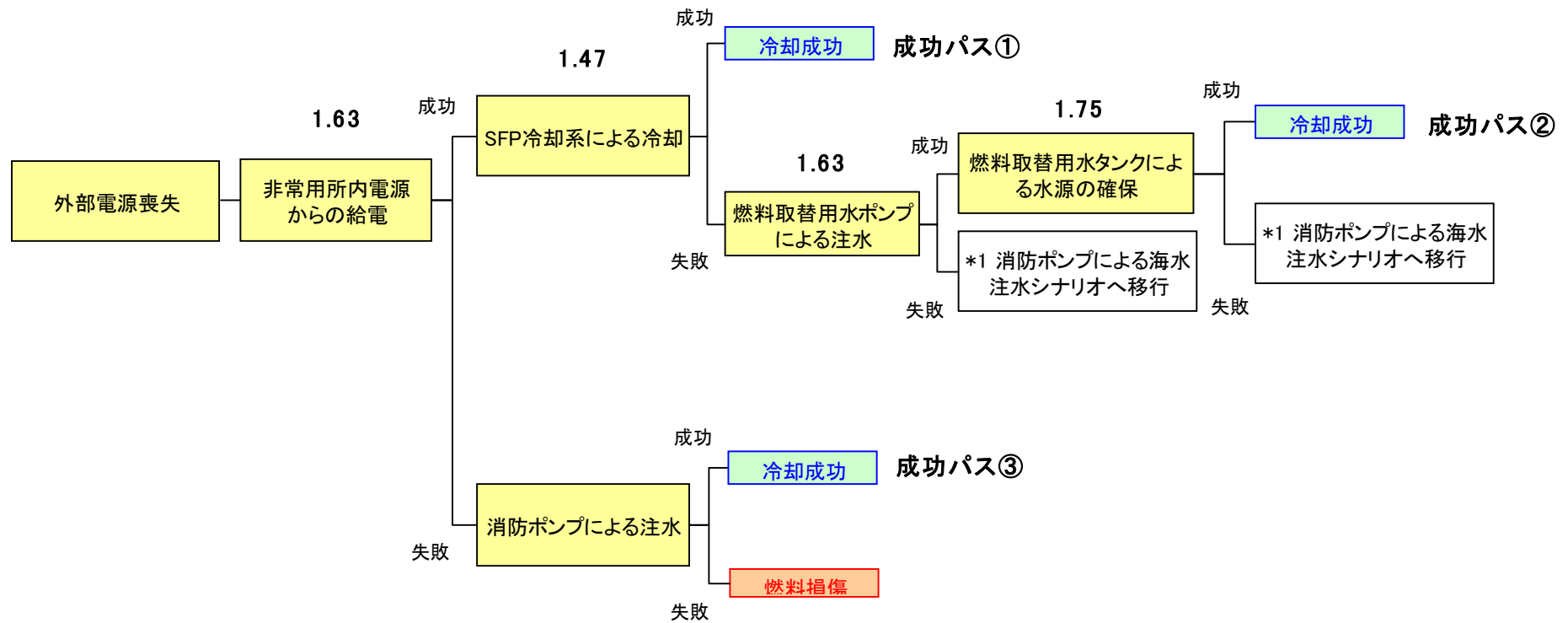


各影響緩和機能のフォールトツリー(地震:SFP燃料損傷)



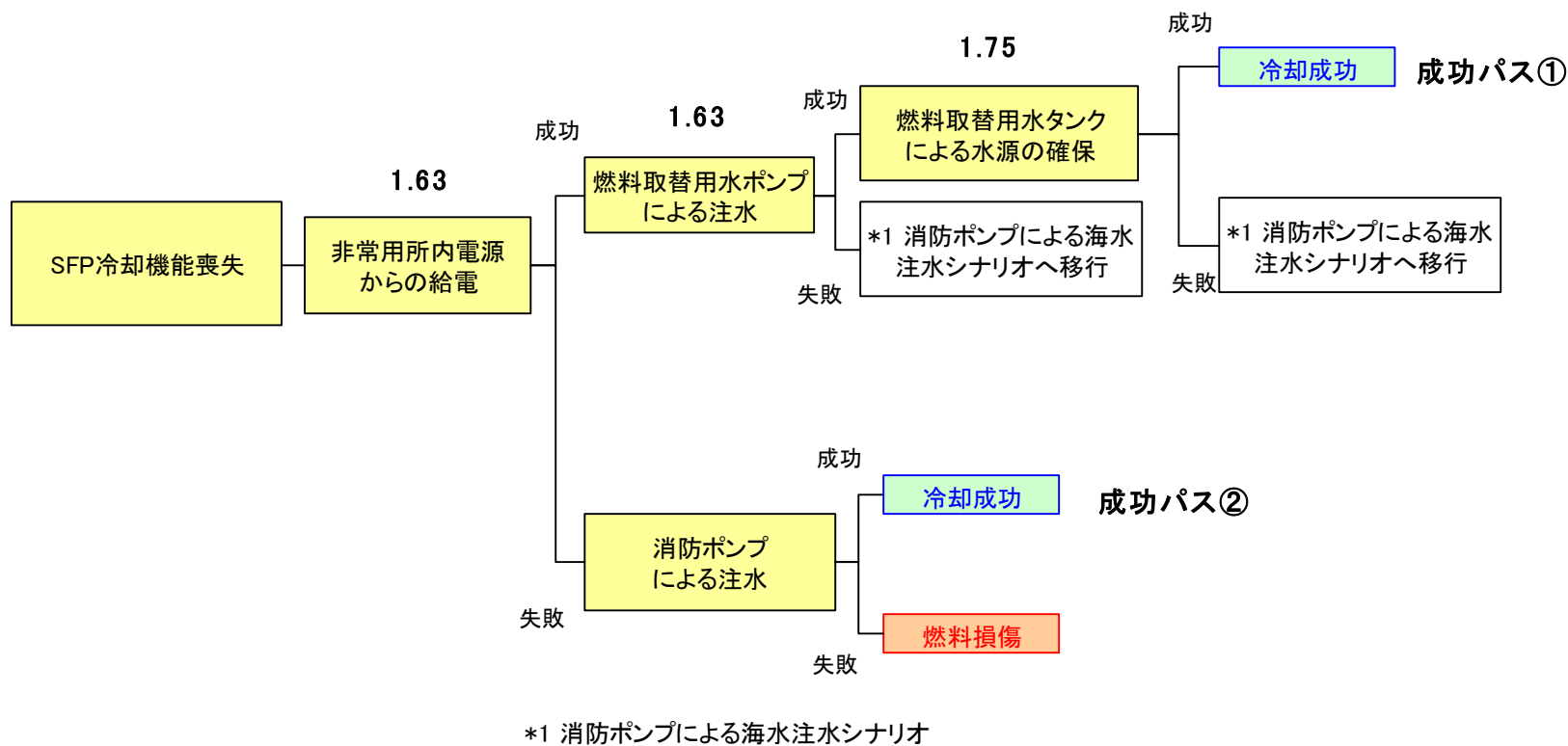
各影響緩和機能のフォールトツリー(地震:SFP燃料損傷)

起因事象：外部電源喪失



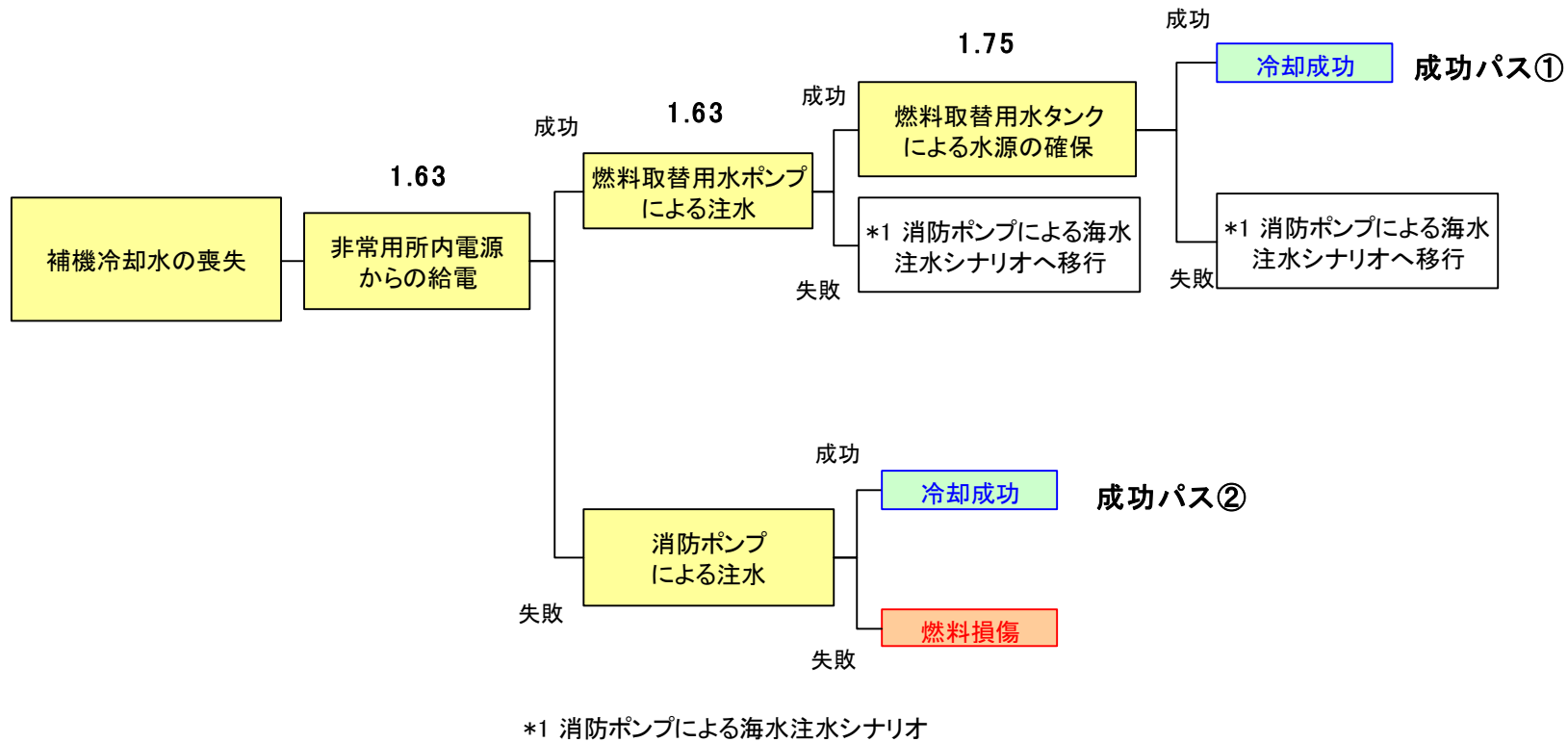
イベントツリーの耐震裕度及びクリフエッジ評価（地震：SFP 燃料損傷）

起因事象：SFP冷却機能喪失



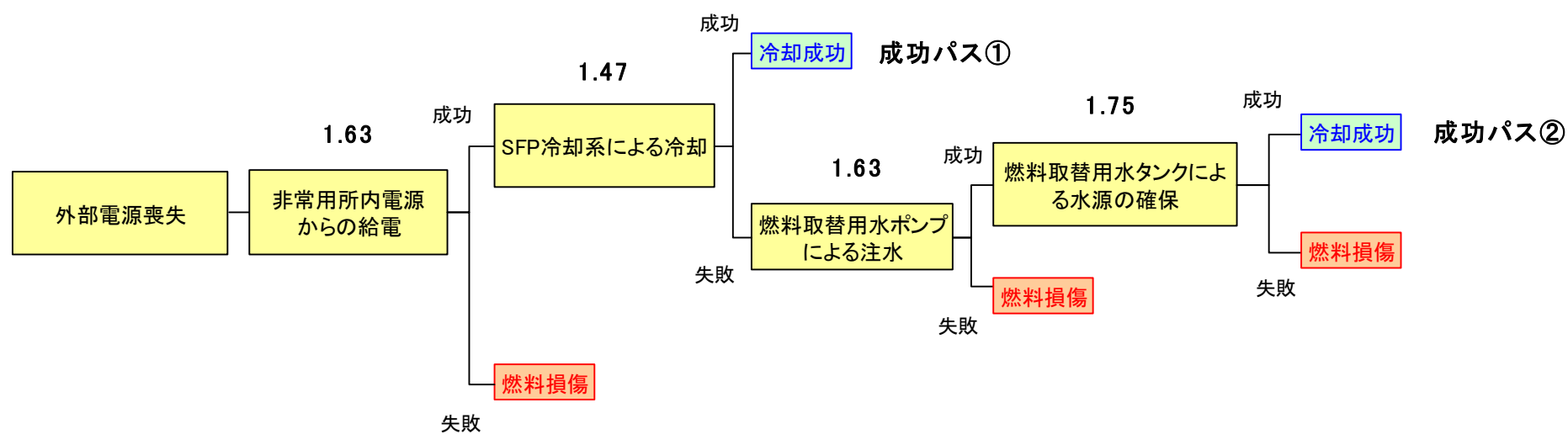
イベントツリーの耐震裕度及びクリフエッジ評価（地震：SFP 燃料損傷）

起因事象：補機冷却水の喪失



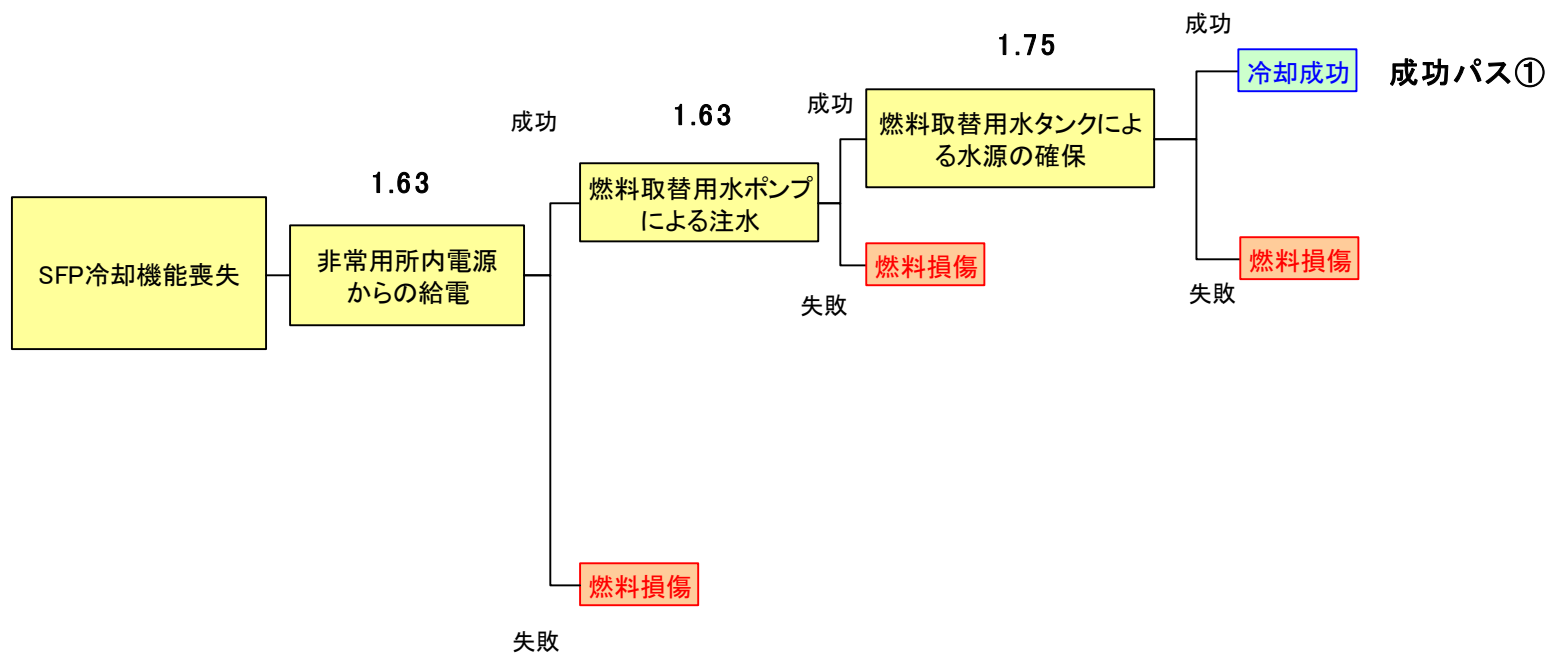
イベントツリーの耐震裕度及びクリフエッジ評価（地震：SFP 燃料損傷）

起因事象：外部電源喪失



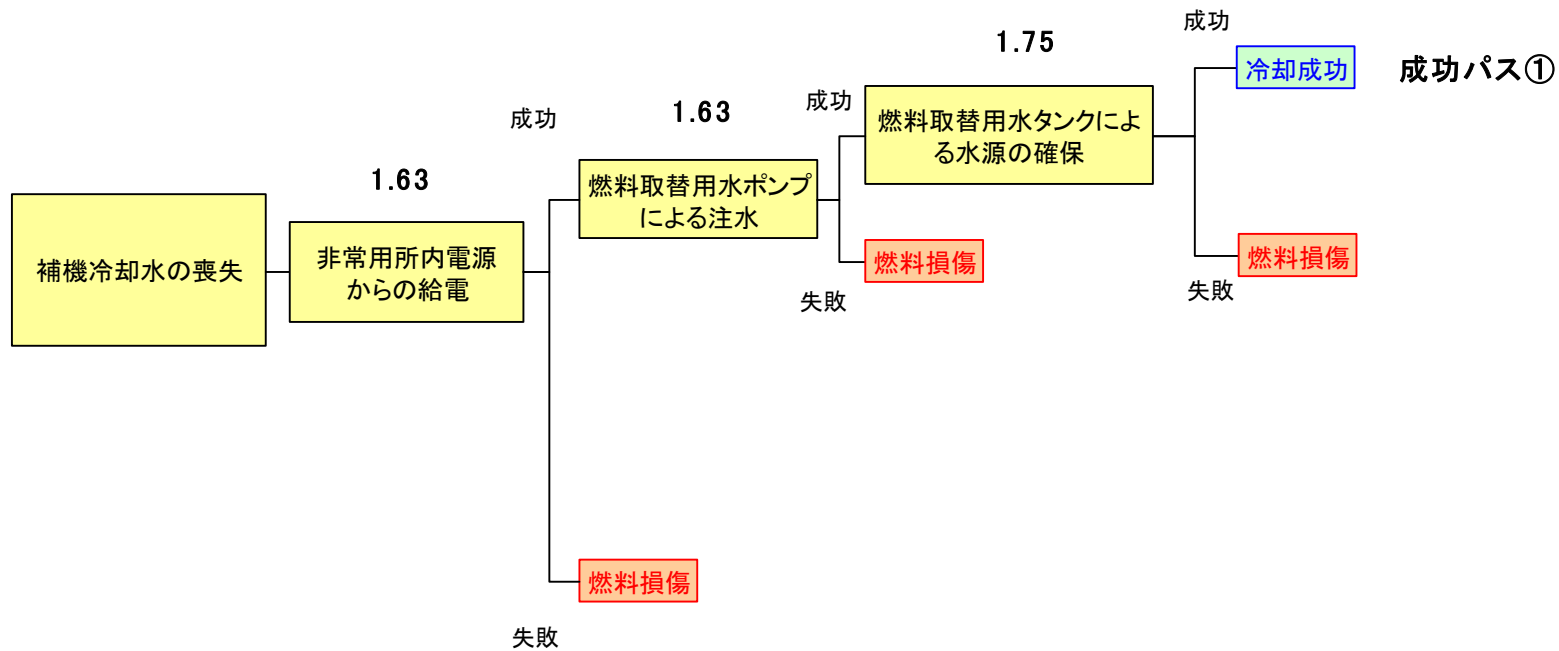
イベントツリーの耐震裕度及びクリフエッジ評価（緊急安全対策前）（地震：SFP 燃料損傷）

起因事象：SFP冷却機能喪失



イベントツリーの耐震裕度及びクリフエッジ評価（緊急安全対策前）（地震：SFP 燃料損傷）

起因事象：補機冷却水の喪失



イベントツリーの耐震裕度及びクリフエッジ評価（緊急安全対策前）（地震：SFP 燃料損傷）